

遠山茂樹文書目録

目 次

《凡 例》

1	録音・ビデオテープ（記号V）	10
2	辞令・履歴書（記号R）	10
3	著作目録（記号W）	13
4	手帳・日記（記号D）	13
5	初期原稿等（記号A）	14
6	原稿（記号G）	19
7	ノート（記号N）	25
8	追悼文・弔辞（記号S）	30
9	クリアーファイル一括史料（記号P）	30
10	教科書づくり（記号E）	65
11	千代田区史（記号C）	66
12	横浜市議会史（記号Z）	66
13	訴訟案件（記号H）	69
14	教科書裁判（記号B）	69
15	教育研究集会（記号L）	71
16	自由民権（記号J）	72
17	横浜市立大学問題（記号Y）	78
18	手紙（記号T）	83
19	寄贈論文抜刷（記号K）	124
20	名刺（記号M）	149
21	その他（記号F）	149

《解 題》

凡例

この目録は、遠山茂樹先生が残された文書を収録した。この文書のほとんどは、先生のお宅が一九九九年八月に中村南の旧宅から現在の南大沢に引っ越したときに、書庫の奥にあった筆筒と天袋に保管されていたものである。書籍は一九九八年一〇月に横浜開港資料館に寄贈された。遠山文庫として現在公開されている。なおほとんどの雑誌類は廃棄された。

目録を作製するにあたって、有効なものにするために以下の処置をとった。

- 一 分類にあたっては、自筆、関与した事項、他者からのもの、作製目的、様式と内容を勘案した。
- 一 記載順は、整理番号、表題、内容摘記、作成者、宛先、年代、形態、数量である。
- 一 表題は原表題をとったが、一部改めたものもある。また表題のないものには表題をつけたが、()で囲むことはしなかった。なお手紙類の表題は「誰宛誰封書」の形式にした。ただし、宛先が遠山先生一人の場合は省略した。
- 一 内容摘記は、適宜()に囲って表題に続けて記した。
- 一 作成者に関して、著作・論文などは、執筆者は表題の前に記し、表題の後に掲載書名と発行者を記した。
- 一 作成者・宛先が複数の場合、「など」「ほか」と省略した場合がある。
- 一 年代は原則として作成年をとった。また2018.12.25のように記し、年月日は省略した。ただし月日のみの場合は月・日を書いた。年代を推定したものに()で囲まなかった。年代の表記は前近代以外は、西暦を用いた。
- 一 形態は、冊子・A4・B5・綴・一括などとした。
- 一 数量は単純に一点の場合は省略した。
- 一 書籍は『』で囲み、論文などは「」で囲んだ。

- 一 一部判読不能なものは□とし、推定した文字には右下にカと記した。
- 一 漢字は現行の字体を用いた。
- 一 巻末に解題を付した。

この目録の作成には以下の一六人が参加した。

渡辺賢二、丸茂信行、天下井恵、大久保英夫、吉田俊純、三浦進、三浦晴子、大内裕見子、丸浜昭、丸浜江里子、飯田美代子、佐野菊枝、中島浩一郎、對馬芳、大庭邦彦、小林元裕。

1 録音・ビデオテープ

- V 1 ラジオ日本「耳で楽しむ横浜散歩・潮風が聞こえる」
1981.11.20 カセットテープ 20分
- V 2 毎日新聞・聞き手：井上喜久子、1995年9月17日『毎日新聞』記事「戦後50年 日本人は何を考えたか第23 回岩波書店と文藝春秋（昭和史論争）」のための取材イタピビュー 1995.9.8 カセットテープ 120分
- V 3 黎明館講演会「明治維新における諸藩の役割」 1988.10.2
カセットテープ 120分
- V 4 横浜市立大学市民講座「島田三郎と横浜市民」第1回
1984 カセットテープ 120分
- V 5 横浜市立大学市民講座「島田三郎と横浜市民」第2回
1984 カセットテープ 120分
- V 6 科学論講義「近代の時代区分と段階区分IX」 1979.1.16
カセットテープ 90分
- V 7 横浜市立大学最終講義「関口泰の大学論」 1979.1.23
カセットテープ 90分
- V 8 教科書裁判判決報告会、於：日仏会館 1989.10.3 カセッ
トテープ 120分
- V 9 石母田正さんを偲ぶ会1 カセットテープ 120分
- V 10 石母田正さんを偲ぶ会2 カセットテープ 120分
- V 11 遠山先生古希のお祝い 1990.9.23 VHS 90分
- R 3 横浜開港資料館嘱託員辞令 横浜市長細郷道一 遠山茂樹
1981.5.1 B5
- R 4 横浜開港資料館館長辞令 横浜市長細郷道一 遠山茂樹
1981.6.2 B5
- R 5 横浜港史刊行委員会委員委嘱状 横浜港湾協会会長上野豊
遠山茂樹 1983.12.20 B5
- R 6 横浜開港資料館嘱託員及館長辞令 横浜市長細郷道一 遠
山茂樹 1984.4.1 B5
- R 7 横浜市制100周年記念事業基本構想検討委員会委員委嘱
状 横浜市長細郷道一 遠山茂樹 1985.1.18 B5
- R 8 法政大学大学院兼任講師辞令 法政大学 遠山茂樹
1957.4.1 A5
- R 9 法政大学大学院兼任講師辞令 法政大学 遠山茂樹
1961.4.1 A5
- R 10 立教大学文学部非常勤講師委嘱状 立教大学 遠山茂樹
1973.4.1 B5
- R 11 横浜開港資料館嘱託員辞令 横浜市長細郷道一 遠山茂
樹 1986.9.30 B5
- R 12 横浜開港資料館嘱託員辞令 横浜市長細郷道一 遠山茂
樹 1986.4.1 B5
- R 13 退職金の支給について（お知らせ、ほかに火災保険、総
合保険はがき3枚同封）専修大学総務部人事課 遠山茂
樹 1984.4.10 B5
- R 14 休学届 東京帝国大学文学部 遠山茂樹 1934.11.21 は
がき
- R 15 維新史料編纂事務局嘱託辞令 文部大臣官房秘書課長
遠山茂樹 1939.3.31 B5
- R 16 事務勉勵二付手当金通知 文部大臣官房秘書課長 遠山
茂樹 1940.3.30 B5
- R 17 月手当支給について 維新史料編纂事務局 遠山茂樹
1940.4.1 B5

2 辞令・履歴書

- R 1 横浜公立学校教員横浜市立大学教授辞令 横浜市長 遠山
茂樹 1958.7.1 220×270 mm
- R 2 横浜開港資料館館長就任に付承認回答 専修大学学長高橋
長太郎 横浜市長細郷道一 1981.3.13 B5 コピー
- R 18 維新史料編纂事務局嘱託辞令 維新史料編纂事務局事務
監理 遠山茂樹 1940.12.11 B5
- R 19 維新史料編纂事務局嘱託辞令 維新史料編纂事務局事務
監理 遠山茂樹 1940.12.11 B5
- R 20 維新史料編纂事務局嘱託辞令 維新史料編纂事務局事務
監理 遠山茂樹 1941.3.31 B5
- R 21 徴集延期証書 麻布連隊区徴兵署 遠山茂樹 1934.6.20
B6
- R 22 高齢退職者餞別金（お知らせ、メモ、振込金受取） 横浜
市立大学総務課庶務係花井 遠山茂樹 1979.7.11 B
- R 23 昭和48年度講義内容について（依頼） 立教大学文学部
教務課 遠山茂樹 1972.12 B5 2枚
- R 24 大学院兼任講師辞令 法政大学 遠山茂樹 1976.4.1
B5
- R 25 横浜市立大学整備計画審議委員委嘱辞令 横浜市立大学
学長梅沢実 遠山茂樹 1972.4.1 B5
- R 26 横浜開港資料館（仮称）設立研究員委嘱辞令 横浜市長
飛島田一雄 遠山茂樹 1978.1.28 B5
- R 27 月手当金通知 維新史料編纂事務局 遠山茂樹
1939.3.31 B5
- R 28 事務勉勵二付為臨時手当金通知 維新史料編纂事務局事
務監理 遠山茂樹 1940.6.24 B5
- R 29 維新史料刊行部勤務辞令 維新史料編纂事務局 遠山茂樹
1938.4.1 B5
- R 30 依命通知維新史料編纂事務局嘱託 文部大臣官房秘書課
長 遠山茂樹 1939.12.5 B5
- R 31 職務勉勵二付為手当金通知 文部大臣官房秘書課長 遠
山茂樹 1938.12.13 B5
- R 32 東京大学人事異動通知書（講師） 東京大学総長大河内一
男 遠山茂樹 1965.4.1 B5
- R 33-1 横浜市立大学教授辞令 横浜市長細郷道一 遠山茂樹
1979.3.31 B5
- R 33-2 貸付決定通知書、貸付金支払通知書 横浜市職員共済組
合理事長塩田光雄 遠山茂樹 1968.3.13 B5 2枚
- R 34 専修大学教授法学部所属辞令給与辞令 学校法人専修大学
遠山茂樹 1979.4.1 B5
- R 35 文学部兼任講師委嘱辞令 法政大学 遠山茂樹
1979.4.1 110×220 mm
- R 36 教授給与辞令 横浜市立大学事務局長青木近衛 遠山茂
樹 1965.5.17 180×130 mm
- R 37 履歴書下書（1934年～1949年記事） 遠山茂樹 B4
- R 38 昭和22年度教科用図書編修委員委嘱通知 文部省教科
書局長稲田清助 遠山茂樹 1947.10.1 B5
- R 39 国立博物館事務嘱託解任辞令 文部省 遠山茂樹 1948.
3.31 B5
- R 40 千代田区史編纂委員委嘱状 千代田区長村瀬清 遠山茂
樹 1957.3.22 B5
- R 41 法政大学昭和46年度大学院履修登録者名簿 法政大学
大学院事務課長後藤明定 遠山茂樹 1971.5.25 B5
- R 42 東京大学講師辞令 東京大学事務総長南原繁 遠山茂樹
1949.4.1 B5 2枚
- R 43 文学学部懇親会次第（退官送別会）中華街大珍楼にて（漢
詩メモ同封） 1979.3.28 B5
- R 44 横浜開港資料館嘱託員館長辞令 横浜市長細郷道一 遠
山茂樹 1983.4.1 B5
- R 45 国立博物館調査員辞令 文部省 遠山茂樹 1948.4.1
B5
- R 46 履歴書下書 遠山茂樹 1948.10.1 B4
- R 47 史料編纂業務嘱託解任辞令 東京帝国大学庶務課長 遠
山茂樹 1944.2.26 B5

- R 48 「学生求職票」に就いて (1938年卒業見込学生用) B 4
R 49 履歴書下書 (1938年記事まで) 遠山茂樹 B 4
R 50 履歴書雛形 1937 B 4
R 51 履歴書 遠山茂樹 1942.1.17 B 4 2枚
R 52-1 人事異動通知書 (退職手当) 文部大臣清瀬一郎 遠山茂樹 1956.3.31 B 5 2枚
R 52-2 裁定通知書 (文官一時恩給) 総理府恩給局 遠山茂樹 1956.6.29 B 6
R 52-3 給与通達 横浜国立大学学長 遠山茂樹 1962.10.1 B 6
R 52-4 給与通達 横浜国立大学学長 遠山茂樹 1963.4.1 B 6
R 52-5 給与通達 横浜国立大学事務局長青木近衛 遠山茂樹 1965.9.1 B 6
R 52-6 給与通達 横浜国立大学事務局長青木近衛 遠山茂樹 1966.7.1 B 6
R 53 公職資格審査の結果 東京大学事務局長 遠山茂樹 1951.3.27 B 6
R 54 東京大学講師任命書 東京大学総長南原繁 遠山茂樹 1950.4.1 B 5 2枚
R 55 卒業証書 浦和高等学校校長炭木清次郎 遠山茂樹 1934.3.1 290×390mm
R 56 国立博物館事務嘱託辞令 国立博物館 遠山茂樹 1948.2.25 A 4
R 57 職務奨励ニ付為其手当金通知書 史料編纂所 遠山茂樹 1943.12.9 B 5
R 58 履歴書下書 遠山茂樹 B 4
R 59 研究業績下書 (1955年まで) 遠山茂樹 B 4
R 60 履歴書 遠山茂樹 1957.1.29 B 4
R 61 履歴書下書 遠山茂樹 1947.12.17 B 4
R 62 兼任講師委嘱状 法政大学 遠山茂樹 1958.4.1 A 5
R 63 非常勤講師の改訂について 鹿児島大学法文学部事務長 上松清徳 遠山茂樹 1971.5.15 B 5
R 64 文部省人事異動通知書 (給与改定) 鹿児島大学長事務取扱中村末男 遠山茂樹 1970.4.1 B 5
R 65-1 履歴書、身体検査書、族籍、卒業証明書下付願、教員検査願の記入用紙 浦和高等学校 B 4 4枚
R 65-2 本籍地町名変更通知書 世田谷区役所区民課戸籍係 遠山茂樹 1964.11.25 B 4
R 65-3 テキスト用短歌の写し 写真版 165×120mm
R 66 横浜文化賞関係 遠山茂樹 1995.11.1 A 4冊子
R 67 表彰状 (20年間永年勤続) 横浜市長細郷道一 遠山茂樹 1978.6.2 316×461mm
R 68 感謝状 (横浜開港資料館船長5年間勤務) 横浜市長細郷道一 遠山茂樹 1986.9.30 317×450mm
R 69 感謝状 (千代田区史編纂委員、発刊にあたり) 千代田区長遠山景光 遠山茂樹 1960.7.2 334×483mm
R 70 授与状 (横浜国立大学名誉教授称号) 横浜国立大学 遠山茂樹 1979.6.20 316×461mm
R 71 自筆履歴書 (1914年～1995年) 遠山茂樹 B 5原稿用紙 4枚
R 72 自筆履歴書 (1947年～1965年) 遠山茂樹 B 5原稿用紙 3枚
R 73-1 嘱託辞令 維新史料編纂事務局 遠山茂樹 1938.4.1 283×203mm
R 73-2 任維新史料編纂官補 文部省 遠山茂樹 1941.8.13 225×309mm
R 73-3 依願免維新史料編纂官補辞令 文部省 遠山茂樹 1942.1.27 250×198mm
R 73-4 史料編纂嘱託辞令 東京帝国大学 遠山茂樹 1942.2.14 279×194mm (ほか) 東京大学付属図書館証票 遠山茂樹 85×58mm、身分証明書 文部

省事務官遠山茂樹 発行者史料編纂所長 86×63mm

3 著作目録

- W 1-1 自筆著作目録 (1943年～1996年) B 5ルーズリーフ 54枚
W 1-2 自筆著作目録コピー (1979年～1987年) A 4に2面縮小コピー 12枚
W 1-3 自筆著作目録 B 5原稿用紙 4枚
W 2 研究業績 B 5 4枚
W 3 阿津坂林太郎編遠山茂樹教授著作目録 (縮)《1938年～1978年》横浜市立大学論叢人文科学系列第30巻II・III合併号 1979.8 A 5冊子
W 4 自筆著作目録 (1979年～1988年) A 4 16枚

4 手帳・日記

- D 1 学生手帳 (専修大学) 1980
D 2 学生手帳 (専修大学) 1983
D 3 学生手帳 (専修大学) 1979
D 4 学生手帳 (専修大学) 1981
D 5 手帳 (住友銀行版) 1973
D 6 能率手帳 (青木書店版) 1975
D 7 日記 (岩波書店版) 1970 手帳
D 8 日記 (岩波書店版) 1973 手帳
D 9 能率手帳 (青木書店版) 1992
D 10 能率手帳 (青木書店版) 1996
D 11 能率手帳 (青木書店版) 1995
D 12 能率手帳 (青木書店版) 1983

- D 13 歴史手帳 (吉川弘文館版) 1975
D 14 日記 (岩波書店版) 1997 手帳
D 15 能率手帳 (青木書店版) 1994
D 16 朝日日記 1942 手帳
D 17 職員手帳 (国家公務員用、大蔵省印刷局版) 1949
D 18 職員手帳 (国家公務員用、大蔵省印刷局版) 1955
D 19 職員手帳 (国家公務員用、大蔵省印刷局版) 1956
D 20 日記 (東大出版会版) 1971 手帳
D 21 月曜書房日記 (月曜書房版) 1948 手帳
D 22 手帖日記 (河出書房版) 1951
D 23 日記 (三省堂 New Concise Diary) 1976 手帳
D 24 日記 (岩波書店版) 1972 手帳
D 25 職員手帳 (国家公務員用、大蔵省印刷局版) 1972
D 26 歴史手帳 (山川出版版) 1980
D 27 歴史手帳 (山川出版版) 1985
D 28 日記 (青木書店版) 1993 手帳
D 29 日記 (三省堂版) 1978 手帳
D 30 朝日日記 1943 手帳
D 31 献立表VI (ケアハウスでの日々三食の献立メモ) 6月8日～8月5日 B 6ノート
D 32 献立日記III (ケアハウスでの日々三食の献立メモ) 10月23日～12月31日 B 6ノート
D 33 献立日記IV (ケアハウスでの日々三食の献立メモ) 2000.1.1～3.18 B 6ノート
D 34 献立表VII (ケアハウスでの日々三食の献立メモ) 8月6日～10月9日 B 6ノート
D 35 献立日記V (ケアハウスでの日々三食の献立メモ) 2000.3.19～6.7 B 6ノート
D 36 献立帳 (ケアハウスでの日々三食の献立メモ) 2月7日～5月17日 B 6ノート
D 37 献立帳 (ケアハウスでの日々三食の献立メモ) 及び覽書

- 9月21日～11月16日 B 6ノート
- D 38 献立帳 (ケアハウスでの日々三食の献立メモ) 及び雑記帳 8月4日～8月5日の献立 B 6ノート
- D 39 当用日記 (博文館版) 1937 B 6 冊子
- D 40 日記 (昭和5年度第五学年修学旅行日記) 1930 手帳型ノート
- D 41 1954年日記 (NHK版) 1954 手帳105×80mm
- D 42 職員手帳 (大蔵省印刷局版) 1953
- D 43 昭和三年度生徒日記 東京府立第四中学校生徒第三学年甲組 遠山茂樹 1928 A 5冊子
- D 44 昭和五年度生徒日記 東京府立第四中学校生徒第五学年丁組 遠山茂樹 1930 A 5冊子
- 5 初期原稿類等**
- A 1 「明治維新と草莽 (伊東多三郎氏の労作によせて)」 B 5 12枚
- A 2 「明治社会と明治維新史」 A 3 4枚
- A 3 「国家の成立と天皇制」 B 5 2枚
- A 4 幕末史下書 A 5 23枚
- A 5 幕末維新期史料筆写 A 5 6枚
- A 6 「回天史」筆写 A 5 9枚
- A 7 原平三「幕末為政者の一揆観」(享保・天明・慶応の幕政と一揆の関わり概観) A 5 15枚
- A 8 羽仁・黒正の百姓一揆研究に関して B 5 9枚
- A 9 羽仁・丸山らの著作抜書一括 B 5など 23枚
- A 10 海老沢有道著『鎖国史論』摘要 B 5 4枚
- A 11 中村吉治著『近世農政史研究』摘要 B 5 10枚
- A 12 川島元治郎著『徳川初期の海外貿易家』摘要 B 5 3枚
- A 13 長崎市史通交貿易編 (秀吉禁教の意図など) B 5 3枚
- A 14 長崎市史の姉崎、切支丹迫害史中の人物事蹟 B 5 2枚
- A 15 封建支配者の立場—江戸幕府成立期の問題 B 5 16枚
- A 16 岡田章雄著『南蛮宗俗考』姉崎、切支丹迫害史中の人物事蹟、キリシタンの懺悔告白 B 5 2枚
- A 17 三上参次『江戸時代史』、瀧山政次郎『具原益軒集』、栗田元次『江戸時代史上』の抜粋 B 5 8枚
- A 18 禁教関係著作摘要 B 5 6枚
- A 19 中日戦争等要項書上 B 5 5枚
- A 20 太平洋戦争無罪論等要項書上 B 5 5枚
- A 21 終戦史料 (吉田、近衛、木戸、有田など) B 5 3枚
- A 22 文久二年武市瑞山の王政復古策等読書メモ B 4 4枚
- A 23 読書メモ (幕末外交関係) B 5 14枚
- A 24 慶応四年東山道鎮撫総督布告等読書メモ B 5 5枚
- A 25 明治13年東京商法会議所会議議案綴 (渋沢栄一関係) B 5 10枚
- A 26 東京商工会編不景気二関スル資料 (明治18年頃) B 5 39枚
- A 27 地租軽減の風評を聞いて感あり他 『東京経済雑誌』他 1885.5.23 B 5 12枚
- A 28 東京府会議員選挙結果他 1874.1～1885.9 B 5 5枚
- A 29 東京商工会編不景気救済策二付各社の評論 1886.3.17～3.25 B 5 4枚
- A 30 東京商工会編官衙諸達井上申書他 1884.5.2 B 5 7枚
- A 31 松方財政に関する史料 1880～1889 B 5 6枚
- A 32 東京商工会編東京商工会々外諸向往復文書等 1883.10～1885.7 B 5 17枚
- A 33 長官事務引継書類等 (防災計画・新川開鑿・共同揚場建設) 1885 B 4 4枚
- A 34 東京市水道沿革誌 B 5 17枚
- A 35 津田左右吉著「明治維新史の取扱ひについて」メモ (『世界』1947年10月号) B 5 2枚

— 14 —

- A 36 伊東多三郎著『草莽の国学』メモ B 5 15枚
- A 37 明治維新史 (小学校教員再教育講習会) 1947.12.14 B 5 7枚
- A 38 明治立憲政治の原動力 (窪町小学校にて) 1947.12.14 B 4、5枚・B 5、8枚
- A 39 開港の製糸業に及ぼした影響他 B 5 4枚
- A 40 下級武士に関するメモ (羽仁五郎の見解) B 5 6枚
- A 41 伊東多三郎『国学者の道』メモ (羽仁五郎の見解) B 5 5枚
- A 42 商業資本・問屋制家内工業に関するメモ (羽仁五郎の見解) B 5 5枚
- A 43 列強、開港に関するメモ (羽仁五郎の見解) B 5 2枚
- A 44 地主に関するメモ (羽仁五郎の見解) B 5 5枚
- A 45 藩政改革に関するメモ (羽仁五郎の見解) B 5 2枚
- A 46 外国貿易業者等メモ (羽仁五郎の見解) B 5 6枚
- A 47 戦中・戦後期の草稿類 B 5・22枚、B 5半切1枚、B 4・10枚、A 4・1枚、B 5・1綴、A 5・1綴
- A 48 神武東征について B 5 19枚
- A 49 幕末史料解説文他草稿類 1935年頃か B 5他 25枚
- A 50 八代將軍吉宗の政治について B 4 3枚
- A 51 弘化四年正月節会『大日本維新史料』 B 4冊子
- A 52 文久三年「秘所文書」外解説文 B 5 5枚
- A 53 「相州文書十八」外解説文 B 5 74枚
- A 54 「吉野時代に於ける相良氏の動向」 A 4 13枚
- A 55 渋沢栄一「戦後経済二関スル建議」外 B 5 3枚
- A 56 「弘道館記述義」集衆思官群力の条について 1935.2.3 A 5 11枚
- A 57 「吉野時代に於ける吉野朝の位置」(昭和10年度史学概論試験問題答案) 1935 A 4 4枚
- A 58 『総法制史の研究』ノート A 5 8枚
- A 59 「六大勝事記」読解文 A 5 3枚
- A 60 「保曆間記」読解文 B 7 4枚
- A 61 「座意識」論争に就いて (三浦周行と平泉澄) A 5 8枚
- A 62 梅松論の建武中興観 1935.10.7.11時半の記載あり 19枚
- A 63 平泉先生著『我が歴史観』所収論文摘要 A 5 7枚
- A 64 吾妻鏡上に現れた承久の変、附大日本史料 (承久役) 承久記 1935.9.14 A 5 24枚
- A 65 吾妻鏡の性格及其の史料としての価値—本書の資料的価値は過大視せらるるなきや A 5 3枚
- A 66 良瀬宛左大臣頼長書状ほか花押コピー B 4コピー 文書1枚、花押5枚
- A 67 左弁宮下文 (大山庄公田につき) 少史三善 中弁藤原朝臣宛 保安3.6.9 B 4コピー 2枚
- A 68 留守所宛宇宣 (大山庄官物賞徴寄人等) 大介高階朝臣宛 康和5.8.14 B 4コピー 2枚
- A 69 院宣下文 (国衙公事免除) 伊予守近信弓削嶋住人等宛 承久2.7 B 4コピー 2枚
- A 70 道覧かおほりのゆつり状なり 弘安10.10.29 B 4コピー 2枚
- A 71 柳原小平太宛書状 11月20日 B 4コピー 2枚
- A 72 朝比奈緒左衛門尉宛市川宮内助ほか書状 (信玄少仰恩の事) 元龜元、6、晦 B 4コピー 2枚
- A 73 治部法橋殿遊状良増法橋殿状 (永遊渡置那美作国海老一門等事) 永仁6、正、27 B 4コピー 2枚
- A 74 山中山城守宛長東大蔵大輔書状 (筑前中納言代官共二申渡所務方の儀) 12月5日 B 4コピー 3枚
- A 75 志田房州(ほか宛石田三成書状 (飛脚沼田越会津へほか)) 8月5日 B 4コピー 6枚
- A 76 祇園記、祇園社御師執行法印願書申状 (朝敵静岡祠官召返の事) 延文5.10 B 4コピー 3枚
- A 77 播磨国大郡庄公文孫九郎久忠後家性何重弁申状 (同国堅

— 15 —

- A 78 高庄公文職名田など) 元亨2.2 B4コピー 7枚
年頃坊宛信賢書状 (開所の事注進の義) 応永34.11.18
B4コピー 4枚
- A 79 三宝院雑掌申状 (伊豆国走湯山別当職付願寺並寺領以下
事) 応永6.9.5 B4コピー 3枚
- A 80 上野七郎兵衛尉宛定広書状 (京都早馬当今御謀叛) 正中
元・9.26 B4コピー 2枚
- A 81 徳政条々・定徳政事 享徳3.12.18・永正17.2.12 B
4コピー 3枚
- A 82 武蔵平朝臣 (北条経時) 下文 (醍醐寺領越前国牛原庄住
人等仰三箇条檢断事) 寛元元.7.19 B4コピー 7枚
- A 83 寛永年間歴史書覽書 B5 6枚
- A 84 近世初期歴史書歴史家覽書 B5 5枚
- A 85 川越藩記録 (相海海防御用財政難につき) 4月19日
B4タイフ印字 3枚
- A 86 新家雜記 (外国領事官と交渉につき) 4月21日 タイフ
印字B4、1枚・B5、1枚
- A 87 弟小野加賀宛真木保臣書翰 (京都状勢など) 2月8日
B4タイフ印字 2枚
- A 88 通航一覽卷二、九十四頁 (異国船帰るを許すにつき) B5
11枚
- A 89 防海余論 弘化4 B4タイフ印字 14枚
- A 90 南北朝期覽書 B5 3枚
- A 91 酒井忠義記・野宮定祥日記 B4 3枚
- A 92 『安政年録』(箱館奉行について) B4などタイフ印字 7枚
- A 93 邊菴雜纂・高麗環雜記など史料綴 安政5 B5タイフ
印字など 12枚
- A 94 橋本実麗日記 安政5 B5タイフ印字 7枚
- A 95 津経藩記録・川越藩記録 安政5 B5タイフ印字 30枚
- A 96 『東蝦夷地ユウフツ并サル場所請負人願』他 安政5
B5タイフ印字 12枚
- A 97 「東蝦夷地エトモ語箱館奉行支配調役上申書」他 安政4
B4二折タイフ印字 25枚
- A 98 水戸史学論下書 B5 8枚
- A 99 『大日本史』についての論評断簡 B5 44枚
- A 100 近藤瓶城の神国論校訂 B5 3枚
- A 101 「靖敵遺言講義下」 B5 2枚
- A 102 「靖敵遺言講義下」 B5 2枚
- A 103 各藩藩校沿革 B5 26枚
- A 104 「安達清風日記」ほか諸藩記録 安政5 B4二折タイ
フ印字 32枚
- A 105 蜂須賀家文書 (西洋流砲術奨励) 安政5.4 B4二折
タイフ印字 2枚
- A 106 「弘道館記述義」ノート B5 6枚
- A 107 禁裏御領他7か所石高集計 B4他 4枚
- A 108 高須芳次郎著『水戸学派の尊皇及び経綸』ノート B5
8枚
- A 109 三宅觀瀾著「將軍伝私録」・「書重修紀伝義例後」筆写
B5 5枚
- A 110 「新安手簡」附録澹泊与白石書拔書 B5 4枚
- A 111 「西山公隨筆」他より抜書 B5 4枚
- A 112 安齋澹泊著「烈相成績序」 B5 7枚
- A 113 津田左右吉著「王道政治思想」ノート B5 6枚
- A 114 中山久四郎著「近世支那の日本文化に及ぼしたる勢力影
響」ノート B5 2枚
- A 115 津田左右吉著「王道政治思想」ノート B4 2枚
- A 116 竹内義雄著「宋学の由来及び其特殊性」ノート B5 5枚
- A 117 西晋一郎著「日本儒学の特質」 B5 7枚
- A 118 諸藩藩校記事 B4 2枚
- A 119 慶長から慶応年間の日記等記録文書一覽 B4 2枚
- A 120 近世武士生活に関するノート B5 12枚
- A 121 幕府の収入、財源の潤増に関するノート B5 3枚

191

- A 122 名分論南朝正統などに関する読書ノート B4 2枚
- A 123 総合日本史大系『江戸時代上』所収白石書状写 B5
4枚
- A 124 白石先生手簡索引 B5 3枚
- A 125 『大日本史』体裁 B5 3枚
- A 126 彰考館人材ほか B5 9枚
- A 127 ハリス宛老中脇坂中務大輔・同安藤対馬守書翰目録
B5 10枚
- A 128 フメリカ大使館文書、外国奉行書翰・老中脇坂中務大輔・
安藤対馬守書翰目録 B5 9枚
- A 129 「弘道館記述義」解説 B5 12枚
- A 130 斉昭告志篇 (要項ノート) 天保4 B5 3枚
- A 131 「武公遺事」「人見私記」ノート B5 3枚
- A 132 会沢正志斎著「新論」解説下書 B5 5枚
- A 133 会沢正志斎著「読直昆蟲」ノート B5 3枚
- A 134 水戸学関係史料写 B5 7枚
- A 135 幽谷封事 (要点ノート) B5 19枚
- A 136 藤田幽谷の経歴 B5 5枚
- A 137 幽谷全集ノート B5 10枚
- A 138 幽谷全集 (同全集ノート) B5 10枚
- A 139 幽谷の学風 B5 6枚
- A 140 誠斎雜記 (享保期幕府取箇など) B4 3枚
- A 141 藤田幽谷 (同全集ノート) B5 6枚
- A 142 幽谷勸農或問 (要点ノート) B5 4枚
- A 143 幕府政治の流れ及び諸藩の取政状況 B5 31枚
- A 144 諸事留 (立太子冊命につき) 嘉永3、10～嘉永4.2、17
B5 31枚
- A 145 藤田東湖回天詩史 (要点ノート) B5 1枚、他白紙
5枚
- A 146 常陸多賀郡史全 (付家老中山氏松岡入城、百姓一揆ノ一
ト) B5 3枚
- A 147 禁中行事記聞下巻附録 御用度之部 (筆写) B5 45枚
- A 148 昭和10年度「古文書学通論」補逸 1935年度 A5
18枚
- A 149 片岡良一著「国文学精神と現代文学」他ノート 1934
A5 10枚
- A 150 会沢正志斎新論 (要点ノート) B5 11枚
- A 151 孝明天皇御製抄 B5 7枚
- A 152 女官増員 弘化4.7、17 B5 5枚
- A 153 史料摘要第四十台 (柳営年賀) B4二折 14枚
- A 154 史料摘要第四十一台 (柳営年賀) B4二折 14枚
- A 155 熊沢蕃山著『集義外書』、荻生徂徠著『政談』などノ一
ト B5 8枚
- A 156 久我建通卿記など B5 7枚
- A 157 『孝明天皇紀第一』(巻六、九条夙子入内の件) B5 8枚
- A 158 第三十九台 (柳営年賀) B4二折 12枚
- A 159 第三十八台 (宮中柳営年賀) B4二折 19枚
- A 160 第四十七台 (外警強化ほか) 弘化4 B4二折 19枚
- A 161 『大日本史』編修年譜 B5 23枚
- A 162 幕末期ノート類、覽書断簡一括 B5 20枚
- A 163 ノート類、覽書断簡一括 B5 8枚
- A 164 中世史料ノート・百姓一揆の革命性考察 B5 18枚
- A 165 承久の乱史料ノート B5 4枚
- A 166 阿部教授「教育史概説」第三学期講義ノート 1935
A5
- A 167 栗屋豊教授「心理学摘要」などノート A5 20枚
- A 168 「国史概説」ノート A5 51枚
- A 169 阿部教授「教育史概説」第三学期講義ノート(A 166の続)
1935 A5 30枚
- A 170 群馬～長野旅行日程表、文学史概観 B4、4枚・名刺
大、4枚
- A 171 荘園制の発達他ノート A5 5枚

192

- A 172 荘園発達史資料叢書 A 5 6枚
 A 173 松村武雄著『民族学論考』本庄栄次郎著『日本社会史』ノート 1933 A 5・19枚、A 6・4枚
 A 174 日本女性の社会的地位、女性の思想の流れ講演会メモ A 5 2枚
 A 175 高橋龜吉述『経済史上より見たる明治維新』ノート A 5
 A 176 藤田元春『歴史地理』ノート A 5 22枚
 A 177 大屋徳誠著『日本仏教史之研究』ほか中世史関係ノート A 5 25枚
 A 178 P.Vinogradoff "The growth of the manor" ノート A 5 4枚
 A 179 古文書印影 160×235mm 4枚・160×410mm 2枚
 A 180 吉川広家自筆覚書案(関ヶ原戦に関してなど) カリ版 刷り B 4二つ折り
 A 181 正覚坊重盛書状、直江大和守ほか宛重盛書状(彌虎調伏之由)ほか B 4カリ版刷二つ折り冊子 2冊
 A 182 小早川左衛門矩豊臣秀吉直書(九州処分)他一通 B 4カリ版刷二つ折り冊子
 A 183 □通院僧正奉書 正和2.9 B 4コピー 2枚
 A 184 道賢の譲り状一件 弘安10.10.29 B 4コピー 2枚
 A 185 筑前国観世音寺史料 B 4コピー 5枚
 A 186 文部省中学国史教科書カット案 B 5冊子 16頁
 A 187 日本史指導要領単元試案・中学国史教科書単元案 1948.2.13 B 4 3枚
 A 188 東京市史稿・萬里小路正房日記・禰記校正原稿 B 4二つ折り 3枚
 A 189 横浜伊勢屋平兵衛書状 B 5 2枚
 A 190 全国統一の動き(断片原稿) B 5 6枚
 A 191 百姓一揆と農民戦争草稿 B 5 2枚
 A 192 幕末武家伝奏達書 B 5 11枚
 A 193 農民戦争の条件草稿 B 5 2枚
 A 194 大名と養子制 B 5 5枚
 A 195 武家の窮乏 B 5 5枚
 A 196 実麗卿記(裏面：林達夫著「社会史的思想史」メモ) B 5 2枚
 A 197 知恩院下向関係校正原稿 B 4二つ折り 13枚
 A 198 元禄期大日本史編纂史抜書 B 5 9枚
 A 199 幕府沙汰書校正原稿(安政5年松平越中守の御暇の件) B 5 3枚
 A 200 三条実萬記録(朝廷より内談の事項) B 5 2枚
 A 201 享保以後の一揆に就いて(黒正巖著「百姓一揆年表」を基に特質を考察) B 5 9枚
 A 202 幕府選、老中申渡、非蔵人日記他校正原稿 B 5他 7枚
 A 203 弘化年表、統泰平年表校正原稿 B 5 2枚
 A 204 慎徳院殿御実記、弘化年録校正原稿 B 4二折 2枚
 A 205 鍋島直正譜略校正原稿 B 4二折 2枚
 A 206 島津家敏掌史料校正原稿(引用文明細) B 4二折 5枚
 A 207 高麗環雜記、慎徳院殿御実記校正原稿 B 4二折 2枚
 A 208 高島秋帆先生小伝校正原稿 B 4二折 5枚
 A 209 弘化年表、高麗環雜記他校正原稿 B 5 4枚
 A 210 細徳川実記弘化年録、高麗環雜記校正原稿(引用史料明確) B 4二折 19枚
 A 211 南陽原先生著千里秘究『傷寒論夜話』叢桂亭蔵梓冊子
 A 212 『吉田松陰全集』寺田剛著『大橋訶庵伝』他抜書 A 5・5枚、B 5・2枚
 A 213 『松菊木戸公伝』下、抜書 B 5 14枚
 A 214 戸川安宅著『幕末小史』抜書とメモ 1898 B 5 5枚
 A 215 『竹内綱自叙伝』(『明治文化全集』第23巻雜史篇)抜書とメモ B 5 9枚
 A 216 永田広志著『日本イデオロギー論』抜書とメモ B 5 6枚

- A 217 『久坂玄瑞遺文集』メモ B 4二折 4枚
 A 218 『越前藩 横井小楠』下巻遺稿篇メモ B 5 5枚
 A 219 山崎正薫著『横井小楠』伝記篇メモ B 5 4枚
 A 220 『中山忠能資料』六〜八メモ B 5 2枚
 A 221 絶対主義の規定、明治維新 B 5 5枚
 A 222 自由民権の動きと資料写し B 5 14枚
 A 223 一揆の意義、江戸時代後期の一揆覚書他 B 5 29枚
 A 224 兵庫県の豪農メモ(大正11年以前) A 4変形 9枚
 A 225 幕領一揆、朝来郡百姓一揆年表メモ A 4変形 3枚
 A 226 永山卯三郎著『池田光政公伝』メモ B 4 2枚
 A 227 黒正巖著『百姓一揆の研究』他メモ B 5 6枚
 A 228 初期収集資料一括 B 5 30枚
 A 229-1 坂本直柔(龍馬)新政府綱領八策 1867.11 B 6写真版
 A 229-2 おとめ宛坂本龍馬書簡 6月28日 B 6写真版
 A 230 ベリー艦隊、咸臨丸等のメモ B 6 9枚
 A 231 個人練習用くずし字用例抜書き A 5ルーブリック 8枚
 G 6 田中正造における「政治」と「入道」(『経済と貿易』校正稿) 2007.5.13 B 4 8枚
 G 7 教育統制とたかう力 B 5 9枚
 G 8 福島喜多方事件 B 5 21枚
 G 9 三大事件建白運動論 B 5コピー 82枚
 G 10 社会科の学習内容と学力ー歴史学と歴史学習を中心として B 5 50枚
 G 11 集会条例と自由党解党 B 5コピー 120枚
 G 12 尊王攘夷思想とナショナルイズム B 5 93枚
 G 13 維新史料編纂会削除史料 B 5 19枚
 G 14 坂本龍馬の活動した時代(原稿2種、関連メモ) B 5・52枚、A 4・11枚
 G 15 『昭和史』論争と箱根会議(原稿、原稿コピー、初校) B 5・13枚、A 4・9枚
 G 16 神奈川の歴史を学ぶ意味 B 5コピー 24枚
 G 17 戦争準備体制の矛盾 B 5 28枚
 G 18 日本資本主義論争と服部之総 A 4コピー 22枚
 G 19 随想 ワーク原稿 14枚
 G 20 津田博士の天皇制論(『津田左右吉全集』第26巻月報原稿) B 5・26枚、A 4・16枚
 G 21 自由民権運動について茨城県史研究原稿 B 5 17枚
 G 22 自由民権運動と地域(『開成町の歴史』第6巻所収) 1985.9 A 4コピー 26枚
 G 23 明治維新における諸藩の役割(鹿児島での講演原稿) 1988.10.2 B 5 28枚
 G 24 明治維新における藩の役割(鹿児島県歴史史料センター黎明館第27回講演会) 1988.10 A 4原稿コピー 8枚、所収冊子1冊
 G 25 『大久保利謙著作集』解説カ A 4コピー 28枚
 G 26 四二年間の交際から学んだこと(土井正興追悼文) B 5 4枚

6 原稿

- G 1 関東御分国の研究 遠山茂樹筆 1936.11.8校了 B 4 32枚
 G 2 松永昌三著『福沢諭吉と中江兆民』を読む一学んだこと疑問に思ったこと 2001.2.17 B 5 85枚
 G 3 歴史学研究会創立七十年を迎えると聞いて 2002.9 B 5 21枚
 G 4 成蹊大学での、自由民権運動の講演 B 4 No.12〜14、17〜57、66〜77
 G 5 5・15事件の経緯とその意義(初稿原稿) 1983.1.6 A 4 12枚

- G 27 遠山茂樹略歴業績、遠山茂樹年譜 1990.4.6 B 5 略
 履歴續 18 枚、年譜 2 枚
- G 28 『遠山茂樹著作集』校正刷(「君が代」と天皇制、明治天皇と東北巡幸) B 4 7 枚
- G 29 『遠山茂樹著作集』(4)初校(日本のナショナルリズム) B 4 6 枚
- G 30 藤井先生の想い出―断片― 2001.9.1 B 5 16 枚
- G 31 E・Hローレン博士と私 2001.5.23 B 5 6 枚
- G 32 古典の読み方二つ―私の経験と反省― B 5 19 枚
- G 33 歴史の史料としての『福翁自伝』『凶書』11月号 B 5 18 枚
- G 34-1 「中等歴史四 皇国要目」(維新以後)ほか B 4ガリ版刷 14 枚
- G 34-2 暫定教科書初等科国史要目及大綱 B 4ガリ版刷 4 枚
- G 34-3 暫定初等科国史下案(第八海内の統一、第九江戸幕府の二鎖国は後半欠) B 4ガリ版刷 12 枚
- G 34-4 少国民新聞 1946.8.30 タブレット版
- G 34-5 七建武の中興、八室町幕府、九戦国と統一、十江戸幕府と封建制度(中学歴史(三)改訂試案の原稿) B 4 137 枚
- G 35 尊王攘夷運動・倒幕運動 1985.3.12 B 5 原稿コピー 19 枚
- G 36 解説(『石母田正著作集』第15巻) B 5 7 枚
- G 37 解説(『石母田正著作集』第14巻) 1991.7 B 5 25 枚
- G 38 手書き原稿メモ入試問題断片 B 5 247 枚
- G 39 横浜社会史原稿(明治45年8月30日市会本会議等) 1912.8.30 B 5 8 枚
- G 40 1888年公布の市制町村制と1889年横浜市議会議員選挙 B 5 5 枚
- G 41 はじめに(横浜社会史原稿1903～1914年の時期) B 4・18 枚、B 5・3 枚
- G 42 『横浜社会史』一章、二章目次原稿 B 5 4 枚
- G 43 『横浜社会史』第1章日露戦争期の市政 B 5 55 枚
- G 44-1 新版『昭和史』(はしがき、目次) B 4 1～8 枚
- G 44-2 新版『昭和史』(1第一次世界大戦後の日本) B 4 9～37
- G 44-3 新版『昭和史』 B 4 38～66
- G 44-4 新版『昭和史』 B 4 67～104
- G 44-5 新版『昭和史』 B 4 105～131
- G 44-6 新版『昭和史』 B 4 132～148
- G 44-7 新版『昭和史』 B 4 149～201
- G 44-8 新版『昭和史』 B 4 202～233
- G 44-9 新版『昭和史』 B 4 234～259
- G 44-10 新版『昭和史』 B 4 261～340
- G 44-11 新版『昭和史』 B 4 341～370
- G 44-12 新版『昭和史』 B 4 371～397
- G 44-13 新版『昭和史』 B 4 398～432
- G 44-14 新版『昭和史』(VI戦後の世界と日本) B 4 1～23
- G 44-15 新版『昭和史』 B 4 24～79
- G 44-16 新版『昭和史』(参考文献) B 4 1～46
- G 44-17 新版『昭和史』(昭和史略年表) B 4 1～16
- G 45-1 『日本近代史I』(索引) B 5 1～63
- G 45-2 『日本近代史I』(はしがき) B 5 1～6
- G 45-3 『日本近代史I』(原稿の表記等について) A 5 3 枚
- G 45-4 『日本近代史I』(扉・目次) B 5 6 枚
- G 45-5 『日本近代史I』(序章明治維新の特質) B 5 8～52
- G 45-6 『日本近代史I』 B 5 53～116
- G 45-7 『日本近代史I』(第1章自由民権運動の発展) B 5 117～166
- G 45-8 『日本近代史I』 B 5 167～221
- G 45-9 『日本近代史I』 B 5 222～270
- G 45-10 『日本近代史I』(293より第2章自由民権運動の敗退)

- B 5 271～319
- G 45-11 『日本近代史I』 B 5 320～369
- G 45-12 『日本近代史I』 B 5 370～419
- G 45-13 『日本近代史I』(461より第3章天皇制の矛盾と日清戦争) B 5 420～471
- G 45-14 『日本近代史I』 B 5 472～525
- G 45-15 『日本近代史I』 B 5 526～571
- G 45-16 『日本近代史I』 B 5 572～623
- G 45-17 『日本近代史I』(699より第4章日本帝国主義の成立) B 5 624～722
- G 45-18 『日本近代史I』 B 5 723～773
- G 45-19 『日本近代史I』 B 5 774～823
- G 45-20 『日本近代史I』(855より第5章日露戦争の意義) B 5 824～870
- G 45-21 『日本近代史I』 B 5 871～923
- G 45-22 『日本近代史I』 B 5 924～992
- G 46 遠山茂樹著作集(4) 補註再校 B 4 3 枚
- G 47-1 遠山茂樹著作集編集案 1989.3.5 A 4 17 枚
- G 47-2 遠山茂樹著作集編集案 B 5 18 枚
- G 48 遠山茂樹著作集編集別案 B 5 3 枚
- G 49 『日本近代史I』目次枚数計算 B 5 9 枚
- G 50 遠山茂樹著作集編集案 B 5 3 枚
- G 51 威臨丸一行―覧 B 4コピー
- G 52-1 『明治維新と現代』(岩波書店市民講座プログラム・講演録類、明治維新評師の姿遷脚戯) B 5 24 枚
- G 52-2 自由民権運動全国集会報告集刊行にあたって B 5 16 枚
- G 52-3 原稿断簡 A 4・1 枚、B 4・2 枚、B 5・21 枚
- G 53-1 関口泰の教育論素描 B 5 8 枚
- G 53-2 関口泰の教育論(メモ) B 5 7 枚
- G 53-3 関口泰関係著書 B 5 3 枚
- G 53-4 関口泰文集(メモ) B 4 5 枚
- G 54-1 第六章近代のめばえ B 4 26 枚
- G 54-2 第七章②つづき(桜田門外の姿以後の幕末政治史) B 4 14 枚
- G 54-3 第四編第一章明治維新 B 4 17 枚
- G 54-4 第二章明治維新 B 4 16 枚
- G 54-5 第三章戦争から戦争へ B 4 18 枚
- G 55 明治初期政治史 1971.12.11 稿了 A 5・29～36、他 2 枚
- G 56 自由民権運動(『歴史』9月号) B 5 1～54
- G 57 密勅経過の真相手掛かり B 5 11 枚
- G 58 第二節和親条約の締結と政局の緊張、第三節朝権の伸張 B 4 59 枚
- G 59 「御蔭参り」より「ええじゃないか」へ―近世庶民心理の一面― B 4 54 枚
- G 60 明治維新の国際的環境に関する論文 B 5 86～137
- G 61 ベリー―来航時の動向 B 5 30 枚
- G 62 メーデー事件所感 B 5 7 枚
- G 63 大学の自治の歴史(ほか関連記事4本) B 5 38 枚
- G 64 英外交官フーネスト・サトウ展について 横浜開港資料館 会期11月13日～年明け1月29日 B 5 11 枚
- G 65 基調講演(自由民権第2回全国集会) B 5 15 枚
- G 66 自由民権と歴史教育(会場秩父市民会館歴史協第36回大会) 1984.8.1 B 5 30 枚
- G 67 自由民権百年の呼びかけ文(色川大吉氏草稿をもとに協議完成) B 5・7 枚、B 4・1 枚
- G 68 自由民権100年全国集会挨拶文 B 5 9 枚
- G 69 自由民権運動の地方自治論など原稿断簡封筒に一括 1995.12 B 5 49 枚
- G 70 演説と演説会(日本近代思想大系11巻初稿原稿ほか資料コピー) 1989.4 B 5原稿8枚、B 4コピー45枚
- G 71 「大久保先生と酒」ほか(大久保利謙歴史著作集『華族制

- の創出』付録、ほかに吉川弘文館編集部関昌弘初校依頼文)
B 4・5 枚、B 5・1 枚
- G 72 井上幸治氏葬儀弔辞原稿 1989.9.25 B 5 6 枚
- G 73 現代史について考えること B 5 4 枚
- G 74 市辞（江口朴郎氏） B 5 4 枚
- G 75 戦場に赴かせられたことのくやしき（原平三四十七回忌追悼文原稿）1990 B 5 9 枚
- G 76 庄司吉之助さんのこと B 5 12 枚
- G 77 六〇年代の社会的責任論（『歴史評論』用）1995.4 B 5・4 枚、A 4・3 枚
- G 78 『明治維新』同時代ライブラリー版について B 5・22 枚、A 4・11 枚
- G 79 「民族」の大合論議を再考する B 5 11 枚
- G 80 六十年もの研究成果をもちこんだ論争の書—石井孝「明治維新と自由民権」を読んで—（『有隣』317号コピー在中）1994.3.6 成稿 B 5 8 枚
- G 81 民族の問題再考 B 5 13 枚
- G 82 追悼大久保利謙先生—七〇年の業績とその背景—（『みずす』1996年3月号用）B 5 14 枚
- G 83 都市空襲の歴史的意義—今井清一著『新版・大空襲5月29日』によせて B 5 51 枚
- G 84 米騒動他原稿 B 5 23 枚
- G 85 II 独立資本・寄生地主の国民収奪と吉田政府 B 5 84 枚
- G 86 五外交史の大先輩大塚武松さん座談会記録（発言者：遠山、中武、夫人、斉藤、西川）A 4 13 枚
- G 87 福沢諭吉の海外視察と征長建白他資料コピーなど B 5 61 枚
- G 88 四、前期水戸学大義名分論 B 5 41 枚
- G 89 現代史資料4国家主義運動I（資料目録）B 5 24 枚
- G 90 「朝野」「自由」他メモ B 5・55 枚、A 4・10 枚
- G 91 自由民権運動に関する原稿の一部 B 5 7 枚
- G 92 五・一五事件関係原稿 B 5 9 枚
- G 93 明治維新研究メモ A 4 12 枚
- G 94 中江兆民ほかメモ B 5 22 枚
- G 95 茨城県史料メモ B 5 7 枚
- G 96 遠山茂樹著作目録 1981以降 B 5 10 枚
- G 97 「昭和史」についての断片的感想（他者執筆）A 4 4 枚
- G 98 「六、網野氏の批判にこたえる」（安良城盛昭執筆か）B 4 7 枚
- G 99 「1、横浜市の成立」ほか B 5 3 枚
- G 100 大久保利謙自叙回顧反題目次案 B 5 5 枚
- G 101 大久保利謙自叙回顧案目次案 B 5 5 枚
- G 102 幕末明治（講演原稿）B 5 130 枚
- G 103 第5節大政奉還王政復古ほか（原稿附簡）B 5 71 枚
- G 104 （表）第1章第一節肇国と軍人援護の濫賜・（裏）民族主義、其の生成と発展 B 5 17 枚
- G 105 国定教科書「中等歴史」原稿 B 5 62 枚
- G 106 『歴史教育』第13巻「社会科学と教育」IIの— B 5 60 枚
- G 107 第1章封建教学と学者 B 5 11 枚
- G 108 民主主義の開拓者 B 5 3 枚
- G 109 『概世余聞』を読んでの印象 本文B 4・5 枚、下書原稿B 5・4 枚、コピーA 4・1 枚 計10 枚
- G 110 百姓一揆件数図（天保元年から明治十年まで）145×700 mm
- G 111 御宗派の成長—特に長州藩について— A 5 25 枚
- G 112 古典の読み方二つ—私の経験と反省 A 4コピー 18 枚
- G 113 地租改正を中心として B 4 3 枚
- G 114 遠山茂樹著作集第1巻 B 4コピー 校正原稿11 枚
- G 115 書式改変についての議（日本近代思想大系『天皇と華族』B 4コピー 校正原稿2 枚
- G 116 古在由重「歴史への開眼」（『岩波講座世界歴史』第14巻
- G 117 第二節歴朝の軍人援護（裏面に、戦争と日本帝国主義・絶対君主制・明治維新（ゾルジヨアの改革）） B 5 12 枚
- G 118 歴史を眺める立場と歴史を創る立場—5・1事件に関連して（『歴史学研究』第158号）B 5 65 枚
- G 119 お蔭参りに現れた近世庶民心理 B 5 22 枚
- G 120 征韓論、自由民権論、封建論（V自由民権論と征韓、封建論との交錯、VI日本国民抵抗の精神）（『歴史学研究』第145号校正原稿）B 5 144 枚
- G 121 文治元年八月廿九日「吾妻鏡」（裏面）戊辰戦争のメモ B 5 14 枚
- G 122 王政復古の意味 B 5 12 枚
- G 123 明治維新原稿下書 B 5 30 枚
- G 124 尊王攘夷思想とナショナリズム B 5 29 枚
- G 125 天皇制と天皇 B 5 182 枚
- G 126 野坂参三「民主的日本の建設」他論文要旨 B 5 15 枚
- G 127 天皇と日本近代 1976.9.25 B 5 15 枚
- G 128 天皇制に関する講演（日本史研究会）B 5 54 枚
- G 129 新版『昭和史』初校デラ B 5 41 枚
- G 130 現代教育 B 5 131 枚
- G 131 幕末政局と横浜開港 B 5 41 枚
- G 132 私が横浜市大に就職した理由 B 5 9 枚
- G 133 横浜が貿易港になったのは何故か B 5 10 枚
- G 134 明治社会主義者及び論稿寸評 B 5 12 枚
- G 135 社会構成体史の行詰りと家永三郎の歴史観 B 4 4 枚
- G 136 真理と進歩と自由のための闘いの書 B 4 2 枚
- G 137 近代日本の誕生 B 5 13 枚
- G 138 「征韓論、自由民権論、封建論」「自由党史」解説」「自由民権思想と共和制」「三大事件建白運動論」（遠山茂樹著作集第3巻所載論稿のコピー）A 4 10 枚
- G 139 ベ・トベハ『明治維新』序文』（ロシア語版序文の日本語訳）B 5 68 枚
- G 140 ジョセフヒコ議会制度建言について B 5 5 枚
- G 141 明治の頃 大久保利謙 A 4 45 枚
- G 142 君が代と天皇制付関連資料 1977.10.6 B 6パソコンレット、B 5パソコンレット、B 5 19 枚
- G 143 陸羯南の思想構造—とくに福沢諭吉の思想と関連させて— 1972.8.27 B 5 148 枚
- G 144 中東の民族運動の情況 B 5 34 枚
- G 145 ロシアの動向 B 5 11 枚
- G 146 中東の情況 B 5 28 枚
- G 147 1996年読書雑記—都市論1 1996 B 5ノート
- G 148 1996年読書雑記—都市論2 1996 B 5ノート
- G 149 『日本政治裁判史録』写、難波の件 B 4 21 枚
- G 150 歴史論 B 5 48 枚
- G 151 『防長回天史』の信頼性 A 4コピー—10 枚、B 4原稿3 枚
- G 152-1 連続テロ・アラガニスタンについての雑感 B 5 11 枚
- G 152-2 連続テロ・アラガニスタンについての雑感 B 5 27 枚
- G 153 他山の石（オーストラリア国歌の国民投票）B 5 5 枚
- G 154 原平三『幕末洋学史の研究』について B 5 15 枚
- G 155 『横浜英仏駐屯軍と外国人居留地』を読んで B 5 23 枚
- G 156 『資本論』に関する原稿 B 5 26 枚
- G 157 市民革命論 B 5 28 枚
- G 158 アルジョア革命における平等主義 B 5 20 枚
- G 159 パリコミューンとアルジョア革命 B 5 24 枚
- G 160 アルジョア革命と平等主義 B 5 19 枚
- G 161 日本近代史研究の動向 B 5 9 枚
- G 162 福沢諭吉論 B 5 13 枚
- G 163 図書館設立のたちおくれ B 5 9 枚
- G 164 幕末外交と祖法観念 B 5 91 枚
- G 165 方言矯正と植民地教育 B 5 18 枚

- G 166 福沢諭吉の海外視察と征長建白 B 5 61 枚
 G 167 岩波全書『明治維新』(初刷) 1951.2 全書版 1冊
 368頁
 G 168 岩波全書『日本近代史I』(初刷) 1975.4 全書版 1冊
 309頁
 G 169 岩波セミナーブックス『明治維新と天皇』(初刷) 1991.1 B 6 1冊294頁
 G 170 岩波全書『明治維新』(2刷本訂正あり) 1951.2 全書版1冊368頁
 G 171 五・一五事件の経緯とその意義 B 5 89枚
 G 172 批判をうけた二回の機会(『昭和史』、箱根会議の遠山批判に対する反論) B 5 7枚
 G 173 一九五〇年代の意義を考える B 5 9枚
 G 174 明治天皇制について B 5 20枚
 G 175 自由民権関係 B 5 7枚
 G 176 佐久間象山について B 5 12枚
 G 177 明治38年社会主義新聞『直言』の社説についての考察 B 5 26枚
 G 178 1教科書批判とその活用、2資料の蒐集と利用 B 5 26枚
 G 179 変革の主体と民族の問題 B 5 88枚
 G 180 「歴史を支える人々」について(太平洋戦争などのメモ) B 5 133枚
 G 181 教科書裁判第二審判決抗議文原稿と関係資料 B 5 11枚
 G 182 教科書裁判第一次訴訟控訴審判決批判(判決文要点、林健太郎・榎一雄の鑑定書あり) B 5 8枚
 G 183 「横浜と福沢諭吉」の資料(ほかに資料コピー3点) B 5 41枚
 G 184 ノーマン『日本における近代国家の成立』追記 A 4 6枚
 G 185 岩波書店『教育学』社会科学—教育内容、上下巻の紹介文 B 4コピー 5枚

- 以後 B 5 16枚
 G 211 明治維新の再検討に役立つ基礎史料 B 5 4枚
 G 212 福沢諭吉の海外視察と征長建白 A 4 30枚
 G 213 開港資料館向けの幕末維新期の横浜 B 5ルーラー9枚
 G 214 明治と大正と戦後と「明治の自由主義者のイメージ」 B 5 19枚
 G 215-1 戦後政治の動きについて(講演原稿) B 5 47枚
 G 215-2 維新当時の福沢の思想 B 5 82枚
 G 216 明治時代の歴史に関するノート B 4 27枚
 G 217 開港資料館館長辞任の辞 B 4 4枚
 G 218 遠山茂樹著作集(7)補注初校 B 4 2枚
 G 219 幕末水戸藩の斉昭の藩政改革について 吉田俊純 B 4コピー冊子
 G 220 安政の改革をめぐって 吉田俊純 B 4コピー冊子
 G 221 『横浜貿易新報』25周年記念号「四半世紀市政の瞥見」1915.5.1～2 B 5 46頁
 G 222 坂本龍馬の活躍した時代 B 5 39頁
 G 223 近代化論箱根会議について B 5 5頁
 G 224 まえがき—刊行にあたって—(『遠山茂樹著作集』) 1991.7 B 5 25頁
 G 225 維新史料編纂事務局と大塚武松先生について(『横浜開港資料館紀要』第18号) 2000.3 B 5コピー冊子
 G 226 天皇制イデオロギ-の成立過程 B 5 91枚
 G 227 天皇と華族関係史料摘要 B 5・9枚、B 4コピー6枚
 G 228 近代日本思想(仮)企画概要 A 4コピー 2枚
 G 229 明治維新及び自由民権運動関係原稿用メモ B 5ルーラー9枚
 G 230-1 明治維新と現代(岩波市民講座講演テープ起こし原稿1-1) 1965 B 5 178枚
 G 230-2 明治維新と現代(岩波市民講座講演テープ起こし原稿

- G 186 「一九五〇年代の意義」(『人間と教育』第5号掲載用原稿と依頼) 1995.1.9 A 4コピー4枚、依頼状など2枚
 G 187 青森県第四話定稿案「ひらかれる三本木原」 B 5 11枚
 G 188 高知県第五話定稿案「海をめざす龍馬」 B 5 11枚
 G 189 国民主義、立憲思想、啓蒙思想などについての論述をめぐっての原稿 B 5 55枚
 G 190 植手通有「日本近代思想の形成」の書部、 B 5 12枚
 G 191 スペンサー訳書二つ B 5 38枚
 G 192 教科書裁判支援活動と歴史研究 B 5 42枚
 G 193 <学術動向> 劉学昭「洋務運動問題討論のまとめ」1979.7 B 5 15枚
 G 194 明治維新及び明治期の評師 B 5 9枚
 G 195 維新当時の福沢の思想 B 5 81枚
 G 196 近代史研究の方法論的反省(日本史研究会大会報告) 1965.6.19 B 5 6枚
 G 197 二戦後の研究動向 B 5 52枚
 G 198 日中比較論の現代的意義 B 5 55枚
 G 199 独立と近代化の歴史的条件 A 4コピー 54枚
 G 200 阿部征寛氏の堀口貞明研究 1990.6 B 5コピー 15枚
 G 201 大久保利謙著作集解説原稿など 1985～1992 B 5他 56枚
 G 202 「はしがき」にかえて—自由民権運動百年運動に参加するにあたって— 1980以前 B 5 31枚
 G 203 植木枝盛の娼妓利用論と康唱論 1989.12 B 5 28枚
 G 204 自由民権運動と原始的蓄積 B 5 24枚
 G 205 井上毅と西園寺公望の考え方について B 5 9枚
 G 206 羽仁史学における人民の役割 1984.4.2 B 5 52枚
 G 207 幕末期作品注部分 B 5 20枚
 G 208 幕末政局と横浜開港 B 5 86枚
 G 209 幕末外交と祖法観念 1985.2.2 B 5 20枚
 G 210 大久保利謙著作集第3巻『華族制の創出』解説 1990

- 1-2) 1965 B 5 130枚
 G 230-3 明治維新と現代(岩波市民講座講演テープ起こし原稿2-1) 1965 B 5 182枚
 G 230-4 明治維新と現代(岩波市民講座講演テープ起こし原稿2-2) 1965 B 5 205枚
 G 231 私の経験(歴教協)講演筆記録 1976 B 5 106枚

7 ノート

- N 1 大久保家文書伊藤博文史料 1949 B 5ノート
 N 2 明治政治史(自由民権運動史、昭和40年度東京大学文学部講義ノート) 1965 B 5ノート
 N 3 外国史料抜書 B 5ノート
 N 4 都立大学講義(天保～慶応の動向) 1958 B 5ノート
 N 5 史学概論(横浜市大文学部講義) B 5ノート
 N 6 日本近代史幕末政治史(横浜市大文学部講義) 1966 B 5ノート
 N 7 日本史概説(横浜市大講義) 1967 B 5ノート
 N 8 近代史I 明治維新政治史 1967 B 5ノート
 N 9 日本史概説(横浜市立大学文学部講義) 1960 B 5ノート
 N 10 日本史概説(横浜市立大学文学部講義) 1961 B 5ノート
 N 11 日本史概説(横浜市立大学文学部講義) 1962 B 5ノート
 N 12 明治思想史 1964 B 5ノート
 N 13 日本史概説 1965 B 5ノート
 N 14 近代史福沢研究II(横浜市立大学文学部講義) 1968 B 5ノート
 N 15 日本史概説(横浜市立大学講義) 1969 B 5ノート

- N 16 明治思想史文化史 I (横浜市立大学 文理学部講義) 1965 B5ノート
- N 17 日本思想史 B5ノート
- N 18 明治政治史III 1973 B5ノート
- N 19-1 明治史概説(I) 1973 B5ノート
- N 19-2 明治史概説(2) 1973.7 B5ノート
- N 19-3 明治史概説IV 1973 B5ノート
- N 20 幕末政治史近代史 I (横浜市立大学講義) 1975 B5ノート
- N 21 近代史 I 自由民権運動史 (横浜市立大学 文理学部講義) 1973 B5ノート
- N 22 講演材料 II 第二次大戦の終結と日本の政治 1975.6.4 B5ノート
- N 23 自由民権運動史 (横浜市立大学講義) 1976 B5ノート
- N 24 自由民権運動史 II (横浜市立大学講義) 1977 B5ノート
- N 25 総合講義総論近代日本 (横浜市立大学一般教育) 1978 B5ノート
- N 26 歴史 I、総合講座 II (横浜市立大学講義) 1972・1978 B5ノート
- N 27 横浜市立大学最終講義関口泰の 大学論 講演材料 1979.1.23 B5ノート
- N 28 卒業論文摘要 1972～1977 B5ノート
- N 29 講演材料 (近代史) 1971～1972 B5ノート
- N 30 講演材料 II (近現代史) 1973～1976 B5ノート
- N 31 講演資料 (80.8.7 大学と図書館公立大学図書館研究会 (都立大)、81.10 自由民権運動の歴史の意義 (高知市) 馬場長裕、81.10.11 自由民権東京集会、81.10.17 自由民権運動と神奈川 (県史講座) 1980～1981 B5ノート
- N 32 研究ノート (島田三郎全集 II、小野梓全集、中江兆民全集、東雲新聞各史料の摘要) 1984 B5ノート
- N 33 幕末史 B5ノート
- N 34 自由民権思想 (1 科学的な明治維新史をもちうる立場、2 外圧の性格、3 明治維新の国内的必然性、4 明治維新の原動力主体勢力、5 絶対主義) B5ノート
- N 35 研究ノート (植木枝盛の娼妓利用論と娼婦論、略年表、植木著作からの摘要など) 1989 B5ノート
- N 36 明治維新と天皇 (I) 1989.11 B5ノート
- N 37 研究ノート (自由民権家の演説、歴史学と歴史教育) 1989 B5ノート
- N 38 研究ノート (日本資本主義論争と服部之總、「天皇と華族」解説メモ、福沢諭吉全集からの摘要など) 1987 B5ノート
- N 39 研究ノート (石母田著作集第 14 巻解説『歴史と民族の発見』の摘要など) 1988 B5ノート
- N 40 講演原稿 (自由民権の歴史的意義、歴史学と歴史教育—私の歩んだ道、日本近代国家形成の国際的国内的条件) 1987 B5ノート
- N 41 研究ノート (亀卦川浩著『自治五十年史制度篇』、『横浜市会史 I』の摘要など) 1983 B5ノート
- N 42 大久保著作集『華族制の創出』解説資料 1990.1 B5ノート
- N 43 華族会館史 (専修大学法学部時代のもの) B5ノート
- N 44 横浜開港事情・日本の近代と横浜 1989 B5ノート
- N 45 研究ノート (歴教協大会報告、明治維新における諸藩の役割) 1988 B5ノート
- N 46 研究ノート (明治維新时期書籍からの摘要、島田三郎をめぐるメモ、草稿メモ) B5ノート
- N 47 研究ノート (幕末維新时期書名メモ、色川大吉歴史報告「近代化とナショナリズム」) 1965 A5フレイクノート
- N 48 大政類典 (史料摘要) B5ノート
- N 49 講演資料 (自由民権と現代、現代の平和を考える、自由民権運動の意義、自由民権研究の課題など) 1981 B5ノート
- N 50 明治の思想 (講演用メモ) 1987 B5ノート
- N 51 竹橋事件の背景 (講演用資料) 1985 A5ノート
- N 52 歴史教育における日本近代、明治天皇の地方巡行 (講演用メモ) 1986 B5ノート
- N 53 講演要旨 (横浜の歴史、自由民権の歴史が語りかけるもの、現代史について考えること、自由民権運動と小野梓) 1986 B5ノート
- N 54 研究ノート (石母田著作集第 15 巻解説) 1986 B5ノート
- N 55 読書雑記 1994 年第 3 冊 B5ノート
- N 56 読書雑記 1994 年第 2 冊 (丸山真男批判に対する批判など) B5ノート
- N 57 読書雑記 1994 年第 1 冊 (明治維新関係史料抜書) B5ノート
- N 58 雑記帳 (小野梓、東京横浜毎日、講座前近代の天皇第 2 巻、山口啓二著『鎖国と開国』、吉田傑後著『現代民主主義の思想』など) 1992.4 B5ノート
- N 59 雑記帳 (歴研大会、民族の問題) 1994.5・1995.1 B5ノート
- N 60 論文材料 (自由民権論者の地方自治論、都市空襲の歴史の意義) 1995.11・1995.12～1996.2 B5ノート
- N 61 横浜関係講演資料 (神奈川の自由民権運動、開国の意義) 1982 B5ノート
- N 62 Japan Correspondence Fof6 1861～明治期の「雄弁」論 B5ノート
- N 63 毎日新聞 (東京横浜毎日新聞摘要) 1919.2 B5ノート
- N 64 自由新聞等摘要 B5ルーズリーフ 52 枚
- N 65 朝野新聞摘要 B5ルーズリーフ 5 枚
- N 66 1990 年研究ノート、1991 年研究ノート、1992 年改進黨ノート、1992 年ローマン B5ノート
- N 67 公文録目録 (抄) 『天皇と華族』編纂読書 (II) B5ノート
- N 68 日本近代思想大系抜書 B5ノート
- N 69 東京横浜毎日の甲中事変評 1993 B5ノート
- N 70 東京横浜毎日新聞抄・1986 年講演②・横浜の歴史と私 1986 B5ノート
- N 71 島田三郎研究 (摘要と年表) 1984 B5ノート
- N 72 開国から自由民権へ 1984 B5ノート
- N 73 法学部講義ノート 1988 B5ノート
- N 74 原稿 (控) I (未発表論文草稿「赤旗」紙上の丸山真男氏批判についての異論、家文メモ) 1994.6 B5ノート
- N 75 原稿 (控) II (「上からの革命」論批判—最近の明治維新論について—) 1994.7 B5ノート
- N 76 未定稿「ウルジヨア革命と社会主義」(I) B5ノート
- N 77 未定稿「ウルジヨア革命と社会主義」(II) 平等について B5ノート
- N 78 ヨーロッパのウルジヨア革命 (関連書メモ) 1992 A5ノート
- N 79 読書雑記 (ウルジヨア革命と社会主義) 1992.8 B5ノート
- N 80 未定稿・自由民権論と地方自治論・大久保利謙論材料 1995 B5ノート
- N 81 補遺 (史料摘要) 1997 B5ノート
- N 82 講演ノート (自由民権運動と小野梓、自由民権運動と天皇制) 1986 B5ノート
- N 83 早大図書館蔵英大使館旧蔵文書・自由民権百年第 3 回大会 A5ノート
- N 84 明治維新と天皇 (II) 1989 B5ノート
- N 85 自由民権運動史など B5ノート
- N 86 故衆議院議員山田泰造年表など B5ノート
- N 87 1971 年度大学院ノート、1978 年度卒論摘要 B5リングノート

- N 88 明治天皇紀Ⅲ (史料摘要) B 5 フォイリソングノート
 N 89 研究ノート天皇不親政論について (史料摘要) 1988.11 B 5 ノート
 N 90 福沢諭吉研究Ⅱ (史料摘要) B 5 ノート
 N 91 関口泰の大学論 (最終講義用ノート) 1973.1.23 B 5 原稿用紙 10 枚
 N 92 科学論講義 (唯物史観の基本概念などメモ) B 5 ルーズリーク 4 枚
 N 93 市議会史資料 (専修大学法学部当時のもの) B 5 ノート
 N 94 研究ノート (三大事件建白運動小論など) 1985 B 5 ノート
 N 95 研究ノート (1983 年・1984 年の研究) 1983 B 5 ノート
 N 96 自由民権運動 (講演自由民権と歴史教育用ノート他) 1984 B 5 ノート
 N 97 明治 15～17 年の政治情勢 B 5 ノート
 N 98 朝野明治 (朝野新聞叢書) 1886.7～1887.12 B 5 ノート
 N 99 津山洋学資料館・明治維新と天皇補遺 (メモ) 1984 A 5 ノート
 N 100 叢書「近代思想」編纂覧書 1987 B 5 ノート
 N 101 研究余録 (『坂本龍馬が活動した時代』草稿など) 1987.2 B 5 ノート
 N 102 自由民権運動・坂口貞明史料・武田久吉史料 A 5 ノート
 N 103 研究ノート (福島事件についてなど) 1982 B 5 ノート
 N 104 研究ノート (自由民権運動 100 年、1983.8 稿明治後期の市会議員選挙横浜市の場合) 1980、1983 B 5 ノート
 N 105 横浜関係 (史料摘要) B 5 ノート
 N 106 日清戦争研究 (史料摘要) B 5 ノート
 N 107 研究ノート羽仁史学 (羽仁五郎著作からの摘要) 1984 B 5 ノート
 N 108 民衆・階級・民族 (レーニン全集他摘要、日本国家史他摘要) 1976.8 B 5 ノート

- N 109 研究ノート (木下尚江全集第 13 巻田中正造之生涯抜書など) 1972 B 5 ノート
 N 110 研究ノート (国際歴史学関係) 1970 B 5 ノート
 N 111 明治維新増訂註 B 5 ノート
 N 112 研究ノート (日本外交文書第 6 巻世界史の理論など摘要) 1972 B 5 ノート
 N 113 福沢諭吉研究 (福沢全集からの摘要) B 5 ノート
 N 114 福沢諭吉研究 I (年譜、全集からの摘要) B 5 ノート
 N 115 福沢諭吉全集摘要 B 5 ノート
 N 116 民族の問題 (史料摘要「帝国主義とアジアの近代化」講演メモなど) 1976 B 5 ノート
 N 117 明六雑誌 (史料摘要) B 5 ノート
 N 118 大政官日誌 (史料摘要) B 5 ノート
 N 119 研究会ノート (歴研封建制分科会など) 1948 ♪ A 5 ノート
 N 120 金沢・高田・松本調査 1957.2～5 月 A 5 ノート
 N 121 卒業論文製作資料、総合執筆関係資料、論旨摘記 (若い頃の読書録) A 5 変形ノート
 N 122 論文要旨 (早い頃の近代史関係ノート) A 5 ノート
 N 123 江戸時代農村資料目録 (早い頃の近世史関係ノート) A 5 ノート
 N 124 歴史理論叢書 (農民運動、官僚、天皇制など) B 5 ノート
 N 125 朝日新聞縮刷版 (記事見出覚書) 1952 A 5 ノート
 N 126 歴史の理論と実践について覚書 (生産力と生産関係 I、「日本民衆の史的究明」批判など) B 5 ノート
 N 127 研究ノート (中岡健太郎策論など史料摘記) A 5 ノート
 N 128 史籍協会叢書抜書 A 5 ノート
 N 129 研究ノート (資本論研究ノート他講演 2 つ) 1978 B 5 ノート
 N 130 天皇制の研究 1986.7 B 5 ノート
 N 131 研究補遺 (講座「日本近代史と福井県」、講演「公立大

- 学と地方自治」、講演「歴史教育と歴史認識」草稿) 1976 B 5 ノート
 N 132 東京帝国大学史料編纂所所蔵資料名 A 5 ノート
 N 133 羽仁史学における人民の役割 (「羽仁史学の意義を考えるソソボジウム」) 1984.4.2 A 5 ノート
 N 134 研究ノート (横浜市史研究および専修大学法学部ゼミ) B 5 ノート
 N 135 山川均研究 (法政大学大学院講義) 1973 B 5 ノート
 N 136 明治初期政治史 (東京大学文学部講義) 1949 B 5 ノート
 N 137 歴史学 (自由民権運動史講義) 1980 B 5 ノート
 N 138 歴史学 (専修大学法学部日本近代史研究講義) B 5 ノート
 N 139 明治政治史Ⅲ (自由民権運動史東京大学講義) 1966 B 5 ノート
 N 140 専修大学文学部卒業論文 1982 B 5 ノート
 N 141 真木和泉研究 (摘要、和泉年譜) A 5 ノート
 N 142 論文抄出 (絶対主義・明治維新) B 5 ノート
 N 143 長野県庁調査書、河野文書調査書、伊那飯田図書館調査、宇田弘道氏所蔵文書調査 B 5 ノート
 N 144 読書抄録 (フランク・ボルケナウ著「近代世界観成立史」など) 1945.10.1 B 5 ノート
 N 145 貼紙投文資料 I A 5 変形ノート
 N 146 貼紙投文資料Ⅱ A 5 変形ノート
 N 147 幕末外国関係文書 (標本集録) A 5 ノート
 N 148 福嗣、熊本、宮崎探訪旅行、先立文書 (隠岐) B 5 ノート
 N 149 明治史史料 (大井憲太郎書翰、日比谷焼打事件) B 5 ノート
 N 150 慶応雑談、上田久兵衛先生略伝、西村茂樹の思想 B 5 ノート
 N 151 史談会速記録 B 5 ノート
 N 152 論調抜書 (『世界』11 月号など) B 5 ノート
 N 153 大日本帝国議会議 (摘要) B 5 ノート

- N 154 渡山洪基演述 A 3 二つ折り原稿用紙 6 枚
 N 155 研究ノートに挟み込まれ脱落した印刷物一括 (Problem of folktale in Japan, 解放文庫⑨)レーニン著渡辺文太郎訳『国家について』、彰考書院 (昭 21) など) B 5、B 6 6 枚
 N 156 横浜市史関係 (横浜貿易新聞など) B 5 ノート
 N 157 横浜市史関係 (横浜史話散歩など) B 5 ノート
 N 158 幕府と朝廷など摘要と原稿草稿 B 5 26 枚
 N 159 原口清『明治前期地方政治史研究』など覚書断簡 B 5 18 枚
 N 160 横浜市立大学 1971 年卒業論文摘要 B 5 ノート
 N 161 自由民権運動史 (専修大学法学部) B 5 ノート
 N 162 明治外交史 1971 B 5 ノート
 N 163 歴史学 (専修大学文学部法学部講義) 1981 B 5 ノート
 N 164 日本政治史 I (専修大学法学部) B 5 ノート
 N 165 日本政治史Ⅱ (専修大学法学部講義) B 5 ノート
 N 166 日本政治史 (専修大学法学部講義) 1981 B 5 ノート
 N 167 日本政治史 (専修大学法学部講義) 1983 B 5 ノート
 N 168 日本政治史 I (専修大学法学部講義) 1982 B 5 ノート
 N 169 歴史学 (専修大学法学部文学部講義) 1983 B 5 ノート
 N 170 横浜の新聞 (サトウ・武田久吉など) B 5 ソングノート
 N 171 現代史 (本間久雄「婦人問題」、近衛公の上奏文 (S 20.2.14)、改造年鑑 1935 年版) B 5 ノート
 N 172 史料 (中村藤八文庫、黒船館、榎岡区報など) B 5 ノート
 N 173 教科書訴訟支援運動 (年表とメモ) 1981 B 5 ノート
 N 174 教科書裁判関係メモ 1982.4.8、4.17 A 5 ノート
 N 175 『旧幕府』第 1 号摘要など B 5 ノート
 N 176 樺村専一『新聞法制論』摘要など A 5 ノート
 N 177 自由貿易、帝国主義などメモ類一括 B 5 16 枚
 N 178 メモ類一括 B 5 30 枚

8 追悼文・弔辞

- S 1 「藤井先生の明治維新史観」『日本近代史研究』2号 法政大学近代史研究会 1958.10 B 5冊子
- S 2 「吉田霈吉さんの人と業績」『駒沢大学史学論集』17号 駒沢大学大学院史学会 B 5冊子
- S 3 「半世紀の友情の想い出」『北島正元先生追悼集』北島正元先生追悼集刊行会 1986.12 B 5原稿 8枚、A 4コピー 1枚
- S 4 「山辺さんの学風と人柄」草稿 B 5原稿 13枚
- S 5 「相田先生と宿直の夜」『相田二郎著作集』第1巻付録 名著出版 1976.10 A 5冊子
- S 6 「井上幸治さんから教えられたこと」『機』No.3 藤原書店 1990.8.9 B 6冊子
- S 7 「平野義太郎氏の業績を偲んで」1980.2.29 A 5変形
- S 8 石母田正氏追悼文 『年鑑ジャパンプレー』No.2 1986.12 A 4コピー
- S 9 「石母田正氏葬儀会葬者への謝辞」1986 B 5原稿 2枚
- S 10 「石母田正君を悼む」『歴史評論』432号 校倉書房 1986.4 A 5冊子
- S 11 「四二年間の交際から学んだこと」(野原正興氏追悼)『専修大学人文科学研究所月報』158号 専修大学人文科学研究所 1994.4 B 5冊子
- S 12 「野原さんの歴史学」『専修大学人文科学研究所月報』77号 専修大学人文科学研究所 1981.3 B 5冊子
- S 13 「戦争直後の想い出断片」(古島敏雄氏追悼) 1996 B 5原稿 9枚
- S 14 「戦争直後の想い出断片」(古島敏雄氏追悼)『わたしたちに刻まれた歴史—追想の古島敏雄・百合子先生』古島敏雄・百合子御夫妻追悼文集刊行会 1996.8.29 A 5コピー
- S 15 「明治新聞雑誌文庫の学恩」(西田長寿氏追悼)『みずず』

347号 みずず書房 1990.2 A 5冊子

- S 16 「自由民権百年集会での古在さん」(古在由重氏追悼のついで) 1990.9.14 B 5原稿 10枚
- S 17 「戦前ご迷惑をかけたこと」(羽仁説子氏追悼)『子どもしあわせ』特別臨時増刊号 草土文化 1987.10 A 5冊子
- S 18 「追悼大久保利謙先生」1996 B 5原稿 10枚
- S 19 「追悼大久保利謙先生」『みずず』420号 みずず書房 1996.3 A 5冊子
- S 20 「庄司吉之助さんのこと」『ちくま』175号 筑摩書房 1985.10 A 5冊子
- S 21 「江口朴郎氏葬儀弔辞」1989.3.18 B 5原稿 4枚
- S 22 「高橋嶺一氏葬儀弔辞」『歴史地理教育』387号 歴史教育者協議会 1985.8.9 A 5冊子
- S 23 「阿部征寛氏葬儀弔辞」1989.5.26 B 5冊子
- S 24 「井上幸治氏葬儀弔辞」1989.9.25 B 5原稿 8枚
- S 25 「江口朴郎氏を悼む」(永原慶二氏の追悼文)『信濃毎日新聞』1989.3.18 新聞コピー

9 クリフナーフェイル一括史料

- P 1 現代史近代政治史 B 5クリフナーフェイルに一括
- P 1-1 「近代の展開序論」歴史学研究会・日本史研究会編『日本歴史講座』第5巻 東京大学出版会 1956.11 B 5コピー 8枚
- P 1-2 「日本近代のイメージづくり—明治をとらえる史眼—」三省堂『ぶっくれっと』No.20 三省堂 1979.4 新書版 4枚
- P 1-3 「「革命」概念について」『茨城県史料』付録 11 茨城県 1974.1 A 4冊子

- P 1-4 「日本現代史研究の焦点」北海道歴史家協議会『歴史家』第4号 北海道歴史家協議会 1954.9 B 4コピー
- P 1-5 「鼎談自由民権運動をめぐって」(遠山茂樹、色川大吉、原田伴彦)『復刻東雲新聞』4付録 部落解放研究所 1976.7 B 5冊子
- P 1-6 「明治」と「大正」と戦後と」『図説昭和の歴史』第一巻月報 集英社 1979.9 201×170mm冊子
- P 1-7 「敗戦三〇年をむかえて①第二次大戦と一九七五年」『教育』25—8 教育科学研究会 1975.8 A 5冊子
- P 1-8 「近代史概説」岩波講座『日本歴史』14、近代1 岩波書店 1967.11 A 5冊子
- P 1-9 「明治初年の外交意識」『横浜市立大学論叢』人文科学系列第13巻第2・3号合併号 横浜市立大学学術研究会 1962.3 A 5冊子
- P 1-10 「田中正造における「政治」と「人道」』『経済と貿易』第109号 横浜市立大学経済研究所 1973.3 B 5冊子
- P 2 歴史学月報・歴史学 B 5クリフナーフェイルに一括
- P 2-1 「年表を使う立場と作る立場」『図書』第203号 岩波書店 1966.7 A 5 2枚
- P 2-2 「天皇制と日本近代」『日本史研究』第177号 日本史研究会 1977.5 A 5冊子
- P 2-3-1 「新しい地方史研究の意義」茨城県郷土史の会『会報』第1号 茨城県郷土史の会 1971.9 A 5冊子
- P 2-3-2 座談「教科書問題と歴史研究」『歴史学研究』第306号 歴史学研究会 1965.11 B 5冊子
- P 2-4 「世界政治における現段階」東京教育研究所編『「教室の窓」中学社会』No.69 東京書籍 B 5冊子
- P 2-5 「日本の支配者と戦争責任」『歴史学月報』No.25(他No.5、19、20、24、26あり) 歴史学研究会 1952.10.1 A 5冊子
- P 2-6 書評「H. スミス著『新人会の研究』」『東京大学新聞』

東京大学新聞社 1979.4.16 新聞切抜

- P 2-7 「三〇年代と七〇年代をつなぐもの」『世界』第302号 岩波書店 1971.1 A 5
- P 2-8 「本来の歴史学とは何か」『ハーバート・ローソ全集』内容見本 岩波書店 1977.3 3つ折A4
- P 2-9 「日ソ歴史学シンポジウムの成果」『神奈川の科学者』36号 1978.2.10 A 4冊子
- P 2-10 遠山茂樹年譜(1914.2～1965.5) 187×255mm コピー
- P 3 第6巻歴史教育論 B 5クリフナーフェイルに一括
- P 3-1-1 「第五次教研全国集会に参加して」『歴史学研究』第193号 歴史学研究会 1956.3 A 4コピー 5枚
- P 3-1-2 「社会科学教育(歴史)の領域と内容」(題名メモのみ)『歴史学から歴史教育へ』B 6
- P 3-2 「歴史教育系統性的前提」『教育』第159号 教育科学研究会 1963.7 A 5冊子
- P 3-3 「歴史学と歴史教育との関係」『歴史学研究』第293号 歴史学研究会 1964.10 A 4コピー 8枚
- P 3-4-1 「歴史学と歴史教育との関係」『教育』23—2 教育科学研究会 1973.2 A 4コピー 4枚
- P 3-4-2 「社会科学の学習内容と学力」(題名メモのみ)『歴史学から歴史教育へ』B 6
- P 3-5-1 「神奈川の歴史を学ぶ意味」『史料が語る神奈川の歴史』三省堂 1987.6 A 4コピー 4枚
- P 3-5-2 「教科書裁判での証言」(題名メモのみ)『家永・教科書裁判証言篇3』『同上書証言篇6』B 6
- P 3-6 「鑑定書批判」歴史をささえる人々』『現代歴史学と教科書裁判』青木書店 1973.3 A 4コピー 6枚
- P 3-7 「歴史研究者にとつての教科書裁判」『歴史学研究』第406号 歴史学研究会 1974.3 B 5冊子
- P 3-8 「関口泰の教育論(その素描)」『経済と貿易』第127号 横浜市立大学経済研究所 1979.3 A 4冊子

- P 3-9 「教科書検定と歴史教育」 遠山茂樹、大江志乃夫編 『家
永日本史の検定』三省堂 1976.6 A4コピー 16枚
- P 3-10 「公立大学の理想に帰れ 都留・高崎大学事件の教訓」
『朝日ジャーナル』7—45 朝日新聞社 1965.10.31
B5冊子
- P 3-11 「教科書訴訟支援と歴史学の課題」 『歴史学研究』第
474号 歴史学研究会 1979.11 B5冊子
- P 3-12 「政治教育」 宗像誠也編 『教育基本法—その意義と本
質』新評論社 1966.2 A4コピー 8枚
- P 3-13-1 「自主教師の歴史に自信と誇りを」 『教育評論』第184
号 日教組教育文化部 1966.4 B4コピー 3枚
- P 3-13-2 「思想統制とたまたかう力」(題名メモのみ) 『歴史学
から歴史教育へ』A6
- P 3-14 「あらためて教科書裁判に学ぶこと」 『歴史学研究』第
508号 歴史学研究会 1982.9 B5冊子
- P 4 歴史学への提言 B5クリアーフレイクに一括
- P 4-1 「福沢諭吉の歩んだ道—没後五十年に思う—」 『特信文
化随想』共同通信社 B5 2枚
- P 4-2 「社会科学を学ぶには—サークル活動の重要さ—」 『慶応
義塾新聞』慶応義塾大学新聞会 1966.4.1 新聞切抜
- P 4-3 「慶研大会から学んだもの」 『東京大学学生新聞』東京
大学新聞社 1953.6.15 新聞切抜
- P 4-4 「1953年度大会の欠陥は何故生まれたのか」 『歴史学研
究』第165号 歴史学研究会 1953.9 B5冊子
- P 4-5 「歴史を眺める立場と歴史を創る立場」 『歴史学研究』
第158号 歴史学研究会 1952.7 B5冊子
- P 4-6 座談会 『明治百年』と国民の歴史意識』 『歴史学研究』
第320号 歴史学研究会 1967.1 B5冊子
- P 4-7 座談会 『歴史と文学—『秩父困民党』『風浪』を中心に』
『文学』24—6 岩波書店 1956.6 A5冊子
- P 4-8 「歴史=伝統のうけとりかた—桑原武夫氏との論争に関
- P 4-9 連させて—」 『文学』21—3 岩波書店 1953.3 A
5冊子
- P 4-10 「現代に生きる歴史学研究者」 『日本の科学者』12—6
日本科学者会議 1977.6 B5冊子
- P 4-10 「明治百年記念式典と歴史学」 『史学雑誌』第77編第
10号 史学会 1968.10 A5冊子
- P 4-11 座談会 『歴史教育と歴史研究の間』 岩波講座 『日本歴
史』月報8 岩波書店 1964.11 A5冊子
- P 4-12 座談会 『平和の問題と文学』 『文学』18—8 岩波書
店 1950.8 A5冊子
- P 4-13 座談会 『朝鮮研究の現状と課題』 『東洋文化』第36号
東京大学東洋文化研究所 1963.7.9 A5冊子
- P 4-14 「歴史研究者にとつての教科書裁判」 『歴史学研究』第
406号 歴史学研究会 1974.3 B5冊子
- P 4-15 「元号法制化の本質」 『歴史学研究月報』230号 歴史
学研究会 1979.2 A5冊子
- P 4-16 座談会 『明治百年』と国民の歴史意識』 『国民文化』
87号 国民文化会議 1967.2 B5冊子
- P 4-17 座談会 『歴史と人間—とくに現代史の問題を中心に—』
『歴史学研究』第200号 歴史学研究会 1956.10 B
5冊子
- P 4-18 「元節の思想」 『教育評論』第190号 日教組教育
文化部 1966.9 B5冊子
- P 4-19 「第六次教研集会に参加して」 『日本文化人会議月報』
日本文化人会議 1957.2 B5冊子
- P 4-20 「羊にならないうための英知」 『北海道新聞』北海道新
聞社 1967.1.4 新聞切抜
- P 4-21 「明治百年」とナショナルリズム』 『国民文化』85号
国民文化会議 1966.12 B5冊子
- P 4-22 討論 『歴史学をいかに学ぶか』 『歴史評論』189号
歴史学協議会 1966.5 A5冊子

- P 4-23 座談会 『日本の科学と科学者を語る』 『文化評論』61
号 日本共産党中央委員会 1966.11 A5冊子
- P 4-24 書評 『明治維新史研究の方法 下山三郎著『明治維
新史研究史論』に寄せて』 『図書新聞』 図書新聞社
1966.4.23 新聞切抜
- P 4-25 対談 『『明治百年祭』とどうとりくむか』 『歴史評論』
208号 歴史学協議会 1967.12 A5冊子
- P 4-26 「1955年を迎えて国民的歴史学を飛躍的に発展させよ
う」 『歴史学研究』第179号 歴史学研究会 1955.1
B5冊子
- P 4-27 「日本史の研究をはじめられる方に」 『歴史評論』164
号 歴史学協議会 1964.4 A5冊子
- P 4-28 対談 『『冬の時代』—ドラマと歴史学の両面から』 『歴
史評論』173号 歴史学協議会 1965.1 A5冊子
- P 4-29 座談会 『明治維新史研究の成果と課題』 『日本歴史』
236号 吉川弘文館 1968.1 A5冊子
- P 4-30 「田中惣五郎さんの想い出」 『明治史料』9・10
1962.1 B5冊子
- P 4-31 書評 『家永三郎著『植木枝盛研究』』 『歴史評論』127
号 歴史学協議会 1961.3 A5冊子
- P 4-32 研究会 『歴史教育の問題点 第15回戦後の歴史 問
いと答え』 『歴史評論』107号 歴史学協議会 1959.7
A5冊子
- P 4-33 「新委員会の発足にあたって—大会の反省と今後の
課題—」 『歴史学研究月報』9号 歴史学研究会
1951.6.1 A5冊子
- P 4-34 「『民族問題』について」 『歴史学研究月報』カ 歴史学
研究会 A5冊子
- P 4-35 「東大歴研ニュース」第4号 1952.2.5 B5冊子
- P 5 歴史学の課題と現代(二) B5クリアーフレイクに一括
- P 5-1 「東大事件の意味するもの」 『中央公論』67—4 中央
- P 5-2 公論社 1952.4 A5冊子
- P 5-2 時評 『歴史を眺める立場と歴史を創る立場—5・1事件
に関連して—』 『歴史学研究』158号 歴史学研究会
1952.7 A4コピー 4枚
- P 5-3 批判と反省 「1953年度大会の欠陥は何故生まれたのか」
『歴史学研究』第165号 歴史学研究会 1953.9 A4
コピー 3枚
- P 5-4 「何か行動の力を生みだすのか—思想のあり方と伝統の問
題—」 『世界』102号 岩波書店 1954.6 A5冊子
- P 5-5 思想調査—東大事件判決に関連して—』 『改造』第35
巻8号 改造社 1954.8 A5冊子
- P 5-6 「1955年を迎えて 国民的歴史学を飛躍的に発展させよ
う」 『歴史学研究』第179号 歴史学研究会 1955.1
A4コピー 2枚
- P 5-7 「民主勢力に停滞をもたらしたものは何か」 『世界』155
号 岩波書店 1963.11 B5冊子
- P 5-8 「歴史的な評価ということについて」 『歴史評論』120
号 歴史学協議会 1960.8 B5冊子
- P 5-9 「いまわしい歴史のあと」 『世界』180号 岩波書店
1960.12 B5冊子
- P 5-10 「社共両党への常識的批判」 『世界』202号 岩波書店
1962.10 A4コピー 5枚
- P 5-11 「ボボロ劇団事件判決に抗議する」 『歴史評論』155号
歴史学協議会 1963.7 A5冊子
- P 5-12 「建国記念日反対運動の出發にあたって」 『歴史評論』
200号 歴史学協議会 1967.4 B5冊子
- P 5-13 「『明治時代』をどうみるか』 『文化評論』76号 日本
共産党中央委員会 1968.1 B5冊子
- P 5-14 討論 「学問のあり方と研究者の社会的責任」 『歴史学
研究』第270号 歴史学研究会 1962.11 B5冊子
- P 5-15 「三〇年代と七〇年代をつなぐもの」 『世界』302号

- 岩波書店 1971.1 A4コピー 5枚
- P 5-16 「紀元前反対20年の意味」『歴史学研究』第432号
歴史学研究会 1976.5 B5冊子
- P 5-17 対談「自由民権百年」『日本の科学者』6巻11号 日
本科学者会議 1981.11 B5冊子
- P 5-18 共同討議「天皇制について」『現代の発見』第4巻現
代の天皇制 春秋社 1963.10 A4コピー 2枚
- P 5-19 「明治百年記念式典と歴史学」『史学雑誌』第77編第
10号 史学会 1968.10 A5冊子
- P 6 天皇制・近代思想の諸問題 B5クリアーツァイルに一括
P 6-1 『日本近代化と透谷の国民文学論』『文学』20-5 岩波
書店 1952.5 A5冊子
- P 6-2 「内村鑑三に心うたれる理由」『内村鑑三著作集』月報
1 岩波書店 1953.4 B6冊子
- P 6-3 『廿世紀之怪物帝國主義』私見』『幸徳秋水全集』月報
明治文獻 1970.1 B6冊子
- P 6-4 「福沢諭吉の西郷観」『西郷隆盛全集』第5巻月報 大
和書房 1979.7 A5冊子
- P 6-5 「福沢諭吉と天皇制」『神奈川大学評論』4号 神奈川大
学 1988.7 A4コピー 3枚
- P 6-6 「日清戦争と福沢諭吉」『福沢研究』6 1951.11 A
4コピー 7枚
- P 6-7 「明治の啓蒙について」『日本の名著』第34巻付録30
中央公論社 1972.1 B6冊子
- P 6-8 「民族主義考察の問題点」『歴史学研究月報』6号 歴史
学研究会 1951.3 A5冊子
- P 6-9 「日本のナショナリズム」『歴史学研究月報』8号 歴史
学研究会 1951.5 A5冊子
- P 6-10 「天皇制と日本近代」『日本史研究』177号 日本史研
究会 1977.5 A5冊子
- P 6-11 「天皇制と天皇」『近代天皇制の成立—近代天皇制の研
究1』岩波書店 1987.11 A4コピー 22枚
- P 6-12 「方言矯正と植民地教育」『岩波講座日本語』第8巻月
報 岩波書店 1977.3 A5冊子
- P 6-13 書評「植手道有『日本近代思想の形成』」『歴史学研究』
第420号 歴史学研究会 1975.5 B5冊子
- P 6-14 「桑原さんの民族文化論批判について」岩波講座『教
育』5月報 岩波書店 1952.10 A5冊子
- P 6-15 「陸羯南の外交論」『横浜国立大学論叢』人文科学系列
第24巻第2・3号合併号 横浜市立大学学術研究会
1973.4 A5冊子
- P 6-16 「明六雑誌」『思想』447号 岩波書店 1961.9
A5冊子
- P 6-17 「百雄—揆の革命性について」『評論』21号 河出書
房 1948.5 A5冊子
- P 7 史学史・世界史 B5クリアーツァイルに一括
- P 7-1 「国際的条件のとらえ方」『新しい歴史学のために』70
号 京都民科歴史部会 1961.6 B5冊子
- P 7-2 「東アジアの歴史像の検討」『歴史学研究』第281号
歴史学研究会 1963.10 B5冊子
- P 7-3 「朝鮮にたいする民族的偏見について」『歴史評論』152
号 歴史科学協議会 1963.4 A5冊子
- P 7-4 「世界史把握の視点」『歴史像再構成の課題—歴史学の
方法と東アジア』御茶ノ水書房 1966.11 B6冊子
- P 7-5 「バルコフ教授の世界史的構想について」『史潮』新1
号 大塚史学会 1976.11 A5冊子
- P 7-6 「国際的条件のとらえ方」『新しい歴史学のために』70
号 京都民科歴史部会 1961.6 B5冊子
- P 7-7 「藤井先生の明治維新史観」『日本近代史研究』2号
法政大学近代史研究会 1958.1 B5冊子
- P 7-8 「相田先生と宿直の夜」『相田二郎著作集』付録 名著
出版 1976.1 A5冊子

- P 7-9 「一九四二年のころ」『歴史学研究・戦前復刻版』第20
巻月報 青木書店 1976.12 A5冊子
- P 7-10 「私が委員であった頃」『歴史学研究復刻版』月報1
青木書店 1986.11 A5冊子
- P 7-11 「三枝博音先生の人と業績」『横浜市立大学論叢』第16
巻第1号（『三枝博音先生追悼記念論文集』） 横浜市立
大学学術研究会 1963.12 A5冊子
- P 7-12 「三枝先生の学問形成について」『三枝博音著作集』第
3巻月報 中央公論社 1972.9 A5冊子
- P 7-13 「解説・解題」『飯塚浩二著作集』第9巻 平凡社
1975.12 A5冊子
- P 7-14 「『資本論』の方法と歴史学」『歴史評論』349号 歴
史科学協議会 1979.5 A5冊子
- P 7-15 「時代区分論」岩波講座『日本歴史』別巻1 岩波書
店 1968.3 (1963.4刊の増刷) A5冊子
- P 7-16 「アカデミアム史学の本質」『史学会雑誌復刻版』広告
史学会 ハンフレッツ切抜
- P 7-17 「ローマン博士の業績を偲んで」『歴史学研究』第208
号 歴史学研究会 1957.6 A4コピー 3枚
- P 8 総合雑誌、他 B5クリアーツァイルに一括
- P 8-1 「明治百年記念式典と歴史学」『史学雑誌』第77編第
10号 史学会 1968.10 A5冊子
- P 8-2 「思想攻勢と建国記念日」『月刊総評』120号 日本労
働組合総評議会 1967.6 A5冊子
- P 8-3 「Meiji Ishin to Gendai」(英文) A4タイプ原稿 10枚
- P 8-4 「史職の思い出」『史料職組ニュース』№20 1977.5
タイプロイド版
- P 8-5 座談会「児島惟謙の功績」『世界』97号 岩波書店
1954.1 A5冊子
- P 8-6 座談会「国難の外交」『世界』58号 岩波書店
1950.10 A5冊子
- P 8-7 座談会「国会・暴力・民衆」『世界』104号 岩波書店
1954.8 A5冊子
- P 8-8 座談会「中江兆民」『世界』108号 岩波書店 1954.
12 A5冊子
- P 8-9 書評「モーリー編小平修・岡本幸治監訳『日本近代化の
ジレンマ』」『エコノミスト』9月3日号 毎日新聞社
1974.9 A5冊子
- P 8-10 「明治百年と憲法二十年」『教育』17—5 教育科学
研究会 1967.5 A5冊子
- P 8-11 書評「E・H・ローソフ『忘れられた思想家』」『日本
読書新聞』日本出版協会 1950.3.1 新聞切抜
- P 8-12 書評「岡義武著『近代日本の形成』、ローソフ著『日本
における近代国家の成立』」『歴史学研究』第131号
歴史学研究会 1948.1 A5コピー 4枚
- P 8-13 「歴史家ローソフの死をめぐって」『歴史評論』85号
歴史科学協議会 1957.6 A5コピー 5枚
- P 8-14 「ローソフ史学が残したもの」『朝日新聞』朝日新聞
社 1978.4.10 新聞切抜
- P 9 逸山茂樹著作集第7巻 B5クリアーツァイルに一括
- P 9-1 「戦後の歴史学と歴史意識」(表題メモのみ) 岩波書店
175×128mm
- P 9-2 書評「三宅雪嶺著『同時代史』について」『歴史学研究』
第142号 歴史学研究会 1949.11 A4コピー 7枚
- P 9-3 「唯物史観史学の成立」『日本歴史講座』第8巻 東京
大学出版会 1957.6 A4コピー 16枚
- P 9-4 「藤井先生の明治維新史観」『日本近代史研究』2号
法政大学近代史研究会 1958.10 A4コピー
- P 9-5 「三枝博音先生の業績の歴史的意義」『横浜国立大学学
生論集』10号 横浜市立大学学術研究会 1964.3 A
4コピー 5枚
- P 9-6 「日本史学史上の論争」『明治文学全集』第78巻月報

- 筑摩書房 1976.8 A 5冊子
- P 9-7 「ローマン史学の評価の問題」『思想』634号 岩波書店 1977.4 A 5冊子
- P 9-8 「羽仁史学における人民の役割」『歴史学研究』第530号 歴史学研究会 1984.7 B 5冊子
- P 9-9 「日本資本主義論争と服部之総」『服部之総・人と学問』日本経済評論社 1988.7 A 4コピー 7枚
- P 9-10 「1942年のころ」『歴史学研究・戦前復刻版』第20巻月報 青木書店 1976.12 A 5冊子
- P 9-11 「日本資本主義講座のころ」『堀江正規著作集』第3巻月報 大月書店 1977.6 B 6冊子
- P 9-12 「歴史科学」と私の学生時代」『歴史科学復刻版』第16巻月報 青木書店 1978.7 A 5冊子
- P 9-13 「私が委員であった頃」『歴史学研究復刻版』月報1 青木書店 1986.11 A 5冊子
- P 10 第八巻 歴史学の課題と現代(一) B 5クリアーツァイルに一括
- P 10-1 「新聞から何を学ぶかー下山事件と歴史学方法論ー」『歴史評論』19号 歴史科学協議会 1950.1 A 5冊子
- P 10-2 「歴史のおける偶然性について」『思想』332号 岩波書店 1952.2 A 5冊子
- P 10-3 「歴史と文学との関係」『思想』355号 岩波書店 1954.1 A 5冊子
- P 10-4 遠山茂樹、永原慶二共著「時代区分論」岩波講座『日本歴史』22別巻1 岩波書店 1963.4 A 5冊子
- P 10-5 「国際的条件のとらえ方ー芝原氏論文についての若干の疑問ー」『新しい歴史学のために』70号 民科京都支部歴史部会 1961.6 B 5冊子
- P 10-6 「近代史から見た東アジア」『歴史学研究』第276号 歴史学研究会 1963.5 A 4コピー 3枚
- P 10-7 大会報告(綜合部会)「東アジアの歴史像の検討ー近現代史ー」
- 人生歓迎実行委員会 1965 A 5冊子
- P 11-8 「建国の日制定をめざす『国民の祝日法』改正案についてのメモ」B 5原稿 10枚
- P 11-9 「年表を使う立場と作る立場」『図書』203号 岩波書店 1966.7 B 5冊子
- P 11-10 座談会「歴史教育と歴史研究の間」岩波講座『日本歴史』第8巻月報(増刷分) 岩波書店 1964.11 A 5冊子
- P 11-11 「基本法の政治教育」『教育評論』103号 日教組教育文化部 1960.11 B 5冊子
- P 11-12 「ベトナム戦争の北爆停止を求める宣言」13人の署名(宣伝文) 1966.7.7 B 4
- P 11-13 座談会「安俣闘争から何を学ぶか」『歴史地理教育』54号 歴史教育者協議会 1960.8 A 5冊子
- P 11-14 「改訂学習指導要領を検討する」『歴史地理教育』39号 歴史教育者協議会 1959.1 A 5冊子
- P 11-15 座談会「教科書問題と歴史研究」『歴史学研究』第306号 歴史学研究会 1965.11 B 5冊子
- P 11-16 「日本史教育の要点」『歴史地理教育』16号 歴史教育者協議会 1956.2 A 5冊子
- P 11-17 「大学総長の運命ー61年前の帝大総長の演説をめぐって」『日本評論』25巻9号 日本評論社 1950.9 B 4コピー 3枚
- P 11-18 「政府の思想統制政策と教科書検定訴訟」(1967.6.30の講演筆記) 岩波教科書検定訴訟を支援する会 1967.11.8 B 5冊子
- P 11-19 「歴史学と歴史教育」『歴史を学ぶ人々のために』三省堂 1970.5 A 4コピー 10枚
- P 12 表題なし B 5クリアーツァイルに一括
- P 12-1 講演「思想統制とたたかう力」体系的な歴史認識「明治百年」論と思想運動の課題」『読書の友』日本共産
- 代史の立場からー」『歴史学研究』第281号 歴史学研究会 1963.10 B 5冊子
- P 10-8 「世界史における地域史の問題」『歴史学研究』第301号 歴史学研究会 1965.6 A 4コピー 7枚
- P 10-9 「世界史把握の視点」幼方直吉・遠山茂樹・田中正俊編『歴史像再構成の課題』御茶ノ水書房 1966.11 B 6冊子
- P 10-10 「職人的研究者」と「生活者的研究者」『歴史評論』263号 歴史科学協議会 1972.6 A 5冊子
- P 10-11 「資本論」の方法と歴史学」『歴史評論』349号 歴史科学協議会 1979.5 A 5冊子
- P 10-12 「歴史掘りおこし運動を考える」『歴史評論』375号 歴史科学協議会 1981.7 A 5冊子
- P 10-13 「地域資料館の経験から考えたこと」『民具マンスリー』第20巻3号 神奈川大学日本常民文化研究所 1987.6 A 5冊子
- P 11 歴史教育論 B 5クリアーツァイルに一括
- P 11-1 「君が代」と天皇制」『国民文化』216号 国民文化会議 1977.11.1 B 5冊子
- P 11-2 書評「教育基本法文獻選集」構造的危機の時代と教育の原理原則」『季刊教育法』31号 エイデル研究所 1979.3 B 5冊子
- P 11-3 「教科書訴訟支援と歴史学の課題」『歴史学研究』第474号 歴史学研究会 1979.11 B 5冊子
- P 11-4 「歴史研究者にとつての教科書裁判」『歴史学研究』第406号 歴史学研究会 1974.3 B 5冊子
- P 11-5 「教科書検定問題」について」『歴史教育の前進のために』№7,8 1965.7.25 B 5冊子
- P 11-6 「建国記念日『歴史教育を破壊する』」『朝日新聞』朝日新聞社 1966.4.29 新聞切抜
- P 11-7 「大学の社会的責任」『飛翔』横浜市立大学学祭新聞切抜
- P 12-2 党中央委員会 1968.7.1 新聞切抜
- 公開シンポジウム「現在における知識人の役割と責任」(第1グループの報告)『国民文化』41号 国民文化会議 1963.4.1 B 5冊子
- P 12-3 (読書)「鋭い批判精神 丸山真男著『現代政治の思想と行動』」『東京新聞』東京新聞社 1957.4.10 新聞切抜
- P 12-4 「鳴中事件の責任」『なかねりま』第3号 中練馬市民のつどい 1961.2.12 B 5冊子
- P 12-5 書評「大内兵衛著『高い山ー人物アルバム』」『信濃毎日新聞』信濃毎日新聞 1963.10.17 新聞切抜
- P 12-6 書評「冢永三郎著『植木枝盛研究』」『週刊読書人』株式会社読書人 1960.9.26 新聞切抜
- P 12-7 懇談会「維新史と土佐」『県民クラブ』1959.3 A 5冊子
- P 12-8 「朝鮮民族に対する蔑視感情の克服こそ」『国民文化』37号 国民文化会議 1963 B 5冊子
- P 12-9 『社会構成史大系』配本一覽 日本評論社 1949 B 4
- P 12-10 書評「飯塚浩二編著『世界と日本』上・下」『図書』岩波書店 1957.8.17 新聞切抜
- P 12-11 書評「トインビー著『歴史の教訓』」『読売新聞』読売新聞社 1957.6.26 新聞切抜
- P 12-12 「個人の体験を越えたもの 明治政治史に取組む遠山茂樹氏」『東京新聞』東京新聞社 1956.4.1 新聞切抜
- P 12-13 「真理への激しい情熱 亡き津田左右吉博士をしのぶ」『北日本新聞』北日本新聞社 1961.12.11 新聞切抜
- P 12-14 「日露戦争の歴史的性格ーシェビエーロフ全権の発言について 歴史学・国際法学者の見解」『毎日新聞』

- 毎日新聞社 1956.8.10 新聞切抜
- P 12-15 「戦争史流行の底にあるもの」『朝日新聞』朝日新聞社 1956.6.6 新聞切抜 2枚
- P 12-16 「時局にたいして楽観的であるということ」『緑会ニュース』No.18 東京大学法学部緑会委員会 1956.5.21 タブレット版新聞
- P 12-17 「国際会議のむずかしき『日本近代化—その問題点と方法』の会議から」『毎日新聞』毎日新聞社 1960.9.8. 9.10 新聞切抜 2枚
- P 12-18 「戦後史を書いた人々『昭和史』の遠山茂樹氏」『中日新聞』(同一配信記事『北日本新聞』1965.7.28.『大分合同新聞』1965.8.6) 中日新聞社 1965.8.13 新聞切抜 3枚
- P 12-19 書評『『水平運動史の研究』』『朝日新聞』朝日新聞社 1971.10.11 新聞切抜
- P 12-20 「戦後20年 平和のあゆみ①」フアンズムの教訓—第二次大戦前の平和運動』『学生通信』1965.7.1 新聞切抜
- P 12-21 『昭和史』の共著者遠山茂樹』『図書』岩波書店 1956.1.28 切抜
- P 12-22 「独立後の諸問題」(2)(3)『信濃毎日新聞』信濃毎日新聞社 1952.5.8. 5.9 新聞切抜
- P 12-23 「日共『文化政策草案』に寄せて」『東京大学新聞』東京大学新聞社 1957.4.17 新聞切抜
- P 12-24 「近刊の歴史書から 近代日本の正しい把握へ」『毎日新聞』毎日新聞社 1952.2.5 新聞切抜 2枚
- P 12-25 「明治百年記念式典と日本国憲法」『早大憲法懇話会ニュース』第14号 1968.9.15 B 5冊子
- P 12-26 「歴史家の立場から太平洋戦争を考える」『中央大学新聞』中央大学新聞学会 1965.9.14 新聞切抜
- P 12-27 「戦後20年平和のあゆみ②」世界平和への努力—朝鮮

- 戦争と第三次大戦の危機』『学生通信』三省堂 1965.8.1 新聞切抜
- P 12-28 「自治とは？国民的視野での自治を」『神奈川大学新聞』神奈川大学新聞会 1967.4.25 新聞切抜
- P 12-29 「現代政治と国民の責任」『東京新聞』東京新聞社 1967.1.17 新聞切抜
- P 12-30-1 書評『信夫清三郎著』大正政治史』第一巻第二巻』『朝日新聞』朝日新聞社 1952.2.8 新聞切抜
- P 12-30-2 書評『高橋嶺一著』乱世の歴史像』『読売新聞』読売新聞社 1959.8.27 新聞切抜
- P 12-31 「曲がりかどにある教育問題の重要さ キューパ問題 63年を方向づけ」『高知新聞』高知新聞社 1962.12.22 新聞切抜
- P 12-32-1 「二月号の総合雑誌 焦点は中ソ論争 国際政治と軍縮経済」『南日本新聞』南日本新聞社 1963.1.21 新聞切抜
- P 12-32-2 論壇時評「何を学ぶ？中ソ論争 理論と政治を混同させるな」『神奈川新聞』神奈川新聞社 1963.2.22 新聞切抜
- P 12-33 論壇時評「中ソ論争の意義重視 平和理論の質を高めよ」『信濃毎日新聞』信濃毎日新聞社 1963.2.23 新聞切抜
- P 12-34 論壇時評「民族的要素とく 嬉野論文」『信濃毎日新聞』信濃毎日新聞社 1963.3.23 新聞切抜
- P 12-35 「五月号の総合雑誌 貴重な問題を提起 注目される憲法特集」『中国新聞』中国新聞社 1963.4.25 新聞切抜
- P 12-36 論壇時評「中国観に反省の機」『高知新聞』高知新聞社 1963.5.26 新聞切抜
- P 12-37 「平和に挑戦した建国記念日」『国学院大学新聞』国学院大学新聞学会 1967.1.10 新聞切抜

- P 12-38 「国際歴史学会に参加して 遠山教授インタビュー」『横浜市大新聞』横浜市立大学新聞会 1970.10.30 新聞切抜
- P 12-39 「個人の体験を越えたもの 明治政治史に取組む遠山茂樹氏」『東京新聞』東京新聞社 1956.4.1 新聞切抜
- P 12-40 「福沢諭吉の現代的意義」『日本読書新聞』日本出版協会 1951.6.20 新聞切抜
- P 12-41 「ナショナルリズムについての私の立場」『東京大学学生新聞』東京大学新聞社 1951.7.5 新聞切抜
- P 12-42 「納得できぬ祝日法案処理」『西日本新聞』西日本新聞社 1966.6.7 新聞切抜
- P 12-43 インタビュー「第二の琉球処分 歴史が問うもの」『横浜市大新聞』横浜市立大学新聞会 1971.5.31 新聞切抜
- P 12-44 「戦後の日中関係の反省」『西日本新聞』西日本新聞社 1971.7.26 新聞切抜
- P 12-45 「明治揺籃期における鉄道開業式典かもった役割」『有隣』20号 有隣堂 1969.7.10 広報紙切抜
- P 12-46 「モーゼー判決、こう見る」『毎日新聞』毎日新聞社 1970.1.28 新聞切抜
- P 12-47 「歴史書をどう読むべきか」『北海道新聞』北海道新聞社 1952.11.2 新聞切抜
- P 12-48 「骨身にしみる悔恨『臆病で平凡な一学生の想い出』」『東京大学学生新聞』東京大学新聞社 1952.10.3 新聞切抜
- P 12-49 「人間から神に再転」『立命館学園新聞』1952.11.11 新聞切抜
- P 12-50 「平和の願いと実践—戦争は避けられる—」『日本女子大学新聞』日本女子大学新聞会 1951.4.21 新聞切抜

- P 12-51 「講演会から『明治百年』と学問・思想の自由」新聞切抜
- P 12-52 「『日本の支配者と戦争責任』太平洋戦争の諸教訓」『歴史学研究月報』25号 歴史学研究会 1952.10.1 A 5冊子
- P 12-53 「福沢諭吉の独立自尊」『教育技術』1951.10 B 5冊子
- P 12-54 「講座派理論への批判 明治維新史研究の再検討」『一橋新聞』一橋新聞部 1956.4.20 新聞切抜
- P 12-55 「歴史意識の筋金を一『封建遺制』の討論をめぐって」『東京大学新聞』東京大学新聞社 1949.12.5 新聞切抜
- P 12-56 「歴史的変革の課題」『学園新聞』京都大学新聞社 1952.5.26 新聞切抜
- P 12-57-1 書評藤原浩「唯物史観に立つ政治史 遠山茂樹著『明治維新』」『図書新聞』図書新聞出版 1951.3.19 新聞切抜
- P 12-57-2 書評奈良本長也「遠山茂樹著『明治維新』特に服部論争の成果統一へ」『日本読書新聞』日本出版協会 1951.3.21 新聞切抜
- P 12-58 「歴史家の見た五・一五事件 破防法を通すために暴徒化した警官」『東京大学学生新聞』東京大学新聞社 1952.5.15 新聞切抜
- P 12-59 「日本文学の前近代性 非実践的反戦思想」『津田塾大学新聞』1950.11.3 新聞切抜
- P 12-60 「ナショナルリズム研究の課題」『日本大学新聞』1951.2.25 新聞切抜
- P 12-61 「先覚者とその“限界” 劔雲・天心・鑑三・透谷・卯吉・諭吉」『日本読書新聞』日本出版協会 1951.1.31 新聞切抜
- P 12-62 「日本フアンズムをめぐる」『日本読書新聞』日本出版協会 1949.7.20 新聞切抜
- P 12-63 「人民の自由と国の独立」『三田新聞』1951.1.10

- 新聞切抜
- P 12-64 「政治性に目覚めよ 歴史学徒の良心に訴える」『教育大新聞』 教育大学新聞会 1949.11.15 新聞切抜
- P 12-65 書評「信夫清三郎著『明治政治史』」『日本読書新聞』 日本出版協会 1950.8.30 新聞切抜
- P 12-66 「“国民主権への逆行”元号法制化めぐり白熱の攻防」『東京新聞』 1953.8.19 新聞切抜
- P 12-67 「横浜市大遠山教授が最後の講義」『神奈川新聞』 1979.1.24 新聞切抜
- P 12-68 「元号法制化問題に力を注ぎたい」『毎日新聞』 1979.1.12 新聞切抜
- P 12-69 「憂い 現代日本をにらんで一筋」『朝日新聞』 湘南版 1979.2.4 新聞切抜
- P 12-70 「元号使用の義務付け 地方自治体にも及ぼす政府方針」『朝日新聞』 1978.12.20 新聞切抜
- P 12-71 論壇佐藤忠雄元参議院専門員「元号法案は再検討を」『朝日新聞』 1979.2.3 新聞切抜
- P 12-72 書評『『現代史資料』完結の意義』『朝日新聞』 1976.12.6 新聞切抜
- P 12-73 「天皇在位50年の意味を問う」『日中友好新聞』 1976.12.6 新聞切抜
- P 12-74 「日本フレンジュの正体 “反支配階級”の仮面」『日本読書新聞』 日本出版協会 1952.8.13 新聞切抜
- P 12-75 「人間から神に再転」『立命館学園新聞』 1952.11.11 新聞切抜
- P 12-76 座談会「われわれの同時代観—満州事変から今日まで—」『日本読書新聞』 日本出版協会 1951.10.31 新聞切抜
- P 12-77 「学生運動に想う 学ぶもの本分は何か」『東京女子大学学生新聞』 1952.9.10 新聞切抜
- P 12-78 「明治思想研究への礎石」『日本読書新聞』 日本出版協会 1954.2.15 新聞切抜
- P 12-79 協会 1954.2.15 新聞切抜
- P 12-79 「明治史の核心に連る」『日本読書新聞』 日本出版協会 1955.6.13 新聞切抜
- P 12-80 「画期的な論争の書 明確になった問題提起のねらい」『図書新聞』 図書新聞出版 1954.12.11 新聞切抜
- P 12-81 「歴史書をどう読む」『高知新聞』 1952.11.20 新聞切抜
- P 12-82 「復古的世潮には悲観しない 歴史学徒の立場から」『朝日新聞』 1952.2.2 新聞切抜
- P 12-83 「新入国記81 神奈川県④ “五重苦” 克服をめざし」『朝日新聞』 1981.11.21 新聞切抜
- P 12-84 「自由民権運動と神奈川」『健康かながわ』 1982.2.15 新聞切抜
- P 12-85 書評「農民運動史研究会編『日本農民運動史』」『図書新聞』 図書新聞出版 1961.7.1 新聞コピー
- P 12-86 書評「下山三郎著『明治維新研究史論』」『図書新聞』 図書新聞出版 1966.4.23 新聞コピー
- P 12-87 「週言」『神奈川新聞』 1982.1.14～1982.12.20 新聞切抜 11枚
- P 12-88 「公文書館法」情報公開へ土台作りを」『朝日新聞』 1997.7.17 新聞切抜
- P 12-89 「明治維新における諸藩の役割」『南日本新聞』 1988.10.10 A4コピー
- P 13-1 表題なし B5クワイアテイルに一括
- P 13-1 書評『『日本資本主義小史』(上・下)』『東京大学新聞』 東京大学新聞社 1974.9 新聞切抜
- P 13-2 「標的イニシテラ」『朝日新聞』 1967.3.1 新聞切抜
- P 13-3 有馬頼義「二・二六事件と私—革命ではなく人殺し」『朝日新聞』 2月25日 新聞切抜
- P 13-4 書評「J・W・ホール、M・B・ジャンセン編『徳川社会と近代化』」『日本読書新聞』 日本出版協会

- 1973.11.19 新聞切抜
- P 13-5 書評『『明治文化全集』の再刊行』『日本読書新聞』 日本出版協会 1955.3.14 新聞切抜
- P 13-6 「なぜ歴史書は読まれるのか」『西日本新聞』 1962.9.5 新聞切抜
- P 13-7 「復古的世潮には悲観しない 歴史学徒の立場から」『朝日新聞』 1952.2.2 新聞切抜
- P 13-8 「服部之総の歴史学」『日本読書新聞』 日本出版協会 1956.3.12 新聞切抜
- P 13-9 「大衆とジャーナリズム」『明治大学新聞』 1951.10.15 新聞切抜
- P 13-10 推薦文「信夫清三郎著『大正政治史』全三巻」(内容見本) 河出書房 A5冊子
- P 13-11 書評「岡義武著『近衛文麿—運命の政治家』」『読売新聞』 1972.8.11 新聞切抜
- P 13-12 「1954年の回顧 論壇知識人の反省と提言 民衆に滲透したビキニの灰」『日本読書新聞』 日本出版協会 1954.12.20 新聞切抜
- P 13-13 書評「歴史学研究会編『太平洋戦争史』」『東京大学新聞』 1972.10.9 新聞切抜
- P 13-14 座談会「われわれの同時代観—満州事変から今日まで—」『日本読書新聞』 日本出版協会 1951.10.31 新聞切抜
- P 13-15 「納得できない祝日法案処理」『信濃毎日新聞』 1966.6.6 新聞切抜
- P 13-16 「朝鮮公民と日本 国民の民族教育権」『朝鮮時報』 1966.4.30 新聞切抜
- P 13-17 「非科学的な歴史論の横行 民族の真の要求を無視」『朝日新聞』 1965.4.8 新聞切抜
- P 13-18 「人間から神に再転 影武者はアメリカ資本」『立命館学園新聞』 1952.11.11 新聞切抜
- P 13-19 「福沢諭吉の現代的意義」『日本読書新聞』 1951.6.20 新聞切抜
- P 13-20 「紀元節復活の是非」『中国新聞』 1965.2.11 新聞切抜
- P 13-21 書評「R・P・ポーラー著『江戸時代の教育』」『日本読書新聞』 日本出版協会 1971.1.18 新聞切抜
- P 13-22 「紀元節復活に反対する」『日本教育新聞』 1965.2.13 新聞切抜
- P 13-23 「復活は憲法の理念に对立 紀元節は近現代史の問題」『信濃毎日新聞』 1965.2.10 新聞切抜
- P 13-24 「日中友好とは日本国民にとって何か」『日中友好新聞』 1975.1.1 新聞切抜
- P 13-25 「1930年代論の今日的意義(下)」『東京新聞』 1972.8.5 新聞切抜
- P 13-26 「“紀元節”を考える」『高知新聞』 1965.2.11 新聞切抜
- P 13-27 「紀元節に反対する」『日本教育新聞』 1965.2.13 新聞切抜
- P 13-28 論壇「敗戦後30年が意味するもの」『週刊とちょう』 1975.8.13 新聞切抜
- P 13-29 「真珠湾から30年」『東京新聞』 1971.12.8 新聞切抜
- P 13-30 「戦争思想は生きている 何故テロはおこるのか」『子どもを守る』号外 1960.11.5 新聞切抜
- P 13-31 政治部飯野忠男「元号法制化 目の色変えて、なぜ急ぐ」『毎日新聞』 1979.1.11 新聞切抜
- P 13-32 「憲法記念日を建国の日」『日本教育新聞』 1965.2.13 新聞切抜
- P 13-33-1 社説「歴史ブームの教えるもの」『毎日新聞』 1965.4.18 新聞切抜
- P 13-33-2 解説記事「社会科学教科書の検定」『毎日新聞』 1965.4.18 新聞切抜
- P 13-34 連載記事「明治百年と戦後二十年」((1)竹山道雄、(2)

- 野間宏、〈5〉江藤淳、〈6〉小田実、〈7〉林房雄)
『朝日新聞』1965.4 新聞切抜 5枚
- P 13-35-1 社説「明治百年に当たって」『読売新聞』新聞切抜
- P 13-35-2 社説「明治百年に思う」『朝日新聞』1968.10.24 新聞切抜
- P 13-35-3 社説「冷静と自信を取り戻そう—あらしの中の明治百年—」『毎日新聞』1968.10.24 新聞切抜
- P 13-35-4 『明治百年祭』式典で 共産党幹部会員が談話、新聞切抜
- P 13-35-5 「学校儀式強制せぬ 剣木文相談」『読売新聞』1966.12.9 新聞切抜
- P 13-35-6 「すつきりせぬ建国記念日」『読売新聞』1966.12.10 新聞切抜
- P 13-35-7 林健太郎「東風西風 建国記念日」『読売新聞』1966.12.12 新聞切抜
- P 13-35-8 「建国審議会委員の意見」『毎日新聞』1966.12.9 新聞切抜
- P 13-35-9 主張「紀元節」の復活は人民へのあらたな挑戦である」『赤旗』1966.12.10 新聞切抜
- P 13-35-10 「建国記念の日」の決定に当たって」『朝日新聞』1966.12.10 新聞切抜
- P 13-35-11 「2月11日」本決まり 建国記念日・政令を公布」『東京新聞』1966.12.9 新聞切抜
- P 13-35-12 「2月11日」を審議会答申 建国記念日きょう政令公布」『読売新聞』1966.12.9 新聞切抜
- P 13-35-13 「建国記念日は2月11日」『朝日新聞』1966.12.9 新聞切抜
- P 13-36 書評「瀬長亀太郎著『民族の怒り』」『赤旗』1971.12.25 新聞切抜
- P 14 表題なし B5クワリーフレイブルに一括
- P 14-1 書評「伊藤永之介著『石川理紀之助』」『日本読書新聞』
- P 14-2 日本出版協会 1941.12.15 新聞切抜
- P 14-2 「“維新史”成る金子佑参内して献上」『朝日新聞』新聞切抜
- P 14-3 「新選組誕生の政治的背景」『歴史と人物』6月号 1975 B5冊子
- P 14-4 「明治維新論」新日本史講座『資本主義時代』中央公論社 1952.9 B5冊子
- P 14-5 「日本絶対主義成立期の問題」『史学雑誌』58編第3号 史学会 1949.8 B5冊子
- P 14-6 「天皇制軍隊の成立」『知性』6月 1949.5.8 B5冊子
- P 14-7 「明治維新と世界史」『国民の歴史』第2巻第7号 1948.7 A5冊子
- P 14-8 「明治維新研究の社会的責任」『展望』第84号 筑摩書房 1965.12 A5冊子
- P 14-9 「学問と思想と政治」『展望』第93号 筑摩書房 1966.9 A4コピー 10枚
- P 14-10 「図書館員への期待」『昭和48年度大学図書館司書研修会報告書』1973.8.31 B5冊子
- P 14-11 「水戸学の性格」中村孝也編『生活と思想』小学館 1944.8.31 A4コピー 17枚
- P 14-12 「総論 開国〜大政奉還」『明治維新史研究講座』第3巻 平凡社 1958.10 A4コピー 29枚
- P 14-13 「第1章有司専制の成立」『自由民権期の研究』第1巻 有斐閣 1959.5 A5冊子
- P 14-14 「水戸学と明治維新」日本思想大系『水戸学』月報 32 岩波書店 1973.4 A5冊子
- P 14-15 「戊辰戦役と大鳥圭介」『戦乱と人物』1968 A5冊子
- P 14-16 「総論 I 明治維新の前提」『明治維新史研究講座』第1巻 平凡社 1958 A5冊子
- P 14-17 「総論 2 天保期〜開港直前」『明治維新史研究講座』第2巻 平凡社 1958 A5冊子
- P 14-18 「文久二年の政治情勢—張紙・投文を中心として」、『歴史学研究』第114号 歴史学研究会 1943.10 A5冊子
- P 14-19 「尊皇攘夷思想とナショナリズム」『尊皇思想と絶対主義』白日書院 1948.5 B5冊子
- P 15 表題なし B5クワリーフレイブル一括
- P 15-1 Anne Walthall 英文書簡 1981.11.12 B5
- P 15-2 「第二次大戦における都市空襲の役割—今井清一著『新版・大空襲 5月29日』によせて—」『市史研究よこはま』第9号 1996.6 A4コピー 10枚 (5枚同じもの2部あり)
- P 15-3 「自由民権思想と共和制」『明治国家の権力と思想』吉川弘文館 1979.11 A5冊子
- P 15-4 「その思想に流れるもの—山川均をしのぶ—」『世界』150号 岩波書店 1958.6 A5冊子
- P 15-5 「天保改革〜自由民権運動の発展・挫折」A5冊子
- P 15-6 『『三酔人経綸問答』の歴史的背景』『中江兆民の世界』筑摩書房 A5冊子
- P 15-7 「自由民権運動と歴史教育」『歴史地理教育』No.373 歴史教育者協議会 A5冊子
- P 15-8 「最近の反動攻勢の歴史的特徴」『教育実践』23号 日本民間教育研究団体連絡会 1979.7 A5冊子
- P 15-9 対談「原水爆禁止運動と歴史学」(司会榎田欽治、遠山茂樹・高橋嶺一)『歴史評論』333号 歴史科学協議会 1978.1 A5冊子
- P 15-10 「私が委員であった頃」『歴史学研究』戦後第1期復刻版月報 歴史学研究会 1986.11 A5冊子
- P 15-11 「年頭にあって想いあらたに」『教科書検定訴訟を支援する歴史学関係者の会ニュース』138号 1989.1.26 B4
- P 15-12 「国政と地域政治—横浜市の場合—」『茨城県史料』
- 付録 25 茨城県立歴史館 1990.3 A5冊子
- P 15-13 「自由民権思想と現代」(岩波文化講演会案内文) 1978.10.26 B4
- P 15-14 「国民的伝統の評論について」A5冊子
- P 15-15 「日本近代史における沖繩の位置」『歴史学研究』第382号 歴史学研究会 B5冊子
- P 15-16 「11・27 連続シンボ:日本近代史における沖繩」(リジュメほか3点) B4レジュメ 2枚
- P 15-17 「特別講演 現代史について考えること」『看護実践の科学』1986.12 B5冊子
- P 15-18 「総論 開国〜大政奉還」『明治維新史研究講座』第3巻 平凡社 1958.10 A5冊子
- P 15-19 「関口泰の教育論(その素描)」『経済と貿易』第127号 横浜市立大学経済研究所 1979.3.25 B5冊子
- P 15-20 「紀元節反対20年の意味」『歴史学研究』第432号 歴史学研究会 1976.5 B5冊子
- P 15-21 「あらためて教科書裁判に学ぶこと」『歴史学研究』第508号 歴史学研究会 1982.9 B5冊子
- P 15-22 「フランダースの生産様式」論争について」二井田陸博士追悼論文集第3巻『日本法とフランダース』1970.5 A5冊子 2冊
- P 15-23 「陸羯南の外交論—とくに日清戦争前後の時期を中心として—」『横浜市立大学論叢』人文科学系列第24巻第2・3合併号 横浜市立大学学術研究会 1972.9.2 A5冊子
- P 15-24 「福沢諭吉の海外視察と征長建白」『横浜開港資料館紀要』第8号 1990.3.31 B5冊子
- P 15-25 「明治憲法下の地方議会選挙」『専修大学法学研究所紀要』9号 A5冊子
- P 16 自由民権2 B5クワリーフレイブル一括
- P 16-1 「秩父事件の現代的意義」『秩父事件史料集成』二女

- 社 B5冊子
- P 16-2 「実行委員会解散後の団体・個人の消息と要望」（三春等資料館にふれた一文）『自由民権百年連絡会ニュース』創刊号 1986.12.23 A4冊子
- P 16-3 「自由民権運動100年」『神奈川新聞』1980.9.23 B5コピー
- P 16-4 「自由民権運動百年全国集会運営要項」（メモ記入あり）1981 B4コピー
- P 16-5 「坂本直寛顕彰碑建立期成会員にご就任のお願い」1982.6 B4 2枚
- P 16-6 「自由民権運動百年全国集会実行委員会「公告」（最終実行委員会連絡）実行委員長遠山茂樹 1981.10.14 B4コピー
- P 16-7 江村栄一・藤林伸治他「自由民権百年実行員会『会報』創刊号への原稿依頼状」1980.10 B4
- P 16-8 「自由民権百年『熊本県民集会参加之証』（入場整理券）180×56mm 2枚
- P 16-9 『自由民権百年ニュース』第1号 1982.10.1 はがき
- P 16-10 「幸徳秋水生誕100年記念講演会」全集編集委員会主催、朝日新聞社後援 はがき
- P 16-11 「自由民権運動と現代—第2回全国集会報告集」（宣伝文）三省堂 A4
- P 16-12 「第2回全国集会のお礼と『第2回全国集会報告集』等普及協力のお願ひ」自由民権百年全国集会実行委員会委員長遠山茂樹 三省堂出版局社会科学教科書出版部 1986.1 A4コピー 2枚
- P 16-13 座談会「自由民権と現代」『歴史評論』379号 歴史科学協議会 1981.11 A5冊子 2部
- P 16-14 「歴史の掘りおこし運動を考える」『歴史評論』375号 歴史科学協議会 1981.7 A5冊子
- P 16-15 「秩父事件史料集成」の完結と受賞を祝う会ご案内
- P 16-16 「秩父事件史料集成」の完結と受賞を祝う会発起人一同 1989.12.15 A4
- P 16-17 「自由民権運動の奥底にある生活を守る農民の動き」メモ B5
- P 16-18 全国集会実行委員長遠山茂樹「基調報告」（後次）1981 A4コピー
- P 16-19 「自由民権運動と小野梓—馬場辰猪の思想との比較」『早稲田大学史紀要』第19巻 早稲田大学 1987.3 A5冊子
- P 16-20-1 早稲田大学大学史編集所「小野梓先生没後百年記念講演会・展示会」1986.10.24 A5冊子 2部
- P 16-20-2 津野輔哉「小野梓没後百年記念祭」『東京すくも人』第4号 1987.10.23 A5冊子
- P 16-21 「自由民権運動と地域」『開城町の歴史』第6号 1986.3 A4コピー 5枚
- P 16-22 「自由民権思想と共和制」『明治国家の権力と思想』吉川弘文館 1979.11 B5冊子
- P 17 著作集第5巻『天皇制と帝国主義』A4クリアーシートに一括
- P 17-1 「近代天皇制の成立過程（1）」『図書』270号 岩波書店 1972.1 A4コピー 5枚
- P 17-2 「天皇制考察の視角」『法学セミナー増刊 現代天皇制』日本評論社 1977.2 A4コピー 4枚
- P 17-3 「天皇制と日本近代」『日本史研究』177号 日本史研究会 1977.5 A5冊子
- P 17-4 「『君が代』と天皇制」『歴史地理教育』273号 歴史教育者協議会 1978.1 A5冊子
- P 17-5 「天皇制と日本帝国主義」『歴史評論』200号 歴史科学協議会 1975.4 A5冊子
- P 17-6 「どのようにして近代天皇制は作り出されたか—明治維新と天皇・民衆—」A4原稿コピー 25枚
- P 17-7 「1930年代と社会科学」『歴史評論』397号 歴史科学協議会 1983.5 A5冊子
- P 17-8 「現代史研究の問題点—昭和史の批判に関連して—」『中央公論』71—6 中央公論社 1956.6 A4コピー 6枚
- P 17-9 「歴史叙述と歴史意識」『社会科学教育大系』第3巻 三一書房 1963 A5冊子
- P 17-10 「その思想に流れるもの—山川均をしのぶ」（論文名のみ）『世界』150号 岩波書店 1958.6 B6
- P 17-11 「日本近代と東アジア」（論文名のみ）『世界』242号 岩波書店 1966.1 B6メモ
- P 17-12 「方言矯正と植民地教育」岩波講座『日本語』第8巻 月報 岩波書店 1977.3 A5冊子
- P 17-13 「私の歴史研究と天皇制」『現代と思想』15号 青木書店 1974.3 A5冊子
- P 17-14 「5・15事件の経緯とその意義」『五・一五事件（四）・今村謙三記録』第7巻 専修大学今村法律研究室 1983.2.25 A5冊子
- P 17-15 「明治天皇の東北巡幸」『米沢史学』第3号 1987.3 B5冊子
- P 18 明治維新 A4クリアーシートに一括
- P 18-1 「明治維新研究の成果」『日本史研究入門』東京大学協同組合出版部 1949.4 A4コピー 17枚
- P 18-2 「水戸学と明治維新」（初校紙）『日本思想大系『水戸学』月報 32 岩波書店 1973.4 A4コピー 2枚
- P 18-3 「明治維新（1）—日本人民はどのようにして革命から遠ざけられたか」執筆代表羽仁五郎『現代の革命的論理』自由国民社 1972.1 A4コピー 16枚
- P 18-4 「明治維新の政治過程」『時代区分上の理論的諸問題』
- P 18-5 「有司専制の成立」『自由民権期の研究』有斐閣 1959.3 A5冊子
- P 18-6 「明治初年の外交意識」『横浜市立大学論叢』人文科学系列第13巻第2・3合併号 横浜市立大学学術研究会 1962.3.31 A5冊子
- P 18-7 「版籍奉還の—考察」『国民生活史研究』1 吉川弘文館 1957.4 A4コピー 9枚
- P 18-8 「戊辰戦役と大鳥圭介」『戦乱と人物』吉川弘文館 1968.3 A5冊子
- P 18-9 「大久保利通」『近代日本の政治家』講談社 1964.3 A4コピー 32枚
- P 18-10 「明治維新=アムリカ革命論について—トベハ氏にこたえる—」『歴史学研究』第249号 歴史学研究会 1961.1 A4コピー 6枚
- P 19 自由民権運動 A4クリアーシートに一括
- P 19-1 「自由民権運動史と地域史研究」『岡山地方史研究会会報』43号 1984.10.27 B5冊子
- P 19-2 「自由民権運動と1884年」『歴史科学』98号 大阪歴史科学協議会 1984.11.10 B5冊子 A5コピー
- P 19-3 「自由民権運動と歴史教育」『歴史地理教育』373号 歴史教育者協議会 1984.10 A5冊子
- P 19-4 「自由民権と現代 秩父事件97周年集会記念講演」『文芸秩父』38号 秩父文化の会 1982.2 A5冊子
- P 19-5 「自由民権思想と共和制」『明治国家の権力と思想』吉川弘文館 1979.11 A5冊子
- P 19-6 「日本の近代史研究の問題について」A4原稿 4枚
- P 19-7 「自由民権論の本質と陰影—中江兆民の場合—」『大衆学』2—7 竹井出版社 1948.7 A5冊子
- P 19-8 「福沢論吉と自由民権運動」『歴史公論』1月号 雄山閣 1976.1 220×145mm冊子

- P 19-9 「阿波の自助社について」『明治史研究叢書の栞』御茶の水書房 1958.9 B 6冊子
- P 19-10 「民権運動の人々―馬場長猪と植木技盛」『日本人物史大系』第5巻 朝倉書店 1960.4 A 5冊子
- P 19-11 「自由民権派の人と思想」『学習の友』63号 学習の友社 1959.1 A 5冊子
- P 19-12 「自由民権運動と地域」『関城町の歴史』6 1986.3 A 5コピー 5枚
- P 19-13 「日本近代史における沖繩の位置」『歴史学研究』第382号 歴史学研究会 1972.3 B 5冊子
- P 19-14 「陸羯南の外交論―とくに日清戦争前後の時期を中心として―」『横浜市立大学論叢』第24巻第2・3合併号 横浜市立大学学術研究会 1973.4 A 5冊子
- P 20 自由民権関係及雑誌・新聞等寄稿文他 A 4クリラーファイルに一括
- P 20-1 「現代と民主主義」『岡山歴史文化ブックレット』No.1 1985.5 A 5冊子
- P 20-2 「第二回全国集会の年を迎えて」『自由民権百年』第13号 1984.1.1 B 5冊子
- P 20-3 「自由民権百年の運動と歴史教育」『高校社会科学教育ぶっくれつ』5 三省堂 1986.5 187×116mm冊子
- P 20-4-1 「私たちのゼミ―遠山ゼミ」『ニューヌ専修』168号 1983.12.15 新聞切抜
- P 20-4-2 「きょうから「福島事件」資料展」1992.10.30 タ刊 新聞切抜
- P 20-5 「羽仁史学における人民の役割」『歴史学研究』第530号 歴史学研究会 1984.7 B 5冊子
- P 20-6 「自由民権の息吹 この目で」『赤旗』1984.11.24 新聞切抜
- P 20-7 「秩父事件百年集会」『毎日新聞』1984.11.24 新聞切抜
- P 20-8 「自由民権運動百年を記念、祖父らの業績に誇り」『赤旗』1984.11.25 新聞切抜 2枚
- P 20-9 「人権、自由求め新たな一歩」『赤旗』1984.11.26 新聞切抜
- P 20-10-1 「先人の情熱に学ぶ」『朝日新聞』夕刊 1984.11.24 新聞切抜
- P 20-10-2 「百年ぶり民権家の誓い」『朝日新聞』1984.11.25 新聞切抜
- P 20-11 「自由民権百年第2回全国集会参加之証」(入場整理券) 自由民権百年全国集会実行委員会 150×56mm
- P 20-12 「自由民権百年集会」プロگرام 自由民権百年全国集会実行委員会 1984.11 B 4
- P 20-13 「年賀状」(民権百周年挨拶あり) 遠山茂樹 1981元旦 はかき 7枚
- P 20-14 自由民権百年全国集会記念早稲田大学所蔵資料展示 早稲田大学図書館・自由民権百年全国集会早大実行委員会 1984.11.24～27 A 5冊子
- P 20-15 「日本近代史の世界史的把握のために」(『大阪事件関係資料集』第2巻宣伝パンフレット) 日本経済評論社 A 5冊子
- P 20-16 書評「部落問題研究所編『部落史の研究近代編』」『部落』452号 1984.12 A 4コピー
- P 20-17 岩垂弘署名記事「深海流―広がる民権百年運動」『朝日新聞』1984.12.17 新聞切抜
- P 20-18 「明治維新觀の変遷」『世界教養全集』月報36 平凡社 A 4コピー 2枚
- P 20-19 「自由民権運動と1884年」『歴史科学』98号 大阪歴史科学協議会 1984.11.10 A 4コピー 7枚
- P 20-20 「庄司吉之助さんのこと」『ちくま』No.175 筑摩書房 1985.10 A 5冊子、A 4コピー3枚
- P 20-21 「高橋 嶺一委員長の逝去を悼む」『歴史地理教育』387号 1985.12 A 4コピー
- P 20-22 「大久保利謙著作集刊行にあたって」(編集者代表初校控) 1985.7 B 5コピー 3枚
- P 20-23 書評「岩波小辞典『日本史』」『図書』93号 岩波書店 1957.6 A 4コピー 2枚
- P 20-24 「大学で何を学ぶのか」『緑葉』横浜市立大学新入生歓迎常任委員会 1974 A 4コピー
- P 20-25 書評「三宅雪嶺『同時代史』」『図書』61号 岩波書店 1954.10 A 4コピー 2枚
- P 20-26 「歴史家はこうみる」『社会主義』号外「メーデー事件の真相」社会主義協会 1952.5.20 A 4コピー 2枚
- P 20-27 「抵抗精神の高い形態」遠山茂樹著『自由民権と現代』『赤旗』1985.10.21 新聞切抜
- P 20-28 新刊の窓「遠山茂樹著『自由民権と現代』」『毎日新聞』1985.11.4 新聞切抜
- P 20-29 「英外交官サトウの資料展―明治維新考える一助」『朝日新聞』夕刊 1985.11.12 新聞切抜
- P 20-30 「石母田正君を悼む」『歴史評論』432号 1986.4 A 5冊子 2部
- P 20-31 「学問の自由の危機、その新しい段階」『教科書検定訴訟を支援する歴史学関係者の会ニュース』121号 1986.4.8 B 4 2部
- P 20-32 「高校教育の改訂と女性の問題 娘を持つ親の心配」『子どももしあわせ』福音館書店 1956.5 A 4冊子コピー
- P 20-33 岩井忠熊書評記事「書を選ぶ 遠山茂樹著『明治維新』」『学生新聞』1992.9.5 新聞切抜
- P 20-34-1 「1980年新年挨拶」年賀はかき
- P 20-34-2 「1995年寒中見舞い」(『明治維新』再刊記事) はかき版
- P 20-35 追悼集記事「小沢圭介さんをしのぶ」1994.7 B 5冊子
- P 20-36 「明治維新」同時代ライブラリー版について『明治維新』同時代ライブラリー版 岩波書店 1995.1 A 4コピー
- P 20-37 「同時代ライブラリー版について」岩波書店 A 4コピー 5枚
- P 20-38 近況報告『日本歴史』562号 1995.3 A 4コピー
- P 20-39 「発刊によせて」『会報』第1号 横浜市立大学日本史専攻卒業生の会 1979.2 A 4コピー 2枚
- P 20-40 「気のあつた同僚―辻さんに贈る」『会報』第2号 横浜市立大学日本史専攻卒業生の会 1986.7 A 4コピー 2枚
- P 20-41 「新聞の父」貴重な足跡」『東京タイムス』1985.3.4 B 4コピー
- P 21 自由民権関連 A 4クリラーファイル一括
- P 21-1 「自由民権百年東京集会」(講演案内「自由民権運動と現代」) 1981.9.22 はかき
- P 21-2 「自由民権100年の記録「基調報告」」1982.8 A 4コピー 3枚
- P 21-3 「自由民権運動と現代」『近代熊本』No.22 1983.8 A 4コピー 7枚
- P 21-4 「自由民権百年第2回全国集会基調講演」『自由民権』自由民権百年全国集会実行委員会 1984 A 4コピー
- P 21-5 「なぜ百年前の歴史を記念するのか」『自由民権百年―自由民権と現代』自由民権百年全国集会実行委員会 1981.10 A 4コピー
- P 21-6 「自由民権と現代―秩父事件97周年集会記念講演」『文芸秩父』No.38 1982.2 A 4コピー 6枚
- P 21-7 「5年間の成果と今後―第2回集会の特色」『自由民権百年』16・17合併号 自由民権百年全国集会実行委員会 1985.5.20 B 5冊子
- P 21-8 「第二の昂揚期を迎える研究運動」『自由民権百年』創刊号 自由民権百年全国集会実行委員会 1981.1.1 B 5冊子

- P 21-9 「第2回全国集会の年を迎えて」『自由民権百年』13号 自由民権百年全国集会実行委員会 1984.1.1 B 5冊子
- P 21-10 「福島・喜多方事件の歴史的意義」『自由民権百年』10号 自由民権百年全国集会実行委員会 1983.1.1 B 5冊子
- P 21-11 「自由民権運動と1884年」『歴史科学』98号 大阪歴史科学協議会 1984.11.10 B 5冊子
- P 21-12 「自由民権運動の歴史的意義」『房総史学』No.28 千葉県高等学校教育研究会歴史部会 1988.3.1 B 5冊子
- P 21-13 「地域から自由民権の全体像へ」(『静岡県自由民権史料集』推薦のこぼし) 静岡県民権百年実行委員会 1984.9 B 5
- P 21-14 「秩父事件の現代的意義」(『秩父事件史料集成』全6巻内容見本推薦のこぼし) 二玄社 1983 B 5
- P 21-15 「はしがき」三浦進・塚田昌宏『加波山事件研究』同時代社 1984.5 A4コピー 2枚
- P 21-16 「現代の平和と民主主義を考えるー自由民権運動100年を記念してー」自由民権百年記念講演会実行委員会 1981.5.15 B 5
- P 21-17 「自由民権熊本県民集会基調講演」自由民権百年熊本集会実行委員会 1982.5.16 B 5
- P 21-18 『北海道民権史料集』推薦文 北海道大学図書刊行会 A4変形
- P 21-19 「私の秩父事件第一部(2)」『埼玉新聞』1984.4.13 新聞切抜
- P 21-20 『自由民権運動と現代 自由民権百年第2回全国集会報告集』についてのインタビュー 『信濃毎日新聞』1986.3.5 新聞切抜
- P 21-21 「第2回自由民権百年全国集会」ニュース」自由民権百年全国集会実行委員会 1984.11 B 4
- P 21-32-2 「自由民権百年第2回全国集会基調報告」(訂正入) 遠山茂樹 1984 A4コピー 6枚
- P 21-33 「自由民権百年第2回全国集会声明」1981.11.25 B 4
- P 21-34 「秩父事件97周年記念集会」秩父事件顕彰運動実行委員会 1981.11.8 B 5
- P 21-35 「自由民権運動史と地域史研究」『岡山地方史研究会会報』43号 岡山地方史研究会 1984.10.27 B 5冊子
- P 21-36 「第2回自由民権百年全国集会」1984.11 B 4
- P 21-37 「第2回自由民権百年全国集会」(参加呼びかけ)自由民権百年全国集会実行委員会 1984.4 B 5冊子
- P 21-38 「福島・喜多方事件の歴史的意義」自由民権運動福島・喜多方事件百周年記念集会、自由民権運動福島・喜多方事件100周年記念事業推進委員会 1982.11.3 B 5冊子
- P 21-39 「自由民権百年の運動と歴史教育」『三省堂高校社会科学教育・ぶつぐれっと』No. 5 三省堂 1986.5.10 A5変形冊子
- P 22 表題なし A4クリアーファイルに一括
- P 22-1 盧溝橋事件五十周年日中學術討論会「ソソボゾウムの閉会にあたって」『日中戦争と日中関係』原書房 1987 B 5原稿コピー 7枚
- P 22-2 「維新史料編纂事務局と『井伊家文書』」『人物叢書』付録113号 吉川弘文館 B4コピー 1枚
- P 22-3 「地域資料館の経験から考えたこと」(裏面に『図書館とのつきあい五十年』あり) B 5原稿 25枚
- P 22-4 書評「植手通有著『日本近代思想の形成』」『歴史学研究』第420号 1975.5 B 5原稿 12枚
- P 22-5 書評「丸山真男著『現代政治の思想と行動』」『思想』395号 岩波書店 1957.5 A 5冊子
- P 21-22 権百年全国集会実行委員会 1984.11 B 4二折り
「自由民権百年第2回全国集会結成準備会案内」自由民権百年全国集会実行委員会委員長遠山茂樹 1984.4.28 B 4
- P 21-23 「『自由民権百年神奈川実行委員会』参加の御要請」自由民権百年神奈川実行委員会準備会 1981.8. 250×600 mm
- P 21-24 アペール「自由民権百年全国集会に結集しよう」自由民権百年全国集会実行委員会 1980.11.22 B 4
- P 21-25 「自由民権百年全国集会」自由民権百年全国集会実行委員会 1981.11 B 4
- P 21-26 「自由民権百年全国集会」自由民権百年全国集会実行委員会 1981.11 B 5
- P 21-27 「自由民権百年の伝統を引きつぐために」自由民権百年神奈川県 実行委員会準備会 1981.8 B 5
- P 21-28 自由民権百年全国集会「声明(案)」自由民権百年神奈川県実行委員会準備会 1981.11.22 A 4
- P 21-29 「自由民権百年全国集会」『神奈川新聞』1981.11 新聞切抜 5枚
- P 21-30-1 「自由民権百年静岡集会」『毎日新聞』静岡版 1981.10.15 B 5コピー
- P 21-30-2 「自由民権百年静岡集会」『静岡新聞』1981.10.11 B 6コピー
- P 21-31-1 「81 東京のまちー民権百年ー」(17) (18) 『新聞紙名不明』多・武・東京版。1981.11.28 新聞切抜
- P 21-31-2 自由民権百年「第2回全国集会参加証」(入場整理券) 自由民権百年全国集会 1981 55×180 mm
- P 21-31-3 自由民権百年第2回全国集会参加証及びカンパ領収書 自由民権百年全国集会実行委員長遠山茂樹 1981 100×158 mm
- P 21-32-1 「自由民権百年第2回全国集会基調報告」(下書)
- P 22-6 「時代区分論ー時代区分の根拠と問題点、三近代・現代の画期」(二近代以前の時代区分 永原慶二) 岩波講座『日本歴史』22別巻1 岩波書店 1963.4 A 5冊子
- P 22-7 「近代史概説」岩波講座『日本歴史』14近代1 岩波書店 1962.5 A 5冊子
- P 22-8 「明治政府の成立」(四編近代国家) A 5冊子
- P 22-9 原稿断片(羽仁五郎歴史編著外集第7巻185頁採録) B 5原稿 3枚
- P 22-10 「日本の思想雑誌『明六雑誌』」『思想』447号 岩波書店 1961.9 A 5冊子
- P 22-11 「明治史の地域史研究」『明治史料』第1巻 明治史料研究連絡会 1959.12 B 5冊子
- P 22-12 「明治初年の外交意識」『横浜市立大学論叢』人文科学系列第13巻2・3合併号 横浜市立大学学術研究会 1962.3 A 5冊子
- P 22-13 「幕末外交と祖法観念」『専修史学』第16巻 専修大学歴史学会 1984.12 A 5冊子
- P 22-14 「図書館とのつきあい50年」『図書館雑誌』第83巻第8号 1989.8 B 5冊子
- P 22-15 「津田博士の天皇制論」『津田左右吉全集』第28巻 月報 岩波書店 1988.12 A 5冊子
- P 22-16 「明治天皇の東北巡幸」『米沢史学』第3号 1987.3 B 5冊子
- P 22-17 「初期議会での田中正造の演説」『田中正造全集』第13巻月報3 岩波書店 1977.8 A 5冊子
- P 22-18 「編集者の一人として」(『近代日本総年表』内容見本) 岩波書店 1968 A 4冊子
- P 22-19 「自分で調べ考える歴史学を」(新入生へ学問のすすめ)『祖国と学問のために』全学連中央執行委員会 1978.4.12 新聞切抜
- P 22-20 「現代日本をにらんでー筋ー最終講義を終えてー」

- 『朝日新聞』 1979.2.4 新聞切抜
- P 22-21 「ローマ史学が残したものの 全集完結によせて」『朝日新聞』 1978.4.10 新聞切抜
- P 22-22 「骨身にしみる悔恨『臆病で平凡な一学生の想出』」『東京大学生新聞』 東京大学新聞社 1952.10.3 新聞
- P 23 著作集補遺(2) A4クリヤーフレイルに一括
- P 23-1 「水戸学の性格」中村孝也編『生活と思想』小学館 1944.8 A4コピー 19枚
- P 23-2 「戦場に赴かせられたことのくやしき」『原平三追悼文集』 1992 A4コピー 5枚
- P 23-3 井上孝治氏葬儀弔辞『誠実な生涯—歴史家の職分』『出版ダイジェスト』1324号 1989.9.25 A4コピー
- P 23-4 追悼西田長寿『明治新聞雑誌文庫の学恩』『みすず』347号 みすず書房 1990.3 A4コピー 2枚
- P 23-5 『あづま』と戦後文化のひとこま』『新宿あづま四十年』 審美社 1987.10 A4コピー 2枚
- P 23-6 「江口朴郎氏葬儀弔辞」『思案する歴史家江口朴郎』青木書店 1991.3.10 A4コピー
- P 23-7 「明治維新研究の社会的責任」『展望』84号 筑摩書房 1965.12 A4コピー 9枚
- P 23-8 「学問と思想と政治」『展望』93号 筑摩書房 1966.9 A4コピー 10枚
- P 23-9 「明治維新をどうとらえるか」『対話・日本の国家を考える』(初出『展望』100号、1967.4、原題「明治評師の視点をもつて—対談特集日本の状況」(上山春平)) 徳間書店 1985.2 A4コピー 17枚
- P 23-10 「高校教育の改訂と女性の問題 娘を持つ親の心配」『子どものしあわせ』福音館書店 1956.5 A4冊子 コピー
- P 24 フレイル表題：明治維新(二) A4クリヤーフレイルに一括
- P 24-1 「独立と近代化の歴史的条件」永井道雄・M=ウルティア編『明治維新』国際連合大学 1986.6 A4コピー 9枚
- P 24-2 「日本近代国家形成の国際的・国内的条件」『全国歴史教育研究協議会紀要』第24集 1988.6 A4コピー 4枚
- P 24-3 「維新の変革と近代的知識人の誕生」『近代日本思想史講座』IV 筑摩書房 1959.9 A4コピー 20枚
- P 24-4 「明六雑誌」『思想』447号 岩波書店 1961.9 A4コピー 7枚
- P 24-5 「文久二年の政治情勢—張紙・投文を中心として」『歴史学研究』第114号 歴史学研究会 1943.10 A4コピー 11枚
- P 24-6 「総論 明治維新史の前提」『明治維新史研究講座』1 平凡社 1958.7 A5冊子
- P 24-7 「総論 天保期～開港直前」『明治維新史研究講座』2 平凡社 1958.8 A5冊子
- P 24-8 「坂本龍馬が活動した時代」『坂本龍馬事典』新人物往来社 1988.4 A4コピー 6枚
- P 24-9 「明治維新における藩の役割」(鹿児島黎明館講演) 1988.10.2 B5原稿 36枚
- P 24-10 「幕末外交と祖法観念」『専修史学』第16号 専修大学歴史学会 1984.12 A5冊子
- P 24-11 「近世民衆心理の一面—「おかげ参り」より「ええじゃないか」へ」『社会園』2—8 青山書院 1948.8 A5冊子 4枚
- P 24-12 「百姓一揆の革命性について」『評論』21号 1947.5 A4コピー 7枚
- P 25 福沢の思想とナショナリズム A4クリヤーフレイルに一括
- P 25-1 「日本国民抵抗の精神—福沢諭吉五十年祭に寄せて—」『世界』620号 岩波書店 1951.2 A5冊子
- P 25-2 「福沢の歴史観」『福沢諭吉選集』付録3 岩波書店 1951.9 B6冊子
- P 25-3 「日清戦争と福沢諭吉」(題目のみ)『福沢研究』6 1951.11 B6
- P 25-4 「維新当時の福沢の思想」三枝博音記念論集『世界史における日本の文化』第一法規出版 1965.7 A5冊子
- P 25-5 「福沢評師の問題点」『福沢諭吉—思想と政治との関連』第Ⅲ章 東京大学出版会 1970 A4コピー
- P 25-6 「福沢諭吉と自由民権運動」(題目のみ)『歴史公論』2—1 1976.1 B6
- P 25-7 「福沢諭吉の『覚書』—その日本人論について—」『三田評論』758号 1976.4 A5冊子
- P 25-8 「福沢諭吉の啓蒙主義と陸羯南の歴史主義」『近代日本における歴史学の発達』上 青木書店 1976.5 A4コピー 6枚
- P 25-9 「福沢諭吉の西郷観」『西郷隆盛全集』月報5 大和書房 1979.7 A4コピー 2枚
- P 25-10 「福沢諭吉と天皇制—丹羽邦男『天皇制国家の特質』を読んで」『神奈川大学評論』第4号 神奈川大学 1988.7 A4コピー 3枚
- P 25-11 「日本近代化と透谷の国民文学論」(題目のみ)『自由民権と現代』筑摩書房 1952 B6
- P 25-12 「福沢諭吉の海外視察と征長建白」『横浜開港資料館紀要』第8号 横浜開港資料館 1990.3.31 B5冊子
- P 25-13 「近代文学形成の歴史的前提—文学と政治の問題—」『文学』17—10 岩波書店 1949.10 A5冊子
- P 25-14 「大学総長の運命—六十年前の帝大総長の演説をめぐって—」『日本評論』25巻9号 日本評論社 1950.9 A5冊子
- P 25-15 「二つのナショナリズムの対抗—その歴史的考察—」『中央公論』66—6 中央公論社 1951.6 A5冊子
- P 25-16 「日本のナショナリズム」大会報告『歴史学研究 歴史における民族の問題』歴史学研究会 1951.12
- P 25-17 「国民的伝統の評価について」『思想』445号 岩波書店 1961.7 A5冊子
- P 25-18 「孫文と日本その関係のへだたり」岩村三千夫編『現代中国と孫文思想』講談社 1967.2 A4コピー 3枚
- P 25-19 「近代史—階級と民族の解明を主として」『講座歴史』第2巻 大月書店 1995.1 A4コピー 31枚
- P 25-20 「歴史における大衆」岩波講座『現代思想』II 岩波書店 1956.12 A4コピー 13枚
- P 25-21 「変革の主体と民族の問題」岩波講座『日本歴史』22別巻1 岩波書店 1977.3 A5冊子
- P 26 表題なし A4クリヤーフレイルに一括
- P 26-1 「近代史概説」岩波講座『日本歴史』14近代1 岩波書店 1962.5 A5冊子
- P 26-2 「自由民権運動における土族的要素」『歴史評論』6号 1947.5 A4コピー 6枚
- P 26-3 「自由民権運動と大陸問題」(表題のみ)『世界』54号(『自由民権と現代』筑摩書房に再録) 岩波書店 1950.6 B6
- P 26-4 「明治前期政党的性格」『社会学評論』2—1 1951.5 A5冊子
- P 26-5 「征韓論・自由民権論・封建論」(表題のみ)『自由民権と現代』筑摩書房 B5
- P 26-6 「失われた自由の思想」『世界』98号 岩波書店 1954.2 A5冊子
- P 26-7 「解説『自由党史』」坂垣退助監修『自由党史』下 岩波書店 1958.5.18 A4コピー 12枚
- P 26-8 「革命」概念について」『茨城県史料』付録11 茨城県 1974.1 A5冊子
- P 26-9 「自由民権家の演説」(1989.4.20 山本安英の会「ことばの勉強会」での報告)『遠山茂樹著作集』第3巻

- 岩波書店 1991.12.6 B 5 原稿 50 枚
- P 26-10 「兆民の思想の魅力」 山本安英の会編『素顔』新刊号 1977.12 A 5 冊子
- P 26-11 「自由民権思想と現代」『世界』398 号 岩波書店 1979.1 A 4 コピー 6 枚
- P 26-12 「スペンサーの『説書二つ』(表題のみ)『自由民権と現代』(初出『横浜市立大学論叢』人文科学系第 30 巻 2・3 合併号、1979) 筑摩書房 1985.9 B 6
- P 26-13 「自由民権思想と共和制」『明治国家の権力と思想』吉川弘文館 1979.11 A 5 冊子
- P 26-14 『集会条例と自由党の解党』(表題のみ)『自由民権と現代』筑摩書房 1985.9 B 6
- P 26-15 「三大事件建白運動論』(表題のみ)『自由民権と現代』(初出『静岡県近代史研究』第 11 号、静岡県近代史研究会、1985) 筑摩書房 1985.9 B 6
- P 26-16 「自由民権運動の歴史的意義」『房総史学』28 号 千葉県高等学校教育研究会 1988.3 A 4 コピー 7 枚
- P 27 表題なし A 4 クリナーフレイブルに一括
- P 27-1 「民法典論争の政治史的考察」『法学志林』49 巻 1 号 法政大学法学部法志林協会 1951.8 A 5 冊子
- P 27-2 「初期議会での田中正造の演説」『田中正造全集』月報 13 号 岩波書店 1977.8 B 6 冊子
- P 27-3 「田中正造における『政治』と『人道』」『貿易と経済』109 号 横浜市立大学経済研究所 1973.3.25 B 5 冊子
- P 27-4 「自由民権運動と小野梓—馬場民権との比較」『早稲田大学史紀要』第 19 巻 早稲田大学史編集所 1987.3 A 5 冊子
- P 27-5 「『廿世紀之怪物帝国主義』私見」『幸徳秋水全集』第 2 巻付録 明治文獻 1970.10 A 4 コピー
- P 27-6 「日本近代史における沖繩の位置」『歴史学研究』第 382 号 歴史学研究会 1972.3 B 5 冊子
- P 27-7 「明治憲法下の地方議会選挙」『専修大学法学研究所紀要』第 9 号 専修大学法学研究所 1984.3 A 5 冊子
- P 27-8 「陸羯南の外交論—とくに日清戦争の時期を中心として」『横浜市立大学論叢』第 24 巻 人文科学系第 2・3 合併号 横浜市立大学学術研究会 1973.4 A 5 冊子
- P 27-9 「『三酔人経綸問答』の歴史的背景」『中江兆民の世界』筑摩書房 1977.12 A 4 冊子
- P 28 1995 年～96 年(1) B 5 クリナーフレイブルに一括
- P 28-1 「『民族』の大会論議を再考する」『歴史学研究月報』425 号 歴史学研究会 1995.5 A 5 冊子
- P 28-2 「『資本論』の方法と歴史学」『歴史評論』349 号 1979.5 A 5 冊子
- P 28-3 「1950 年代の意義」季刊『人間と教育』5 号 1995.3 A 4 冊子
- P 28-4 対談「歴史家の足跡と地方自治考 第二部 自由民権運動の地方自治論」(聞き手北川隆吉)『月刊東京』155 号 東京自治問題研究所 1996.1 B 5 原本、A 4 拡大コピー 各 1
- P 28-5 「戦後 50 年日本人は何を考えたか」(取材インタビュー聞き手井上喜久子の封書有り(録音テープ送付の件))『毎日新聞』1995.9.17 封書、新聞切抜 各 1
- P 28-6 「時代との対話論争 50 年 昭和史」(上)(中)(下)『読売新聞』夕刊関西版 1995.9.12～9.14 新聞切抜、A 4 コピー 各 1
- P 28-7 「大久保利謙さんと教科書訴訟」『教科書検定訴訟を支援する歴史学関係者の会ニュース』No.179 1996.3.27 B 4
- P 28-8 「六〇年代の社会的責任論」『歴史評論』544 号 1995.8 A 4 コピー
- P 28-9 「フレンジム批判の『技術論』」こぶし文庫『場』1 号 こぶし書房 1995.4.20 A 6 冊子
- P 28-10 「『明治維新』同時代ライブラリー版について」『明治維新』同時代ライブラリー版 岩波書店 1995.1 A 4 コピー 5 枚
- P 28-11 「1950 年代の意義」季刊『人間と教育』5 号 1995.3 A 4 コピー
- P 28-12 「遠山茂樹先生インタビュー「このごろ考えること」」横浜市立大学日本史専攻卒業生の会『会報』3 号 1994.3.13 A 4 コピー 9 枚
- P 28-13 「大久保利謙さんと教科書訴訟」『教科書検定訴訟を支援する歴史学関係者の会ニュース』No.179 1996.3.27 B 4
- P 28-14 「津田博士の天皇制論」『津田左右吉全集(第二次)』第 28 巻月報 岩波書店 1988.12 B 5 冊子
- P 28-15 「桑原さんの民族文化論批判について」岩波講座『教育』月報 5 岩波書店 1952.10 A 5 冊子
- P 28-16 「日本歴史学協会と広島史学研究会」『歴史学研究月報』48 号 歴史学研究会 1963.12.15 A 5 冊子
- P 28-17 「現代と民主主義」『岡山県歴史文化フックレット』No. 1 1985.5.25 A 5 冊子
- P 28-18 「歴教協の志を学びとろう」復刻『歴史地理教育』宣伝文 1984.9 切抜
- P 28-19 「地域の歴史を知ることの面白さ」『神奈川県史』宣伝文 切抜
- P 29 表題なし A 4 クリナーフレイブルに一括
- P 29-1 「天皇について歴史家として思うこと」『東京』74 号 東京自治問題研究所 1989.2 B 5 冊子
- P 29-2 「君が代」と天皇制 『国民文化』216 号 1977.11.1 B 5 冊子
- P 29-3 座談会「自由民権運動をめぐる」『復刻東雲新聞』4 付録 1976.7 B 5 冊子
- P 29-4 「明治百年祭」と学問・教育 『歴史評論』222 号
- P 29-5 「歴史学と歴史教育—課題と展望—」第 50 回近代史教育研究会講演レジュメ 1989.9.30 B 4 冊子
- P 29-6 「明治維新史」第 1 分冊、第 2 分冊(昭和 25 年度特別講義の講義録、学生作成) 東京大学生協発行 1950 B 5 冊子 2 冊
- P 29-7 「明治維新の意義とその歴史学習」新潟県社会科学研究所 発行報告 1979.3.15 B 5 冊子
- P 29-8 「近代史・現代史の立場から」日本学術会議学問・思想の自由委員会主催『いわゆる建国記念に関するシンポジウム』1960.4.27 B 5 冊子
- P 29-9 基礎学力、大学自治、研究の自由、教育の自由のメモ書き B 5 3 枚
- P 29-10 「『民族』の大会論議を再考する」『歴史学研究月報』425 号 歴史学研究会 1995.5 A 5 冊子
- P 29-11 「歴史学の方法論について」『図書評論』1 号 読書文化研究会 1948.1.1 B 6 冊子
- P 29-12 「『紀元節』反対運動 20 年の意味」『国民文化』1976.4.1 B 4 冊子
- P 29-13 「1930 年代と社会科学」『歴史評論』397 号 歴史科学協議会 1983.8 B 5 冊子
- P 29-14 「田中正造における『政治』と『人道』」『経済と貿易』109 号 横浜市立大学経済研究所 1973.3.25 B 5 冊子
- P 29-15 「五・一五事件の経緯とその意義」『今村謙記論叢』第 7 巻 専修大学今村法律研究所 1983.2.25 A 5 冊子
- P 29-16 「天皇制と日本近代」『日本史研究』177 号 日本史研究会 1977.5 A 5 冊子
- P 29-17 「戦後歴史学と東アジアの視点」『日本史研究』94 号 日本史研究会 1967.11 A 5 冊子
- P 29-18 「変革の主体と民族の問題」岩波講座『日本歴史』22 別巻 1 岩波書店 1977.3 A 5 冊子

P 30 幸徳秋水・福沢諭吉ほか A4クリアーナールに一括
P 30-1 『廿世紀之怪物帝國主義』私見 『幸徳秋水全集』第2巻付録 明治文獻 1970.10 B 6冊子
P 30-2 「維新当時の福沢の思想」『世界史における日本の文化』第一法規出版 1965.7 A 5冊子
P 30-3 『防長回天史』の信頼性』山口県史の窓』史料編纂未編集1 2002.6 A 5冊子
P 30-4 「この三二年間の歴史が立証するもの」(全国連代表委員からお願い) 1996 夏 B 4
P 30-5 「運動の成果を確信をもって語り合ひましょう」教科書検定訴訟を支援する全国連絡会 B 4
P 30-6 「近代天皇制の成立」遠山茂樹さんを迎えて」『抱機舎から』第14号 抱機舎公開学習会運営委員会 1988.4.10 タブロイド版
P 30-7 「福沢諭吉の海外視察と征長建白」『横浜開港資料館紀要』8号 横浜開港資料館 1990.3 B 5冊子
P 30-8 「歴史研究と掘り起こし」『自由民権百年の記録』三省堂 1982.6.21 A4初校 4枚
P 30-9 「自由民権百年」(第1回全国集会基調報告) 1982.8.21 A4初校 4枚
P 30-10-1 「明治維新」『平凡社社会科辞典』平凡社 B 5切抜 2枚
P 30-10-2 「尊皇攘夷思想とナショナリズム」『尊攘思想と絶対主義』白日書院 1948.5 B 6冊子
P 30-11 田中正造書翰写真 130×180 mm
P 30-12 序文「近代史研究全体にとつての基礎史料」『日本近代教育史料大系』龍溪書舎 B4コピー 2枚
P 30-13 序文「ねばり強い思考過程の味読を」『福沢諭吉著作選集』A4コピー 3枚
P 30-14 「革命」(総合公開講座広告) 『文化学院新聞』1971.5 B 4

P 30-15 『地方巡幸史料集成』推薦文』 1996.10 B 5
P 30-16 『岩倉具視関係史料』推薦文』 B 4
P 30-17 「内村鑑三に心うたれたる理由」『内村鑑三著作集』第1巻月報 岩波書店 1953.4 B 6切抜 2枚
P 30-18 「娼妓利用論と廃娼論」『植木枝盛集』第7巻月報 岩波書店 1990.2 B 6冊子
P 30-19 「護国派理論への批判—明治維新史研究の再検討」『一橋新聞』一橋新聞部 1956.4.20 新聞切抜
P 31 著作集補遺(三) 附年譜著作目録 A4クリアーナールに一括
P 31-1 書評「平野義太郎『ブルジョア民主主義革命』」『歴史学研究』第136号 歴史学研究会 1948.11 A4コピー 5枚
P 31-2 「解説『飯塚浩二著作集』」『飯塚浩二著作集』第9巻 平凡社 1975.12 A 5冊子
P 31-3 「歴史学は科学たりうるか」高橋鑑一監修『歴史学入門』合同出版 1981.3 A4コピー 12枚
P 31-4 「年譜」『遠山茂樹著作集』第9巻 岩波書店 1992.8.6 A4コピー 2枚
P 31-5 「遠山茂樹著作集著作目録」『遠山茂樹著作集』第9巻 岩波書店 1992.6 A4コピー 19枚
P 32 天皇制と帝國主義(二) A4クリアーナールに一括
P 32-1 「占領制度と『吉田』政府」(表題のみ)『日本資本主義講座』第10巻 岩波書店 1955.2
P 32-2 「敗戦の歴史をどううけとめるか」『世界』116号 岩波書店 1955.8 A 5冊子
P 32-3 「日本支配層の政治意識」『改造』34—3 改造社 1953.3 A 5冊子
P 32-4 「十七年史から学ぶもの」『世界』200号 岩波書店 1962.8 A 5冊子
P 32-5 「立ちかえるべき戦争責任—1950年前後の国際情勢認識—」『世界』311号 岩波書店 1971.10 A 5冊子
P 32-6 「現代日本の歴史的課題—同時代史の認識の方法について—」『転換期の世界』三省堂 1978.5 A 4冊子
P 32-7 特別講演「現代史について考えること」『看護実践の科学』1986.12 A4コピー 9枚
P 32-8 「戦後史をどう受けとめるか—憲法問題をとおして—」『世界』128号 岩波書店 1956.8 A 5冊子
P 32-9 「戦後諸特徴の起点」歴史学研究会編『戦後日本史1』青木書店 1961.11 A4コピー 6枚
P 32-10 「原水禁運動をめぐって」(総合部会報告：戦後平和運動の歴史)『歴史学研究』第297号 歴史学研究会 1965.2 B 5冊子
P 32-11 「近代天皇制の成立過程(1)(2)」『図書』270・271 岩波書店 A4コピー 15枚
P 33 表題なし A4クリアーナールに一括
P 33-1 「新日本史 なぜ幕府は倒れたのか」『少国民新聞』279～298号 1947.5.23～6.19 新聞切抜 20枚
P 33-2 「歴史物語 利根川の人柱」『少国民新聞』1947.10.8 新聞切抜
P 33-3-1 「新しい方向と課題—羽仁、石母田、藤間氏を繞って—」『三田新聞』1947.2.25 新聞切抜
P 33-3-2 「絶対主義形成論」『早稲田大学新聞』1947.10.11 新聞切抜
P 33-3-3 「歴史は歴史家の専売品ではない」『東京大学新聞』1947.11.13 新聞切抜
P 33-3-4 「ヒューマニズムを見失った歴史家—津田博士の方法論的限界」『東京大学新聞』1947.12.4 新聞切抜
P 33-3-5 「私達も平和の為に闘いの歴史を持っている」『日本女子大学新聞』1949.5.20 新聞切抜
P 33-3-6 「天皇制—現代社会解明の焦点」『東京大学学生新聞』1949.9.15 新聞切抜

- 訴訟を支援する歴史学関係者の会』ニューズ121号
1986.4.8 B4 2枚
- P 33-20 「“新聞の父” 貴重な足跡—初の邦字紙発刊—」『東京タイムズ』1985.3.4 新聞切抜
- P 33-21 「自由民権思想と現代」(上)(下) 『沖繩タイムズ』1978.11.14, 15 新聞切抜
- P 33-22 「自由民権思想と現代」(上)(下) 『琉球新報』1978.11.1, 2 新聞切抜
- P 33-23 「六十年の研究成果をもちこんだ論争の書、石井孝著『明治維新と自由民権』を読んで」『有隣』317号
有隣堂 1994.4.10 タブレット版
- P 33-24 「娼妓利用論と廃娼論」(校正原稿付) 『植木枝盛集』第7巻月報2 岩波書店 1990.2 B6冊子
- P 33-25 「国政と地域政治—横浜市の場合—」『茨城県史料IV』付録25 茨城県立歴史館 1990.3 A5冊子
- P 33-26 資料『横浜開港事情』(横浜開港関係年表) B5冊子
- P 33-27 「ジョセフ彦と横浜の新聞展」『ジョセフ彦記念会誌』第19号 ジョセフ彦記念会 1986.6.28 B5冊子
- P 33-28 「横浜開港を主催した有能な幕府役人岩瀬忠震の文書—俊英の面目示す—」1981.6.4 B4コピー
- P 33-29 「資料の充実目指す」1981.4.27 B4コピー
- P 33-30 「『文明開化、かき目で』(横浜開港資料館開館に関する記事) 『神奈川新聞』1981.4.3 新聞切抜
- P 33-31 「情報検索と大学図書館員への期待」(昭和55年度公立大学図書館協議会図書館職員研修会の講演フクロイソ) 1980 B4コピー
- P 33-32 「歴史を生きる若い人々における」(ぶどうの会第9回勉強会) 『風浪』 B5冊子
- P 34 歴史教育論 A4クリアータラールに一括
- P 34-1 「歴史教育の基本」『生活教育』15-4 1983.3 A5冊子
- P 34-2 「歴史と現代—1970年代への展望—」『歴史地理教育』160号 歴史教育者協議会 1969.10 A5冊子
- P 34-3 「日本民族の課題と教育」『生活教育』206号 1966.1 A5冊子
- P 34-4 「第7次教研集が残した課題」『歴史地理教育』33号 歴史教育者協議会 1958.4 A5冊子
- P 34-5 「歴史学の立場から先生がたにのぞむこと」『歴史地理教育』32号 歴史教育者協議会 1958.3 A5冊子
- P 34-6 「指導要領批判の視角」『歴史地理教育』47号 歴史教育者協議会 1959.11 A5冊子
- P 34-7 「教科書問題を中心とした歴史研究と歴史教育のあり方について」『歴史科学』7号 歴史科学協会 1965.9.10 A5冊子
- P 34-8 「歴史学と歴史教育との関係」『教育』23—2 教育学研究会 1973.2 A5冊子
- P 34-9 「科学的社会認識の基礎—それを育てる教材をめぐって—」『歴史地理教育』96号 歴史教育者協議会 1964.5 A5冊子
- P 34-10 「教師のための歴史学—正しい日本史の読み方」『教育』15号 教育学研究会 1953.1 A5冊子
- P 34-11 「歴史学習の中での位置づけ」『教育』194号 教育学研究会 1966.3 A5冊子
- P 34-12 「社会科学構想—プログランの検討—その問題点—」『生活教育』14—5 1962.5 A5冊子
- P 34-13 『『明治百年祭』と学問・教育』『歴史評論』222号 歴史科学協議会 1969.2 A5冊子
- P 34-14 「歴史教育における人物の取扱」人物叢書20 『幸徳秋水』付録 吉川弘文館 1959.3 A6冊子
- P 34-15 「神奈川の歴史像」『神奈川県史だより』通史編4近代・現代(1) 神奈川県県民部県史編集室 1980.3 A5冊子
- P 34-16 『遠山茂樹著作集』(仮) 著作集ブロー一覧 A4 15枚
- P 35 歴史教育論 A4クリアータラールに一括
- P 35-1 「2砂川問題をどう教え、扱っていかねばよいか 3扱いはくい現代の歴史」(討議遠山茂樹 久坂義長、小山幸昌(東京)、鈴木良一(神奈川) 他) A4コピー 4枚
- P 35-2 「歴史認識を破壊する高津判決」『教育』307号 教育学研究会 1974.9 A5冊子
- P 35-3 「歴史教育における「実感」」『社会科学研究』2—4 小学館 1957.7 A5冊子
- P 35-4 「歴史叙述と歴史意識」社会科学教育大系第3巻『歴史教育の課題』三—書房 1963.1 A5冊子
- P 35-5 「近代史学習の目標」『歴史地理教育』118号 歴史教育者協議会 1966.3 A5冊子
- P 35-6 「現代史の学び方、教え方」『歴史地理教育』24号 歴史教育者協議会 1957.1 A5冊子
- P 35-7 「歴史教科書の実践的批判検討のために—中学校歴史教科書を中心に歴史の見方の科学性を追求する—」『歴史地理教育』100号 歴史教育者協議会 1964.9 A5冊子
- P 35-8 「歴史教育における研究者の責任—歴史教育の問題点—自由民権運動」『歴史評論』101号 歴史科学協議会 1959.1 A5冊子
- P 35-9 「自主教研の歴史に自信と誇りを」『教育評論』184号 1966.4 B5冊子
- P 35-10 「歴史教育の前進のために」『歴史地理教育』107号 歴史教育者協議会 1965.4 A5冊子
- P 35-11 「小学校社会科学教育の系統性」『歴史地理教育』62号 歴史教育者協議会 1961.6 A5冊子
- P 35-12 「憲法判断回避は憲法改悪につながる」『教科書検定訴訟を支援する歴史学関係者の会—ニューズ』61号 教科書検定訴訟を支援する歴史学関係者の会 1976.1.25 タブレット版
- P 34-3 160号 歴史教育者協議会 1969.10 A5冊子
- P 34-4 「第7次教研集が残した課題」『歴史地理教育』33号 歴史教育者協議会 1958.4 A5冊子
- P 34-5 「歴史学の立場から先生がたにのぞむこと」『歴史地理教育』32号 歴史教育者協議会 1958.3 A5冊子
- P 34-6 「指導要領批判の視角」『歴史地理教育』47号 歴史教育者協議会 1959.11 A5冊子
- P 34-7 「教科書問題を中心とした歴史研究と歴史教育のあり方について」『歴史科学』7号 歴史科学協会 1965.9.10 A5冊子
- P 34-8 「歴史学と歴史教育との関係」『教育』23—2 教育学研究会 1973.2 A5冊子
- P 34-9 「科学的社会認識の基礎—それを育てる教材をめぐって—」『歴史地理教育』96号 歴史教育者協議会 1964.5 A5冊子
- P 34-10 「教師のための歴史学—正しい日本史の読み方」『教育』15号 教育学研究会 1953.1 A5冊子
- P 34-11 「歴史学習の中での位置づけ」『教育』194号 教育学研究会 1966.3 A5冊子
- P 34-12 「社会科学構想—プログランの検討—その問題点—」『生活教育』14—5 1962.5 A5冊子
- P 34-13 『『明治百年祭』と学問・教育』『歴史評論』222号 歴史科学協議会 1969.2 A5冊子
- P 34-14 「歴史教育における人物の取扱」人物叢書20 『幸徳秋水』付録 吉川弘文館 1959.3 A6冊子
- P 34-15 「神奈川の歴史像」『神奈川県史だより』通史編4近代・現代(1) 神奈川県県民部県史編集室 1980.3 A5冊子
- P 34-16 『遠山茂樹著作集』(仮) 著作集ブロー一覧 A4 15枚
- P 35-13 「歴史教育と歴史認識—安定した歴史学習をめざして—」『北海道歴史教室』128号 北海道歴史教育者協議会 1978.12 B5冊子
- P 35-14 「紀元節と日本の教育」『作文と教育』19—2 1968.2 A5冊子
- P 35-15 書評「戦後教育改革の自主性と限界—山住正己・堀尾輝久著『教育理念』」『季刊教育法』20号 1976.7 B5冊子
- P 35-16 「元号法制化に反対する教科書執筆者の声明」(中欠)『歴史学研究月報』234号 歴史学研究会 1979.6 A5冊子
- P 36 著作集第9巻資料(前衛) 封筒に一括
- P 36-1 志賀義雄「三・一五記念日にさいして」『前衛』日本共産党中央委員会 1956.5 A4コピー 7枚
- P 36-2 関幸夫「遠山茂樹氏の『常軌的批判』にこたえる」『前衛』日本共産党中央委員会 1962.11 A4コピー 7枚
- P 36-3 家永三郎「教育勅語成立の思想的考察」家永三郎著『日本思想史の諸問題』斎藤書店 1948.4 A4コピー 14枚
- P 37-1 横浜市立大学文理学部編「著作・論文目録」(昭和43年6月末現在) 横浜市立大学学術研究会 1969.5.31 A5冊子
- P 37-2 阿津坂林太郎編「遠山茂樹教授著作目録」(編)《1938年～1978年》『横浜市立大学論叢』人文科学系列第30巻II・III合併号 横浜市立大学学術研究会 1979.8 A5冊子
- P 37-3 「著作集総目次」 B5フレイブル
- P 38 遠山茂樹教授横浜市立大学最終講義『関口泰の大学論』卒業生作成冊子ガリ印刷 1979.1.23 B4 23枚
- P 39 遠山先生の喜寿を祝う会(卒業生名簿、出席者・欠席者の近況報告) 1990.9.23 B4 19枚
- P 40 表題なし フレイブルに一括

- P 40-1 横浜市功労者表彰状 横浜市長細郷道一 1980.6.2 A 3
P 40-2 学会出席旅行日程表他 (モスクワ・レニングラード) 日本交通公社他 1969.8.4～9.4 A 4 4枚
P 41 表題なし (遠山茂樹先生訃報関係) 封筒に一括
P 41-1 遠山重子宛『赤旗』記者神田晴雄封書 (遠山茂樹先生逝去お悔やみと訃報掲載の新聞同封のお知らせ) 2011.10.2
P 41-2 訃報『朝日新聞』2011.9.10 新聞切抜
P 41-3 訃報『しんぶん赤旗』2011.9.10 新聞切抜
P 41-4 追悼記事『毎日新聞』2011.10.2 新聞切抜
P 41-5 追悼記事『毎日新聞』2011.9.27 新聞切抜
P 42 表題なし B 5 フラワーフレームに一括
P 42-1 「遠山茂樹著作集総目次」A 5 コピー フラーム一括 18枚
P 42-2 「著作集(案) そのほか」1989.1.3 A 4 など 11枚
P 42-3 著作集目次(巻別案) 1989.12.18 A 4・12枚、B 5・7枚
P 42-4 「明治政治史」B 4 3枚
P 42-5 原稿一覧 A 5 13枚
P 42-6 論文・著作一覧(1979～1989) A 5 15枚
P 42-7 「遠山茂樹著作集」内容案内 岩波書店 1991.9 5リーフレット
P 43-1 遠山茂樹さんの『日本近代史I』出版を祝い励ます会 A 4
P 43-2 「遠山さんの出版を祝い励ます会」芳名帳 神田一橋学士会館 1975.5.23 A 4 変形冊子
P 44-1 阿津坂林太郎編「遠山茂樹教授著作目録(稿) (1938～1978年)」『横浜市立大学論叢人文科学系系列第30巻II・III合併号 横浜市立大学学術研究会 1979.8 A 5 冊子
P 44-2 阿津坂林太郎封書(「著作目録稿」送付と近況報告) 1979.10.15

- P 45-1 藤森封書(札状)『朝日新聞』連載記事「新聞と戦争」に『経済』1981年9月号座談会での遠山茂樹発言引用) 2007.11.13
P 45-2 「「新聞と戦争」販売の前線⑦」『朝日新聞』夕刊 2007.11.13 新聞
P 45-3 「「新聞と戦争」政経記者たち①」『朝日新聞』夕刊 2007.11.19 新聞
P 46 住居録(フイウエオ順) B 5 変型アドレス帳
P 47 表題なし(年賀状、挨拶文など) B 5 クリスマスフレームに一括
P 47-1 寒中見舞い原本 1964.1 はがき
P 47-2 『日本近代史I』出版祝いの札状原本 1975.6 封書
P 47-3 年賀状原本 1979 はがき
P 47-4 年賀状原本 1980 はがき
P 47-5 年賀状原本 1981 はがき
P 47-6 年賀状原本 1982 はがき
P 47-7 年賀状原本 1984 はがき
P 47-8 年賀状原本 1988 はがき
P 47-9 年賀状原本 1989 はがき
P 47-10 阿部征寛宛遠山茂樹年賀状(宛先不明で戻り) 1989 はがき
P 47-11 年賀状原本 1987 はがき
P 47-12 横浜市立大学退職と専修大学就任の挨拶状原本 1979.4 はがき
P 47-13 島谷ゆり子宛遠山茂樹はがき(未投函、横浜開港資料館退職の知らせ) 1986.10 はがき
P 47-14 原田勝正宛遠山茂樹年賀状(未投函) 1988 はがき
P 47-15 年賀状 1989 はがき
P 47-16 寒中見舞 1994.1 はがき
P 47-17 年賀状下書 1988 B 5 原稿用紙 2枚
P 47-18 寒中見舞 1993.1 はがき

- P 47-19 寒中見舞原稿 はがき
P 47-20 自由民権百年の運動関係論文の送付の挨拶状 B 6
P 47-21 退院の連絡原稿 はがきサイズ
P 47-22 寒中見舞い原稿 B 4 原稿用紙
P 47-23 病院に対する札状 はがきサイズ
P 47-24 遠山恭子直子素子宛遠山茂樹はがき(別府旅行報告) 1958.1.24 はがき
P 47-25 遠山恭子直子素子宛遠山茂樹はがき(長崎旅行報告) 9月19日 はがき
P 47-26 遠山重子宛遠山茂樹はがき(高知旅行報告) 1959.1.19 はがき
P 47-27 国史昭九会通知(会計報告と諸連絡事項、集合写真あり) 1984.8.1 B 4
P 47-28 谷沢美香年賀状 1951 はがき
P 47-29 谷沢美香はがき(近況報告) 1979.7.14 はがき
P 47-30 服部之總没後三十年記念の集い 1986.2.20 B 5
P 47-31 第3回なご市民大学講座へのご案内 10月8日 B 5
P 47-32 横浜市立大学公開講座開設 7月25日～8月8日 B 5
P 47-33 I.Latyshev P.Topcha 連名年賀状 封書
P 48 表題なし B 5 クリスマスフレームに一括
P 48-1 「歴史科学協議会の20年」略年表 B 4 3枚
P 48-2 故羽仁説子さんをしのぶつどい(式次第、羽仁説子略年表、羽仁説子未発表原稿「夢二さんのおもいで」 1987.8.28 B 4 二折り)
P 48-3 「雑司ヶ谷霊園埋葬者著名人一覧」B 4
P 48-4 内田四方蔵「郷土史誌展望 都市史研究など提唱 五周年座談会『横浜開港資料館紀要』5号」『神奈川新聞』1987.11.19 新聞切抜
P 48-5 「小野梓先生没後百年記念講演会・展示会(ペンフレット)」早稲田大学 1986.10 A 5 冊子
P 48-6 「余録」(フランス革命にちなんで)『毎日新聞』

- P 48-7 「解けるソベリテ凍土5 日共同温暖化調査から」『朝日新聞』1992.8.24 新聞切抜
P 48-8 「第3次家永教科書訴訟 原告一部勝訴「南京大虐殺」など検定違法」『毎日新聞』1993.10.20 新聞切抜
P 48-9 「第3次家永教科書訴訟 東京高裁の判決理由(要旨)」『朝日新聞』1993.10.20 新聞切抜
P 48-10 「第3次家永教科書訴訟 東京高裁判決理由要旨」『毎日新聞』1993.10.21 新聞切抜
P 48-11 社説「家永判決 近現代史の事実確定を望む」『毎日新聞』1993.10.21 新聞切抜
P 48-12 「行き過ぎを戒めた教科書判決」『読売新聞』1993.10.21 新聞切抜
P 48-13 社説「批判された「八十年代検定」『朝日新聞』1993.10.21 新聞切抜
P 48-14 主張「侵略戦争肯定からぬげだせない細川内閣」『赤旗』1993.10.21 新聞切抜
P 48-15 「家永教科書訴訟「第三次」あす控訴審判決 日中戦争記述など検定意見の適否争点」『朝日新聞』1993.10.19 新聞切抜
P 48-16 「戦争記述の判断焦点に 第3次家永教科書訴訟 裁量権の範囲がカギ」『毎日新聞』1993.10.17 新聞切抜
P 48-17-1 「戦争犠牲者2千万人の山花発言 教科書行政にも波紋」『読売新聞』1993.10.17 新聞切抜
P 48-17-2 「東京高裁判決は10月20日午前10時」教科書検定訴訟を支援する全国連絡会 1993 B 5
P 48-18 「天皇制と日本近代」『日本史研究』177号 1977.5 A 4 コピー 10枚
P 48-19 稲田雅洋著『民衆運動史研究の新しい流れ—因民党研究会9年の活動を終えて—』『毎日新聞』1994.4.27 新聞切抜

- P 48-20 岩波の文化講演会スケジュール 那覇市民会館
1978.10.26 B 5冊子
- P 48-21-1 「第44回の横浜文化賞・奨励賞6人1団体の受賞決まる」『神奈川新聞』1995.10.10 B 5コピー
- P 48-21-2 「横浜文化賞など贈呈式」『神奈川新聞』1995.11.2 新聞切抜
- P 48-22 「横浜文化に寄与の6人1団体表彰」『東京新聞』1995.10.10 新聞切抜
- P 48-23 「6人1団体の受賞決まる 第44回の横浜文化賞・奨励賞」『神奈川新聞』1995.10.10 新聞切抜
- P 49 表題なし B 5フレイルに一括
- P 49-1 家永三郎著「15年戦争とバベル判決書」『みすず』102号 1967.11 A 5冊子
- P 49-2 辻達也封書(近況及び『専修人文研年報』抜刷送付について) 2000.4.11
- P 49-3 岩波書店植木枝盛集編集部沢正始封書(『植木枝盛集』月報執筆に伴う資料送付) 1989.11.7
- P 49-4 今井清一「成都基地のB 29の対日爆撃とその環境」『近きに在りて』第37号 2000.6 B 5冊子
- P 50 表題なし B 5フレイルに一括
- P 50-1 「近代日本思想史史料(仮) 目次」12月8日 B 4コピー 4枚
- P 50-2 「史料日本近代思想(仮)」(テーマ編成) 1984.2.29 B 4コピー 7枚
- P 50-3 「近代日本の国家構想(第一次案)」1983.10.29 B 4コピー 3枚
- P 50-4 「天皇と華族」(記述内容要旨) 1983.10.29 B 4コピー 4枚
- P 50-5 「経済構想」(記述内容要旨) 1983.10.29 B 4コピー 2枚
- P 50-6 「民衆運動」(記述内容要旨) B 4コピー 2枚
- P 50-7 「文体の思想」(仮称)の狙い」 B 4コピー 3枚
- P 50-8 「1開国～11官僚」(目次、記述要旨) 1983.7.12 B 4コピー 9枚
- P 51 書評他 B 5フレイルに一括
- P 51-1 信夫清三郎書評「『昭和史』 “現在”を理解する道標」『中部日本新聞』1955.11 新聞切抜
- P 51-2 小野義彦書評「主観主義の維新史観遠山氏『明治維新』への批判」『早稲田大学新聞』1952.1 新聞
- P 51-3 安川寿之輔書評「福沢諭吉」『福沢惚れ』を克服―国独立論の現代的評価に疑問『日本読書新聞』1971.3 新聞
- P 51-4 相田重夫書評「『明治維新』明治維新研究の新展開絶対主義による改革」『図書新聞』1956.6 新聞
- P 51-5 信夫清三郎書評「『昭和史』『中日新聞』1955.11 新聞切抜
- P 51-6 浅田光輝書評「『明治維新』新しい視点『階級化』―遠山氏と丸山氏の場合―」『東京大学学生新聞』1951.6 新聞
- P 51-7 猪飼隆明「自由民権百年顕彰運動の五年」『赤旗』1985.11 新聞切抜
- P 51-8 「竹橋事件遺族会結成」『朝日新聞』1985.10 新聞切抜
- P 51-9 大江志乃夫書評「『日本近代史1』豊かな研究の成果集約」『赤旗』1975.6 新聞切抜
- P 51-10 書評「『自由民権と現代』未来問い色あせぬ視点」『朝日新聞』1985.12 新聞切抜
- P 51-11 成田龍一「史学史のゆらぎ」『本郷』No.3 1995.7 A 4コピー 2枚
- P 51-12 猪飼隆明書評「『自由民権と現代』抵抗精神の高い形態」『赤旗』1985.10 新聞切抜
- P 51-13 鶴飼政志書評「『戦後の歴史学と歴史意識』戦後の歴史学を考える文献紹介」『歴史評論』542号 1995.6 A 4コピー 5枚
- P 51-14 植手通有書評「『自由民権と現代』旺盛で真摯な研究姿勢」『週刊読書人』1985.12 切抜
- P 51-15 松島栄一「遠山茂樹さんとともに歩いた道」『遠山茂樹著作集』月報9 岩波書店 1992.8 A 5冊子
- P 51-16 「資本主義と平等」『京浜歴史研究会報』114号 京浜歴史科学協議会 1993.12 A 4コピー
- P 51-17 田村貞雄書評「『遠山茂樹著作集』わか青春の遠山茂樹」『歴史地理教育』515号 歴史教育者協議会 1994.3 A 4コピー
- P 51-18 船津功書評「『遠山茂樹著作集』」『歴史学研究』第654号 歴史学研究会 1994.1 B 5冊子
- P 52 表題なし B 5フレイルに一括
- P 52-1 「天皇について歴史家として思うこと」A 4原稿 8枚
- P 52-2-1 「戦後40年に考える 歴史学者や市民が集い」『赤旗』1985.12.7 新聞切抜
- P 52-2-2 「戦後40年に歴史学の課題を考える集い」歴史学研究会 1985.7 B 5
- P 52-2-3 「『日本資本主義発達史講座』宣伝冊子」岩波書店 1985 B 5冊子
- P 52-3 「『中江兆民全集』宣伝冊子」岩波書店 1984.1 B 5冊子
- P 52-4-1 「明治百年にみる」『誌誌新聞』1966.12.29 新聞切抜
- P 52-4-2 「明治百年を排す」法政大学日本文学科大正昭和文学ゼミナール 1966.12.10 B 5
- P 52-5-1 「自由民権百年の運動と歴史教育」『三省堂高校社会科学教育ぶつくれつと』5号 三省堂 1986.5.10 219×115 mm冊子
- P 52-5-2 「『遠山茂樹著作集』全9巻宣伝冊子」岩波書店 1991.9 B 5冊子
- P 52-6 「『公文別録』紹介宣伝冊子」紀伊国屋書店 A 4冊子
- P 52-7 「『岩波講座日本歴史』宣伝冊子」岩波書店 1962 B 5冊子
- P 52-8-1 「『日本近代思想大系』宣伝」岩波書店 A 4
- P 52-8-2 「『石母田正著作集』宣伝冊子」岩波書店 2000.11 B 5冊子
- P 52-9-1 「『石母田正著作集』第15巻解説」岩波書店 1990.4 A 4コピー 7枚
- P 52-9-2 「『地方巡幸史料集成』宣伝冊子」柏書房 1996.10 B 5冊子
- P 53 雑 B 5フレイルに一括
- P 53-1 「首相の靖国参拜」『朝日新聞』1985.8.10 新聞切抜
- P 53-2 「高橋嶺一氏死去」『赤旗』1985.8.7 新聞切抜
- P 53-3 「高橋嶺一氏死去」『教科書裁判ニュース』第210号 1985.8.20 切抜
- P 53-4 野間宏「江戸近代説の根拠」『毎日新聞』1985.6.14 新聞切抜
- P 53-5 萩原延寿「遠い崖―サトウ日記抄」『朝日新聞』1985.9.3 新聞切抜
- P 53-6 フライソン・ノルマン「雪景色を見つつ」『婦人の友』1949.12 切抜
- P 53-7 「『戦犯史観』押しつけるさもしい策動」『赤旗』1996.12.20 新聞切抜
- P 53-8 「『ペストセラ―』実は盗作」『誌誌新聞』1985.10.16 新聞切抜
- P 53-9 板倉聖宣「『正義』ではなく『真理』を」『毎日新聞』1996.12.4 新聞切抜
- P 53-10 「政府未熟な危機管理」『読売新聞』1997.1.31 新聞切抜
- P 53-11 「他人の痛みを分かっ難しさ」『朝日新聞』1997.1.31 新聞切抜
- P 53-12 加藤文三「歴史の多様な可能性」『赤旗』1985.12.8 新聞切抜
- P 53-13 「女性や若い人がメモテーネストサトウ講演会」

- 『朝日新聞』 1985.11.28 新聞切抜
- P 53-14 長谷川正安「国民主権と象徴天皇制」『赤旗』
1986.2.10 新聞切抜
- P 53-15 「派兵成功にも落とし穴」『朝日新聞』 1994.9.7
新聞切抜
- P 53-16 佐々木一司「変革の立場と傍観者の論理」『赤旗』
1995.1.16 新聞切抜
- P 53-17 「道韓論 平和主義者として」『朝日新聞』 1986.1.9
新聞切抜
- P 53-18 松島栄一「石母田正氏の重み」『図書新聞』
1986.2.8 新聞切抜
- P 53-19 増田善信「戦後50年と科学者の社会的責任(下)」『赤
旗』 1966.1.18 新聞切抜
- P 53-20 「戦後50年日本人は何を考えたのか「テロの季節」
『毎日新聞』 1996.1.21 新聞切抜
- P 53-21 「戦後50年 平和の輪郭(7)」『毎日新聞』
1995.8.7 新聞切抜
- P 53-22 『『明治維新』再版のお知らせ』(ほかき下書原稿)
1995.1 B 5 2枚
- P 53-23 「対支工作ニ関スル意見書」大阪商工会議所
1937.12 A 5冊子
- P 53-24 「国史学科卒業論文題目一覧」(明治38年～昭和9年)
『学生文庫』 B 5冊子
- P 54 表題なし B 5クリアーフレイブルに一括
- P 54-1 「遠山先生の喜寿を祝う会案内状」横浜市立大学日本
史専攻卒業生の会、1990.9 B 5変形
- P 54-2 「遠山先生の横浜市立大学最終講義」『神奈川新聞』
1979.1.24 新聞切抜
- P 54-3 「日中国交回復2周年パーティー」『冬扇通信』58号
冬扇社 1997 冊子 110×210mm
- P 54-4 遠山茂樹作、遠山重子作短歌 A 6 2枚
- P 54-5 「明治維新と天皇」巻末挨拶文下書き及び著書送付挨
拶文下書き」 B 5
- P 54-6 遠山重子筆記 B 5変形
- P 54-7 「猪野謙二氏を借しんで」 B 5新聞切抜と自筆原稿 各1
- P 54-8 遠山重子清書「猪野謙二氏を借しんで」 B 5変形
- P 54-9 履歴書(毛筆自筆) B 4
- P 54-10 履歴書(鉛筆書下書) B 4
- P 54-11 宇佐美誠次郎氏宛封書(大学就職活動についての近況
報告)(未投函)
- P 54-12 フロンター文案(戦後40年あたり、歴史家の皆さ
んに訴える) 1985.12.8 B 4
- P 54-13 クレヨン画(遠山茂樹筆、小学校2年時、3年時)
画用紙2枚
- P 55 写真「遠山茂樹追悼の会」(於明治大学) 遠山茂樹先生
を偲ぶ会 2012.1.21 L版
- P 56 住所録 B 5ノート
- P 57 遠山茂樹訃報追悼関係記事・書簡 A 5クリアーフレ
イルに一括
- P 57-1 訃報『朝日新聞』 2011.9.10 新聞切抜
- P 57-2 訃報『毎日新聞』 2011.9.9 新聞切抜
- P 57-3 訃報『読売新聞』 2011.9.9 新聞切抜
- P 57-4 訃報『東京新聞』 2011.9.9 新聞切抜
- P 57-5 訃報『日本経済新聞』 2011.9.9 新聞切抜
- P 57-6 訃報『しんぶん赤旗』 2011.9.10 新聞切抜
- P 57-7 訃報『産経新聞』 2011.9.10 新聞切抜
- P 57-8 訃報『カナコロ』(『神奈川新聞』Webページ)
2011.9.9 フリントフレイブル切抜
- P 57-9 訃報『河北新報』Webページ 2011.9.9 フリント
フレイブル切抜
- P 57-10 中村政則「『行動する』論客、歴史家 遠山茂樹さん
を悼む」『毎日新聞』 2011.9.27 新聞切抜

— 29 —

- P 57-11 訃報『日本歴史』第763号 2011.12 コピー切抜
- P 57-12 宇野俊一「歴史家の責任貫き」『毎日新聞』
2011.10.2 新聞切抜
- P 57-13 歴史学協議会・歴史教育者協議会・歴史学研究会
共催シンポジウム「遠山史学と歴史学の現在」案
内(2012.1.21)『歴史学研究月報』第625号
2012.1.15 B 5コピー 3枚
- P 57-14 丸浜昭「たたかわなければ、真実は守れない…」一
耳に残る遠山茂樹氏の声」『歴史評論』No.742
2012.2 B 5コピー 2枚
- P 57-15 「遠山茂樹生誕百年記念研究業績展」(於八景キャンパ
スいちょう館)横浜市立大学遠山茂樹生誕百年記念研
究業績展実行委員会、2015.3.20～4.10 A 4
- P 57-16 遠山重子宛横浜国立大学学術情報課長大沢実封書(遠
山茂樹生誕百年記念研究業績展案内状) 2015.1.15
- P 57-17 阿部素子・遠山重子宛歴史教育者協議会代表理事山田
朗封書(寄付礼状) 2012.4.5
- P 57-18 遠山重子宛歴史学研究会委員会封書(シンポジウム「遠
山史学と歴史学の現在」開催案内) 2011.12.12
- P 57-19 遠山重子宛歴史学研究会委員長池亨封書(寄付礼状)
2012.3.31
- P 58 「三枝博音—フアンズム批判の技術史」評 こぶし文庫
『場』No.1 1995.4 A 6冊子
- P 59 1975—1997 B 5クリアーフレイブルに一括
- P 59-1 「証言にあたっての三つの原則」他綴(教科書裁判、公
害裁判の書きメモ) 1971 B 5とB 4 各1
- P 59-2 「A検定の特徴(いわゆる七つの手口)は、…」 B 5
原稿6枚
- P 59-3 「第一次訴訟(東京高裁)ワーキンググループ関係名簿、
編成(案)、送り状」教科書検定訴訟を支援する歴史
学関係者の会事務局 1980.7.23 B 4 5枚
- P 59-4 「家永訴訟結審前のメモ」 1997.1 ほかきの裏にメモ
- P 59-5 「教科書検定訴訟を支援する歴史学者の会総会1986
年度活動方針、決議(案)」 1986.5.17 B 5
- P 59-6 「国民の教育権」(教科書訴訟神奈川集会での講演原稿)
1973.4.14 B 5原稿 3枚
- P 59-7 「教科書検定についての草稿」 B 5ノート 7枚
- P 59-8 「全国連代表委員からのお願い」 1997夏 B 4
- P 59-9 「教科書行政に関する要望書(案)」教科書検定訴訟を
支援する全国連絡会 1993.9 B 4
- P 59-10 「家永・教科書裁判支援のためのカンパのおおかい」
教科書検定訴訟を支援する全国連絡会 1997夏 B
4変形
- P 59-11 「検定批判、反論の草稿」 B 4コピー 8枚
- P 59-12 家永三郎「1980年度検定の経過と実態」 A 5冊子
- P 59-13 「ご挨拶」(教科書裁判支援のお礼) 家永三郎及び教
科書訴訟弁護団 1997.9.19 封書
- P 59-14 家永三郎、永原慶二「教科書裁判と歴史学・歴史教育」
教科書訴訟10周年記念集会講演」教科書検定訴訟
を支援する全国連絡会 1975.11.29 A 5冊子
- P 59-15 「全国連代表委員からみなさまへのメッセージ」 遠
山茂樹、大田莞、大槻健、佐伯清治、星野安三郎
1994末 B 4
- P 59-16 「教科書裁判と歴史学歴史教育」(教科書訴訟10周年
記念集会講演) 1975.11.29 A 5冊子
- P 59-17 「教科書が危ない平和が危ない子どもの未来を守ろう」
日本出版労働組合連合会 B 6冊子
- P 59-18 「勝訴を確信している」『教科書裁判ニュース』
140号 教科書検定訴訟を支援する全国連絡会
1975.5.15 A 3
- P 59-19 「『歴史学研究者の会の活動』ほか手書き原稿とメモ」
B 5 7枚

— 30 —

- P 59-20-1 本多公栄「普通教育における教育の自由」『法律時報』第51巻48号 1979.8 B 4コピー 4枚
- P 59-20-2 今永「家永日本史教科書の歴史像」1979.5.7 B 4コピー 4枚
- P 59-20-3 教科書裁判資料 B 4コピー 13枚
- P 59-21-1 「声明案」教科書検定訴訟を支援する全国連絡会、教科書訴訟弁護団 1982.4.8 B 5コピー
- P 59-21-2 「教科書裁判証言割り振りについて」B 5冊子
- P 59-21-3 「教科書裁判ニュース号外」教科書検定訴訟を支援する全国連絡会 1982.3 A 4冊子
- P 59-22-1 「はしかき」(家永教科書裁判支援に関する出版物) 1975.11.10 A 4原簿コピー 9枚
- P 59-22-2 原簿執筆御札及び第二章再校依頼 三省堂島田光男 1975.11.12 B 5書簡
- P 59-23 「教科書訴訟支援と歴史学の課題」『歴史学研究』第474号 歴史学研究会 1979.11 B 5冊子、初校紙付
- P 59-24-1 「最高裁判所は教科書裁判第二次訴訟の国側上告を棄却せよ」歴史学研究会総会 1979.5.26 B 4
- P 59-24-2 「家永側申請証人一覧」B 4冊子
- P 59-24-3 「教科書裁判の法理上の諸問題」B 4冊子
- P 59-24-4 「遠山氏「七つの手口」による分類」B 4冊子
- P 60-1 表題なし B 5クリアーマーファイルに一括
- P 60-1 矢沢康祐封書(8月29日「教科書問題」を考える歴史研究会・教育者の集会)のうち方について 1982.8.24
- P 60-2 「情勢がけわしいだけに明るい展望をもって」『教科書検定訴訟を支援する歴史学関係者の会ニュース』90号 教科書検定訴訟を支援する歴史学関係者の会 1981.1.28 タブロイド版
- P 60-3 「戦後裁判運動史上における教科書裁判」犬丸義一『戦後裁判運動年表』教科書訴訟を支援する11月集会 1974.11.30 B 4ガリ版刷 4枚

- P 60-17 「教科書執筆者・研究者ら集会「政府見解」告発の声明」『赤旗』1982.8.30 新聞切抜
- P 60-18 浅井基文・遠山茂樹ほか「「戦後50年・教科書裁判勝利をめざす教科書問題大集会」のための実行委員会参加のよびかけ」1995.1 B 4
- P 60-19-1 本多公栄『『歴史学研究』1979年11月号の二つの論文に学ぶ』1980.4.18 B 4 2枚
- P 60-19-2 本多公栄「歴史学と歴史教育の同質性と異質性」1980.4.10 B 4
- P 60-20 「教科書、戦後歴史学について記述要旨」B 5原稿 2枚
- P 60-21 「歴史研究者にとつての教科書裁判—教科書裁判を支援する12月集会における報告—」『歴史学研究』第406号 歴史学研究会 1974.3 B 5冊子
- P 60-22 「遠山茂樹述「政府の思想統制政策と教科書検定訴訟」(1967.6.30 岩波・教科書訴訟を支援する会主催、訴訟提起二周年の記念講演) 1967.11.8 B 5冊子
- P 60-23 「12・2 有事立法・元号法制化問題を考える集い」都高教第三支部社会科学教研ほか B 5
- P 60-24 「兆民の思想に学ぶこと」(『中江兆民全集』内容見本) 1983.9 B 5切抜
- P 60-25 「複数の草稿断簡綴」B 5綴 7枚
- P 60-26 「3・19 第一次訴訟判決勝利をめざす緊急全国活動者会議への報告と提起」ほか 教科書検定訴訟を支援する全国連絡会常任委員会 2月22日 B 4 6枚
- P 60-27 「声明」教科書訴訟弁護団 1986.3.19 B 5

- P 60-4 「教育実践の成果に確信を」『教育』No.400 1981.7 切抜
- P 60-5 「明治百年」攻撃下の教育・文化の国家統制と軍国主義化』第17次日教組・第14次日高教育研究全国集会』日本出版労働組合協議会 1968.1 B 5冊子
- P 60-6 「現行教科書制度の諸問題—国定化をめぐる動き—」出版労働組合懇談会 1955.6.7 B 6冊子
- P 60-7 「うれうべき教科書の問題」『教科書問題報告第一集』日本民主党 1955.8 B 5冊子コピー
- P 60-8 長田新・周郷博・宮原誠一・宗像誠也他「日本民主党の『うれうべき教科書の問題』にたいする抗議書」1955.9.22 A 5冊子
- P 60-9 関係教科書編著者有志「日本民主党の『うれうべき教科書の問題』の重版にみられる改訂について」1955.10.10 A 5冊子 同じもの2冊
- P 60-10 関係教科書編著者有志「日本民主党の『うれうべき教科書の問題』はどのようにまちがっているか」1955.10.7 A 5冊子
- P 60-11 「主任制反対で17学者・文化人が要望—文相に申し入れ」『日教組教育新聞』1975.12.9 新聞切抜
- P 60-12 一番々瀬康子・遠山茂樹ら「十七学者・文化人が文相に要望」『日教組教育新聞』号外 1975.12.3 B 4
- P 60-13 「憲法と教育基本法を守るのは国民の意志と努力」『教科書裁判ニュース』号外 1993.3.30 タブロイド版
- P 60-14 「紀元節」反対二十年の意味。(思想の自由を守る2・11集会講演原稿) 1976.2.11 B 5 24枚
- P 60-15 新教科用図書刊行会事務局「民主的教科書編集のため—「新教科書刊行会」の意義と任務—」1948.3 B 4ガリ版刷
- P 60-16 「新しい日本歴史の見方」林基『勤労者の日本歴史』本省支部教育部社会科学研究会 B 4ガリ版刷 2枚

- E 2 中学国史教科書編纂要項案 ガリ版刷 B 5冊子
- E 3 ソ連中学校第8学級のための教科書 ソ連科学アカデミー歴史研究所 B 4ガリ版刷
- E 4 学習指導要領(私案) まっしまえいいち稿高橋嶺一稿 B 4ガリ版刷 4枚
- E 5 中学国史学習指導要領単元案 高橋委員外村委員 1948.1.23 B 4ガリ版刷 4枚
- E 6 社会科学教科書目次の一部 B 6ガリ版刷
- E 7 コーヌ・オブ・スタデー—単元案 B 4ガリ版刷
- E 8 日本史教育の目標(はじめてのことば) 日本史教科書編集基本方針 高橋嶺一稿 B 4ガリ版刷
- E 9 日本史教科書編集基本方針 B 4ガリ版刷
- E 10 日本史教科書編集基本方針 B 4ガリ版刷
- E 11 社会科学わが国土目次構成 A 4手書き 11枚
- E 12 二十八日公聴会日程メモ B 5
- E 13 社会科学に関する青少年の発表—覧表 B 4ガリ版刷 2枚
- E 14 日本史についての Unit 案と東洋史 遠山茂樹・まっしまえいいち・三上次男 A 4手書き
- E 15 国民常識としてとれただけの西洋史の知識を必要とするか 尾鷲輝彦 B 4ガリ版刷 2枚
- E 16 国史指導の目標 B 4ガリ版刷
- E 17 日本史科学習指導要領単元試案 1947.12.5 B 4ガリ版刷 2枚
- E 18 中学国史単元試案(執筆者原案) B 4ガリ版刷
- E 19 “Course of Study Unit”(案) 小西 1948.1.20 B 4ガリ版刷

10 教科書づくり

- E 1 社会科学学習のテキストをつくる為の討論の結果 民教協社 会科学研究部会 1946.10 初～1947.2.15 ガリ版刷 B 5冊子

- E 20 日本史学習指導要領単元試案 川畑 B 4ガリ版刷
- E 21 学習指導要領案 遠山 1948.1.20 B 4ガリ版刷
- E 22 中学日本史教科書単元(章節)案 3月12日審議 B 4ガリ版刷 2枚
- E 23 中学日本史教科書章節案 B 4ガリ版刷 2枚

- E 24 日本史教育の目録 (はじめのことは) 高橋嶺一稿 12
月15日提出 B 4ガリ版刷 2枚
- E 25 日本史コース・オプ・スタデー単元案 タイプB 4

11 千代田区史

- C 1 千代田区史目次構成と明治11年市街図と写真 B 4・1
枚、B 5・3枚
- C 2 千代田区史原稿と麹町区官有地台帳など 一袋一括
- C 3 千代田区史資料 (千代田区内小学校沿革) B 5 22枚
- C 4 千代田区史資料 (選挙区別付会議員調査表その1) B 5 8
枚
- C 5 千代田区史原稿 (安永年間と明治2年の地域支配層)
B 5 8枚
- C 6 明治9年神田小設立願、明治12年同人社女学校設立願
1876・1878 B 4二つ折り2枚
- C 7 明治18年長官事務引継書 1885 B 4二つ折り 14枚
- C 8 明治38年焼き打ち騒動と二元新報社原稿 (村松梢風著、
秋山定輔に語る) 1905 B 5 4枚
- C 9 校報等に関する原稿 B 5 20枚
- C 10 明治39年9月職員履歴書 1906.9 B 5 17枚
- C 11 神田小学校報 (1926.3.15、1938.3.15抜書) B 5 4枚
- C 12 公立小学校訓導等等級月俸表 B 5 11枚
- C 13 明治維新直後の神田原稿 B 5 47枚
- C 14 明治13年区会雑書他 1880 B 5 10枚
- C 15 東京商工会館「官箱上申書綴」1880 B 5 11枚
- C 16 明治9年地借店借扱規則 1876 B 5 16枚
- C 17 東京案内明治39年—甲武鉄道線抜書 B 5 5枚
- C 18 島義勇略歴と北海道人名辞書 B 5 4枚
- C 19 第三中学区営番小学官立小学校設立向 B 5 5枚

- C 20 教育の趨勢と社会運動原稿 B 5 13枚
- C 21 府史行政原稿 B 5 20枚
- C 22 東京市区改正事業誌原稿資料 B 5 5枚
- C 23 第1章第1節15区の成立と麹町神田原稿 B 5 5枚
- C 24 第1章第3節産業原稿 B 5 11枚
- C 25 第2章第4節産業原稿 B 5 5枚
- C 26 警視庁史稿資料と下書原稿 B 5 26枚
- C 27 夜の山王原稿 B 5 17枚
- C 28 第二法令類纂咽気病院のこと B 5 5枚
- C 29 第2章第4節勸業場原稿 B 5 8枚
- C 30 東京商工会沿革始末 1883.10.20～1891.2.25 B 5 11枚
- C 31 東京府統計表 1884 B 5 22枚
- C 32 千代田区旧神田各町行政区画変遷表 1958 630×1260 mm
- C 33 下田歌子より私立学校開業の儀その他断簡 B 5 75枚

12 横浜市議会史

- Z 1 市会史編集委員会打合会 (資料編—諸名簿・諸統計・付表・
付図、横浜市会史刊行計画) 1984.3.28 B 5コピー 7枚
- Z 2 横浜毎日新聞第志号 (—部分) 1871.12.8 A 3コピー
- Z 3 明治期における横浜地方の「区」制度について (添付書類
横浜市政沿革一覽、関係主要法令) 1978.10.28 B 4コピー
10枚
- Z 4 横浜都市計画の変遷 (都市計画年表) 1858～1980 B
4コピー 2枚
- Z 5 交詢雑誌36号附表 B 5原稿 9枚
- Z 6 市会史編集委員会打合会 1982.11.10 B 4コピー 12枚
- Z 7 第一章法規関係 (掲載様式等の決定事項) B 4コピー 21枚
- Z 8 第二章議決一覽 B 4コピー 12枚
- Z 9 市参事会員名簿 (瓦斯常設委員・水道常設委員・土木常設

委員・衛生常設委員名簿) 1911 B 4コピー 11枚

- Z 10 郡区町村一覽 内務省地理局 1879.12 B 4コピー 5枚
- Z 11 市会史編集委員会打合会 (各種選挙結果、議決一覽)
1986.5.16 B 4コピー 11枚
- Z 12 横浜住民運動資料集成 (明治編) 横浜市企画調整局都市
科学研究室 1977.3 B 5冊子
- Z 13 本県雑聞・江湖新聞 B 4コピー 5枚
- Z 14 桜木町近辺地図 B 4コピー
- Z 15 第35号愛知県中島郡—治村役場焼失二関スル件—第89
号案件— B 4コピー
- Z 16 武相民衆史研究通信第8号 多摩近代史研究会
1987.4.10 B 5冊子
- Z 17 神奈川県港務部要覽 1910.11 B 5冊子
- Z 18 横浜市町区域要覽 1976.3 B 5冊子
- Z 19 第5集横浜市史資料所在目録 (横浜市 鮫島茂文書 (そ
の—) 河合光栄文書) 1995.3 A 4冊子
- Z 20 台東区史の近代行政編の教育部令 B 4コピー 8枚
- Z 21 1918年の横浜市議会議事録 (歴史年表など) 1979.12
B 4コピー 23枚
- Z 22 有吉横浜市長「復興の横浜」放送講演 横浜市秘書課
1929.6 B 5冊子
- Z 23 横浜市の土地及び人口 B 4コピー
- Z 24 退職・死亡・遺族の給与・扶助に関する条例の市報
1914.12 B 5コピー 6枚
- Z 25 横浜商工業会議所月報① 1905～1907 B 5コピー 64枚
- Z 26 横浜商工業会議所月報② 1907～1914 B 5コピー 44枚
- Z 27 横浜市報 (横浜市町名沿革など) 1937.3.2 B 4コピー
14枚
- Z 28 神奈川県農会報 No.58 (明治42年米作表) 1910.1 B
5コピー 7枚
- Z 29 神奈川県農会報 No.57 (くすまゆ) 1910.3 B 5コピー

14枚

- Z 30 神奈川県農会報 No.52 (明治41年調査分) 1909.10
B 5コピー 5枚
- Z 31 神奈川県農会報第51号 (第二次大麦共同販売成績表)
1909.10 B 5コピー 4枚
- Z 32 神奈川県農会報第50号 (明治42年表作表) 1909.8.18
B 5コピー 10枚
- Z 33 神奈川県農会報第48号 (農村賃銀表) 1909.7.17 B
5コピー 9枚
- Z 34 神奈川県農会報第47号 (田畑時価及公課表) 1909.7
B 5コピー 11枚
- Z 35 神奈川県農会報第45号 (明治41年の米の収穫表)
1909.3 B 5コピー 10枚
- Z 36 神奈川県農会報第43号 (明治41年11月調査県下産業
組合要覽) 1908.12 B 5コピー 6枚
- Z 37 神奈川県農会報第40号 (明治40年度都農会成績表)
1908.11 B 5コピー 6枚
- Z 38 神奈川県農会報第34号 (郡村別戸口及土地表) 1908.2
B 5コピー 8枚
- Z 39 神奈川県農会報第31号 (各郡市耕地牧場及原野反別表・
地価表、明治39年分農業統計表) 1907.10 B 5コピー
4枚
- Z 40 神奈川県農会報第26号 (神奈川県統計図幅説明書)
1905.12 B 5コピー 7枚
- Z 41 神奈川県農会報第24号 (明治38年10月調査農事統計表)
1905.10 B 5コピー 28枚
- Z 42 神奈川県農会報第20号 (市場調査) 1904.9 B 5コピー
6枚
- Z 43 神奈川県農会報第20号 (災害調査) 1904.9 B 5コピー
3枚
- Z 44 神奈川県農会報第20号 (耕地整理調査) 1904.9 B 5

- コピー2枚
- Z 45 神奈川農農会報第16号(明治34年民有租地調査統計) 1904.10 B5コピー2枚
- Z 46 神奈川農農会報第16号(農農会記事) 1904.10 B5コピー3枚
- Z 47 神奈川農農会報第59号(明治42年初夏作表) 1909.1 B5コピー10枚
- Z 48 市会史編集委員会打合せ(明治22年會議資料、第三章選挙について) 1985.12.20 B4コピー10枚
- Z 49 下水道ことはじめ(年表)局報№.37 1983.4 B4コピー
- Z 50 横浜の新聞、横浜電気軌道の電車 B5コピー
- Z 51 名誉職参事会員名簿 1889～1947 B4コピー8枚
- Z 52 横浜市會議員選挙(議員名簿第1～8回) B5コピー9枚
- Z 53 横浜市會議員名簿 1889～1947 B5冊子
- Z 54 横浜市会開会一覽 1909～1947 B5冊子
- Z 55 横浜市会開会一覽 1903～1909 B5冊子
- Z 56 横浜公園グラウンド問題 1912 B5コピー10枚
- Z 57 昭和横浜市史編集委員候補者名簿 B5コピー
- Z 58 10月5日市会史編集委員打合せ結果(今後編纂予定) B4コピー
- Z 59 市制改正・追加条項一覽 B4コピー
- Z 60 市会史編集委員打合せ会(第四章諸名簿、第五章諸統計・附図・附表) 1986.6.30 B4コピー9枚
- Z 61 市会史編集委員打合せ会(1.9月8日打合せ会結果、2.原稿指定、3.第1巻の校正及び監修、4.57年度執筆原稿について) 1982.10.6 B4コピー6枚
- Z 62 市会史編集委員打合せ会(1.12月20日打合せ会結果、2.第6巻(資料編)目次、3.資料編第一章法規関係について) 1986.1.31 B4コピー20枚
- Z 63 市会史編集委員打合せ会(1.12月14日打合せ会結果、2.第3巻監修、3.資料編議決一覽、4.年表基礎事項のカード化)
- Z 69-11 神奈川農農会報第84号(郡部地主表) 1910.12 B5コピー3枚
- Z 69-12 神奈川農農会報第85号(第四次大麦共同販売成績) 1912.12 B5コピー3枚
- Z 69-13 神奈川農農会報第86号(第二次小麦共同販売成績) 1911.12 B5コピー6枚
- Z 69-14 神奈川農農会報第87号(第二次稚蚕共同飼育組合成績) 1911.12 B5コピー7枚
- Z 69-15 神奈川農農会報第90号(五年比較人口表) 1911.12 B5コピー9枚
- Z 69-16 神奈川農農会報第93号(明治44年分農事統計表) 1912.4 B5コピー6枚
- Z 69-17 神奈川農農会報第97号(明治45年度作表) 1912.7 B5コピー5枚
- Z 70 横浜市例規類集 横浜市役所 1907.7 B5冊子
- Z 71 市会史編集委員会打合せ会(議事録) 1982.4.28 B5コピー5枚
- Z 72 市会史編集委員会打合せ会(議事録) 1984.8.29 B4コピー6枚
- Z 73 市会史編集委員会打合せ会(議事録) 1986.8.20 B4コピー21枚
- Z 74 市会史編集委員会打ち合わせ会(議事録) 1986.9.24 B4コピー18枚
- Z 75 第3回横浜開港資料館研究委員会(議事録) 1978.4.1 B4コピー14枚
- Z 76 横浜開港資料館設立研究委員会議(議事録) 1978.10.14 B4コピー14枚
- Z 77 横浜開港資料館調査研究及調査研究委託計画 1982～1984 B4コピー
- Z 78 第2回横浜開港資料館研究委員会議(議事次第) 1978.2.25 B4コピー4枚

- 1984.1.18 B4コピー6枚
- Z 64 昭和横浜市史編集事業の開始について(同)(事業方針案案) 1984.11.21 B4コピー4枚
- Z 65 『横浜市史』の構成(昭和期の県市史等編集事業調査結果、主要都市における市史編纂組織) 1984.9.25 B4コピー6枚
- Z 66 横浜案内 港米社出版部編 1913.10 A6冊子
- Z 67 議会史資料編掲載内容(細目次)比較一覽 B4コピー4枚
- Z 68 市会史編集委員打合せ会(1.6月13日打合せ会結果、2.資料編:選挙、3.資料編:諸統計・附図・附表) 1986.7.18 B4コピー17枚
- Z 69-1 神奈川農農会報第60号(明治42年購入肥料表) 1910.1 B5コピー5枚
- Z 69-2 神奈川農農会報第63号(明治42年分農事統計表) 1910.6 B5コピー6枚
- Z 69-3 神奈川農農会報第64号(明治43年4月1日現在耕地表) 1910.4 B5コピー4枚
- Z 69-4 神奈川農農会報第67号(明治43年度模範稚蚕共同飼育所成績) 1910.11 B5コピー5枚
- Z 69-5 神奈川農農会報第67号(第三次大麦共同販売成績表) 1910.11 B5コピー5枚
- Z 69-6 神奈川農農会報第70号(小麦共同販売成績表) 1910.12 B5コピー12枚
- Z 69-7 神奈川農農会報第74号(明治43年米作表) 1910.3 B5コピー4枚
- Z 69-8 神奈川農農会報第75号(明治43年分農事統計表) 1910.4 B5コピー6枚
- Z 69-9 神奈川農農会報第76号(産業組合奨励成績) 1910.4 B5コピー3枚
- Z 69-10 神奈川農農会報第78号(明治44年4月1日現在各税務署調査耕地表) 1910.5 B5コピー5枚
- Z 79 横浜市会史原稿等一括 B5 59枚
- ### 13 訴訟案件
- H 1 日本近代史研究会「写真図説総合日本史」所載錦絵等の無断掲載案件著作権裁判関係一括(訴状副本・B5冊子他(書簡綴、訴状コピーなど)) 原告浅井収 被告川村善二郎、遠山茂樹他 1988年2月26日訴状提出京都地裁、1999年4月14日取り下げ 1袋
- H 2 遠山茂樹「一九五二年という時点」 東大教育学部自治会『ボロボロ座事件資料』 B5冊子
- ### 14 教科書裁判
- B 1-1 小林直樹「家永憲法論の業績と特質」レジュメ A4冊子
- B 1-2 小林直樹「管見・家永三郎＝人と業績」『家永三郎集』第12巻月報7 1998.5 A5コピー
- B 1-3 小林直樹書評「家永三郎『美濃部達吉の思想史的研究』」『史学雑誌』73編12号 A5コピー
- B 2 堀尾輝久「家永教科書裁判と教育学」レジュメ B4冊子
- B 3 尾山宏「家永三郎さんと教科書裁判」レジュメ A3・1枚、資料A4・3枚
- B 4 挨拶状(3月19日第一次訴訟判決を受けて) 家永三郎・弁護団一同、教科書検定訴訟を支援する全国連絡会 1986.4 はがき
- B 5 今永著「個別箇所扱いについて一控訴審における主張立証のために」 1976.4.21 青焼き B5 4枚
- B 6 (東京地裁第38 第四第五)判決文 A4コピー 74枚
- B 7 (東京高裁第五民事部)判決文 1993.10.20 A3コピー 11枚

- B 8 (控訴審) 判決文 A 3コピー 25枚
- B 9 1984年損害賠償請求事件判決文 1989.10.3 B 4 5枚
- B 10 家永三郎筆色紙「1970年7月17日杉本判决に接し古歌に託して所感を述ぶ」1997.10 色紙、複製印刷
- B 11 東京地裁第三部訴訟判決を受けて声明文 1989.10.3 B 4
- B 12 1993年10月東京高裁判決時家永入廷場面ビデオ撮影裁判所申請拒否事件判決 1996.1 B 5 縮小コピー 9枚
- B 13 第三次訴訟判決報告と検討会の案内 12月23日 B 5
- B 14 教科書裁判ニュースNo.257 1989.9.20 タブロイ下版
- B 15 10月3日第三次教科書裁判判決日に集まろう A 4
- B 16 教科書裁判ニュースNo.307 (P.3,4とP.9,10のみ) 1993.11.20 タブロイ下版
- B 17 判決近し最高裁は憲法を守れボスター 教科書検定訴訟を支援する全国連絡会 B 2
- B 18 教科書問題に関する歴史研究者・教育者の声明 (案) 1982.8.29 B 4コピー 3枚
- B 19 『家永第三次教科書訴訟について』『朝日新聞』夕刊 1989.9.27 新聞切抜
- B 20 『第三次家永教科書訴訟3月に地裁判決』『読売新聞』夕刊 1989.9.25 新聞切抜
- B 21 『裁かれる80年代教科書検定』『赤旗』1989.9.30 新聞切抜
- B 22 『第3次家永訴訟東京地裁判決』『読売新聞』夕刊 1989.10.3 新聞切抜 3枚
- B 23 『第一次訴訟最高裁判決全文』『教科書裁判ニュース』号外 タブロイ下版
- B 24 『第3次家永教科書訴訟東京地裁あす判決』『毎日新聞』1989.10.2 新聞切抜
- B 25 教科書裁判準備書面資料の再度の作成についてのお願い 教科書検定訴訟を支援する歴史学関係者の会 1977.4.1 B 4コピー
- B 26 「二十四年間の大きな成果に立って」挨拶文 B 5コピー
- B 27 『教科書裁判入門 教科書に真実を』教科書検定訴訟を支援する全国連絡会 B 5冊子
- B 28 『家永教科書裁判とともに練馬地区連33年のあゆみ』教科書検定訴訟を支援する練馬地区連絡会 1998.11.1 A 4冊子
- B 29 『許せませすか最高裁 3月16日教科書判決』教科書検定訴訟を支援する全国連絡会 1973.7.31 B 5冊子
- B 30 『第三次教科書訴訟訴状』教科書検定訴訟を支援する全国連絡会 1986 A 4冊子
- B 31 『教科書検定裁判知ってる？』教科書検定訴訟を支援する全国連絡会 1994 A 4冊子
- B 32 『沖繩と教科書』青藍出版 1969.5 A 5冊子
- B 33 『改正』された教科書検定制度』教科書検定訴訟を支援する全国連絡会 1977.11 A 4冊子
- B 34 『家永さんの勝利をめざして118人のメッセージ』教科書検定訴訟を支援する全国連絡会 1993.1 A 5冊子
- B 35 『ぞくきょうかしよがあぶない』教科書検定訴訟を支援する全国連絡会 1981.5 A 5冊子
- B 36 渡辺賢二『学び・調べ・発表する高校生たち』1987.12 A 4冊子
- B 37 家永教科書裁判訴状 家永三郎弁護団 1984.1 A 4冊子
- B 38 森克己『鑑定書』1970 A 4冊子
- B 39 被控訴人第三準備書面 家永三郎弁護団 1970 A 4冊子
- B 40 被控訴人書面第53号 家永三郎弁護団 1970 A 4冊子
- B 41 被控訴人(附帯控訴人)第三準備書面 国(文部省) 1975 A 4冊子
- B 42 判決文 最高裁判所 1976.4 A 4冊子コピー
- B 43 上申理由補充書 文部大臣 1976 A 5冊子
- B 44 答弁再補充書 家永三郎弁護団 1976 A 4冊子
- B 45 教科書裁判第二次控訴関係資料集 家永訴訟弁護団

- 1975 A 4冊子
- B 46 被控訴人(附帯控訴人)第四準備書面 家永訴訟弁護団 1975 A 4冊子
- B 47 控訴人第七準備書面 家永訴訟弁護団 1974 A 4冊子
- B 48 被告準備書面第8回 家永訴訟弁護団 1976 A 4冊子
- B 49 最終準備書面その7 家永訴訟弁護団 1965 A 4冊子
- B 50 被控訴人第二準備書面その5 家永訴訟弁護団 1970 A 4冊子
- B 51 被控訴人第二準備書面その2 家永訴訟弁護団 1970 A 4冊子
- B 52 被控訴人第二準備書面その1 家永訴訟弁護団 1970 A 4冊子
- B 53 最終準備書面正誤表 家永訴訟弁護団 1967 A 4冊子
- B 54 『第三次教科書訴訟の問いかけるものー最終弁論の記録』教科書検定訴訟を支援する全国連絡会 1988 A 4冊子
- B 55 『なぜ、第三次教科書裁判かー教科書に真実を、過ちをくり返すな』教科書検定訴訟を支援する全国連絡会 1984 A 4冊子
- B 56 『いのちある限り訴える 教科書に真実を、教育に自由を子どもたちに平和を』教科書検定訴訟支援練馬地区連絡会 1994 A 5冊子
- B 57 『教科書が危ないー自民党の偏向キャンペーンに反論する』日本教職員組合・日本高等学校教職員組合 1981 A 5冊子
- B 58 渡辺賢二『実物資料を使った戦争学習』1981 B 5コピー冊子
- B 26 「許せませすか最高裁 3月16日教科書判決』教科書検定訴訟を支援する全国連絡会 1973.7.31 B 5冊子
- B 30 『第三次教科書訴訟訴状』教科書検定訴訟を支援する全国連絡会 1986 A 4冊子
- B 31 『教科書検定裁判知ってる？』教科書検定訴訟を支援する全国連絡会 1994 A 4冊子
- B 32 『沖繩と教科書』青藍出版 1969.5 A 5冊子
- B 33 『改正』された教科書検定制度』教科書検定訴訟を支援する全国連絡会 1977.11 A 4冊子
- B 34 『家永さんの勝利をめざして118人のメッセージ』教科書検定訴訟を支援する全国連絡会 1993.1 A 5冊子
- B 35 『ぞくきょうかしよがあぶない』教科書検定訴訟を支援する全国連絡会 1981.5 A 5冊子
- B 36 渡辺賢二『学び・調べ・発表する高校生たち』1987.12 A 4冊子
- B 37 家永教科書裁判訴状 家永三郎弁護団 1984.1 A 4冊子
- B 38 森克己『鑑定書』1970 A 4冊子
- B 39 被控訴人第三準備書面 家永三郎弁護団 1970 A 4冊子
- B 40 被控訴人書面第53号 家永三郎弁護団 1970 A 4冊子
- B 41 被控訴人(附帯控訴人)第三準備書面 国(文部省) 1975 A 4冊子
- B 42 判決文 最高裁判所 1976.4 A 4冊子コピー
- B 43 上申理由補充書 文部大臣 1976 A 5冊子
- B 44 答弁再補充書 家永三郎弁護団 1976 A 4冊子
- B 45 教科書裁判第二次控訴関係資料集 家永訴訟弁護団
- L 2 日本教職員組合第六次教育研究全国集会関係資料(教研運営資料、講師用資料、報告者レポートほか) 1957.2 雑多 一括
- L 3 日本教職員組合第七次教育研究全国集会関係資料(教研運営資料、講師用資料、報告者レポートほか) 1958.1 雑多 一括
- L 4 日本教職員組合第八次教育研究全国集会関係資料(教研運営資料、講師用資料、報告者レポートほか) 1959.1 雑多 一括
- L 5 日本教職員組合第九次教育研究全国集会関係資料(教研運営資料、講師用資料、報告者レポートほか) 1960.1 雑多 一括
- L 6 日本教職員組合第十次教育研究全国集会関係資料(教研運営資料、講師用資料、報告者レポートほか) 1961.1 雑多 一括
- L 7 日本教職員組合第十一次教育研究全国集会関係資料(教研運営資料、講師用資料、報告者レポートほか) 1962.2 雑多 一括
- L 8 日本教職員組合第十三次教育研究全国集会関係資料(教研運営資料、講師用資料、報告者レポートほか) 1964.1 雑多 一括
- L 9 日本教職員組合第十四次教育研究全国集会関係資料(教研運営資料、講師用資料、報告者レポートほか) 1965.1 雑多 一括
- L 10 第六次教研集会(於金沢) 遠山茂樹 1957.2.1～4 A 5ノート
- L 11 第七次教研全国集会 遠山茂樹 B 5ノート
- L 12 第十次教研全国集会記録 遠山茂樹 A 5ノート
- L 13 第十一次教育研究会社会科分科会(於福井) 遠山茂樹

15 教育研究集会

- L 1 日本教職員組合第五次教育研究全国集会関係資料(教研運

- 1962.2 A5ノート
- J 14 第14次教研(於福岡) 遠山茂樹 1965.1 A5ノート
- J 15 教研関係雑資料 雑多 一括
- J 16 教育関係雑資料 雑多 一括
- J 17 勤務評定反対闘争関係資料(主として日教組刊行物) 1957～1958 雑多 一括
- L 18 道徳教育関係資料(主として日教組刊行物) 1957～1958 雑多 一括
- L 19 教育課程(学習指導要領)改訂関係資料(主として日教組刊行物) 1957～1958 雑多 一括
- L 20 『教科書はだれのものか』ほか冊子 雑多 12
- L 21 第七次伊具郡教育研究会集関係資料(宮城県教職員組合伊具支部主催) 1957.10.18 雑多 一括
- L 22 第八回社会教育・歴史教育全道研究会集関係資料(北海道歴史教育者協議会主催) 1961.8.11～12 雑多 一括
- 16 自由民権
- J 1 『土佐自由民権と現代』外崎光広 1987.3.1 A5冊子
- J 2 『高知市立自由民権記念館紀要』No.9 高知自由民権記念館 2000.3.31 B5冊子
- J 3 「加波山事件の女性たち」鈴木隼子 1984.11.25 B4 原稿 25枚
- J 4 豪農民権家の生涯 町田市立自由民権資料館 1990.10.30 B1ポスター
- J 5 『山形近代史研究』No.4 山形近代史研究会 1981.3 B5冊子
- J 6 日塔哲之「自由民権期に於ける酒田・飽海地方の動き」1975年度 B5冊子
- J 7 日塔哲之「自由民権期に於ける酒田・飽海地方の動き」(2)
- J 8 日塔哲之「自由民権期に於ける酒田・飽海地方の動き」(1) 『山形史学研究』第13、14合併号 1978.2.15 A5冊子
- J 9 日塔哲之「ワッパ一揆と自由民権運動」 B4コピー 2枚
- J 10-1 明治時代三(酒田町史編纂用) B4コピー
- J 10-2 阿部正己資料(目録) B4コピー
- J 10-3 遠山茂樹宛日塔哲之手紙(資料は果か明治14年の山形県巡幸の記録を編集した際の阿部の調査) 1986.10.3 B4 2枚
- J 11-1 歌舞劇東北の鬼(一揆・民権の先人の劇) わらび座 南部三閉一揆と現代 民族芸術研究所 A4
- J 11-2 秩父事件一掃と民権 協力自由民権百年映画製作委員会、制作青銅プロダクション 1981 B5
- J 13 秩父事件百周年記念記念碑建立募金趣意書 秩父事件顕彰運動実行委員会 1984.1.20 B4
- J 14-1 秩父事件百年記念大集会(宣伝文) 秩父事件記念事業実行委員会 1984.11.4 B4
- J 14-2 秩父事件遺族会会報 高野寿夫・古林安雄 1984.7 B4 2枚
- J 15 秩父事件顕彰運動一成果と課題 埼玉歴教協秩父支部 1984.8.1 B4 9枚
- J 16 「ミニミニ回覧板」No.7(外に映画、勧誘文あり) 自由民権百年映画共同編集号、発行青銅プロ 1984.3 B5冊子
- J 17 自由民権百年集会の準備関係資料 自由民権百年集件事務局 1981.6 B4・12枚、B5・5枚
- J 18 自由民権百年関係資料 遠山茂樹 1983.11 B5フタイン
- J 19-1 「オホーツク民衆史ニュース」1981.12 B4ガリ版刷 2枚
- J 19-2 大石嘉一郎「自由民権百年集会総括文」(小池昌孝の手紙あり) 1981.12.13 B4
- J 20 大会に向けて草稿 遠山茂樹 1981 B5原稿 2枚
- J 21 百年集会とプログラム原案(遠山宛色川大吉手紙あり) 自由民権百年全国集会実行委員会 1981.11.21 B4コピー 2枚
- J 22 坂本直寛記念碑の建立発起人依頼状と講演テープ起こし文 小池喜孝 1981.11 手紙・1枚、B5原稿・7枚
- J 23 自由民権とは?百年を祝う理由 遠山茂樹 1981.11 B5ノート
- J 24 遠山茂樹宛根岸君夫手紙(秩父事件の絵はがき贈呈) 1991.2.7 封書1、はがき1
- J 25 秩父事件100周年記念公演企画書と案内冊子「虹のゆくえ」劇団銅鑼 1984.9 B5 8枚
- J 26 「秋田の自由民権」1号・3号 秋田県自由民権百年記念実行委員会 1981.6.15・8.20 タブレット版 3枚
- J 27 かながわの自由民権百年展(リフレット) 神奈川県立文化資料館 1981.10 335×253mmを三つ折り 2枚
- J 28 京浜歴史科学研究会 1985年度方針案 京浜歴史科学研究会 1985 B4コピー 4枚
- J 29 丹羽邦男「先導師の町―明治前期の大山町」、『伊勢原の歴史』3号 伊勢原市史編修委員会 1988.3 A4コピー 14枚
- J 30-1 遠山茂樹宛田村貞雄手紙(「東海近代史研究会会報」第7号に「ええじゃないか」関係の論文を書いた旨、購入依頼文付) 1985.12.1
- J 30-2 「東海近代史研究会会報」第25号 東海近代史研究会 1985.7 B5冊子
- J 30-3 「東海近代史研究会会報」第40号 東海近代史研究会 1990.7 B5冊子
- J 30-4 「東海近代史研究会会報」第35号 東海近代史研究会 1988.6 B5冊子
- J 31-1 「奈良県近代史研究会会報」38号 奈良近代史研究会 1984.9.15 B5冊子
- J 31-2 「奈良県近代史研究会会報」39号 奈良近代史研究会 1984.10.15 B5冊子
- J 32 静岡県自由民権100年史料展新聞記事 1981.10 B5 2枚
- J 33-1 「静岡県近代史研究会会報」23号 静岡県近代史研究会 1980.8.10 B5冊子
- J 33-2 「静岡県近代史研究会会報」30号 静岡県近代史研究会 1981.3.10 B5冊子
- J 33-3 「静岡県近代史研究会会報」31号 静岡県近代史研究会 1981.4.10 B5冊子
- J 33-4 「静岡県近代史研究会会報」41号 静岡県近代史研究会 1982.2.10 B5冊子
- J 33-5 「静岡県近代史研究会会報」50号 静岡県近代史研究会 1982.11.10 B5冊子
- J 33-6 「静岡県近代史研究会会報」56号 静岡県近代史研究会 1983.5.10 B5冊子
- J 33-7 「静岡県近代史研究会会報」66号 静岡県近代史研究会 1984.3.10 B5冊子
- J 33-8 「静岡県近代史研究会会報」79号 静岡県近代史研究会 1985.4.10 B5冊子
- J 33-9 「静岡県近代史研究会会報」80号 静岡県近代史研究会 1985.5.10 B5冊子
- J 33-10 「静岡県近代史研究会会報」81号 静岡県近代史研究会 1985.6.10 B5冊子
- J 33-11 「静岡県近代史研究会会報」82号 静岡県近代史研究会 1985.7.10 B5冊子
- J 33-12 「静岡県近代史研究会会報」87号 静岡県近代史研究会 1985.12.10 B5冊子
- J 33-13 「静岡県近代史研究会会報」88号 静岡県近代史研究会 1986.1.10 B5冊子
- J 33-14 「静岡県近代史研究会会報」91号 静岡県近代史研究会 1986.4.10 B5冊子

- J 33-15 「静岡県近代史研究会会報」 92号 静岡県近代史研究会 1986.5.10 B 5冊子
- J 33-16 「静岡県近代史研究会会報」 115号 静岡県近代史研究会 1988.4.10 B 5冊子
- J 33-17 「静岡県近代史研究会会報」 116号 静岡県近代史研究会 1988.5.10 B 5冊子
- J 33-18 「静岡県近代史研究会会報」 118号 静岡県近代史研究会 1988.7.10 B 5冊子
- J 34-1 「武相民衆史研究通信」 第2号 多摩近代史研究会 1985.9.28 B 5冊子
- J 34-2 「武相民衆史研究通信」 第3号 多摩近代史研究会 1985.12.1 B 5冊子
- J 34-3 「武相民衆史研究通信」 第4号 多摩近代史研究会 1986.5.3 B 5冊子
- J 34-4 「武相民権百年ニュース」 第33号 武相民権運動百年記念実行委員会 1984.7.10 B 5冊子
- J 34-5 「武相民権百年ニュース」 第39号 武相民権運動百年記念実行委員会 1985.4.17 B 5冊子
- J 34-6 「武相民権百年ニュース」 第40号 武相民権運動百年記念実行委員会 1985.5.17 B 5冊子
- J 34-7 「武相民権百年ニュース」 第41号 武相民権運動百年記念実行委員会 1985.7.7 B 5冊子
- J 35-1 「武相民権百年ニュース」 第2号 武相民権運動百年記念実行委員会 1980.3.14 B 5冊子
- J 35-2 「武相民権百年ニュース」 第3号 武相民権運動百年記念実行委員会 1980.4.16 B 5冊子
- J 35-3 「武相民権百年ニュース」 第12号 武相民権運動百年記念実行委員会 1981.1.27 B 5冊子
- J 35-4 「武相民権百年ニュース」 第28号 武相民権運動百年記念実行委員会 1983.10.5 B 5冊子
- J 35-5 武相民権運動百年記念の趣旨 武相民権運動百年記念実行委員会 1980.4 B 4
- J 36 「武相因民党建碑記念集会」 武相因民党建碑実行委員会 1986.11.24 B 5冊子
- J 37 『波論／因民党と自由民権』 武相因民党 95周年記念集会実行委員会 1979.12.31 A 5冊子
- J 38-1 「大阪事件研究」 第3号 大阪事件研究会 1985.12.1 B 5冊子
- J 38-2 「大阪事件研究」 第4号 大阪事件研究会 1986.6.4 B 5冊子
- J 39 『県史の自由民権百年』 県史地区民権運動百年記念実行委員会 1985.12 A 5変形冊子
- J 40-1 『ゾルナー秩父事件会報』 第3号 ゾルナー秩父事件幹事会 1985.6.29 B 5冊子
- J 40-2 広田昌希封書 (岡山民権運動史料集送り状) 1979.12.29 岡山民権運動百年記念集会資料 岡山民権運動百年記念実行委員会 1979.12.9 B 4冊子
- J 40-4 岡山民権運動百年記念集会経過報告要点 百年記念実行委員会 B 4
- J 41-1 『岡山民権運動史関係史料集』 第1巻 岡山民権運動百年記念行事実行委員会 1979.12 B 5冊子
- J 41-2 秩父事件 97周年記念集会 (記念講演遠山茂樹) 秩父事件顕彰運動実行委員会 1981.11.8 B 5
- J 42-1 新藤東洋男『自由民権運動と九州地方』 (宣伝文) 1982.5 B 4
- J 42-2 福岡民権問題を考えるシンポジウム (宣伝文) 福岡ゾルナー委員会 5月30日 B 4
- J 43 福岡地方自由民権運動略年表(1) B 4冊子
- J 44 『竹橋通信』 第36号 竹橋事件の真相を明らかにする会 1986.6.25 タブレット版
- J 45 「人民の歴史学」 第65号 東京歴史科学研究会 1980.10.8 B 5冊子

- J 46 「長野県史だより」 第2号 長野県史刊行会 1983.1.1 B 5冊子
- J 47-1 秩父事件 96周年記念集会 秩父事件顕彰運動実行委員会ほか2団体 1981.11 B 5
- J 47-2 武相民権運動百年記念集会趣意書 (並びにアペール) B 4 2枚
- J 48-1 「自由民権記念館紀要」 No.4 高知市立自由民権記念館 1995.3 B 5冊子
- J 48-2 「土佐民権家の1881年10月12日の詔勅への反応」 (報告レジン) 松岡傳一 B 4 3枚
- J 48-3 「早稲田ウエークラリー」 526号 (小野梓先生没後百年の記事など) 早稲田大学広報課 1981.10.9 B 4
- J 48-4 自由民権記念館構想 (高知) 自由民権記念館建設期成会会長山本広 1982頃 B 4 2枚
- J 48-5 高知市に自由民権記念館を建てよう (署名運動趣意書) 自由民権記念館建設期成会会長山本広 1983.1 B 4
- J 48-6 「高知新聞」 (鈴木安蔵「土佐の自由民権と私」ほか) 1983.3.10 B 4コピー 2枚
- J 48-7 「高知新聞」 第48号 1880.12.16 B 4コピー 2枚
- J 48-8 「高知新聞」 第49号 1880.12.18 B 4コピー 2枚
- J 48-9 「高知新聞」 第52号 1880.12 B 4コピー 2枚
- J 48-10 市民文化講演会 (小野梓の講演) 宿毛市教育委員会・早稲田大学 1986.10.19 B 4
- J 49 「福島史学研究」 復刊第32、33号 福島県史学会 1981.11 A 5冊子
- J 50-1 「信州の自由民権運動—奨励社—」 信州民権 100年実行委員会 1981.9.19 B 5冊子
- J 50-2 「信州の民権 100年ニュース」 No.9 信州民権 100年実行委員会、銀河書房 1981.10.25 B 5冊子
- J 51-1 喜多方 (観光案内) 喜多方市ほか2団体 B 5
- J 51-2 喜多方事件関係地図 380×450 mm
- J 52 「喜多方市立図書館所蔵資料目録—自由民権運動関連図書—」 喜多方市立図書館 1982.10.30 B 5冊子
- J 53 「ふくしま自由民権百年」 第1号 福島・喜多方事件百周年記念事業実行委員会 1982.7 B 5冊子
- J 54 庄司吉之助「福島自由民権家の政治思想」 福島県歴史資料館『研究紀要』 第4号 B 5冊子
- J 55 蔵の町喜多方 (観光案内) 喜多方市商工観光課 1982.11 B 3
- J 56 「自由民権福島・喜多方事件百周年記念現地訪問・歩く会」 百周年記念事業推進委員会 1982.11 B 5冊子
- J 57 喜多方 (観光案内) 喜多方市ほか2団体 B 5冊子
- J 58 「自由民権運動福島・喜多方事件百周年記念集会」 自由民権運動喜多方事件100周年記念事業推進委員会 1982.11.3 B 5冊子
- J 59 「自由民権運動の今日的意義 喜多方事件 98周年国会開設請願 100周年記念集会・巡検報告集」 喜多方歴史研究協議会 1982.11.10 A 5冊子
- J 60-1 喜多方歴史研究協議会山崎四郎封書 (宿泊などの件連絡、百周年記念事業要綱ともに) 1982.10.9
- J 60-2 喜多方事件関係地図 380×450 mm
- J 60-3 福島喜多方事件の百周年記念集会、全国から500人が参加 B 5
- J 60-4 喜多方アペール 喜多方事件百周年記念集会 1982.11.3 B 4
- J 60-5 喜多方関係一括 自由民権運動福島・喜多方事件百周年記念集会配付資料 1982.11.3
- J 61 「宇田文書3集 (近代1) 道路開鑿事件類未書」 喜多方市史編纂準備委員会 1983.1 B 5冊子
- J 62-1 土佐と結ぶ—三春の自由民権運動展開催要項 (案) 三春町歴史民俗資料館 1985.12.25 B 5冊子
- J 62-2 三春町歴史民俗資料館自由民権記念館 (リフレット)

- J 62-3 三春町歴史民俗資料館 200×420 mm
三春町自由民権記念館(リーフレット) 三春町歴史民俗資料館自由民権記念館 B 5
- J 62-4 「みはるの里」(城下町の文化財を尋ねて) 三春町歴史民俗資料館 1985.3.30 B 5 冊子
遠山茂樹宛三春町歴史民俗資料館館長松本登書状(土佐と結ぶー三春の自由民権運動展解説目録への寄稿願) 1985.12
- J 62-6 遠山茂樹宛三春町歴史民俗資料館館長松本登書状(土佐と結ぶー三春の自由民権運動展へ援助願) 1985.12.25
- J 62-7 「三春地方自由民権運動血縁の会会報」No.14 松本登 1994.8.25 B 5 冊子
- J 62-8 「三春地方自由民権運動血縁の会会報」No.15 松本登 1994.12.25 B 5 冊子
- J 62-9 遠山茂樹宛三春町歴史民俗資料館松本登封書(展覧会招待状) 1986.1.29
- J 63-1 深沢三郎文書 三春町歴史民俗資料館 1986.5.27 B 4 コピー冊子
- J 63-2 遠山茂樹宛三春町歴史民俗資料館松本登封書(民権展力添への礼状) 1986.6.4
- J 64 三春の自由民権運動展(案内書) 三春町歴史民俗資料館 自由民権記念館 1986.4 B 5
- J 65 福島事件関係者の文書コピー 三春町歴史民俗資料館 1882 B 4 コピー 41 枚
- J 66 土佐と結ぶー三春の自由民権運動 三春町歴史民俗資料館自由民権記念館 1981.4.13 B 5 冊子
- J 67-1 国立公園の中を走る福島県の観光有料道路(地図) 福島県道路公社 1986 720×520 mm
- J 67-2 三春町自由民権記念館・三春町歴史民俗資料館自由民権記念館(リーフレット) 245×172 mm
- J 67-3 三春町歴史民俗資料館自由民権記念館 三春町歴史民俗資料館(リーフレット) 200×420 mm
武相困民党建碑記念集会 武相困民党建碑実行委員会 1986.11.24 B 5 冊子
歴史教育者協議会第40回全国大会(宣伝文) 歴史教育者協議会 1988.8.1～3 B 4 4 枚
特別展、絹の道民権の道(ポスター) 町田市立自由民権資料館 1987.7～9月 590×420 mm
- J 70 特別展、絹の道民権の道(ポスター) 町田市立自由民権資料館 1987.7～9月 590×420 mm
- J 71-1 第2回全国集会チケット頒布状況 1985.3.17 B 4 2 枚
- J 71-2 フォト集計報告(第1回全国集会) 沼田・広瀬・島田・内田 1985.3.17 B 4 5 枚
- J 72 「多摩の民権」町田の民権」町田市立自由民権資料館 1997.7.1 A 4 冊子
- J 73 「武相民衆史研究・通信」多摩近代史研究会 1986.11.23 B 4 冊子
- J 74 「多摩の民権」町田の民権常設展示関連年表」町田市立自由民権資料館 1997.2.21 A 4 冊子
- J 75 「みんけん連通信」1号 全国自由民権研究連絡会 2001.7.31 A 4 冊子
- J 76 「武相民衆史研究・通信」第12号 多摩近代史研究会 1991.5.20 B 5 冊子
- J 77 「血縁の会10年の歩み」三春地方自由民権血縁の会 1999.6.20 B 5 冊子
- J 78-1 自由民権研究について語る会のお知らせ 自由民権研究について語る会 1983.3.22 B 5 折り版刷
- J 78-2 参加者集計表 A 3 2 枚
- J 78-3 歴史教育者協議会創立記念の夕のご案内 歴史教育者協議会常任委員会 B 5
- J 78-4 講演(日時と場所のメモ) B 5
- J 78-5 「自由民権百年記念映画映像懇談会」No.4 自由民権百年記念映画映像懇談会 1983.6.20 A 4
- J 67-3 三春町歴史民俗資料館自由民権記念館 三春町歴史民俗資料館(リーフレット) 200×420 mm
武相困民党建碑記念集会 武相困民党建碑実行委員会 1986.11.24 B 5 冊子
歴史教育者協議会第40回全国大会(宣伝文) 歴史教育者協議会 1988.8.1～3 B 4 4 枚
特別展、絹の道民権の道(ポスター) 町田市立自由民権資料館 1987.7～9月 590×420 mm
- J 71-1 第2回全国集会チケット頒布状況 1985.3.17 B 4 2 枚
- J 71-2 フォト集計報告(第1回全国集会) 沼田・広瀬・島田・内田 1985.3.17 B 4 5 枚
- J 72 「多摩の民権」町田の民権」町田市立自由民権資料館 1997.7.1 A 4 冊子
- J 73 「武相民衆史研究・通信」多摩近代史研究会 1986.11.23 B 4 冊子
- J 74 「多摩の民権」町田の民権常設展示関連年表」町田市立自由民権資料館 1997.2.21 A 4 冊子
- J 75 「みんけん連通信」1号 全国自由民権研究連絡会 2001.7.31 A 4 冊子
- J 76 「武相民衆史研究・通信」第12号 多摩近代史研究会 1991.5.20 B 5 冊子
- J 77 「血縁の会10年の歩み」三春地方自由民権血縁の会 1999.6.20 B 5 冊子
- J 78-1 自由民権研究について語る会のお知らせ 自由民権研究について語る会 1983.3.22 B 5 折り版刷
- J 78-2 参加者集計表 A 3 2 枚
- J 78-3 歴史教育者協議会創立記念の夕のご案内 歴史教育者協議会常任委員会 B 5
- J 78-4 講演(日時と場所のメモ) B 5
- J 78-5 「自由民権百年記念映画映像懇談会」No.4 自由民権百年記念映画映像懇談会 1983.6.20 A 4
- J 78-6 「会報」第12号(案 自由民権第2回全国集会関係) B 5
- J 79-1 鶴見区区民カルチャースクール開いて・見て・歩く・楽しむ歴史教室 鶴見区役所福祉部市民課社会教育係 A 4
- J 79-2 「歴史を学ぶことの意味」(遠山茂樹鶴見区役所講演筋立) 1984.11 B 5 4 枚
- J 80 「現代と民主主義」(岡山民権百年記念映画と講演の会の遠山茂樹講演原稿) 1983 B 5、11枚ほかB 5 半分の紙1枚
- J 81 「1884(明治17)年の歴史の意義」(静岡での遠山茂樹講演原稿) 1984.11.3 B 5 5 枚
- J 82 「自由民権と救父事件」(大東文化大学での遠山茂樹講演筋立) 1984.10.3 B 5 7 枚
- J 83 明治維新时期(遠山茂樹講演筋立) B 5 4 枚
- J 84 自由民権百年神奈川実行委員会へのご協力願 自由民権100年神奈川実行委員会 1981 B 5 14 枚
- J 85 松尾章一「自由民権運動の成果と課題」『科学と思想』68号 1988.4 A 5 冊子コピー
- J 86 土蔵を開けよう君の手で 色川ゼミナール 1980.11 B 5 冊子
- J 87 自由民権百年(全国集会案内書) 自由民権百年全国集会実行委員会 1981.11 B 4 12 枚
- J 88-1 声明(自由民権百年全国集会実行委員会解散) 自由民権百年全国集会実行委員会 1985.9.1 B 4
- J 88-2 自由民権運動関係文獻寄託申請書 委員長遠山茂樹 1985.9.1 B 5 コピー
- J 88-3 書籍(寄託申請書への捺印依頼) 松尾章一 1985.9.2 B 5
- J 89-1 「自由民権運動研究目録」編集企画案 自由民権百年全国集会実行委員会 1982.12.13 B 5 冊子
- J 89-2 「自由民権運動研究目録」の編集について B 5 冊子
- J 90 自由民権百年学生のための講演会記録集 自由民権百年学生連絡会 1984.5.1 B 5 冊子
- J 91-1 「自由民権期の横浜」展昭和56年度特別展示 横浜開港資料館 1981.11.3 B 5
講演原稿「自由民権運動と横浜商人」(於開港資料館) 遠山茂樹 1980.11.3 B 5 6 枚
講演原稿「秩父事件97周年記念集会」 遠山茂樹 1980.11.8 B 5 4 枚
- J 91-4 講演用資料「自由民権運動と横浜商人」 遠山茂樹 1980.11.3 B 4・5 枚、B 5・12 枚、A 4・2 枚
- J 92 自由民権百年第3回全国集会要綱(案) 自由民権百年第3回全国集会実行委員会 1986.9.27 B 4 2 枚
- J 93 御見積書(会報1号・2号分、飯島敏雄書簡とも) 清水工房 1981.2.24 B 4 コピー
- J 94 自由民権百年第3回全国集件事務局通信(2) 第3回全国集会実行委員件事務局 1987.7.15 B 5 冊子
- J 95-1 大学通信集録 福島自由民権大学 1987.9 B 5 冊子
柏書房米沢公裕封書(『自由党党報』推薦承諾につき関係資料送付) 1979.8.25
- J 96 横浜の自由民権運動略年表(東京横浜毎日新聞記事コピーもあり) B 4 コピー 2 枚
- J 97-1 「自由民権百年」創刊号 自由民権百年全国集会実行委員会 1981.1.1 B 5 冊子
- J 97-2 「自由民権百年」2号 自由民権百年全国集会実行委員会 1981.3.1 B 5 冊子
- J 97-3 「自由民権百年」3号 自由民権百年全国集会実行委員会 1981.5.1 B 5 冊子
- J 98 「自由民権百年」4号 自由民権百年全国集会実行委員会 1981.7.1 B 5 冊子
- J 99 「自由民権百年」5号 自由民権百年全国集会実行委員会 1981.9.10 B 5 冊子
- J 100 「自由民権百年」6号 自由民権百年全国集会実行委員会 1981.10.10 B 5 冊子
- J 101 「自由民権百年」7号 自由民権百年全国集会実行委員会

- J 102 「自由民権百年」 8号 自由民権百年全国集会実行委員
会 1981.11.15 B 5冊子
- J 103 「自由民権百年」 9号 自由民権百年全国集会実行委員
会 1982.4.15 B 5冊子
- J 104 「自由民権百年」 10号 自由民権百年全国集会実行委員
会 1982.7.15 B 5冊子
- J 105 「自由民権百年」 11号 自由民権百年全国集会実行委員
会 1983.1.1 B 5冊子
- J 106 「自由民権百年」 12号 自由民権百年全国集会実行委員
会 1983.5.1 B 5冊子
- J 107 「自由民権百年」 13号 自由民権百年全国集会実行委員
会 1983.10.10 B 5冊子
- J 108 「自由民権百年」 14号 自由民権百年全国集会実行委員
会 1984.1.1 B 5冊子
- J 109 「自由民権百年」 15号 自由民権百年全国集会実行委員
会 1984.5.1 B 5冊子
- J 110-1 「自由民権百年東京実行委員会ニュース」 号外 東京
実行委員会 1984.8.10 B 5冊子
- J 110-2 「自由民権百年学生連絡会(仮称)ニュース」 2号 自
由民権百年学生連絡会(仮称) 1984.7.23 B 4
- J 111 遠山茂樹「1. 自由民権の昂揚、2. 横浜の政社活動」
B 5原稿コピー 3枚
- J 112 石山久男「教科書問題からみた自由民権」 報告
1984.11.25 B 4コピー 9枚
- J 113 『沖繩民権』22号特集戦場の島・沖繩からの訴え 沖繩
民権の会 1984.11.4 B 5冊子
- J 114 「北海道開拓殉難者調査、調査要領」(「新法制定につい
て」、『先駆者の集い』あり) 1984 B 4 3枚
- J 115 篠田健一「秩父事件顕彰運動の歩み1954～84」 秩父
事件顕彰運動実行委員会 1984.7 B 5冊子

- J 116 森口英生「静岡県近代史研究会の歩みと活動」 1984
B 4コピー
- J 117 加波山事件関係年表 B 4コピー
- J 118 香山かえ「岡山女子懇親会について」(報告資料) 岡山
女性史研究会 1984 B 4コピー
- J 119 遠山茂樹「自由民権百年の運動と歴史教育」『三省堂高
校社会科学教育ぶっくれっと』No.5 三省堂 1985.5.10
新書版冊子
- J 120 遠山茂樹講演「自由民権運動と歴史教育」『歴史地理教
育』臨時増刊号 No.373 歴史教育者協議会 1984.10
A 5冊子
- J 121 自由民権百年第2回全国集会声明 自由民権百年第2回
全国集会 1984.11.25 B 4
- J 122 自由民権百年第2回全国集会報告レジュメ 大会実行委
員会 1984.11.25 B 5冊子 9冊
- J 123 井上幸治氏筆跡色紙「秩父因民党」 井上晴樹 1990.9 色紙

17 横浜市立大学問題

- Y 1-1 横浜市立大学文理学部教育課程編成案 横浜市立大学文
理学部合理化対策委員会 1960.3.12 B 5冊子
- Y 1-2 組合ニュース№.3 (教授解雇に関する名古屋地裁判決文)
横浜市大教員組合 1960.3.24 B 4
- Y 1-3 人文課程科目表(案) B 4
- Y 1-4 国立大学文理学部視察報告(第一次)(千葉、信州、富山、
埼玉各大学について) 文理学部長松倉恒夫 1960.8.25
B 5冊子
- Y 1-5 企画委員会開催通知雛型 B 5 6枚
- Y 1-6 組合ニュース№.5 (商学部幹旋案否決) 横浜市大教員
組合 1960.4.8 B 5

- Y 1-7 組合ニュース№.4 (最後の関頭に立つ合理化問題) 横
浜市大教員組合 1960.4.7 B 4綴
- Y 1-8 調査研究費史学研究室(裏面就職申込書雛型) B 6
- Y 1-9 文科一般教育科目時間数 B 5
- Y 1-10 文理学部卒業生縮小反対大会のお知らせ 卒業生大会準
備委員一同 3月2日 B 5
- Y 1-11 講義題目(参考)(特殊専門科目・一般専門科目) B
4 2枚組
- Y 1-12 議長ジョン・W・ホール書簡(近代日本会議開催へ
の招待、原文は英語) 1960.6.11 A 4 2枚組
- Y 1-13 外国語課程(教育科目書上) B 4
- Y 1-14 外国語課程科目・人文課程科目外 B 4 9枚
- Y 1-15 文理学部専攻課程・専門科目等一覧表 B 4
- Y 1-16 組合ニュース(停年退職金優遇措置) 横浜市大教員組
合 1960.9.20 B 4 2枚組
- Y 1-17 人文関係教員別授業担当表 B 5綴
- Y 1-18 文科学科目名一覧 B 4
- Y 1-19 文理学部文科学科目一覧表 B 4
- Y 1-20 サンジュエゴ州立大学と横浜国立大学の交換プログラム提
案(原文は英語) デイーン・ソ・カリック A 4 2枚組
- Y 1-21 民学研ニュース第6号 民主主義をまもる全国学者研
究者の会 1960.9.25 395×267mm
- Y 1-22 民学研ニュース第5号 民主主義をまもる全国学者研
究者の会 1960.8.15 395×267mm
- Y 1-23 人文課程設置の理由 B 5・B 4 3枚組
- Y 1-24 理科学科目一覧表 B 4
- Y 1-25 文理学部学科目関係断簡 4枚
- Y 2 歩み十五年 横浜市立大学 1963 B 5冊子
- Y 3-1 69年大学紛争資料(封筒上書) 封筒
- Y 3-2 「なかま、大学問題特集3、職員像を求めて」 なかま編
集委員会(市大教職員) 1969.9.15 A 4冊子

- Y 3-3 市大闘争・大学立法粉砕への我々の闘いの方向性 全学
共闘会議 B 4
- Y 3-4 自主カリー自主講座に結集せよ 全学共闘会議・自主講
座実行委員会 10月17日 B 4
- Y 3-5 10.17大衆団交に勝利せよ 理闘委準 B 4
- Y 3-6 討論資料、公然たる内乱を開始せよ 横浜市大反帝学生
評議会 10月16日 B 4 10枚組
- Y 3-7 1969年6月1日(私の大学像) 折原正江 1969.6.1
B 4 8枚組
- Y 3-8 『横浜市新新聞』No.14(外人部隊深夜、校内に侵入)
横浜市大新聞会 6月14日 B 4
- Y 3-9 『全共闘』No.14(6.10 公開予備折衝で当局を追求弾劾
せよ) 事務局 6月9日 B 4
- Y 3-10 第二回公開予備折衝に總結集せよ!! 文理2年闘争委
員会 B 4
- Y 3-11 辞意表明について 学長職務代理人伊豆利彦
1969.6.19 B 4 2枚組
- Y 3-12 評議会報告(辞意表明外) 6月19日 B 4
- Y 3-13 『横浜市新新聞』No.17「大学執行部、辞意を表明」 横
浜市大新聞会 6月19日 B 4
- Y 3-14 (当面の大学問題についての文理学部教授会見解と資料
9月15日教授会承認) 文理学部教授会 1969.9.16
B 4
- Y 3-15 三浦研究室自主管理追求宣言 B 4 3枚組
- Y 3-16 市大闘争勝利・大学立法粉砕、我々の闘いの方向性
商学部闘争委員会 B 4
- Y 3-17 10.3文理教授会団交に向けて 文理学部闘争委員会
B 4 2枚組
- Y 3-18 全共闘「文理学部団交へ總結集を! 封鎖解除策動粉
砕!」 全共闘書記局 1969.10.3 B 4
- Y 3-19 本日1時1課、文理学部団交 文理学部闘争委員会

- 1969.10.3 B 4
- Y 3-20 何処へ落したまごとの『私』（文理教授会団交へ総結集せよ） 社会A闘委 1969.10.3 B 4
- Y 3-21 「全共斗」の不法な再封鎖を解除し、斗争学園に商・文理学生自治会執行委員会 9月17日 B 4
- Y 3-22 文理臨時学生大会を延期するにあたって 文理自治会執行委員会 9月18日 B 5
- Y 3-23 全ての教員諸氏へ！（裏面7.4 佐藤豊三郎全共斗4項目要求への回答文） 横浜市立大学全学共闘会議 8月3日 B 4
- Y 3-24 赤光10月16日号外（10.21、一ヶ月の死闘へ決起せよ！） 日本マルクス・レーニン主義者同盟外2 1969.10.16 B 5
- Y 3-25 先鋒、特別号（徹底した武装を以て10.21 プメ大抗議へ起て！） 反戦学生戦闘団中央事務局 1969.10.20 B 4
- Y 3-26 10.21 闘争への参加呼びかけ 社会A斗委 1969.10.20 B 4
- Y 3-27 反戦会議No.9 「勝利へ！全存在を新宿・官邸に!!」 横浜市大反戦会議書記局 1969.10.20 B 4
- Y 3-28 「出入り管理法案」を断固粉碎しよう 留日華僑抗暴擁護闘争委員会 B 5
- Y 3-29 就任に当って 学長職務代理者佐藤豊三郎 1969.6.24 B 5
- Y 3-30 全共闘「6.27「大学立法」粉砕斗争に起て！」全共斗争事務局 1969.6.24 B 4
- Y 3-31 紅衛兵1「大学共同体＝旧秩序に総叛乱せよ 造反有理」商3闘委 1969.6.25 頃 B 4
- Y 3-32 本日の全学集会へ総結集し新執行部、評議会の徹底的追求を 文理自治会執行委員会 1969.6.19 B 4
- Y 4 大学改革準備委員会中間報告 横浜市立大学 1970.1 A 5冊子
- Y 5 横浜市立大学概要（昭和47年度） 横浜市立大学事務局 1972 B 5冊子
- Y 6 打ちかためよ未来へのゆるぎなく確信を！1973年版自治会のおしり 横浜市立大学商学部学生自治会・文理学部学生自治会 1973 B 5冊子
- Y 7 社会経済史学会第四十二回大会報告要旨（会場：横浜市立大学） 社会経済史学会 1973.5.19 A 5冊子
- Y 8-1 新潟水俣病裁判での福島証人の偽善的証言内容に対する川那部氏の批判 福島糾弾委員会 B 5冊子
- Y 8-3 患者差別に無自覚な理科教授を告発す！ 福島糾弾委員会・市大水俣病を告発する会 B 4
- Y 8-4 理科教授の事実歪曲デマ宣伝を糾弾する 福島糾弾委員会 B 4 2枚
- Y 8-5 本日の教授会に参加される方々へ 福島糾弾委員会 B 4
- Y 8-6 福島証言批判に向けて 原告側最終準備書面 横浜市大水俣病を告発する会・福島糾弾委員会 B 4
- Y 8-7 『横浜市大新聞』221号（「福島問題」特集） 横浜市立大学新聞会 1973.3.3 新聞
- Y 8-8 文理学部教授会による市大問題への見解と資料（教授会資料） 文理学部教授会 1969 B 4 11枚組
- Y 8-9 申し入れ書—福島教授に関する公開質問状— 文理学部学生自治会委員長三木得生 1973.2.5 B 5
- Y 8-10 福島＝筑波大学への道を許すな！ 商・文理学部学生自治会執行委員会 2月15日 B 4 2枚組
- Y 8-11 福島問題と我々の立場 文理学部・商学部学生自治会執行委員会 B 4
- Y 8-12 新潟水俣病裁判における福島証言（「法律時報」1971年7月号より） 福島糾弾委員会 B 5冊子
- Y 8-13 文理学部教授会への申し入れ書 文理学部学生自治会委員長市川治彦 1973.6.21 B 5 3枚組
- Y 8-14 申し入れ書（教授会への要求書） 文理学部学生自治会執行委員会 6月3日 B 5 5枚組
- Y 8-15 新潟水俣病裁判記録 B 5冊子
- Y 9-1 横浜市大福島問題ガリ刷（封筒の表題） 1973 封筒
- Y 9-2 斗争とは不明の未来への斬り込みである（福島問題） 福島糾弾委員会情宣部 1973.10.20 B 5冊子
- Y 9-3 福島教授問題に関する文理学部教授会の第二次見解 文理学部教授会 1974.2.17 B 4 4枚組
- Y 9-4 文理学部長宛福島博書簡（1973.12.15、1974.2.20、同4.10三通写し） B 4 12枚組
- Y 9-5 日共—民青の斗争敵対を粉砕せよ 福島糾弾委員会 B 4 2枚
- Y 9-6 昭和49年度聴講生出願要項 横浜市立大学文理学部 B 4 2枚組
- Y 9-7 申し入れ書（福島氏へ質問状への回答要求、教授会へ見解および経緯の公表） 文理学生自治会執行委員会 1973.11.29 B 4・B 5 各1枚
- Y 9-8 要求書（文理学部教授会宛、福島追放および教授会の自己批判を要求） 福島糾弾委員会 B 5冊子
- Y 9-9 1.29 説明集会での確認事項 文理学部学生自治会執行委員会 B 4 2枚
- Y 9-10 昨日説明集会で学部長、福島喚問集会確認す！ 商文理学部学生自治会執行委員会 1月3日 B 4
- Y 9-11 申し入れ書（文理学部長三浦恵司宛） 文理学部学生自治会委員長市川治彦 1月31日 B 5
- Y 9-12 「市大の科学者」No.4 横浜市立大学科学者会議 1974.1.18 B 4 2枚組
- Y 9-13 福島問題をめぐる自治会執委の取り組みと現在の状況（教授会回答あり） B 4 2枚組
- Y 9-14 福島問題解決に向けた方針 文理学部自治会執行委員会 B 4
- Y 9-15 いわゆる「福島問題」の正しい解決のための提案 日本共産党横浜市大学生支部 B 5冊子
- Y 9-16 教授会に対する申し入れ書 福島糾弾委員会 1973.11.29 B 5 2枚組
- Y 9-17 文理学部教職員宛福島博書簡写 1973.2.12 B 4 4枚組
- Y 9-18 商・文理学部学生自治会宛福島回答書外 1973.11.4 B 5・B 4 4枚組
- Y 9-19 教授会への申し入れ書（調査内容公表、教授会の断固たる処置を要求） 文理学部学生自治会執行委員会 1973.10.25 B 4
- Y 9-20 福島問題の理解と解決のために 商文理学部自治会執行委員会 B 4
- Y 9-21 裁判記録・公開文獻等を通じて明らかなこと 三浦文理学部長 1973.11.1 A 4・B 4 5枚組
- Y 9-22 「福島糾弾委員会」批判—第一弾— ソクラー（自治会執委外） B 5冊子
- Y 9-23 福島教授問題に関する教授会見解 文理学部教授会 1973.12.3 B 4 2枚組
- Y 9-24 糾弾委通信No.3「教授会「見解」批判特集」 福島糾弾委員会 1973.12.7 B 4
- Y 9-25 福島問題討論資料 文理学部自治会執委、民主化斗争ソクラー B 5冊子
- Y 9-26 学長選候補者各位に対する我々の態度と要求 福島糾弾委員会 B 4
- Y 9-27 福島問題の理解と解決のために！ 商文理学部自治会執行委員会 B 4
- Y 10 横浜市立大学図書館の現状と問題点—中間報告書— 横浜市立大学図書館協議会 1977.9 B 5冊子
- Y 11-1 昭和45年2月教員組合関係（横浜開港資料館設立研究委員会議あり） 横浜市立大学遠山茂樹 1970.2 A 4フレイル

Y 11-2 「関口構想」文理学部学科目 B 5 冊子
 Y 11-3-1 文理学部新設要項抜萃 B 5 冊子
 Y 11-3-2 遠山茂樹宛辻達也書簡 (文理学部新設要項抜萃送付につき) 9月30日 B 5 便箋用紙 3 枚
 Y 11-4 市大情勢についての緊急アピール 市大教員組合 1980.2.25 B 5 冊子
 Y 11-5 市議公予算特別委員会宛要望書 市大教員組合執行委員長越智早 1980.2.27 B 5 冊子
 Y 11-6 (資料1) 今回の件での経過・情勢展開 B 4 3 枚組
 Y 11-7 緊急アピール (教員組合総会決議) 総会議長・執行委員長 1980.1.31 B 4
 Y 11-8 市大教員の法的位置 (教特法関係簡便集) 市大教員組合 B 5 冊子
 Y 11-9 「組合ニュース」No.1 (新執行委員の決定外) 市大教員組合 1980.3.5 B 5 冊子
 Y 11-10 「組合ニュース」No.2 特別号 (2.29 組合と学長・局長交渉記外) 市大教員組合 1980.3.5 B 5 冊子
 Y 11-11 「組合ニュース」No.3 (“協議機関”設置をめぐるその後の情勢外) 市大教員組合 1980.3.13 B 5 冊子
 Y 11-12 「市労連ニュース」No.23 「市大、重大な岐路に」横浜市労働組合連盟 1980.3.8 B 4
 Y 11-13 昭和 53 年度第 5 回横浜開港資料館設立研究委員会議次第 1979.2.3 B 4
 Y 11-14 2. 今後の横浜開港資料館設立研究委員会の運営方法について (事務局案) B 5
 Y 11-15 展示のあり方とその設計について 1979.2.3 B 4 6 枚組
 Y 11-16 (資料1) 昭和 53 年度研究委員会議の協議事項から (横浜開港資料館を旧英国領事館跡に設置すべき旨) B 4 5 枚組
 Y 11-17 「黒船渡来とヨコハマ」展概要 B 4 4 枚組
 Y 11-18 今回の市大問題の経緯 B 4

Y 11-19 はじめに (オックスフォード大学出版の書物、原文は英語) ゴードン・ザニエルズ 1968.6 B 4 5 枚組
 Y 11-20 国際通信誌のコピー (原文はドイツ語) B 4 12 枚組
 Y 12 阿津坂林太郎「辻達也教授著作目録 (稿)」(1949～1985) 横浜市立大学論叢刊刷 1986.3.31 A 5 冊子
 Y 13 日本史上における江戸時代の意味 (辻教授市大最終講義録) 横浜市立大学日本史専攻卒業生の会 1986.1.30 B 4 13 枚組
 Y 14 平成 8 年度教員名簿 (全学部分) 横浜市立大学商学部 1996 A 4 冊子
 Y 15-1 遠山茂樹先生『明治維新と天皇』セミナー出席者一覧 1991 頃 B 4 2 枚組
 Y 15-2 『明治維新と天皇』メモ (裏面原稿断簡) B 5 10 枚
 Y 16 平成 4 年度教員名簿 横浜市立大学 1992 B 5 冊子
 Y 17 日本史研究室四〇周年シンポジウム「歴史における天皇と天皇制」横浜市立大学日本史専攻卒業生の会 1994.4.29 B 4 17 枚組
 Y 18 『望操記』(大野元教授横浜市大へ来るまでの回想記) 大野真弓 1995.5.25 A 5 冊子
 Y 19 学内規程撤回闘争 神奈川大学新聞会 1968 A 5 冊子
 Y 20 医学部学生委員会から医学部教授会に対する要求事項ならびに回答 横浜市大医学部学生委員会 1969 B 4 3 枚組
 Y 21 学生自治会質問への回答下書 (全共闘による学園封鎖当時のもの) 遠山茂樹 1969 B 5 原稿 5 枚
 Y 22 教授会が全共闘と団交を持った理由下書き 遠山茂樹 1969 B 5 原稿 3 枚
 Y 23 『横浜市大新聞』第 137 号 138 号合併号 (三枝学長事故) 横浜市立大学新聞会 1963.11.25 新聞
 Y 24 講演会「公立大学で学ぶことの意義」参考資料 常任委員会 B 4 6 枚組

18 手紙

T 1 今井文学はがき (贈答品へのお礼、遠山先生の診療所について) 1996.10.3
 T 2 松島栄一宛未送送はがき (お礼)
 T 3 松島栄一宛未送送はがき (短歌 4 首)
 T 4 今井清一はがき (森清和さん懇話会の報告と遠山先生の病氣見舞い) 2004.5.3
 T 5 今村達宜はがき (病状報告と遠山先生へのお見舞い) 1996.12.27
 T 6 岡本光民はがき (宮川寅雄先生十三回忌、生花お礼) 1996.12.23
 T 7 井上清はがき (退院のお祝い、贈答品のお礼) 12月21日
 T 8 宮地正人はがき (雑誌『東京』の送付のお礼、植木 (枝盛) の論文に対する意見) 1996.2.10
 T 9 山口啓二村田静子はがき (紀伊勝浦にて、退院のお祝い、南紀地方の調査旅行 (米騒動) の報告) 1996.11.14
 T 10 田中彰封書 (『月刊東京』送付のお礼、桑原真人『北海道開拓と移民』送付) 1996.1.29
 T 11 由井正臣封書 (退院療養のお見舞品送付) 1996.11.23
 T 12 佐藤封書 (年賀、郷土料理送付) 1996.1.3
 T 13 藤田省三封書 (論考惠贈お礼、1948 年上原提案 歴史学部創設について意見依頼) 1996.9.15
 T 14 辻達也封書 (退院お祝いと近況報告) 1996.12.21
 T 15 萩原延寿封書 (退院のお祝いと近況報告) 11月5日
 T 16 石井信子封書 (父石井孝供養のお礼) 1996.8.27
 T 17 丸山ゆかり封書 (丸山真男葬儀弔辞お礼) 1996.10.2
 T 18 芳即正はがき (原平三遺稿『幕末洋学史の研究』送付お礼) 1992.5.8
 T 19 斉藤秀夫はがき (自由民権の会の入会者 6 名の連絡) 1981.5.22

T 20 中塚明封書 (東大版自由民権研究会講演のお礼) 12月9日
 T 21 奈良県近代史研究会事務局竹末勤封書 (自由民権運動の歴史講演のお礼) 1986.12.7
 T 22 中塚明封書 (自由民権運動の歴史の講演依頼) 1986.9.30 封筒なし
 T 23 安在邦夫封書 (自由民権運動研究目録の『刊行によせて』(仮題) 原稿依頼) 1984.7.31
 T 24 松嶋秀三はがき (病氣見舞い) 1992.10.4
 T 25 松島栄一はがき (はがきのお礼) 1991.3.26
 T 26 北山茂夫はがき (著書購読のお礼、中世武家と農民について) 1980.6.25
 T 27 (有) 弘文社反町茂雄封書 (E. サトウの蔵書目録閲覧許可のお礼) 1月22日
 T 28 田野畑村教育委員会村長教育長封書 (岩手県下閉伊郡田野畑村歴史民俗資料館建設の案内と情報提供の依頼) 1989.5.1
 T 29 田中彰封書 (北大病院にて療養見舞お礼と大久保氏『家族制』の解説のお礼) 1989.2.19
 T 30 岩波書店井上一夫封書 (新書発行計画報告) 1993.8.17
 T 31 横浜開港資料館伊藤久子封書 (藤沢市文書館『阿部征寛論文集』前書後書依頼) 1989.7.11
 T 32 西野卯一封書 (『昭和史』披引引用承諾のお礼) 1992.10.10
 T 33 鈴木良一はがき (岩波講座『日本通史』の感想) 1996.2.6
 T 34 安田正美封書 (『日本近代史 I』についての意見) 1990.7.2
 T 35 憲法改憲阻止各界連絡会藤村夫封書 (P K O 協力法案反対共同声明賛同お礼) 1991.11.20
 T 36 高橋禎一封書 (仮題『歴史学入門』執筆依頼、執筆者名簿、合同出版株式会社編集部担当上野良治) 1979.8.4
 T 37 山極晃封書 (Paul Blum について、R.H.Smith の本のコピー送付) 1982.10.1
 T 38 六興出版福田啓三封書 (『東アジアのなかの日本歴史』の

- 推薦文受諾のお礼) 1987.10.15
- T 39 六興出版編集部長福田啓三封書 (推薦文の依頼) 1987.10.12
- T 40 坂元正典封書 (同窓会の報告、写真3枚同封) 1987.5.23
- T 41 伊藤新一郎封書 (講演会計画について) 1980.3.31
- T 42 中国北京宣武区万峰封書 (手紙のお礼) 1985.7.7
- T 43 中里優封書 (絶対主義革命についての意見) 1985.6.16
- T 44 白倉司郎封書 (『日本労働通信』のダイレクターメール用推薦文依頼) 1985.7.5
- T 45 横浜Y M C A第1回快樂亭ブランクを偲ぶ会封書 (快樂忌のご案内)
- T 46 石井紫郎封書 (資料貸し出し受諾) 1985.9.9
- T 47 高橋芳子封書 (小島力次郎関連手紙コピーのお礼) 1990.8.19
- T 48 田鎮忠利封書 (喜寿を祝う会写真1枚) 1990.10.26
- T 49 岩崎書店出版部豊田匡介封書 (『おはなし明治維新史』改裝新版刊行了承依頼) 1990.10.19
- T 50 村野守治はがき (ア－ネスト・サトウ目録惠贈お礼) 1985.12.9
- T 51 上行寺東遺跡を考える会チラシ (上行寺東遺跡見学依頼と緊急のお知らせ) B 5
- T 52 鈴木良一はがき (歴教協高橋君訃報について) 1985.8.17
- T 53 萩原延寿封書 (イギリス外務省史料の件のお礼) 1985.4.5
- T 54 岡田裕之封書 (わたつみの会同窓の集いのご案内) 1989.2.7
- T 55 家永三郎はがき (歴研3月号の原稿『天皇不親政論』の現れた時期に対する反論) 1989.2.26
- T 56 家永三郎はがき (津田左右吉全集月報のお礼と宮村氏の論文の紹介) 1988.12.24
- T 57 家永三郎はがき (『天皇不親政論』について返事を出したことに對するお礼) 1989.2
- T 58 田中彰はがき (病氣見舞いのお礼と大久保著作集の遅れのおわび) 1989.2.7
- T 59 佐藤七郎封書(クリスマス&正月カード、近況報告、スウェーデンより) 1967.12.14
- T 60 松島栄一封書 (年賀の挨拶と遠山先生入院のお見舞い) 1996.1.1
- T 61 北山茂夫はがき (大学紛争中の遠山先生へのお見舞いと『明治維新』刊行への期待及び近況報告) 1969.10.6
- T 62 今井清一絵はがき (レニオンクラブより報告)
- T 63 三浦進封書 (第4回加波山事件研究会の報告) 封筒なし
- T 64 丸茂信行はがき (先日の会出席者の件で報告) 1990.10.9
- T 65 牧原憲夫封書 (残暑見舞いと『明治七年の大論争』送付のお知らせ) 1990.8.22
- T 66 東京中央法律事務所封書 (『事務所だより』第25号) 1991.1.1
- T 67 家永三郎封書 (遠山先生へのお見舞いと『七十七歳まで生きながらえて』同封、近況報告) 1991.9.10
- T 68 開港資料館佐藤孝はがき (構想中の都市発展記念館の運営について、転郵の予定) 1992.3.1
- T 69 開港資料館佐藤孝はがき (『歴史地理教育』コピー送付のお礼と構想中の都市発展記念館について) 1991.3.1
- T 70 今井清一絵はがき (遠山先生ヘルペスのお見舞いと沖繩旅行報告) 1992.10.8
- T 71 江村栄一封書 (クリスマスカード、ロンドンより。国立文書館と大英博物館に通い、民権期を世界的に考えているとの報告) 1986.1.1
- T 72 編集スタジオ彫(える)平凡社『ジャパソビーズ』編集部封書 (石母田正迫偉文執筆のお願い) 1986.10.12
- T 73 弘文荘反町茂雄封書 (『ア－ネスト・サトウ蔵書目録』について開港資料館所蔵のものを拜見したい旨の依頼) 1986.1.10
- T 74 岡義武封書 (ジヨセフ彦関係資料の写し受領の報告) 1985.4.26
- T 75 開港資料館佐藤孝はがき (紀要第八号校正刷の件) 1990.5.9
- T 76 劉大年はがき (年賀) 1989.12.4
- T 77 Omar Hartinez Legorreta 封書 (国際大会への参加のお礼) 1975.4.21
- T 78 岩波書店鈴木稔封書 (E. H. ローレン『日本における近代国家の成立』岩波文庫出版時の解説依頼) 1992.10.5
- T 79 横濱開港資料館吉良芳恵はがき (お礼と紀要6号の送付と論文への教示依頼) 1988.8.5
- T 80 井上一はがき (『図書』11号の遠山論文を読んだこと、京都の女子短大から東京へもどったとの挨拶) 1992.11.5
- T 81 岩波書店伊藤修封書 (著作集完結のお礼と『図書』へ「福沢についてのエッセイ」原稿依頼) 1992.9.18
- T 82 萩原延寿封書 (粗品送付の添え状、新聞連載が終わったことなどの挨拶) 1990、封筒なし
- T 83 松島栄一はがき (『図書』の「考証福沢論吉」を一読など近況報告) 1992.11.2
- T 84 松尾章一貞子封書(アメリカからの年賀状、近況研究報告) 1992.1.1
- T 85 弁護士遠藤誠封書 (マルクス史学の立場で書かれた西洋近現代史の本の紹介依頼) 1980.3.19
- T 86 呂和封書 (日本国際交流基金で訪日、研究でき世話になったお礼) 1990.7.9
- T 87 和歌山大学紀州経済史文化研究所の人封書 (自由民権期の地域に根ざした権利意識・権利要求についての論文指導願い) 1983.6.11 封筒なし
- T 88 辻達也封書 (古稀の祝いに金品・記念品代を頂いたお礼) 1996.8.30
- T 89 板倉勝正封書 (昭和9年卒業浦和高文甲会名簿の送付) 1972.4.28
- T 90 丹羽邦男封書 (神奈川大学『大学評論』4号へ福沢論文を頂いたお礼と特に天皇制についての学問論議が活発になったこと) 1988.8.2
- T 91 杉山伸也はがき (英国留学につき住所・連絡先通知) 1988.8
- T 92 田中彰はがき (先日突然の参上に対するお便り頂戴につき返礼) 1996.6.27
- T 93 11人からのカード(モスクワより年賀状) 1987
- T 94 講談社出版研究所『帝国主義の時代』担当坂慶子封書 (『帝国主義の時代』正誤表) 1988.8.10
- T 95 古島敏雄はがき (暑中見舞、6月に喜寿を祝う) 1988.7.30
- T 96 中国天津社会科学院日本研究所呂万和封書 (年賀状) 1987.12.15
- T 97 中国天津社会科学院日本研究所王金林封書 (封筒のみ) 1986.12.16
- T 98 大久保利謙はがき (病氣療養中リソゴジュース頂戴につき礼) 1987.3.19
- T 99 中国天津社会科学院日本研究所封書 (年賀状) 1987.12.8
- T 100 松尾章一封書 (『服部之總・人と学問』につき編者依頼) 1987.6.30
- T 101 茂手木元蔵はがき (大著の発刊をお喜び申し上げます) 1988.4.5
- T 102 中武香奈美はがき (『イリュストラシオン』第二巻と展示図録送付につき) 1988.8.1
- T 103 茂手木元蔵はがき (市大の会幹事遠山先生へ昨日の会お世話様でした) 1988.8.5
- T 104 辻達也はがき (アメリカハーバード大学、4月下旬から三ヶ月の予定で当地に来ております) 1988.5.12
- T 105 鹿野政直はがき (『津田博士の天皇制論』惠贈礼状) 1988.12.26

- T 106 劉大年封書 (年賀状) 1995.12.8
T 107 西郷信彌封書 (ロンドンよりロンドンに旅行に来るようにと誘いの手紙) 5月8日
T 108 宮原絵はがき (大久保利謙先生への本の返却について仲介の遠山先生にお詫び) 1962.5.27
T 109 村野守治美代子封書 (劇『馬車道の女』招待状お世話のお礼と『明治維新と現代』を大学講義に使用する予定との報告) 1995.2.6
T 110 榎本守恵絵はがき (著作物への教示と贈書の札状) 1991.3.2
T 111 森田玲子封書 (著作贈られたことへの札状) 1991.5.17
T 112 封書 (昭和13年六高卒文科生同期会誌『晩成会会報』45号、大野真弓「わが旧制高校時代の先生方」送る旨) 1990.12 封筒なし
T 113 坂井誠一はがき (白内障手術のお見舞いと近況報告) 1991.2.6
T 114 沼田次郎はがき (白内障手術のお見舞い) 1991.2.6
T 115 内田正子はがき (白内障手術のお見舞い) 1991.2.7
T 116 浅見恵絵はがき (白内障手術のお見舞い) 1991.3.8
T 117 森芳枝はがき (贈答品送付のお知らせと近況報告) 1991.3.19
T 118 鹿野政直はがき (歴史学の熱気と歴史学部の構想が感じられた、古島敏雄先生の回想文のお礼) 1996.9.19
T 119 手塚明明はがき (贈答品のお礼) 1995.5.1
T 120 大久保利謙封書 (大久保利謙著全集全八巻完結、朝日賞受賞祝賀会のお礼と最終回執筆のお礼及びお見舞い) 1993.6.18
T 121 松本登封書 (病氣見舞い及び福島民権運動について) 1991.2.14
T 122 森田玲子はがき (民権運動等の近況報告) 1996.9.22
T 123 藤井正封書 (卒業生3名の住所連絡) 1975.6.30

- T 124 辻達也封書 (供花代御礼及び市大教授会の様子) 1996.9.27
T 125 大塚振武封書 (葬儀参列御礼) 1964.12.25
T 126 桃裕行封書(原平三 三十三回忌追悼会案内先について) 1977.3.3
T 127 茂手木元蔵封書 (茂手木氏書籍刊行につきご懇情御礼) 1993.2.21
T 128 茂手木元蔵はがき (Noman 訳書贈呈につき御礼) 1993.1.21
T 129 茂手木元蔵はがき (近況報告久しぶりに面会) 1991.6.11
T 130 大久保利謙はがき (小生受賞への御祝辞御礼) 1992.12.15
T 131 佐藤孝封書 (横浜開港資料館の近況報告) 1993.3.16
T 132 松島栄一はがき(『正史忠臣蔵』解説を別便で送付につき) 1992.12.23
T 133 大野真弓封書 (『日本における近代国家の成立』惠贈につき札状) 1993.1.22
T 134 北島みち江はがき (快気祝い頂戴につき札状) 1993.2.23
T 135 坂井誠一はがき (アメリカ訪問の近況報告) 1993.1.26
T 136 辻達也絵はがき (『日本の近世』第10巻を送る旨) 1993.1.9
T 137 浅見恵絵はがき (寒中見舞い) 1993.1.11
T 138 幼方貞子はがき (本に目を通してくれたことと贈答品への札状) 1993.2.23
T 139 安在邦夫封書 (安在氏の著作についての学会誌に文を寄せたことへのお礼、民権研究者の全国交流会を組織したい旨で連絡) 1992.4.19
T 140 天津社会科学学院日本研究所王金林封書 (国際大会出席のお礼) 1993.2.15
T 141 イサベラ・コザレーチュ封書 (オーストラリアより。日本滞在中の横浜開港資料館での研究協力へのお礼と論

- 文完成の報告) 1987.8.3
T 142 西村光矩封書 (国史昭九会会計報告) 1987.6.5
T 143 羽仁説子封書 (羽仁五郎逝去後の挨拶) 1984.6.11
T 144 大久保利謙封書 (約束の不履行のお詫びと「彦と横浜の新開展」に行きたい旨の連絡) 1985.4.2
T 145 三春町歴史民俗資料館松本登封書 (町田市民権資料館開館祝いの会参加の報告と三春町新資料紹介文の依頼) 1986.11.7
T 146 吉野源三郎封書 (『同時代のこと』への感想についてのお礼) 1975.7.15
T 147 塚田正朋封書 (長野県近代史研究会での講演依頼) 1972.5.25
T 148 山口修封書 (著書惠贈のお礼) 1975.5
T 149 錦木良一封書 (徳政記念館の「日本議会政治の歩み特別展第1回」を見ての感想) 1994.3.13
T 150 黄富雄封書 (『明治維新と現代』の台湾での翻訳・出版の許可を求める手紙、岩波書店より転送) T 151 と同文) 1994.4.19
T 151 黄富雄封書 (『明治維新と現代』の台湾での翻訳・出版の許可を求める手紙) 1994.4.19
T 152 桃園恵真封書 (鹿児島行きを断ったことに対する返事) 1969.11.22
T 153 三浦進封書 (日本史教材研究部会について) 1985.12.31 封筒なし
T 154 遠山茂樹封書 (著作集出版お礼の会案内) 1992.10.15 封筒なし
T 155 原口清封書 (病気の報にお見舞い) 10月3日
T 156 入江仰封書 (出版お礼の会中に通知の件) 1992.10.1
T 157 萩原延寿封書 (吉良さんへの援助のお礼) 1986.7.2.7
T 158 石井和夫はがき (『大久保利通文書』解題へのお礼) 1969.11.12

- T 159 神田文人はがき (大丸君のためのカンパお礼) 1969.11.24
T 160 岩生成一はがき (昨夜お願いの件について) 1986.5.10
T 161 大江志乃夫はがき (10月15日の会に出席の通知) 1992.9.20
T 162 植手通有はがき (10月15日の会に出席の通知) 1992.9.23
T 163 Ilatyshv G.Podpalova P.Jopeha 封書 (新年の挨拶)
T 164 松永昌三はがき (過日の会を受けてお礼) 1975.3.7
T 165 黒滝チカラはがき (退職挨拶) 1975.7.5
T 166 石井孝はがき (A氏の意見を入れた人と話し合っても無駄な旨) 1988.9.5
T 167 安在邦夫はがき (11月3日町田自由民権史料館オーゾウ式典参加について) 1986.10.27
T 168 森田玲子はがき (高齢者施設への転居通知) 1987.6.12
T 169 内田四方蔵封書 (第35回横浜文化賞贈呈式の案内) 1986.11.9
T 170 船垣敏子はがき (史料編纂所退職につき挨拶) 1987.5.8
T 171 宮地正人はがき (玉篇3点惠贈につき札状) 1987.5.23
T 172 森田誠一はがき (山本孝氏の新潮ご招待につき札状) 1979.1.19
T 173 岩生成一封書 (利根川の水を荒川に落とす計画の立案者北沢正誠の調査報告) 1986.5.16
T 174 萩原延寿封書 (パンフレットによる著作権侵害についておわび) 1989.1.26
T 175-1 深川正次封書 (浦高クラス会案内状) 1996.10.8
T 175-2 深川正次封書 (物故叙女逝去年月日調べ、T 175-1に同封) 1996.12.6 封筒なし
T 176 佐藤誠朗封書 (岩波新書著作希望につき岩波書店紹介の依頼) 1990.11.17
T 177 萩原延寿封書 (遠山氏退院につき通信お礼) 1996.12.23
T 178 青木美智男封書 (開港資料館論文の剽窃あり、遠山氏

- の抗議に対する返信。遠山氏の抗議文コピー(在中)
1985.6.17
- T 179 今井清一封書(瀬戸内の珍味頂戴のお礼及び近況報告)
12月21日 封筒なし
- T 180 広瀬謙一封書(歴教協故高橋嶺一委員長への弔辞御礼)
1985.8.10
- T 181 三好洋子封書(三好洋子氏父君への贈り物と口述記録の
拝読のお礼) 1989.12.20
- T 182 大野真弓封書(大久保利謙、羽仁五郎など歴史研究仲間
の思い出及び原稿案内) 1996.3.29
- T 183 今井清一封書(石井氏逝去の連絡お礼及び王希天墓及び
記念館落成等報告他) 1996.9.30
- T 184 松島栄一封書(膝沢での写真送付及び学生論文抜刷送付
の添え書き) 1996_ホ.11.18 封筒なし
- T 185 辻達也封書(専修大職員近況報告及び辻達也氏近況報告
及び神田氏退職記念会報告) 1995.3.25
- T 186 原口清はかき(故古島敏雄氏追悼文コピー-惠贈お礼他近
況報告) 1996.9.8
- T 187 渡辺慶一はかき(上越郷土研究会北島正元追悼号の原稿
依頼) 1986_ホ.10.5
- T 188 上杉聡封書(中曽根首相靖国参拜反対の朝日新聞投稿文
送付) 1985.10.7
- T 189 藤田省三はかき(11月24日演題の件) 1985.10.9
- T 190 阿部征寛封書(嶺のお見舞いお礼) 1989.3.21 封筒なし
- T 191 封書(書物寄贈者リスト) 封筒なし
- T 192 北山茂夫はかき(昭和10年卒業生現住所確認依頼)
2月12日
- T 193 中村哲はかき(初期教研集会社会党、小学校教諭と労組
の学士院、東大関係、戒能、丸山は違う) 1990.10.9
- T 194 高橋房子封書(高橋幸八郎氏葬儀質問お礼と論文集発刊
のご案内) 1983.5 封筒なし
- T 195 大久保利謙封書(著作集出版記念会お礼) 1986.5.12
- T 196 羽仁説子封書(羽仁五郎の死に際し弔辞御礼) 1983.6
- T 197 板倉勝正封書(日本万歩クラブ「健康随想」投稿文コピー)
1991.9.17
- T 198 北山素封書(遠山宛北山茂夫差し出しの手書き葉書拝借
依頼) 1985.1.12
- T 199 岩生成一封書(平戸イギリス商館文書の日録等三点送付
につき添え書き) 11月21日
- T 200 大久保利謙はかき(毎日新聞日本の肖像掲載「華族と華
族」送付につき) 1990.2.10
- T 201 大久保利謙はかき(体調回復につき近況報告) 1990.10.28
- T 202 大久保利謙はかき(「解説」引き受けにつき御礼)
1989.9.30
- T 203 山住正巳はかき(父喪中につき年賀状遠慮) 1987.1.8
- T 204 藤原彰はかき(退院祝い惠贈につき御礼) 12月19日
- T 205 田中正はかき(足をいためたため浦高同窓生より療養お
見舞い) 1996.12.6
- T 206 茂手木元藏はかき(御懇書御礼及び市大O B会近況報告)
1994.6.5
- T 207 大野真弓はかき(石井孝死亡通知の御礼) 1996.8.31
- T 208 大野真弓はかき(6月4日市大文理教員O B会の近況報
告) 1994.6.6
- T 209 今井清一はかき(中国旅行での研究者交流の報告)
1985.10.9
- T 210 今井清一はかき(贈答品御礼及び研究テーマ報告)
1991.7.19
- T 211 鈴木良一郵便書簡(誕生祝い、喜寿御礼及び近況報告)
1985.9.18
- T 212 辻達也はかき(古島夫妻追悼文集の追想文感想) 1996.9.8
- T 213 猪飼隆明はかき(自由民権100年に関する書評への御礼)
1985.10.26
- T 214 森田玲子絵はかき(自由民権運動全国連絡会参加の感想)
1996.9.2
- T 215 芳即正はかき(開港記念館資料惠贈の御礼) 1985.11.16
- T 216 外崎光広はかき(準備事項の報告) 1985.11.15
- T 217-1 今井清一はかき(市大教授10名分住所書き上げ)
1981.4.28
- T 217-2 小野藤枝はかき(11月24日遠山講演拝聴御礼)
1985.11.27
- T 218 佐々木潤之介封書(矢代和也遺稿追悼文集への原稿依頼)
1990.4.2
- T 219 佐々木潤之介封書(矢代和也さんへのお見舞い金につい
ての報告) 1989.6.15
- T 220 神田文人封書(眼の手術お見舞いにつきお茶送付、市大
の様子報告) 1991.2.26
- T 221 佐藤七郎封書(フーネスト・サトウ展招待券惠贈のお礼)
1985.11.24
- T 222 大野真弓封書(六高同期会誌掲載論文「私とドイツ語」
及び添書) 1994.9.30
- T 223 伊藤隆封書(伊藤家所蔵文書問い合わせへの返答)
1985.9.17
- T 224 中武香奈美封書(『日本近代思想大系別巻』解説文執筆
につき推薦御礼) 1992.4.23
- T 225 神田文人封書(遠山先生傘寿のお祝い生花寄贈)
1994.2.20
- T 226 田中敬封書(『幕末洋学史の研究』惠贈お礼及び『開国
と御葬』出版お知らせ) 1992.5.5
- T 227 今井清一封書(手紙のお礼及び戦後史の論じ方について、
短大講義の近況報告など) 1992.5.1
- T 228 山本大封書(入院お見舞い及び近況報告) 1994.1.21
- T 229 植手通有封書(原平三『幕末洋学史の研究』惠贈お礼及
び著作集第5巻の件) 1992.5.31
- T 230 広田昌希封書(手紙への礼状、先生との格闘の歴史、
社会主義と知識人の件に触れた月報原稿のこと)
1992.6.15
- T 231 鈴木良一はかき(御礼及びお見舞い) 1993.11.2
- T 232 田中彰はかき(手紙への返信、著作集解説への目通し依
頼) 1992.1.30
- T 233 田島一彦はかき(快気祝い惠贈御礼) 1992.1.28
- T 234 篠田健一はかき(快気祝い惠贈御礼) 1992.1.28
- T 235 田中彰はかき(快気祝い惠贈御礼及び近況報告)
1992.2.22
- T 236 中島義勝はかき(快気祝い惠贈御礼) 1992.2.25
- T 237 吉永啓二はかき(手紙お礼、病氣見舞い) 1992.1.28
- T 238 坂井誠一はかき(手紙お礼、病氣見舞い及び近況報告)
1992.1.24
- T 239 村田静子はかき(寒中見舞い、手紙の返事) 1992.1.24
- T 240 鈴木理生はかき(近況報告) 1992.1.26
- T 241 茂手木元藏はかき(葉書に対する返礼、所感) 1992.6.18
- T 242 田中正はかき(昨年の手術へのお見舞いと近況報告)
1992.2.22
- T 243 田中彰はかき(体調伺いと近況報告) 1992.3.30
- T 244 内田正子はかき(暑中見舞い、教頭としての悩み)
1991.7.29
- T 245 上杉重二郎はかき(お見舞いと遅れたお詫び) 1992.3.27
- T 246 小見寿はかき(名簿返送のお礼) 1992.4.13
- T 247 大江仰はかき(問い合わせへの回答) 1992.6.3
- T 248 田中彰はかき(大久保先生の原稿が遅れている件)
1992.5.24
- T 249 大久保利謙はかき(「華族制」原稿の遅れについて)
1992.5.25
- T 250 吉田常吉はかき(寒中見舞い御礼、書評依頼のお詫び)
1992.1.23

- T 251 茂手木元蔵はがき (OB会の返事と病氣見舞い) 1993.6.7
- T 252 大野真弓はがき (OB会報告) 1993.6.6
- T 253-1 松島栄一はがき (近況報告) 1993.12.16
- T 253-2 鈴木理生はがき (病氣見舞いお礼と近況報告) 1994.1.8
- T 254 内田正子はがき (近況報告) 1994.4.5
- T 255 米島早苗はがき (父小沢圭介代理、病氣見舞いのお礼と近況報告) 1993.12.12
- T 256 村野美代子はがき (病氣見舞) 1994.3.10
- T 257 吉田米子封書 (ご亭主葬儀参列お礼) 1994.3.10
- T 258 パク・ズン・ボロン封書 (木下順二和田春樹他9名の植民地反省の国会決議要求への賛同書) 1994.11.8 (2ヵ)
- T 259 田中彰はがき (病氣見舞い及び大久保邸学習会の報告) 1993.12.19
- T 260 辻達也はがき (海外研修報告、米国ハーバードからの手紙) 1993.6.13
- T 261 山本大はがき (病氣近況報告) 1993.10.21
- T 262 小西四郎はがき (病氣見舞お礼及び健康上の近況報告) 1993.10.29
- T 263 茂手木元蔵はがき (岩波の会の市大関係者のこと、他近況) 1993.10.31
- T 264 神田文久封書 (神田先生定年退職の会報告及び写真) 1995.7.23
- T 265 井上清封書 (小西四郎葬儀の件と近況報告) 1996.2.7
- T 266 万峰封書 (中国から『自由民権と現代』(筑摩書房)惠贈のお礼) 1985.10.10
- T 267-1 藤林伸治封書 (『福沢諭吉の海外視察と征長建白』のお礼、映画制作のため) 1990.11.10
- T 267-2 藤林伸治封書 (近況報告、開港資料館と次作について、竹久夢二) 1987.1.10
- T 268 竹内理三文化功労者賞受賞祝賀会案内封書 1989.1.14
- T 269 阿部志郎封書 (高谷道男先生ご夫妻に感謝する会の案内)
- T 270 丸山真男はがき (『自由民権と現代』惠贈お礼) 1988.10.25
- T 271 丸山真男封書 (『近代天皇制の成立』惠贈の礼状) 1985.10.10
- T 272 丸山真男封書 (『歴史学から歴史教育へ』惠贈礼状) 1987.12.10
- T 273 越智昇封書 (『近代史話』(1)~(3)惠贈の礼状並びに近況報告) 2001.1.7
- T 274 山極晃封書 (論稿抜刷惠贈の礼状) 2000.2.20ヵ
- T 275 船垣敏子封書 (写真手紙受領の礼状)
- T 276 中村尚美封書 (講演受諾お礼並びに『早稲田大学史学』掲載依頼) 1986.10.21
- T 277 山極晃封書 (『江口朴郎文庫』お披露目の案内状) 2000.10.10
- T 278 森田誠一封書 (『馬場の女』観劇の礼状並びに軍事史研究家紹介記念に付願) 3月8日
- T 279 青木美智男封書 (『開国』所収森論文脱稿には種々配慮に付礼状) 1985.7.7
- T 280 外崎光弘封書 (『近代史話』惠贈礼状並びに高知新聞社説、高知果敢だより掲載原稿贈呈) 2001.1.14
- T 281 岩波書店高橋幸治封書 (『ローマン史学の評論と問題』転載依頼) 2001.7.12
- T 282 佐々木潤之介封書 (別刷書簡惠贈の礼状、元氣一層回復に付願い) 2001.1.10
- T 283 岩波書店小野民樹封書 (『明治維新』岩波現代文庫収録依頼) 2000.9.7
- T 284 桑原真人はがき (『開港資料館紀要』第18号惠贈礼状) 2000.7.8
- T 285 鹿野政直封書 (『開港資料館紀要』第18号所載『維新編纂事務局と大塚武松先生について』挿読礼状並びに読

- (後感) 2000.9.18
- T 286 市古宙三はがき (年賀状) 1989.1.8
- T 287 井上一封書 (脳梗塞後の近況報告) 2000.8.24
- T 288 芳即正一筆箋 (当地名品贈呈につき添書き)
- T 289 田中彰封書 (病氣見舞いにつき返礼) 2002.1.31
- T 290 田中彰封書 (入院に関し過分なお見舞いにつきお礼) 2002.2.22
- T 291 田中彰封書 (『幕末洋学史の研究』挿読につき返礼、近況報告) 2001.12.5
- T 292 田中彰封書 (『山口県史の窓』校正依頼及び明治維新記念館の状況) 11月6日
- T 293 田中彰封書 (トラフゾお礼及び定年にあたり近況報告) 1990ヵ.12.5
- T 294 田中彰はがき (近況報告) 1989.12.28
- T 295 高村直助はがき (『近代史話』惠贈お礼) 2000.12.18
- T 296 徳岡孝夫はがき (退職通知への返事) 1986.10.07
- T 297 高村直助封書 (大豆生田退職に付後任井川紹介へのお礼) 7月26日 封筒なし
- T 298 藤林伸治封書 (映画「ピター」と開港資料館の関連について) 1986.8.10
- T 299 藤林伸治封書 (映画「秩父事件」製作の報告(他) 1982.2.21
- T 300 加藤祐三はがき (手紙受領につき近況報告返信) 1980.2.2
- T 301 今井清一絵はがき (『歴史地理教育』10月号惠贈につき礼状) 10月13日
- T 302 今井清一はがき (ドン・ブライウン研究会の近況報告) 2000.12.04
- T 303 今井清一はがき (写真受領につきお礼、近況報告) 2001.11.20
- T 304 今井清一はがき (『横浜市会史』寄贈先通知の依頼) 1987.10.29
- T 305 辻達也絵はがき (横浜船屯軍論稿惠贈礼状) 2000.10.11
- T 306 辻達也封書 (オーストラリア、モナシユ大学着任の近況報告) 1975.4.14
- T 307 深川正次封書 (『近代史話』読後感の送付) 2001.1.20
- T 308 深川正次封書 (10回文甲会開催のご案内) 2001.4.29
- T 309 鈴木良一はがき (神奈川歴教協宛の文書受領につき返信) 2000.12.21
- T 310 鈴木理生封書 (月島図書館案内書の送付、月島築島100年記念行事) 9月29日
- T 311 鈴木理生はがき (手紙受領につきお礼と近況報告) 2000.12.18
- T 312 西橋正泰封書 (住井すゑ公開学習会への講師依頼) 1980.2.7
- T 313 阿川良次はがき (暑中見舞い) 2000.8.10
- T 314 開港資料館佐藤孝封書 (企画展示、横浜市史編纂事業に関する調査依頼) 2000.8.12
- T 315 近盛晴嘉封書 (『争世夫彦(じよせふひこ)』誌への寄稿御礼) 1986.3.20
- T 316 高橋碩一はがき (北朝鮮訪問の報告) 1971.9.14
- T 317 徳川幹子はがき (古文書合宿お礼の返信) 1969.8.31
- T 318 木村洋子封書 (歴教協カンパのお礼) 1999ヵ
- T 319 愛知大教員田崎哲郎封書 (資料挿読お礼、新聞記事2枚同封) 2001.1.3 封筒なし
- T 320 福島新吾封書 (開港資料館入場券お礼) 1984.7.17
- T 321 小池喜孝封書 (『秩父事件と北海道』1988.1.14 熊谷高校講演レジュメと近況報告) 1963.1.17
- T 322 宮地正人封書 (歴評の原稿依頼) 1997.7.14
- T 323 大野真弓はがき (『近代史話』(一)『横浜英仏駐屯軍と外国人居留地』惠贈のお礼と近況報告) 2000.10.11
- T 324 大野真弓封書 (『近代史話』(三) 惠贈のお礼及び師斎藤清太郎についての研究報告) 2000.12.20

T 325	沼田次郎はかき (『西ドイツでの近況報告』 5月31日)	T 354-2	津田秀夫はかき (『日本近代史1』 惠贈お札)	1975.5.12
T 326	徳武敏雄はかき (『日本近代史1』 惠贈お札)	T 355	松尾章一はかき (『日本近代史1』 惠贈お札)	1975.5.17
T 327	中村幸一はかき (『日本近代史1』 惠贈お札)	T 356	幼方直吉はかき (『日本近代史1』 惠贈お札)	1975.5.18
T 328	北島正元はかき (『日本近代史1』 惠贈お札)	T 357	堀江英一はかき (『日本近代史1』 惠贈お札)	1975.5.17
T 329	山口啓二はかき (『日本近代史1』 惠贈お札)	T 358	吉田常吉はかき (『日本近代史1』 惠贈お札)	1975.5.16
T 330	金達寿はかき (『日本近代史1』 惠贈お札)	T 359	山本大はかき (『日本近代史1』 惠贈お札)	1975.5.16
T 331	ねずまきしはかき (『日本近代史1』 惠贈お札)	T 360	犬丸義一はかき (『日本近代史1』 惠贈お札)	1975.5.17
T 332	瀬木義彦はかき (『日本近代史1』 惠贈お札)	T 361	鈴木理生はかき (『日本近代史1』 惠贈お札)	1975.5.12
T 333	福島正夫一はかき (『日本近代史1』 惠贈お札)	T 362	石川清敏はかき (『日本近代史1』 惠贈お札)	1975.5.10
T 334	福島正良はかき (『日本近代史1』 惠贈お札)	T 363	石井孝はかき (『日本近代史1』 惠贈お札)	1975.5.10
T 335	原口清はかき (『日本近代史1』 惠贈お札)	T 364	土井正興はかき (『日本近代史1』 惠贈お札)	1975.5.12
T 336	藤谷俊雄はかき (『日本近代史1』 惠贈お札)	T 365	庄司吉之助はかき (『日本近代史1』 惠贈お札)	1975.5.22
T 337	植手通有はかき (『日本近代史1』 惠贈お札)	T 366	加藤文三はかき (『日本近代史1』 惠贈お札)	1975.6.10
T 338	差出人不明はかき (『日本近代史1』 惠贈お札)	T 367	林屋辰三郎はかき (『日本近代史1』 惠贈お札)	1975.6.2
T 339	村上重義はかき (『日本近代史1』 惠贈お札)	T 368	西嶋定生はかき (『日本近代史1』 惠贈お札)	1975.5.27
T 340	塚田正朋はかき (『日本近代史1』 惠贈お札)	T 369	森田誠一はかき (『日本近代史1』 惠贈お札)	1975.6.16
T 341	羽仁五郎はかき (『日本近代史1』 惠贈お札)	T 370	大槻弘はかき (『日本近代史1』 惠贈お札)	1975.6.18
T 342	川村善二郎はかき (『日本近代史1』 惠贈お札)	T 371	寺谷武明はかき (『日本近代史1』 惠贈お札)	1975.6.12
T 343	大久保利謙はかき (『日本近代史1』 惠贈お札)	T 372	杉山博はかき (『日本近代史1』 惠贈お札)	1975.5.11
T 344	中村政則はかき (『日本近代史1』 惠贈お札)	T 373	芝原拓自はかき (『日本近代史1』 惠贈お札)	1975.5.17
T 345	安丸良夫はかき (『日本近代史1』 惠贈お札)	T 374	山田忠雄はかき (『日本近代史1』 惠贈お札)	1975.5.11
T 346	楠作楽はかき (『日本近代史1』 惠贈お札)	T 375	猪野隆二はかき (『日本近代史1』 惠贈お札)	1975.5.9
T 347-1	高木俊輔はかき (『日本近代史1』 惠贈お札)	T 376	家永三郎はかき (『日本近代史1』 惠贈お札)	1975.5.11
T 347-2	江口圭一はかき (『日本近代史1』 惠贈お札)	T 377	高橋幸八郎はかき (『日本近代史1』 惠贈お札)	1975.5.11
T 348	木戸田四郎はかき (『日本近代史1』 惠贈お札)	T 378	山口宗之封書 (『日本近代史1』 惠贈お札)	1975.5.16
T 349	伊東多三郎はかき (『日本近代史1』 惠贈お札)	T 379	森谷秀亮封書 (『日本近代史1』 惠贈お札)	1975.6.15
T 350	長谷川昇はかき (『日本近代史1』 惠贈お札)	T 380	大野真弓封書 (『日本近代史1』 惠贈お札)	1975.5.9
T 351	野沢豊はかき (『日本近代史1』 惠贈お札)	T 381	河野由夫封書 (『日本近代史1』 惠贈お札)	1975.5.10
T 352	阿部善郎絵はかき (出版のお祝い) 1975.5.3	T 382	阿川良次封書 (『日本近代史1』 惠贈お札)	1975.5.17
T 353	永原慶二はかき (『日本近代史1』 惠贈お札)	T 383	浅見恵封書 (『日本近代史1』 惠贈お札)	1975.5.14
T 354-1	飯田賢一はかき (『日本近代史1』 惠贈お札)	T 384	鹿野寿美江封書 (『日本近代史1』 惠贈お札)	1975.5.15

T 385	鹿野政直封書 (『日本近代史1』 惠贈お札)	T 407	三浦進封書 (『明治維新と天皇』 惠贈お札)	1991.3.17
T 386	原田彦彦封書 (『日本近代史1』 惠贈お札)		封筒なし	
T 387	上杉重二郎封書 (『日本近代史1』 惠贈お札)	T 408	島海靖封書 (『明治維新と天皇』 惠贈お札)	1991.3.19
T 388	北山茂夫封書 (『日本近代史1』 惠贈お札)		封筒なし	
T 389	古島敏雄封書 (『日本近代史1』 惠贈お札)	T 409	渡辺賢二封書 (『明治維新と天皇』 惠贈お札)	1991.4.19
T 390	小島晋治封書 (『日本近代史1』 惠贈お札)	T 410	家永三郎封書 (『明治維新と天皇』 惠贈お札、家永三郎「七十七歳まで生きながらえて」 同封) 1991.2.2	
T 391	山口宗之封書 (『明治維新と天皇』 惠贈お札並びに読後感) 1991.2.2			
T 392	石田雄封書 (『明治維新と天皇』 惠贈お札並びに読後感) 1991.2.1	T 411	土井正興封書 (『明治維新と天皇』 惠贈お札)	1991.1.31
T 393	江村栄一封書 (『明治維新と天皇』 惠贈お札)	T 412	高橋昌郎封書 (『明治維新と天皇』 惠贈お札)	1991.3.2
T 394	大野真弓封書 (『明治維新と天皇』 惠贈お札)	T 413	牧原憲夫封書 (『明治維新と天皇』 惠贈お札)	1991.2.25
T 395	鬼塚正二封書 (『明治維新と天皇』 惠贈お札)	T 414	天野卓郎封書 (『明治維新と天皇』 惠贈お札)	1991.3.7
T 396	松尾章一封書 (『明治維新と天皇』 惠贈お札並びに今後の研究予定について) 1991.1.31	T 415	鹿野政直封書 (『明治維新と天皇』 惠贈お札)	1991.3.1
T 397	阪東宏封書 (『明治維新と天皇』 惠贈お札、久米邦武『日本古代史』の来歴について) 1991.2.5	T 416	西川正雄はかき (『明治維新と天皇』 惠贈お札)	1991.3.20
T 398	中塚明封書 (『明治維新と天皇』 惠贈お札)	T 417	手塚明明はかき (『明治維新と天皇』 惠贈お札)	1991.2.25
T 399	永原慶二封書 (『明治維新と天皇』 惠贈お札)	T 418	大口勇次郎はかき (『明治維新と天皇』 惠贈お札)	1991.
T 400	吉田俊純封書 (『明治維新と天皇』 惠贈お札、博士論文申請) 1991.2.6	T 419	田村貞雄はかき (『明治維新と天皇』 惠贈お札)	1991.2.1
T 401	天津美津子封書 (『明治維新と天皇』 惠贈お札、相談依頼) 1991	T 420	鶴野善彦はかき (著書惠贈に付お札)	
T 402	和田守封書 (『明治維新と天皇』 惠贈お札並びに読後感) 1991.2.18	T 421	鈴木正幸はかき (『明治維新と天皇』 惠贈お札)	1991.2.2
T 403	阿川良次封書 (『明治維新と天皇』 惠贈お札並びに緊急報告) 1991.2.9	T 422	糸屋寿雄はかき (『明治維新と天皇』 惠贈お札)	1991.2.2
T 404	大熊良一封書 (『明治維新と天皇』 惠贈お札)	T 423	奥田晴樹はかき (『明治維新と天皇』 惠贈お札)	1991.2.2
T 405	神田文人封書 (『明治維新と天皇』 惠贈お札並びに白内障手術後について) 1991.2.5	T 424-1	津田秀夫はかき (『明治維新と天皇』 惠贈お札)	1991
T 406	丹羽邦男封書 (著書惠贈お札) 3月5日 封筒なし	T 424-2	石井孝はかき (『明治維新と天皇』 惠贈お札)	1991.2.1
		T 425	高村直助絵はかき (『明治維新と天皇』 惠贈お札)	1991.2.2
		T 426	守屋典郎はかき (『明治維新と天皇』 惠贈お札)	1991.2.2
		T 427	中村尚美はかき (『明治維新と天皇』 惠贈お札)	1991.2.2
		T 428	本多公栄はかき (『明治維新と天皇』 惠贈お札)	1991.2.2
		T 429	入交好脩はかき (『明治維新と天皇』 惠贈お札)	1991.2.1
		T 430	山本大はかき (『明治維新と天皇』 惠贈お札)	1991

- T 431 小林直樹はかき 『明治維新と天皇』 恵贈お礼) 1991.2.3
T 432 内田四方蔵はかき 『明治維新と天皇』 恵贈お礼) 1991.2.1
T 433 上杉重二郎はかき 『明治維新と天皇』 恵贈お礼) 1991.
1.31
T 434 北島万次はかき 『明治維新と天皇』 恵贈お礼) 1991.2.1
T 435 森芳枝はかき 『明治維新と天皇』 恵贈お礼) 1991.1.31
T 436 田中正可はかき 『明治維新と天皇』 恵贈お礼) 1991.2.4
T 437 小島晋治はかき 『明治維新と天皇』 恵贈お礼) 1991.2.4
T 438 和崎皓三はかき 『明治維新と天皇』 恵贈お礼) 1991.2.3
T 439 福田久生はかき (病氣見舞い) 1991.2.4
T 440 塩田庄兵衛はかき 『明治維新と天皇』 恵贈お礼) 1991.
1.30
T 441 茂手木元蔵はかき (寒中見舞い) 1991.1.31
T 442 麻生三郎はかき 『明治維新と天皇』 恵贈お礼) 1991.1.31
T 443 佐藤伸雄はかき 『明治維新と天皇』 恵贈お礼) 1991.1.31
T 444 佐藤誠朗はかき 『明治維新と天皇』 恵贈お礼) 1991.2.4
T 445 安在邦夫はかき 『明治維新と天皇』 恵贈お礼) 1991.2.5
T 446 船山信一はかき 『明治維新と天皇』 恵贈お礼) 1991.2.4
T 447 山口修はかき 『明治維新と天皇』 恵贈お礼) 1991.2.4
T 448 青木美智明はかき 『明治維新と天皇』 恵贈お礼) 1991.2.7
T 449 丸山真明はかき 『明治維新と天皇』 恵贈お礼) 1991.3.11
T 450 今井清一はかき 『明治維新と天皇』 恵贈お礼) 1991.2.21
T 451 関田英理はかき 『明治維新と天皇』 恵贈お礼) 1991.2.19
T 452 守屋典郎はかき (著書恵贈お礼)
T 453 安岡章太郎はかき 『明治維新と天皇』 恵贈お礼) 1991.
2.16
T 454 藤間生大はかき 『明治維新と天皇』 恵贈お礼) 1991.3.5
T 455 桑原真人はかき 『明治維新と天皇』 恵贈お礼) 1991.2.27
T 456 柴田三千雄はかき 『明治維新と天皇』 恵贈お礼) 1991.2.3
T 457 大田秀通はかき 『明治維新と天皇』 恵贈お礼) 1991.2.末
T 458 川崎房五郎はかき 『明治維新と天皇』 恵贈お礼) 1991.2.6
T 459 中沢市朗はかき 『明治維新と天皇』 恵贈お礼) 1991.2.7
T 460 荒松雄はかき 『明治維新と天皇』 恵贈お礼) 1991.4.7
T 461 田中浩はかき 『明治維新と天皇』 恵贈お礼) 1991.2.3
T 462 弓削達はかき 『明治維新と天皇』 恵贈お礼) 1991.2.14
T 463 山庄正己はかき 『明治維新と天皇』 恵贈お礼) 1991.4.14
T 464 今谷明はかき 『明治維新と天皇』 恵贈お礼) 1991.2.2
T 465 芳則正はかき 『明治維新と天皇』 恵贈お礼) 1991.2.6
T 466 大久保利謙はかき 『明治維新と天皇』 恵贈お礼) 1991.
2.14
T 467 山崎隆三はかき 『明治維新と天皇』 恵贈お礼) 1991.2.8
T 468-1 吉田常吉はかき 『明治維新と天皇』 恵贈お礼) 1991.
2.12
T 468-2 柳沢繁はかき 『明治維新と天皇』 恵贈お礼) 1991.2.12
T 469 井上一絵はかき 『明治維新と天皇』 恵贈お礼) 1991.2.15
T 470 幼方直吉はかき 『自由民権と現代』 恵贈お礼) 1985.10.1
T 471 吉田常吉絵はかき 『自由民権と現代』 恵贈お礼) 1985.
9.29
T 472 小西四郎はかき 『自由民権と現代』 恵贈お礼) 1985.10.5
T 473 山口啓二はかき 『自由民権と現代』 恵贈お礼) 1985.9.26
T 474 鈴木良一はかき 『自由民権と現代』 恵贈お礼) 1985.9.26
T 475 鈴木正夫はかき 『自由民権と現代』 恵贈お礼) 1985.5.12
T 476 佐藤伸雄はかき 『自由民権と現代』 恵贈お礼) 1985.10.6
T 477 服部一馬はかき 『自由民権と現代』 恵贈お礼) 1985.10.6
T 478 辻達也はかき 『自由民権と現代』 恵贈お礼) 1985.10.5
T 479 山本大はかき 『自由民権と現代』 恵贈お礼) 1985.11.26
T 480 有泉貞夫はかき 『自由民権と現代』 恵贈お礼) 1985.
11.15
T 481 吉田晶はかき 『自由民権と現代』 恵贈お礼) 1985.10.8
T 482 新藤東洋男はかき 『自由民権と現代』 恵贈お礼) 1985.
10.8
T 483 田中彰はかき 『自由民権と現代』 恵贈お礼) 1985.10.10
T 484 金城正篤はかき 『自由民権と現代』 恵贈お礼) 1985.
11.16
T 485 植手通有はかき 『自由民権と現代』 恵贈お礼) 1985.
11.14
T 486 田中彰はかき 『自由民権と現代』 恵贈お礼) 1985.
10.24
T 487 大島美津子はかき 『自由民権と現代』 恵贈お礼) 1985.
10.21
T 488 小間昇はかき 『自由民権と現代』 恵贈お礼) 1985.10.19
T 489 小島晋治はかき 『自由民権と現代』 恵贈お礼) 1985.10.3
T 490 中津市朗はかき 『自由民権と現代』 恵贈お礼) 1985.10.9
T 491 石山久男はかき 『自由民権と現代』 恵贈お礼) 1985.10.1
T 492 本田公栄はかき 『自由民権と現代』 恵贈お礼) 1985.10.21
T 493 大久保利謙はかき 『自由民権と現代』 恵贈お礼) 1985.9.30
T 494 近藤政志(なす政志)はかき 『自由民権と現代』 恵贈お礼) 1985.9.27
T 495 原田勝正はかき 『自由民権と現代』 恵贈お礼) 1985.9.27
T 496 米田佐代子はかき 『自由民権と現代』 恵贈お礼) 1985.9.27
T 497 斉藤秀夫はかき 『自由民権と現代』 恵贈お礼) 1985.9.26
T 498 石井光太郎はかき 『自由民権と現代』 恵贈お礼) 1985
T 499 絲屋壽雄はかき 『自由民権と現代』 恵贈お礼) 1985.9.27
T 500 津田秀夫はかき 『自由民権と現代』 恵贈お礼) 1985.10.1
T 501 伊藤新二郎はかき 『自由民権と現代』 恵贈お礼) 1985.9.30
T 502 上杉重二郎はかき 『自由民権と現代』 恵贈お礼) 1985.9.27
T 503 安在邦夫はかき 『自由民権と現代』 恵贈お礼) 1985.10.1
T 504 森田誠一はかき 『自由民権と現代』 恵贈お礼) 1985.9.28
T 505 大竹正三郎はかき (著書恵贈お礼) 1985.9.30
T 506 上條宏之はかき 『自由民権と現代』 恵贈お礼) 1985.10.1
T 507 井上一はかき 『自由民権と現代』 恵贈お礼) 1985.9.28
T 508 内藤二郎はかき 『自由民権と現代』 恵贈お礼) 1985.9.28
T 509-1 長谷川昇はかき 『自由民権と現代』 恵贈お礼) 1985.
9.28
T 509-2 松尾章一はかき 『自由民権と現代』 恵贈お礼) 1985.
9.28
T 510 林英夫はかき 『自由民権と現代』 恵贈お礼) 1985.9.28
T 511 木村礎はかき 『自由民権と現代』 恵贈お礼) 1985.9.20
T 512 川村善二郎封書 『自由民権と現代』 恵贈お礼) 1985.9.28
T 513 土井正興封書 『自由民権と現代』 恵贈お礼) 1985.9.27
T 514 神田文人封書 『自由民権と現代』 恵贈お礼) 1985.9.27
T 515 高谷道男封書 『自由民権と現代』 恵贈お礼) 1985.10.1
T 516 家永三郎封書 『自由民権と現代』 恵贈お礼) 1985.9.27
T 517 松永昌三封書 『自由民権と現代』 恵贈お礼) 1985.9.29
T 518 松尾尊彦封書 『自由民権と現代』 恵贈お礼) 1985.9.29
T 519 西川正雄封書 『自由民権と現代』 恵贈お礼) 1985.9.26
T 520 村田静子封書 (近況報告) 1987.5.16
T 521 大畑哲封書 『自由民権と現代』 恵贈お礼) 1985.10.18
T 522 春田国男封書 『自由民権と現代』 恵贈お礼) 1985.10.5
T 523 家永三郎封書 『自由民権と現代』 恵贈お礼) 再信、中江
兆民・植木按盛論) 1985.10.5
T 524 西嶋定生封書 『自由民権と現代』 恵贈お礼) 1985.10.7
T 525 井上孝治封書 『自由民権と現代』 恵贈お礼) 1985
T 526 原田久美子封書 『自由民権と現代』 恵贈お礼) 1985.10.3
T 527 阿津坂林太郎封書 『自由民権と現代』 恵贈お礼) 1985.10.15

- T 627 大久保利謙はがき (『近代天皇制の成立』 惠贈お礼)
1987.11.30
- T 628 江村栄一はがき (『近代天皇制の成立』 惠贈お礼)
1987.12.14
- T 629 家永三郎はがき (『近代天皇制の成立』 惠贈お礼)
1987.12.5
- T 630 木代修一訪問メモ名刺付 (フーネスト・サトウ展開催中
參觀開港資料館来訪の挨拶) 11月26日
- T 631 神田文久他市大教官有志一同封書 (上海復旦大学歴史学
部呉傑教授を囲む歴史家懇談会の案内) 1986.5.27
- T 632 山口啓二はがき (『横浜開港資料館紀要』 第一号他惠贈
お礼) 1984.7.6
- T 633 牧野忠夫封書 (『牧野宗十郎伝』 発刊に際しての教示の
お礼) 10月27日
- T 634 砥上善光封書 (藤原正和紹介状、面接の依頼) 1月27日
- T 635 中西道子封書 (『横浜開港資料館紀要』 惠贈お礼) 1986.8.3
- T 636 立松喜久子封書 (横浜開港資料館での学生案内)
1984.4.24
- T 637 武相高校森茂はがき (横浜開港資料館、生徒見学のお礼)
1985.3.10
- T 638 松島栄一はがき (近況報告を含む歴研批評) 1997.7.7
- T 639 松島栄一はがき (『歴史教育 50年のあゆみと課題』 送付
及び感想の依頼) 1997.9.24
- T 640 松島栄一はがき (神戸の申請書送付のお知らせ)
1997.6.10
- T 641 松島栄一はがき (近況報告) 1997.5.25
- T 642 松島栄一はがき (県民ホールの全国集会のお礼)
1981.11.24
- T 643 高橋碩一絵はがき (資料送付お礼及び近況報告)
1984.8.14
- T 644 高橋碩一封書 (資料送付お礼及び近況報告、歴史学研究
会乱入事件について新聞記事及びチラシ) 6月1日
- T 645 松島栄一はがき (近況報告) 1998.5.8
- T 646 松島栄一絵はがき (『山辺健太郎回想と遺文』 惠贈お礼)
1993.5.3
- T 647 松島栄一絵はがき (歴教協大会を前に奈良から挨拶)
1999.8.1
- T 648 松島栄一封書 (新書一読感想校正漏れ指摘稿件あり)
1996.2.8
- T 649 松島栄一封書 (市大退官記念にペン皿惠贈お礼)
1979.5.14 封筒なし
- T 650 松島栄一はがき (新年挨拶状) 1997.1.6
- T 651 松島栄一封書 (家永裁判最終口頭弁論傍聴所感)
1997.7.21
- T 652 松島栄一封書 (仙台歴教協大会を終えての所感)
1997.8.15
- T 653 高谷道男封書 (差出人自身の研究紹介挨拶) 1981.8.19
- T 654 高谷道男封書 (東海林氏とも相談し横浜文化賞へ遠山氏
推薦の旨報告) 1981.8.23
- T 655 松村貞次郎絵はがき (『日本の建築』出版記念会出席礼状)
1982.10.24
- T 656 松村貞次郎封書 (横浜開港資料館館長就任受諾懇請)
1981.2.17
- T 657 大野真弓はがき (暑中見舞い) 1981.7.22
- T 658 大野真弓封書 (『戦時下における六高生の勤労動員』 同
窓会『晩成会統報』原稿のコピー同封) 1996.8.18
- T 659 大野真弓封書 (同朋会誌『たてがみ』1号(H7))投稿
文同封「旧制高等学校西洋史教育―大正デモクラシーか
ら戦後デモクラシーへ」 1995.5.13
- T 660 辻達也はがき (アメリカ着、ニューヘイブロンに居を定め
たので報告) 1967.10.4
- T 661-1 辻達也絵はがき (アメリカ滞在中の近況報告) 8月16日
- T 661-2 辻達也絵はがき (帰国予定) 1967.11.19
- T 662-1 辻達也はがき (論文集第5巻(著作集) 惠贈お礼)
1992.6.8
- T 662-2 辻達也はがき (大久保遺著落手の旨、ご高配お礼)
2000.1.27
- T 663 辻達也封書 (専修大学退職挨拶文) 2001.3.31
- T 664 辻達也封書 (右下肺手術後の近況報告) 2001.8.21
- T 665 辻達也封書 (横浜文化賞受賞祝詞) 1995.10.13
- T 666 宮川寅雄はがき (お見舞お礼并近況報告) 1977.1.24
- T 667 宮川寅雄封書 (新書出版の経緯、読後感拜受に付お礼)
1978.9.12
- T 668 宮川寅雄はがき (夫婦同伴、一タビール飲酒の誘い)
1967.8.5
- T 669 宮川寅雄はがき (母堂様子伺い及びお見舞、慰労会への
誘い) 1963.2.2
- T 670 宮川寅雄はがき (丸山静代来訪、雑談の印象) 1981.2.3
- T 671 宮川寅雄はがき (文化大革命中の中国訪問の近況報告)
1966.8.28
- T 672 宮川寅雄はがき (中国訪問の印象) 1966.12.26
- T 673 宮川寅雄はがき (森信三著書拜受お礼) 1984.9.25
- T 674 宮川寅雄封書 (著書の『読書人』掲載書評へのお礼)
1972.11.6
- T 675 宮川寅雄封書 (「羽仁史学に就いて」拜受お礼並びに近
況報告) 9月4日
- T 676 宮川寅雄封書 (近況報告、近研の会について) 1979.8.5
- T 677 山本学封書 (公演パンフへの原稿依頼) 1978.10.14
- T 678 山本学封書 (公演のお礼) 1979.12.28
- T 679 山本学封書 (公演パンフへの原稿送付のお礼) 1978.12.3
- T 680 藤井甚太郎はがき (『明治維新』 惠贈お礼) 1951.2.18
- T 681 藤井佳珠子はがき (藤井甚太郎法要報告) 1958.8.26
名刺あり
- T 682 小此木真三郎はがき (羽仁先生の会の録音テープの件)
1981.6.1
- T 683 小此木真三郎はがき (羽仁史学の意義を考えるシンポジ
ウム報告) 1984.9.10
- T 684 小此木真三郎封書 (羽仁五郎先生の長寿を祝う会案内)
1980.2.25
- T 685 小此木真三郎封書 (羽仁五郎先生の長寿を祝う会案内)
1981.2.6
- T 686 奈良本辰也封書 (お見舞への礼状) 1977.7.5
- T 687 奈良本辰也はがき (『山辺健太郎回想と遺文』 惠贈お礼)
1986.5.8
- T 688-1 奈良本辰也封書 (横浜での講演会報告) 1982.5.24
- T 688-2 福沢諭吉協会理事土橋俊一封書 (横浜開港資料館訪問
時館内案内の依頼) 1月31日 封筒なし
- T 688-3 二玄社逆瀬川単人封書 (資料送付状、第1巻田代栄助)
9月28日 封筒なし
- T 689 奈良本辰也封書 (病氣見舞い礼状) 1977.8.12
- T 690 安在邦夫封書 (研究会へのメッセージ依頼) 2005.11.2
- T 691 安在邦夫封書 (『天皇制と自由民権』研究会予定お知らせ)
1981.8.2
- T 692 木下順二はがき (『図書新聞』 批評のお礼) 1978.10.3
- T 693 木下順二はがき (スタッフへの話のお礼) 1989.4.23
- T 694 木下順二はがき (吉野氏との会合日時場所の連絡)
1954.6.23
- T 695 田中彰封書 (近況報告) 1月23日 封筒なし
- T 696 田中彰はがき (大久保回顧録についての協議報告)
1995.10.20
- T 697 田中彰はがき (2月12日の会の確認) 1996.2.8
- T 698 田中彰はがき (原稿削除につき連絡) 1997.6.28
- T 699 田中彰封書 (「山口県史の窓」の三校送付につき) 7月
10日 封筒なし

- T 700 田中彰封書 (著作集出版及び民権の会につき報告) 1984.10.2
T 701 田中彰封書 (国際交流基金によるインドネシア大学視察他近況報告) 1989.6.20
T 702 田中彰封書 (『大久保回顧録』編集につき連絡) 1995.10.24
T 703 田中彰封書 (『大久保回顧録』編集につき連絡) 1995.11.15 封筒なし
T 704 田中彰封書 (刊行物準備多忙につき近況報告) 10月21日
T 705 大久保利謙はがき (『昭和史』惠贈お礼) 1955.12.4
T 706 大久保利謙はがき (『開港資料館紀要』惠贈お礼) 1984.6.16
T 707 大久保利謙はがき (大久保利謙著作集序文札状) 1960.7.9
T 708 大久保利謙はがき (大久保利謙著作集編集協力札状) 1995未
T 709 大久保利謙はがき (暑中見舞い札状) 1994.8.17
T 710 大久保利謙はがき (講演依頼受諾) 1986.1.13
T 711 大久保利謙はがき (暑中見舞い) 1995.7.14
T 712 大久保利謙はがき (岩波新書出版協力依頼) 1995.10.9
T 713 大久保利謙封書 (『早稲田大学蔵資料影印叢書洋学篇月報』6送付) 1995.5.1
T 714 大久保利謙封書 (『明治国家の権力と思想』惠贈お礼) 1979
T 715 Richard H.Minear 封書 (遠山氏フランク 照会) 1992.12.1
T 716 Richard H.Minear 封書 (自己紹介及び遠山氏に関する資料提供の依頼) 1992.11.18
T 717 服部且はがき (服部之総会葬札状) 1956.3
T 718 服部之総はがき (見舞い札状) 1954.7.29
T 719 服部且封書 (服部且結婚式案内) 1959.9.8
T 720 北山茂夫はがき (暑中見舞い) 1959.7.30
T 721 北山茂夫はがき (『自由党史上』惠贈お礼) 1957.4.10
T 722 北山茂夫はがき (『山辺健太郎回想と遺文』惠贈お礼) 1980.4.20
T 723 北山茂夫はがき (御祝いの会出席お礼) 1981.3.17
T 724 北山茂夫はがき (上杉氏住所連絡のお礼) 1981.2.15
T 725 北山素 (北山茂夫氏夫人) 封書 (羽仁五郎シヨジウム抜刷惠贈お礼) 1984.9.9
T 726 ジョセフ彦記念会近盛晴嘉封書 (『浄世夫彦 (じよせふじこ)』誌送付の添書き及び近況報告) 6月30日
T 727 近盛晴嘉封書 (ジヨセフ彦の写真等判定依頼) 10月28日 封筒なし
T 728 近盛晴嘉封書 (ジヨセフ彦記念会誌相談) 1983.1.4
T 729 近盛晴嘉封書 (彦蔭前祭参列のお礼) 1984.12.17
T 730 岩波書店編集部畑田正子はがき (『明治維新』送付部数不足のお詫び他) 1951.2.19
T 731 富田忠男はがき (『明治維新』惠贈お礼) 1951.4.1
T 732 福島大学学芸学部史学教室大竹はがき (『明治維新』惠贈お礼及び近況報告) 1951
T 733 大交好脩はがき (『明治維新』惠贈お礼) 1951.3.15
T 734 北島正元はがき (『明治維新』惠贈お礼) 1951.3.5
T 735 上杉重二郎はがき (『明治維新』惠贈お礼) 1951.2.19
T 736 新城常三はがき (北大試験結果についての連絡) 1951.2.15
T 737 庄司吉之助封書 (『明治維新』惠贈お礼) 1951.2.20
T 738 芳則正封書 (農業資料送付の件) 1951.3.2
T 739 芳則正はがき (『みすず』追悼号惠贈のお礼) 1996.4.11
T 740 神田文人封書 (『みすず』3月号の「追悼・大久保利謙」記念号惠贈のお礼) 1996.4.11
T 741 今井林太郎はがき (『みすず』420号惠贈お礼) 1996.4.16
T 742 佐々木克はがき (『みすず』大久保先生追悼号惠贈お礼) 1996.4.30

— 100 —

- T 743 桑原真人はがき (『みすず』420号惠贈お礼) 1996.4.15
T 744 永原慶二・中村政則編『歴史家が語る戦後史と私』初校校正依頼封書
T 745 鈴木良一はがき (『みすず』大久保利謙追悼号惠贈お礼) 1996.4.11
T 746 浅見恵はがき (『みすず』大久保利謙追悼号惠贈お礼) 1996.4.12
T 747 松島栄一はがき (『みすず』大久保利謙追悼号惠贈お礼) 1996.4.11
T 748 大野真弓はがき (『みすず』大久保利謙追悼号惠贈お礼) 1996.4.13
T 749 辻達也はがき (『みすず』大久保利謙追悼号惠贈お礼) 1996.4.9
T 750 鈴木良一はがき (『みすず』大久保利謙追悼号惠贈お礼) 1996.4.15
T 751 神田文人はがき (『市史研究よこはま』9号惠贈お礼) 1996.6.18
T 752 藤原彰はがき (『市史研究よこはま』9号惠贈お礼) 1996.6.14
T 753 吉田俊純はがき (『市史研究よこはま』9号惠贈お礼) 1996.6.17
T 754 原口清はがき (『市史研究よこはま』9号惠贈お礼) 1996.6.14
T 755 辻達也はがき (『市史研究よこはま』9号惠贈お礼) 1996.6.14
T 756 田中彰はがき (『市史研究よこはま』9号惠贈お礼) 1996.6.19
T 757 松島栄一はがき (『市史研究よこはま』9号惠贈お礼) 1996.6.20
T 758 茂手木元蔵はがき (『市史研究よこはま』9号惠贈お礼) 1996.6.13
T 759 三浦進はがき (『市史研究よこはま』9号惠贈お礼) 1996.6.24
T 760 大野真弓封書 (『市史研究よこはま』9号惠贈お礼、六高教師時代の思い出) 1996.5.15
T 761 庄司吉之助はがき (『関口泰の教育論』他惠贈お礼) 1979.6.20
T 762 家永三郎はがき (『関口泰の教育論』他惠贈お礼、感想あり) 1979.6.17
T 763 伊東多三郎はがき (『関口泰の教育論』他惠贈お礼) 1979.6.22
T 764 大槻健はがき (『関口泰の教育論』他惠贈お礼) 1979.6.25
T 765 津田秀夫はがき (『関口泰の教育論』他惠贈お礼) 1979.6.19
T 766 土橋俊一はがき (『スペンサーの訳書二つ』「関口泰の教育論」惠贈お礼) 1979.6.25
T 767 北島正元はがき (『関口泰の教育論』他惠贈お礼) 1979.6.16
T 768 北山茂夫はがき (『関口泰の教育論』他惠贈お礼) 1979.6.18
T 769 村上重良はがき (『関口泰の教育論』他惠贈お礼) 1979.6.18
T 770 原口清はがき (『関口泰の教育論』他惠贈お礼) 1979.6.17
T 771 原田勝正はがき (『関口泰の教育論』他惠贈お礼) 1979.6.25
T 772 西嶋定生はがき (『関口泰の教育論』他惠贈お礼) 1979.6.23
T 773 後藤晴はがき (『関口泰の教育論』他惠贈お礼) 1979.6.13
T 774 長田五郎はがき (『関口泰の教育論』他惠贈お礼) 1979.6.18

— 101 —

- T 775 藤原彰はがき (『関口泰の教育論』他惠贈お札)
1979.6.16
- T 776 幼方直吉はがき (『関口泰の教育論』他惠贈お札) 1979.7.7
- T 777 ねずまさしはがき (『関口泰の教育論』他惠贈お札)
1979.6.15
- T 778 徳永敏夫はがき (『関口泰の教育論』他惠贈お札) 1979.7.3
- T 779 山口修はがき (『関口泰の教育論』他惠贈お札) 1979.7.3
- T 780 斎藤秋男はがき (『関口泰の教育論』他惠贈お札) 1979.7.2
- T 781 小松良郎はがき (『関口泰の教育論』他惠贈お札)
1979.7.10
- T 782 山住正己はがき (『関口泰の教育論』他惠贈お札) 1979.7.3
- T 783 高橋昌朗はがき (『関口泰の教育論』他惠贈お札) 1979.7.3
- T 784 林英夫はがき (『関口泰の教育論』他惠贈お札) 1979.7.12
- T 785 鈴木良一はがき (『関口泰の教育論』他惠贈お札)
1979.6.16
- T 786 上杉重二郎はがき (抜刷二編惠贈お札) 1979.6.17
- T 787 永原慶二はがき (抜刷二編惠贈お札) 1979.6.18
- T 788 鹿野政直はがき (『関口泰の教育論』他抜刷二編惠贈お札)
1979.6.19
- T 789 高橋謙一はがき (論文抜刷惠贈お札、前回「関口泰の教育論」惠贈お札、宛名消印なし (直接手交か))
- T 790 大野真弓はがき (「スペンサーの訳書二つ」「関口泰の教育論」抜刷惠贈お札) 1979.6.19
- T 791 榑田欽治はがき (最終講義抜刷惠贈お札) 1979.7.2
- T 792 芝原拓自はがき (抜刷二編惠贈お札) 1979.6.20
- T 793 松永昌三はがき (抜刷二編惠贈お札) 1979.6.19
- T 794 大竹正三郎はがき (抜刷惠贈お札) 1979.6.26
- T 795 宮川英雄封書 (「スペンサーの訳書二つ」「関口泰の教育論」抜刷惠贈お札) 1979.6.18
- T 796 河野由夫封書 (『関口泰の教育論』惠贈お札) 1979.6.26
- T 797 大槻春彦封書 (「スペンサーの訳書二つ」「関口泰の教育論」惠贈お札) 1979.6.27
- T 798 中村幸一はがき (『福沢諭吉』惠贈お札) 1970.11.24
- T 799 庄司吉之助はがき (『福沢諭吉』惠贈お札) 1970.11.25
- T 800 村上重良はがき (『福沢諭吉』惠贈お札) 1970.11.23
- T 801 大河内一男封書 (『福沢諭吉』惠贈お札) 1970.11.19
- T 802 鈴木良一はがき (『福沢諭吉』惠贈お札) 1970
- T 803 松島栄一はがき (『福沢諭吉』惠贈お札) 1970.11.17
- T 804 岡義武はがき (『福沢諭吉』惠贈お札) 1970.11.21
- T 805 家永三郎はがき (『福沢諭吉』惠贈お札、感想) 1970.11.23
- T 806 大久保利謙はがき (『福沢諭吉』惠贈お札) 1970.11.23
- T 807 ねずまさしはがき (『福沢諭吉』惠贈お札) 1970.11.21
- T 808 北山茂夫はがき (『福沢諭吉』惠贈お札、感想)
1970.11.27
- T 809 北島正元はがき (『福沢諭吉』惠贈お札) 1970.11.25
- T 810 林屋辰三郎はがき (『福沢諭吉』惠贈お札) 1970.12.12
- T 811 芳即正はがき (『明治維新と現代』惠贈お札) 1968.11.29
- T 812 松永昌三はがき (『明治維新と現代』惠贈お札並びに近況報告) 1968.12.2
- T 813 永原慶二はがき (『明治維新と現代』惠贈お札) 1968.12.2
- T 814 塩沢君夫はがき (『明治維新と現代』惠贈お札) 1968.11.23
- T 815 相田重夫はがき (『明治維新と現代』惠贈お札) 1968.12.4
- T 816 和崎皓三はがき (『明治維新と現代』惠贈お札) 1968.12.5
- T 817 松倉恒夫はがき (『明治維新と現代』惠贈お札) 1968.12.5
- T 818 中村政則はがき (『明治維新と現代』惠贈お札) 1968.12.3
- T 819 松尾章一はがき (『明治維新と現代』惠贈お札並びに読後感) 1968.12.4
- T 820 石井孝はがき (『明治維新と現代』惠贈お札) 1968.11.23
- T 821 伊東多三郎はがき (『明治維新と現代』惠贈お札並びに読後感) 1968.11.26
- T 822 鈴木良一はがき (『明治維新と現代』惠贈お札並びに近況についての感謝) 1968.11.24

— 102 —

- T 823 植手通有はがき (『明治維新と現代』惠贈お札並びに読後感) 1968.11.26
- T 824 城井誠一はがき (『明治維新と現代』惠贈お札)
1968.11.24
- T 825 谷川清敏はがき (『明治維新と現代』惠贈お札)
1968.11.25
- T 826 中村幸一はがき (『明治維新と現代』惠贈お札)
1968.11.25
- T 827 津田秀夫はがき (『明治維新と現代』惠贈お札)
1968.11.26
- T 828 斉藤孝はがき (『明治維新と現代』惠贈お札)
1968.11.25
- T 829 鈴木昌雄はがき (『明治維新と現代』惠贈お札)
1968.11.25
- T 830 斎藤秋男はがき (『明治維新と現代』惠贈お札)
1968.11.25
- T 831 庄司吉之助はがき (『明治維新と現代』惠贈お札)
1968.11.28
- T 832 西岡虎之助はがき (『明治維新と現代』惠贈お札)
1968.11.25
- T 833 川崎房五郎はがき (『明治維新と現代』惠贈お札)
1968.11.23
- T 834 安川美はがき (『明治維新と現代』惠贈お札) 1968.11.27
- T 835 萩原弥彦はがき (『明治維新と現代』惠贈お札)
1968.11.26
- T 836 井上辰雄はがき (『明治維新と現代』惠贈お札)
1968.11.20
- T 837 宮川英雄はがき (『明治維新と現代』惠贈お札)
1968.11.25
- T 838 沼田次郎はがき (『明治維新と現代』惠贈お札)
1968.11.27
- T 839 原口清はがき (『明治維新と現代』惠贈お札) 1968.11.26
- T 840 多田美はがき (『明治維新と現代』惠贈お札) 1968.11.30
- T 841 北島正元はがき (『明治維新と現代』惠贈お札) 1968.12.6
- T 842 山本大はがき (『明治維新と現代』惠贈お札) 1968.12.4
- T 843 飯塚浩二はがき (『明治維新と現代』惠贈お札) 1968.12.5
- T 844 堀江英一はがき (著書惠贈お札) 1968.12.5
- T 845 大塚久雄はがき (『明治維新と現代』惠贈お札) 1968.12.12
- T 846 上山春平はがき (『明治維新と現代』惠贈お札) 1968.11.27
- T 847 海後宗臣はがき (『明治維新と現代』惠贈お札) 1968.11.26
- T 848 芝原拓自はがき (『明治維新と現代』惠贈お札) 1968.11.29
- T 849 木村礎はがき (『明治維新と現代』惠贈お札) 1968.11.30
- T 850 幼方直吉はがき (『明治維新と現代』惠贈お札) 1968.11.25
- T 851 中村孝也はがき (『明治維新と現代』惠贈お札) 1968.11.22
- T 852 三島一はがき (『明治維新と現代』惠贈お札及び近況) 1968.12.10
- T 853 海後宗臣はがき (『福沢諭吉』惠贈お札) 1970.11.26
- T 854 佐藤進一はがき (『明治維新と現代』惠贈お札と近況報告)
1968.11.29
- T 855 佐藤進一封書 (手紙の返信) 10月16日
- T 856 今井清一封書 (OB会返信及び『戦後史と私』惠贈お札及び現状報告) 1996.5.15 写真2枚
- T 857 今井清一封書 (近況報告) 1月27日
- T 858 今井清一封書 (近況報告及び居見舞い、写真2枚同封) 8月27日

— 103 —

- T 859 今井清一封書 (暑中見舞い及び近況報告、お食事処『ほづみ亭』献立表同封) 8月5日
- T 860 今井清一封書 (近況報告、大正12.11.30の東京日新新聞コピー同封) 1998.9.11
- T 861 上杉重二郎はかき (抜刷惠贈のお札) 1984.9.8
- T 862 上杉重二郎はかき (ベルリンより近況報告) 1958^カ
- T 863 上杉重二郎はかき (ベルリンより新版『昭和史』惠贈お札及び近況報告) 1959.11.1
- T 864 小西四郎はかき (近況報告) 1994.6.25
- T 865 小西四郎はかき (インドより海外旅行近況報告) 1967.1.16
- T 866 小西四郎封書 (贈答品へのお札及び近況報告) 1982.7.18
- T 867 桜井懋封書 (『京都守護職始末』に関する資料送付、内藤湖南「我維新史に逸す可からざる材料」同封) 1965.8.28
- T 868 桜井懋封書 (『京都守護職始末』惠贈のお札) 1966.4.10 封筒なし
- T 869 萩原弥彦はかき (専修大学教授就任挨拶へのお札及び近況報告) 1979.5.6
- T 870 萩原弥彦はかき (横浜開港資料館館長就任祝い) 1981.4.3
- T 871 入交好脩はかき (高知での講演会への感謝) 1981.6.18
- T 872 入交好脩はかき (専修大学法学部教授就任祝い) 1979.5.5
- T 873 三枝利文喜美子はかき (三枝博音告別式の御札) 1963.11.12
- T 874 三枝喜美子封書 (三枝博音宅を訪問したお札) 1963.3.1
- T 875 三枝喜美子はかき (歌集の感想への感謝) 1962.11.13
- T 876 三枝喜美子はかき (横浜市大退官への感想) 1979.6.5
- T 877 三枝喜美子封書 (博音忌案内状) 1979.11.15
- T 878 萩原延寿はかき (『陸奥宗光』出版の挨拶) 1979.7.16
- T 879 萩原延寿封書 (資料提供のお札) 2月28日
- T 880 萩原延寿はかき (ウイリアム・ウイリス文書について) 1997.8.23
- T 881 萩原延寿封書 (拙著への感想にお札) 1996.7.16
- T 882 井上清封書 (近況報告) 1960.6.1
- T 883 井上清封書 (知人への指導願い) 1980.4.22
- T 884 神田文人はかき (『戦後史と私』コピー送付のお札) 1996.5.2
- T 885 原口清はかき (近況報告) 5月8日
- T 886 田中彰封書 (インドネシアでの近況報告) 1980.12.18
- T 887 Prof. Dr. Wolfgang. J. Mommsen 封書 (International Committee of Historical Sciences 会議ご案内) 1984.6.22
- T 888 児玉幸多はかき (近況報告) 1995.8.28
- T 889 封書 (「嶋田鏡二君飛騨早苗さん結婚を祝う会」式次第) 1964 封筒なし
- T 890 Richard.K.Bearsley 封書 (クリスマスカード) 1963.12.16
- T 891 筑摩書房編集局長岡山猛封書 (『近代日本思想史講座』既刊分の重版について) 1972.2.24
- T 892 川崎巳三郎封書 (明治期歴史資料についての助言依頼) 1977.12.24
- T 893 稲葉誠太郎封書 (近況報告) 1983.11.10
- T 894 岡田英里封書 (「ある学友の遺書」についてのはかきにお札) 1995.7.10
- T 895 田中正俊封書 (退職祝いと近況報告) 1984.4.16
- T 896 村瀬興雄封書 (近況報告) 1979.12.29
- T 897 神田文人封書 (『月刊東京』155号惠贈のお札と近況報告) 1996.2.5
- T 898 平野良毅封書 (益子古文書合宿後の挨拶) 1975.8.12
- T 899 山梨労働基準局長赤松良子封書 (日経新聞1976.8.30～9.1「心を打った男たち―南原繁一」記事コピー) 1977.11.4
- T 900 山崎隆三はかき (送った原稿に対する指摘へのお札) 1978.4.28

— 104 —

- T 901 松尾章一封書 (講演録「人民の歴史学」採録贈呈について) 2006.3.28
- T 902 鈴木理生はかき (近況報告) 1995.10.19
- T 903 植手通有はかき (『丸山眞実集』刊行第1～第4巻贈呈について) 1995.9.12
- T 904 佐藤孝はかき (志頂戴のお札) 1995.12.6
- T 905 蓮塚忠明封書 (横浜開港資料館嘱託採用応募者辞退についてお詫び) 1982.4.6
- T 906 法政大学大学院封書 (大学封鎖中の対応、学生との連絡方について。法政大学からのおしらせ第1号・第2号同封) 1970.10.16
- T 907 新井勝胤封書 (町田市立自由民権資料館開設にあたりメッセージ依頼) 1986.10.16 封筒なし
- T 908 依田康子封書 (『歴史学から歴史教育へ』読後感) 1994.5.7
- T 909 大河内一男封書 (Pr.Zahl 紹介状)
- T 910 鈴木寿封書 (『図書』所載「歴史の史料としての福翁自伝」を読んでの感想) 1992.11.12
- T 911 板倉勝正はかき (検査入院の事情報告) 1991.10.8
- T 912 武智祐治封書 (『愛媛資本主義社会史』贈呈について) 3月6日 封筒なし
- T 913 遠山茂樹石母田正高橋禎一宛田宮虎彦はかき (共著贈呈拝受のお札) 1954.6.26
- T 914 川崎房五郎はかき (母君逝去の件失礼につきお詫び) 1964.1.25
- T 915 菊池麟平封書 (秩父事件菊池貴平孫の麟平氏より「初期(幕末期)中村敬字の対米認識」贈呈について) 1981.11.28
- T 916 石塚裕道封書 (『近代天皇制の研究』事務局から通知) 1980.8.2
- T 917 柳宗吉はかき (開港資料館館長就任祝い) 1981.6.11
- T 918 森田誠一はかき (開港資料館館長就任祝い) 1981.6.30
- T 919 加治基吉はかき (美費診療所設立の件) 1982.3.10
- T 920 大久保利謙はかき (大久保利謙記念論集の件)
- T 921 中村幸一はかき (専修大学就任祝い) 1979.6.6
- T 922 米田桂三はかき (市大退官祝い) 1979.5.5
- T 923 河野由夫封書 (市大退官祝い) 1979.5.8
- T 924 横山孝次郎封書 (市大退官祝い) 1979.7.10
- T 925 中野六郎はかき (羽仁五郎の会での連絡) 1981.3.15
- T 926 茂手木元蔵はかき (専修大学就任祝い) 1979.5.6
- T 927 Philip.E.Eilienthal 封書 (「バシコフイックラフエラ」原稿延期依頼) 1952.4.25
- T 928 芳即正はかき (市大退官祝い) 1979.5.17
- T 929 伊東多三郎はかき (市大退官祝い) 1979.5.9
- T 930 大槻春彦はかき (専修大就任祝い) 1979.5.19
- T 931 村上重良はかき (暑中見舞い) 1979.7.11
- T 932 長谷川昇はかき (正木氏著書贈呈の件) 1979.7.10
- T 933 横浜開港資料館佐藤孝はかき (紀要原稿見送り承知、次回よろしく) 1996.9.2
- T 934 横浜開港資料館伊藤久子絵はかき (退院の報を聞いての見舞い) 1996.11.14
- T 935 西南学院院埴啓次郎封書 (福岡自由民権運動100年記念講演会講演承諾礼状と当日のプログラム案内) 1982.5.12
- T 936 鈴木良一はかき (歴研530号抜刷惠贈礼状、羽仁史学の意義を考えるシンポジウムについてコメント) 1984.9.7
- T 937 市立戸塚図書館小島美淡はかき (開港資料館開館の願い) 1981.6.2
- T 938 長田五郎はかき (『経済と貿易』へ「歴史学60年―私の歩んできた道―」のタイトルで寄稿依頼) 1985.1.26
- T 939 今井林太郎はかき (『自由党史』惠贈礼状) 1957.4.10
- T 940 大形孝平封書 (『歴史学研究』抜刷惠贈礼状、『カンデー

— 105 —

- 主義』(岩波新書) 原書新版をもとに改版準備中です。)
1984.9.28
- T 941 渡辺賢二封書(『昭和史』論争と箱根会議) 惠贈礼状) 1996.5.7
- T 942 前進座一同絵はがき(北京公演の報告、11月読売ホール、12月新橋演舞場公演支援よろしく)
- T 943 鈴木理生はがき(『福沢諭吉』惠贈礼状) 1970.11.23
- T 944 由井正臣はがき(『福沢諭吉』惠贈礼状) 1970.12.1
- T 945 高橋眞一はがき(『福沢諭吉』惠贈礼状) 1970.11.24
- T 946 安川寿之輔はがき(『福沢諭吉』惠贈礼状、『日本読書新聞』より書評依頼あり) 1970.11.25
- T 947 原口清はがき(『福沢諭吉』惠贈礼状、『静岡藩の成立』執筆中他) 1970.11.21
- T 948 松永昌三はがき(『福沢諭吉』惠贈礼状、政治論の変化と思想の特質を学ぶ) 1970.11.25
- T 949 林基はがき(『福沢諭吉』惠贈礼状) 1970.11.24
- T 950 永原慶二はがき(『福沢諭吉』惠贈礼状、12月5日の歴史教育ソソボでの石母田氏の話) 1970.12.8
- T 951 原田勝正はがき(『福沢諭吉』惠贈礼状、思想の評価の考え方、国鉄研究) 1970.11.30
- T 952 西嶋定生はがき(『福沢諭吉』惠贈礼状、大学の様子) 1970.12.10
- T 953 大石嘉一郎はがき(『福沢諭吉』惠贈礼状、天皇制の研究会取りやめの件) 1995.11.18
- T 954 海野福寿はがき(『福沢諭吉』惠贈礼状、原口氏退官の件) 1970.12.2
- T 955 松本四郎はがき(『福沢諭吉』惠贈礼状) 1970.12.4
- T 956 土橋俊一封書(『福沢諭吉』惠贈礼状、『三田評論』でも紹介予定) 1970.11.26
- T 957 福島正夫はがき(『福沢諭吉』惠贈礼状、ソ連研究者に送えたもの) 1970.11.27
- 1948.9.11
- T 982-2 山田盛太郎封書(服部氏基金発起人辞退) 1949.9.20
- T 982-3 発起人リスト控え(服部氏基金か) 1949 B 5 原稿用紙
- T 982-4 中井正一はがき(服部氏基金発起人受諾) 1949
- T 982-5 伊豆公夫封書(服部氏基金受諾(2口400円)、藤田五郎(1,000円)) 1949
- T 982-6 封書(アメリカより年賀状か) 1956.12.21
- T 982-7 山崎渡はがき(服部氏基金発起人受諾) 1949.9.21
- T 982-8 岡田章雄はがき(伊那文庫贈送について) 10月22日
- T 982-9 国立国会図書館中井正一封書(基金5口同封) 1949.12.6
- T 982-10 飯塚浩二氏宛小林良正はがき(発起人受諾) 1949.9.8
- T 982-11 「近代日本の世相」執筆分担メモ B 5
- T 982-12 大塚久雄教授授護会「大塚久雄教授授護会」要領
- T 982-13 飯塚浩二宛筑摩書房唐木順三封書(表:吾妻鏡、裏:服部氏基金要領下書) 1949.9.7
- T 982-14 堀江英一はがき(服部氏基金発起人賛同) 1949.9.26
- T 982-15 林達夫はがき(服部氏基金発起人賛同) 1949.9.20
- T 982-16 服部之総氏基金賛同依頼基金要領 1949.11.30 B 5
- T 982-17 電話メモ(高田保氏承知) B 5
- T 983 北島正元はがき(上京日程連絡) 1951.2.8
- T 984 羽仁五郎先生追悼のタペ「羽仁五郎先生追悼のタペ」のお知らせ) 1983
- T 985 岩波書店編集部封書(『近代日本政治史必携』の題名英訳のお願い) 1970.3.24
- T 986 井上清佐藤昌はがき(平壤よりの便り) 1986.11.29
- T 987 ジョン・W・ホールはがき(残暑見舞い及び『日本の歴史』日本語版批評依頼) 1970.8.7
- T 988 平石敏一他関内法律事務所弁護士封書(「非核神奈川県を実現するよびかけ」打ち合わせのお知らせ) 1984.1.7
- T 989 安川英はがき(富山来訪についての提案) 1948.10.19
- T 958 木戸田四郎はがき(『福沢諭吉』惠贈礼状) 1970.12.20
- T 959 川村善二郎はがき(『福沢諭吉』惠贈礼状) 1970.11.26
- T 960 石井孝はがき(『福沢諭吉』惠贈礼状) 1970.11.28
- T 961 宮川寅雄封書(『福沢諭吉』出版について) 1970.11.23
- T 962 吉田常吉はがき(『福沢諭吉』惠贈礼状) 1970.11.26
- T 963 林基はがき(年賀状) 1964.1.1
- T 964 岩生成一はがき(文書送付の御礼) 1985.12.26
- T 965 H.Grisheleva 他4名封書(ロシアから年賀状)
- T 966 田村貞雄封書(山口県民権史料集刊行報告) 1983.10.6
- T 967 池田美代子封書(『京都守藏職始末』の感想) 1966
- T 968 クリスアースカード封書(デトロイトより) 1981.12.11
- T 969 今井林太郎はがき(「羽仁史学における人民の役割」惠贈礼状) 1984.9.16
- T 970 谷川清敏はがき(「羽仁史学における人民の役割」惠贈礼状) 1984.9.7
- T 971 千村保はがき(教員紹介依頼) 1963.6.18
- T 972 三浦恵司封書(市大O B会の件) 1988.6.15
- T 973 George.M.Beckman 封書(日本での研究可能性の問い合わせ) 1952.4.21
- T 974 招待状封書(英語) 1957.6.7
- T 975 平田兼三郎宛藤森成吉はがき(公演見学のお願い) 1952.6.18
- T 976 三島一はがき(手紙及びカンパの礼状) 1955.6.18
- T 977 岡田章雄はがき(伊那文庫のこと、近況報告)
- T 978 歴史学研究会はがき(近代史部会のお知らせ) 1951.3.22
- T 979 国分一太郎はがき(訪問期日の変更について) 1947.7.9
- T 980 モスクワ、ジャパニーズセクショナルはがき(クリスアースカード、新年の挨拶) 1976.12.30
- T 981 筑摩書房布川角右衛門封書(横浜開港資料館の案内の礼状) 1981.7.16
- T 982-1 毎日新聞社封書(毎日出版文化賞審査協力依頼)
- T 990 歴史学研究会はがき(歴史学研究会部会のお知らせ) 1951.2.21
- T 991 思想史研究会はがき(4月9日、4月16日、5月7日研究会案内) 1951.2.21
- T 992 加藤周一封書(11月24日の演題について、イタリヤより) 1984.6.16
- T 993 ねずまさしはがき(手術見舞いの執筆惠贈礼状) 1971.12.18
- T 994 吉田敬一はがき(契約無事終了報告) 1951.2.7
- T 995 歴史学研究会往復はがき(歴史学研究150号出版記念茶話会案内) 1951.3.20
- T 996 平野恒子絵はがき(シクラメン惠贈礼状) 1986.12.24
- T 997 野村勇吉はがき(福井大震災見舞いの礼状) 1948.7.20
- T 998 茂手木元藏絵はがき(近況報告) 1997.11.17
- T 999 歴史学研究会はがき(部会のお知らせ) 1951.3.15
- T 1000 史学会はがき(史学会例会通知、3月1日家永三郎「安藤昌益の思想」) 1951.2.24
- T 1001 小山孫次郎封書(久しぶりの飲み会愉快でした、宛名なし)
- T 1002 由井正臣はがき(突然の訪問お詫び) 1998.3.4
- T 1003 奥村まことはがき(開港資料館見学案内のお礼と感想) 1982.4.25
- T 1004 熊本大法学部森田誠一はがき(松波昭二君助手採用打診の件) 1951.2.21
- T 1005 島田絵はがき(ソ連より近況、現地報告) 1986.7.18
- T 1006 日本歴史学協会はがき(総会案内) 1951.3.31
- T 1007 史学会はがき(例会案内) 1951.4.3
- T 1008 後藤三郎はがき(研究にご援助の御願い、アンケート依頼) 1951.2.26
- T 1009 鈴木理生はがき(講評御礼) 1995.7.30
- T 1010 岡義武はがき(開港資料館案内礼状) 1985.2.28

- T 1011 浅島誠封書 (市大退官祝い) 1979.5.8
T 1012 中野利子封書 (ノーマン伝記ビデオ完成案内) 1998.11.7
T 1013 国際連合大学湯浅撰子封書 (『明治維新・国際会議への協力札状』 1983.11.29
T 1014 有隣堂出版部封書 (石井孝『明治維新と自由民権』への書評依頼) 1993.10.25
T 1015 田中正司封書 (横浜市大改革についてのお願い) 1982.3.9
T 1016 大森定嗣封書 (地方一青年の悩み) 1982.4
T 1017 井上清封書 (羽仁史学を考えるツツポによせて) 1984.3.28
T 1018 中村真平はがき (開港資料館案内御札) 1982.2.13
T 1019 岩波書店中条義勝封書 (『明治維新と天皇』執筆札状) 1991.2.25
T 1020 溝上泰子はがき (『近代日本総合年表』への意見) 1985.3.18
T 1021 米田桂三総はがき (横浜文化賞受賞のお祝い) 1995.12.26
T 1022 遠山夫人宛帯刀貞代封書 (出版と喜寿の会参会者への札状) 1980.1
T 1023 原トキ封書 (夫利夫氏葬儀香奠等札状、交遊回顧と謝辞等) 1980.1.4
T 1024 今井林太郎はがき (兵庫県南部地震4か月の報告、近況) 1995.5.11
T 1025 増沢華子封書 (来訪お礼) 1980.7.25
T 1026 藤林伸治封書 (民権関係新聞同封) 1984.5.25
T 1027 岩波全書編集部加藤亮三封書 (『明治維新』p 71「三河賀茂一揆→加茂」の訂正申し入れ転送) 1978.10.23
T 1028 吉永啓三はがき (横浜文化賞受賞祝い) 1995.10.16
T 1029 封書 (家永三郎氏をはじめ国史昭九会開催、会員名簿)
- T 1030 北山素はがき (北山茂夫死去の際のお礼) 1984.3
T 1031 由井正臣封書 (暑中見舞い) 1992.8.5
T 1032 桃チヨ封書 (我家のあらし、桃裕行葬儀百箇日お礼) 1987.4
T 1033 奥田晴樹封書 (会報への執筆依頼) 1993.12.15
T 1034 神田文人封書 (暑中見舞い、著作目録完成のお祝い) 1992.8.21
T 1035 北島万次封書 (『歴史学から歴史教育へ』惠贈お礼) 1980.12.16
T 1036 阪東宏封書 (『歴史学から歴史教育へ』惠贈お礼) 3月2日 封筒なし
T 1037 津田秀夫封書 (『歴史学から歴史教育へ』惠贈お礼) 1980.3.2
T 1038 宮原武夫封書 (『歴史学から歴史教育へ』惠贈お礼) 1980.2.29
T 1039 遠山茂樹今井清一藤原彰宛那珂孝平封書 (『昭和史』誌後感) 1955.11.28
T 1040 山本安英の空封書 (山本安英遺言状実行の方針について、懇ご案内、1987年賞状同封) 1993.12.12
T 1041 原口清封書 (著作集第1巻刊行祝辞ならびに近況報告) 1991.11.10
T 1042 天野卓郎封書 (『歴史学から歴史教育へ』惠贈お礼、広島県下の歴史教育の現状) 1980.3.10
T 1043 鹿野政直封書 (『歴史学から歴史教育へ』惠贈お礼) 1980.3.7
T 1044 林英夫封書 (『歴史学から歴史教育へ』惠贈お礼、広島県下の歴史教育の参考になった旨) 1980.3.7
T 1045 永原慶二封書 (『歴史学から歴史教育へ』惠贈お礼) 1980.3.8
T 1046 黒田俊雄封書 (『歴史学から歴史教育へ』惠贈お礼)

- 1980.3.19
T 1047 大野真弓封書 (『歴史学から歴史教育へ』惠贈お礼) 1980.3.4
T 1048 福田以久生封書 (『歴史学から歴史教育へ』惠贈お礼、福田氏関係会報同封の旨) 1980.2.29 封筒なし
T 1049 辻達也封書 (『歴史学から歴史教育へ』惠贈お礼、市大大学自治破壊についての現況報告) 1980.3.27
T 1050 小沢圭介封書 (『歴史学から歴史教育へ』惠贈お礼) 1980.3.6
T 1051 上川淳封書 (『歴史学から歴史教育へ』惠贈札状) 1980.6.9
T 1052 宮坂宏はがき (『歴史学から歴史教育へ』惠贈札状) 1980.2.29
T 1053 本多公栄はがき (『歴史学から歴史教育へ』惠贈札状) 1980.2.28
T 1054 南塚進吾封書 (江口朴郎先生追悼論集購入願) 1990.2
T 1055 神田文人はがき (『歴史学から歴史教育へ』惠贈札状) 1980.2.20
T 1056 野沢豊はがき (『歴史学から歴史教育へ』惠贈札状) 1980.2.19
T 1057 幼方貞子封書 (夫幼方直吉追悼のお礼) 1981.5.4
T 1058 吉田常吉はがき (『歴史学から歴史教育へ』惠贈札状) 1980.2.18
T 1059 森田瑛子封書 (夫の死去に際し香奠辞退について) 1987.2.27
T 1060 臼井嘉一はがき (『歴史学から歴史教育へ』惠贈札状) 1980.2.28
T 1061 歴史教育者協議会はがき (『歴史学から歴史教育へ』惠贈札状) 1980.2.27
T 1062 佐藤伸雄はがき (『歴史学から歴史教育へ』惠贈札状)
- 1980.2.27
T 1063 大竹正三郎はがき (『歴史学から歴史教育へ』惠贈札状) 1980.2.28
T 1064 ねずまさしはがき (『歴史学から歴史教育へ』惠贈札状) 1980.2.27
T 1065 木村礎はがき (『歴史学から歴史教育へ』惠贈札状) 1980.2.28
T 1066 松尾章一はがき (『歴史学から歴史教育へ』惠贈札状) 1980.2.28
T 1067 大概健はがき (『歴史学から歴史教育へ』惠贈札状) 1980.2.28
T 1068 斎藤秋男はがき (『歴史学から歴史教育へ』惠贈札状) 1980.2.28
T 1069 後藤靖はがき (『歴史学から歴史教育へ』惠贈札状) 1980.2.28
T 1070 宮川寅雄はがき (『歴史学から歴史教育へ』惠贈札状) 1980.2.26
T 1071 福島要一はがき (『歴史学から歴史教育へ』惠贈札状) 1980.2.29
T 1072 庄司吉之助はがき (『歴史学から歴史教育へ』惠贈札状) 1980.3.1
T 1073 北島正元はがき (『歴史学から歴史教育へ』惠贈札状) 1980.3.2
T 1074 高橋禎一はがき (『歴史学から歴史教育へ』惠贈札状) 1980.2.28
T 1075 原田勝正はがき (『歴史学から歴史教育へ』惠贈札状) 1980.3.3
T 1076 家永三郎はがき (『歴史学から歴史教育へ』惠贈札状) 1980.2.27
T 1077 太田秀通はがき (『歴史学から歴史教育へ』惠贈札状) 1980.3.3

- T 1078 小西四郎絵はがき (『歴史学から歴史教育へ』恵贈礼状) 1980.2.27
- T 1079 田中彰はがき (『歴史学から歴史教育へ』恵贈礼状) 1980.3.1
- T 1080 東大史料編纂所小野正雄はがき (『歴史学から歴史教育へ』恵贈礼状) 1980.3.3
- T 1081 井上一はがき (『歴史学から歴史教育へ』恵贈礼状) 1980.3.3
- T 1082 入交好脩はがき (86年10月24日「自由民権運動と小野粹」講演記録拜受、高知大会欠席の断り) 1987.6.4
- T 1083 大江志乃夫はがき (『歴史学から歴史教育へ』恵贈礼状) 1980.3.4
- T 1084 川村善二郎はがき (『歴史学から歴史教育へ』恵贈礼状) 1980.3.4
- T 1085 上杉重二郎はがき (『歴史学から歴史教育へ』恵贈礼状) 1980.3.4
- T 1086 石塚裕道絵はがき (『歴史学から歴史教育へ』恵贈礼状) 1980.3.3
- T 1087 山下国幸はがき (『歴史学から歴史教育へ』恵贈礼状) 1980.3.2
- T 1088 山本大はがき (『歴史学から歴史教育へ』恵贈礼状) 1980.3.3
- T 1089 大石嘉一郎はがき (『歴史学から歴史教育へ』恵贈礼状) 1980.3.4
- T 1090 鈴木良一はがき (『歴史学から歴史教育へ』恵贈礼状) 1980.3.4
- T 1091 村上重良はがき (『歴史学から歴史教育へ』恵贈礼状) 1980.3.5
- T 1092 森田玲子封書 (夫森田誠一死去の報) 1987.2
- T 1093 宮地正人はがき (『歴史学から歴史教育へ』恵贈礼状) 1980.3.4
- T 1094 大野陽朗はがき (『歴史学から歴史教育へ』恵贈礼状) 1980.3.4
- T 1095 花立三郎封書 (森田誠一先生を偲ぶ会案内状) 1987.5.14
- T 1096 森田玲子封書 (故人の「滴録」への投稿お礼) 1987.3.19
- T 1097 山本大はがき (遠山茂樹著作集2『維新変革の諸相』恵贈お礼) 1992.5.9
- T 1098 大久保利謙はがき (遠山茂樹著作集7『歴史教育論』恵贈お礼) 1992.3.
- T 1099 茂手木元蔵はがき (遠山茂樹著作集恵贈お礼) 1992.1.21
- T 1100 鹿野政直はがき (遠山茂樹著作集恵贈お礼及び病氣見舞い) 1992.2.4
- T 1101 小西四郎はがき (遠山茂樹著作集第七巻恵贈お礼及び近況報告) 1992.3.17
- T 1102 芳即正はがき (遠山茂樹著作集第六巻恵贈お礼) 1992.4.9
- T 1103 斉藤秀夫はがき (『歴史学から歴史教育へ』恵贈礼状及び近況報告) 1980.6.8
- T 1104 大久保利謙はがき (「あづまの会」不参加お詫び及び近況報告) 1992.4.9
- T 1105 山本大はがき (『天皇制と帝国主義』恵贈お礼及び近況報告) 1992.4.11
- T 1106 大久保利謙はがき (遠山茂樹著作集第4巻『日本近代史論』恵贈お礼) 1992.7.4
- T 1107 辻達也はがき (遠山茂樹著作集第2巻恵贈お礼及び近況報告) 1992.5.8
- T 1108 山本大はがき (遠山茂樹著作集第5巻恵贈お礼) 1992.5.8
- T 1109 金沢嘉一はがき (『歴史学から歴史教育へ』恵贈お礼及び近況報告) 1980.3.18
- T 1110 芝原拓自はがき (『歴史学から歴史教育へ』恵贈お礼) 1980.3.11

— 110 —

- T 1111 植手通有はがき (『歴史学から歴史教育へ』恵贈お礼) 1980.3.23
- T 1112 金原左門はがき (著書恵贈お礼) 1980.4.15カ
- T 1113 稲垣敏子はがき (著書恵贈お礼) 1980.4.7
- T 1114 北山茂夫はがき (著書恵贈お礼) 1980.4.13
- T 1115 菅田明子はがき (近況報告) 1993.4.26
- T 1116 辻達也はがき (遠山茂樹著作集第7巻恵贈お礼) 1992.3.7
- T 1117 大久保利謙はがき (遠山茂樹著作集第八巻恵贈お礼) 1992.1.14
- T 1118 茂手木元蔵はがき (遠山茂樹著作集第八巻恵贈お礼、本人の絵入り) 1992.1.14
- T 1119 芳即正はがき (遠山茂樹著作集完成のお祝い) 1992.8.9
- T 1120 辻達也はがき (遠山茂樹著作集第9巻恵贈お礼) 1992.8.7
- T 1121 小西四郎はがき (遠山茂樹著作集完結お祝いと恵贈お礼) 1992.8.10
- T 1122 山口啓二はがき (遠山茂樹著作集第1巻恵贈お礼) 1991.11.19
- T 1123 小西四郎はがき (遠山茂樹著作集第2巻恵贈お礼) 1991.11.14
- T 1124 大久保利謙はがき (遠山茂樹著作集恵贈お礼) 1991.11.12
- T 1125 山本大はがき (遠山茂樹著作集『明治維新』恵贈お礼) 1991.11.13
- T 1126 芳即正絵はがき (遠山茂樹著作集第1巻恵贈お礼) 1991.11.22
- T 1127 辻達也はがき (遠山茂樹著作集第2巻恵贈お礼、『明治維新』は小生にとってまたとない参考書) 1991.11.9
- T 1128 近盛晴嘉封書 (遠山茂樹著作集第1巻恵贈お礼) 1991.11.11 封筒なし
- T 1129 鹿野政直封書 (遠山茂樹著作集第2巻恵贈お礼) 1991.11.15
- T 1130 今谷明絵はがき (同時代ライブラリー『明治維新』恵贈お礼) 1995.1.23
- T 1131 西嶋定生封書 (著書恵贈お礼) 1995.1.29
- T 1132 船津功封書 (『明治維新』恵贈お礼) 1995.2.21
- T 1133 今井清一封書 (著書恵贈お礼、阪神淡路大震災の報告) 1995.2.6 封筒なし
- T 1134 永井秀夫封書 (遠山先生よりの便りのお礼) 1995.1.17
- T 1135 辻達也絵はがき (『明治維新』恵贈お礼) 1995.1.24
- T 1136 中村辛一はがき (『歴史学から歴史教育へ』恵贈お礼) 1980.3.5
- T 1137 山住正己はがき (『歴史学から歴史教育へ』恵贈お礼) 1980.3.8
- T 1138 大久保利謙はがき (『歴史学から歴史教育へ』恵贈お礼) 1980.3.6
- T 1139 芳即正はがき (『歴史学から歴史教育へ』恵贈お礼) 1980.3.4
- T 1140 教科書検定訴訟を支援する会全国連絡会小林和封書 (『歴史学から歴史教育へ』恵贈お礼) 1980.3.6
- T 1141 峰岸純夫はがき (『歴史学から歴史教育へ』恵贈お礼) 1980.3.10
- T 1142 広田昌希はがき (『歴史学から歴史教育へ』恵贈お礼) 1980.3.7
- T 1143 黒羽清隆はがき (『歴史学から歴史教育へ』恵贈お礼) 1980.3.8
- T 1144 下山三郎はがき (『歴史学から歴史教育へ』恵贈お礼) 1980.3.10
- T 1145 松島栄一はがき (『歴史学から歴史教育へ』恵贈お礼) 1980.3.18
- T 1146 斉藤孝はがき (『歴史学から歴史教育へ』恵贈お礼)

— 111 —

1980.3.12
 T 1147 藤間生大はがき (『歴史学から歴史教育へ』 惠贈お礼)
 1980.3.14
 T 1148 西嶋定生はがき (『歴史学から歴史教育へ』 惠贈お礼)
 1980.3.11
 T 1149 尾山宏はがき (『歴史学から歴史教育へ』 惠贈お礼)
 1980.3.31
 T 1150 君島和彦はがき (『歴史学から歴史教育へ』 惠贈お礼)
 1980.3.29
 T 1151 長尾演雄はがき (『歴史学から歴史教育へ』 惠贈お礼)
 1980.4.7
 T 1152 有泉貞夫はがき (『歴史学から歴史教育へ』 惠贈お礼)
 1980.4.12
 T 1153 小野正雄はがき (『明治維新』 惠贈お礼) 1995.1.24
 T 1154 北島万次はがき (『明治維新』 惠贈お礼) 1995.1.24
 T 1155 芳則正はがき (『明治維新』 惠贈お礼) 1995.1.27
 T 1156 宮地正人はがき (同時代ライブラリー『明治維新』 惠贈お礼) 1995.2.6
 T 1157 松尾章一はがき (『明治維新』 惠贈お礼) 1995.2.5
 T 1158 田中彰封書 (『山口県史』原稿添削依頼) 12月19日
 T 1159 松尾章一封書 (『日本における近代国家の成立』 惠贈お礼) 1993.1.23
 T 1160 田中彰はがき (『明治維新』 惠贈お礼) 1995.1.23
 T 1161 永原慶二はがき (同時代ライブラリー『明治維新』 惠贈お礼) 1995.1.27
 T 1162 鹿野政直はがき (『明治維新』 惠贈お礼) 1995.1.28
 T 1163 山口啓二はがき (『明治維新』 惠贈お礼) 1995.1.27
 T 1164 藤原彰はがき (『明治維新』 惠贈お礼) 1995.2.3
 T 1165 大江志乃夫はがき (『明治維新』 惠贈お礼) 1995.1.23
 T 1166 草間俊則はがき (講演掛軸お礼) 1986.11.4
 T 1167 近盛晴嘉封書 (横浜開港資料館館長退職挨拶状返信)

1986.10.25 封筒なし
 T 1168 岡村駿はがき (横浜開港資料館館長退職挨拶状返信)
 1986.10.13
 T 1169 三浦進封書 (横浜開港資料館館長退職挨拶状返信)
 1986.11.5
 T 1170 安岡昭男はがき (横浜開港資料館館長退職挨拶状返信)
 1986.10.26
 T 1171 岡義武はがき (横浜開港資料館館長退職挨拶状返信)
 1986.10.27
 T 1172 吉田常吉はがき (横浜開港資料館館長退職挨拶状返信)
 1986.10.26
 T 1173 大野真弓はがき (横浜開港資料館館長退職挨拶状返信)
 1986.10.27
 T 1174 林英夫はがき (横浜開港資料館館長退職挨拶状返信)
 1986.10.25
 T 1175 花井清二郎封書 (横浜開港資料館館長退職挨拶状返信)
 1986.10.24
 T 1176 児玉幸多はがき (横浜開港資料館館長退職挨拶状返信)
 1986.11.1
 T 1177 芝原拓自封書 (病气療養の報告) 1993.1.13
 T 1178 原口清封書 (ローマンの本惠贈お礼) 1993.1.13
 T 1179 遠山茂樹挨拶状 (横浜開港資料館館長退職挨拶)
 1986.10
 T 1180 大熊良一封書 (『明治維新』 惠贈お礼) 1969.11.15
 T 1181 吉野源三郎封書 (『明治維新』 惠贈お礼) 1969.12.15
 T 1182 西田良寿封書 (『明治維新』 惠贈お礼) 1969.12.11
 T 1183 西川正雄はがき (ローマンの本惠贈お礼) 1993.1.10
 T 1184 藤谷俊雄封書 (『明治維新』 惠贈お礼) 1969.11.20
 T 1185 永原慶二はがき (ローマンの本惠贈お礼) 1993.1.25
 T 1186 大久保利謙はがき (文英堂版『明治維新』 惠贈お礼)
 1969.11.6

T 1187 奥田晴樹はがき (著書惠贈お礼) 1995.1.24
 T 1188 原田伴彦はがき (文英堂版『明治維新』 惠贈お礼)
 1969.11.8
 T 1189 西岡虎之助はがき (文英堂版『明治維新』 惠贈お礼)
 1969.11.20
 T 1190 北島正元はがき (文英堂版『明治維新』 惠贈お礼)
 1969.11.22
 T 1191 村上重良はがき (文英堂版『明治維新』 惠贈お礼)
 1969.11.11
 T 1192 井上幸治はがき (文英堂版『明治維新』 惠贈お礼)
 1969.12.7
 T 1193 中村孝也はがき (文英堂版『明治維新』 惠贈お礼)
 1969.11.11
 T 1194 埜作樂はがき (文英堂版『明治維新』 惠贈お礼)
 1969.11.12
 T 1195 堀江英一はがき (文英堂版『明治維新』 惠贈お礼)
 1969.11.10
 T 1196 丹羽邦男はがき (文英堂版『明治維新』 惠贈お礼)
 1969.11.12
 T 1197 福島正夫はがき (文英堂版『明治維新』 惠贈お礼)
 1969.11.14
 T 1198 家永三郎はがき (文英堂版『明治維新』 惠贈お礼)
 1969.11.12
 T 1199 藤間生大はがき (文英堂版『明治維新』 惠贈お礼)
 1969.11.25
 T 1200 中村幸一はがき (文英堂版『明治維新』 惠贈お礼)
 1969.11.11
 T 1201 原田勝正はがき (文英堂版『明治維新』 惠贈お礼)
 1969.12.18
 T 1202 東京大学史料編纂所はがき (文英堂版『明治維新』 惠贈お礼) 1969.11.8

T 1203 天野卓郎はがき (文英堂版『明治維新』 惠贈お礼)
 1969
 T 1204 池田敬正はがき (文英堂版『明治維新』 惠贈お礼)
 1969.11.
 T 1205 山本大はがき (文英堂版『明治維新』 惠贈お礼)
 1969.11.19
 T 1206 永原慶二はがき (文英堂版『明治維新』 惠贈お礼)
 1969.11.18
 T 1207 ねずまさしはがき (文英堂版『明治維新』 惠贈お礼)
 1969.11.11
 T 1208 大石嘉一郎はがき (文英堂版『明治維新』 惠贈お礼)
 1969.11.23
 T 1209 柴田三千雄はがき (『ローマン史学』 惠贈お礼)
 1994.3.7
 T 1210 江村栄一はがき (『日本における近代国家の成立』 惠贈お礼) 1993.2.5
 T 1211 芳則正はがき (文英堂版『明治維新』 惠贈お礼)
 1969.11.18
 T 1212 原口清はがき (文英堂版『明治維新』 惠贈お礼)
 1969.11.15
 T 1213 藤原彰はがき (『日本における近代国家の成立』 惠贈お礼) 1993.2.12
 T 1214 海野福寿はがき (文英堂版『明治維新』 惠贈お礼)
 1969.11.17
 T 1215 今井清一はがき (『日本における近代国家の成立』 惠贈お礼) 1993.2.13
 T 1216 山口啓二はがき (文永堂版『明治維新』 惠贈お礼)
 1969.11.16
 T 1217 由井正臣はがき (『日本における近代国家の成立』 惠贈お礼) 1993.1.29
 T 1218 松島栄一はがき (『日本における近代国家の成立』 惠

- 贈お札) 1993.1.29
- T 1219 山口県史編纂室石畑貞雄封書(「山口県史の窓」史料編纂未修第1の寄稿者校正依頼) 1997.5.30
- T 1220 田中彰はがき(『日本における近代国家の成立』恵贈お札) 1993.2.1
- T 1221 川村善二郎はがき(『日本における近代国家の成立』恵贈お札) 1993.1.22
- T 1222 歴史学研究会編纂長伊集院立封書(家永教科書検定訴訟結審を迎え、原稿依頼) 1996.7.1 封筒なし
- T 1223 東大史料編纂所小野正雄はがき(『日本における近代国家の成立』恵贈お札) 1993.1.22
- T 1224 宮地正人はがき(『日本における近代国家の成立』恵贈お札) 1993.1.20
- T 1225 田中彰封書(『泉史の窓』ゼラ送付、訂正依頼) 1996.6.3
- T 1226 宇野俊一封書(同時代ライブラリー『明治維新』恵贈お札) 1995.2.16
- T 1227 石井寛治はがき(同時代ライブラリー『明治維新』恵贈お札) 1995.2.21
- T 1228 原口清はがき(同時代ライブラリー『明治維新』恵贈お札) 1995.1.25
- T 1229 高村直助はがき(同時代ライブラリー『明治維新』恵贈お札) 1995.1.24
- T 1230 小松封書(「森田先生を偲ぶ会」案内と二高職場ニュース) 1987.5.19 封筒なし
- T 1231-1 辻達也封書(『専修人文研年報』抜刷送付及び近況報告) 2004.4.6
- T 1231-2 辻達也封書(近況報告及びご無沙汰見舞) 2004.5.12
- T 1232 日本経済評論社新井由紀子封書(大門正克編『昭和史論争を問う』転載許可申請及び原稿) 2006.5.17
- T 1233 田中正封書(日本基督教団経堂緑岡教会会報『道標』送付及び挨拶) 1996.2.7

- T 1234 大野真弓封書(酒井佐保六高初代校長の履歴書送付) 1992.1.17
- T 1235 三浦進封書(「科学論序論」及び「このごろ考えること」遠山茂樹先生にお聞きする) 原稿送付) 1994.8.29
- T 1236 安川寿之輔封書(「福沢諭吉の戦争論と天皇制論」正誤・補正表の送付) 2007.2
- T 1237 川村善二郎封書(「武蔵野の空襲と戦争遺跡を記録する会」等送付) 2014.12.28
- T 1238 長野県史刊行会塚田正明封書(上條宏之「地方自由民権運動結社の組織過程とその背景—松本奨国社の場合」送付) 1974.9.21
- T 1239 松本登封書(「内村鑑三の東北観と三春人」等送付) 1997.6.26
- T 1240-1 岩波書店入江仰封書(著作集第7巻及び第3巻分確認事項について連絡等) 1991[㊦]
- T 1240-2 第11巻会誌担当加藤善夫封書(「会誌」第11号送付) 1991[㊦]
- T 1241 法学セミナー増刊編集部渡辺俊介封書(「明治天皇制考察の視角—戦前戦後の天皇制とそれを支える社会基盤」執筆依頼) 1976.9.27
- T 1242 「50年史編集委員会」委員、司会担当白井嘉一封書(歴教協50年史編集委員会座談会の記録の校正依頼) 1995.8.31
- T 1243 遠山馬鹿先生宛はがき(匿名「昭和史」批評) 1979.2.3
- T 1244 松尾章一封書(「大阪事件研究の前進のために」(正・続)送付分、抜刷贈呈の件) 1985.10 封筒なし
- T 1245 琉球大学法文学部金城正篤封書(牧志・思河事件に関する記録送付) 1992.6.3
- T 1246 寺崎修封書(自由党に関する抜刷在中) 1985.10 頃
- T 1247 有泉貞夫封書(『明治維新と天皇』恵贈お札) 1990.2.11
- T 1248 岩壁義光封書(抜刷送付、明治期日本に在留した中国

- 人と日本女性との婚姻形態及びその間に誕生した子の就職問題) 1987.9
- T 1249 平田哲男封書(大原社会問題研究所雑誌掲載論文抜刷送付) 1995.6
- T 1250 後藤正人封書(『南方熊楠と自由民権』に掲載された論文抜刷送付) 1988
- T 1251 青木功一封書(時事新報史研究の基礎作業の抜刷送付) 1979.12.7
- T 1252 松島栄一はがき(近況報告) 1977.11.24
- T 1253 勝田守一はがき(「戦後の歴史学と歴史意識」恵贈お札) 1968.7.29
- T 1254 下村富次男はがき(『戦後の歴史学と歴史意識』未著につき連絡) 1968.7.31
- T 1255 Karl Flahtl はがき(年賀)
- T 1256 東大史料編纂所小西遠山松島宛高橋八郎右衛門はがき(パリ)から近況報告) 1952.5.5
- T 1257 上杉重二郎はがき(『福沢諭吉』恵贈お札) 1970.12.24
- T 1258 高橋頼一はがき(遠山先生が「ゾラ」ベストから出したはがきへの礼状) 1970.9.9
- T 1259 箱石大封書(『国史学』145号(1991.12)『国学院大学院紀要』23編の抜刷) 1992.5.2
- T 1260 安田浩封書(抜刷送付) 1987.4.14
- T 1261 中小路純封書(山梨郡内地方村落についての論文の送り状) 1989.1
- T 1262 正田庄次郎封書(『三田学会雑誌』10月号に寄稿した論文の送り状) 1979.2.11
- T 1263 新井勝敏封書(「自由民権期の在米邦人研究」などの論文の送り状) 1991.12.21
- T 1264 沢目健介封書(「『明治日報』と伊藤博文」の送り状) 1983 頃[㊦]
- T 1265 山田昭次封書(「共楽館保存要請書」署名費用決算書

- などの送り状) 1979.4.25
- T 1266 久野収宛遠山茂樹はがき(『憲法の論理』恵贈のお札) 1969.7.3
- T 1267 鈴木正幸封書(維新时期に関する論文草稿の送り状) 1989.5.30
- T 1268 井上勝生封書(日韓近代史に関する資料についての問い合わせ) 1999.12.11
- T 1269 和崎皓三はがき(近況報告) 1999.8.23
- T 1270 渡辺賢二はがき(近況報告) 2000.2.15
- T 1271 山田忠雄はがき(暑中見舞いと退職挨拶) 2002.7.25
- T 1272 外崎光広封書(モノクロ写真5枚のみ在中) 1975.11.9
- T 1273 寺田宏子はがき(暑中見舞い) 2002.7.31
- T 1274 越智昇封書(近況報告) 2000.1.14
- T 1275 石塚裕道封書(訪問お札と別件訪問計画の行き違いのお詫び) 2000.3.22
- T 1276 山崎四朗はがき(定年退職挨拶、喜多方事件120周年の件) 2001.5.9
- T 1277 内田正子はがき(残暑見舞い、母看護の近況) 2002.8.9
- T 1278 ひろたまさき絵はがき(岡山から桃送付と異動の挨拶) 2002.7.31
- T 1279 大竹正三郎はがき(残暑見舞い、病氣見舞いと近況) 1984.8.9
- T 1280 安在邦夫はがき(書面拜受謝辞、近況) 2000.3.2[㊦]
- T 1281 田中彰はがき(上京時の訪問連絡) 1999.4.23
- T 1282 辻達也はがき(開港資料館館長引き受けの件、近況) 1981.1.3
- T 1283 三宅立はがき(仕事場移転連絡) 1999.10.25
- T 1284 吉田俊純はがき(光陰論をまとめる件) 1999.6.13
- T 1285 吉田俊純封書(光陰論出版が遅れる件) 1999.10.25
- T 1286 天野和明封書(訪問のお札、思い出、開港資料館の件) 1999.3.11

T 1287	中武香奈美封書 (開港資料館紀要 18号初稿遅れの件) 2000.3.4	T 1310	大日本殉皇会守備隊他封書 (緊急催告、横浜開港資料館館長退任催告書) 1981.5.31
T 1288	田中彰封書 (『学院評論』送付の件、「小国主義」の件、新聞切り抜き同封) 1999.4.19	T 1311	大日本軍国青年隊赤穂藩発軍団他封書 (緊急通達、11月1日横浜市での講演会の辞退を求める緊急通達) 1986.10.30
T 1289	今井清一はかき (近況報告) 1999.10.26	T 1312	神奈川県浄化連合電報 (開港資料館館長辞退要求) 1981.5.29
T 1290	天下井恵封書 (教育実践等送付) 1999.6.13 封筒なし	T 1313	不敬言動審査会日本清国塾加藤他二名封書 (出席通知書、呼出状) 1990.12.20
T 1291	今井清一はかき (問い合わせ返事) 1984.6.7	T 1314	大日本殉皇会守備隊他封書 (緊急催告、横浜開港資料館館長辞任要求) 1981.5.29
T 1292	大久保利謙はかき (著作集第2巻惠贈お礼) 1992.5.10	T 1315	不敬言動審査会封書 (出席通知書) 1967.3.10
T 1293	町田市自由民権資料館封書 (企画展「山上卓樹・カクと武相のキリスト教」の案内) 2005.10	T 1316	大日本殉皇会小早川貞夫封書 (抗議書、春秋社刊『現代の天皇制』での発言抗議) 1966.2.1
T 1294	伊藤新二郎封書 (近況報告) 1999.3.13	T 1317	不敬言動審査会、大日本殉皇会封書 (『エコノミスト』9月13日号「民権か国権か」、『歴史評論』8月号「紀元節制定」の時代的背景」への抗議書) 1966.10.3
T 1295	横浜開港資料館佐藤孝封書 (原稿の礼状) 2000.10.10	T 1318	金沢保はかき (中傷記事) 1965.11.3
T 1296	三輪盛昭封書 (病氣見舞い) 1999.9.25	T 1319	不敬言動審査会封書 (出席通知書) 1967.3.8
T 1297	松永昌三封書 (抜刷送付挨拶) 1999.12	T 1320	岩波書店宛 Donald Burton 封書 (『明治維新』英語版について) 1972.10.6
T 1298	伊藤新二郎宛遠山茂樹転居届通知はかき (宛所なし戻り) 2000.3	T 1321	歴史評論編集委員会封書 (『歴史評論』原稿執筆依頼「戦後50年にあたっての発言」) 1994.12.30
T 1299	伊藤新二郎封書 (近況報告) 1999.1.17	T 1322	芝原拓自封書 (『明治維新』英訳についての照会への返信) 1972.10.19
T 1300	川崎勝宛遠山茂樹封書 (『近代史話』(一)～(三)抜刷コピーと挨拶、宛所なし戻り) 2000.12	T 1323	大窪憲二氏追悼集刊行会油井大三郎封書 (『大窪憲二氏追悼集』への原稿校正依頼) 1987.7.14
T 1301	田中彰封書 (『明治維新と西洋文明』刊行挨拶) 2003.8.14	T 1324	大久保利謙封書 (『華族制の創出』解説依頼) 1993.7.27 封筒なし
T 1302	岩波書店増井元封書 (『近代日本総合年表』刊行挨拶) 2001.6.5	T 1325	横浜市史編集室曾根妙子封書 (『市史研究よこはま』第9号原稿依頼) 1995.11.10
T 1303	田中彰はかき (近況報告) 2003.6.12		
T 1304	田中彰はかき (近況報告) 2003.4.23		
T 1305	佐々木克封書 (近況報告) 2002.1.30	T 1326	岩波書店伊藤修封書 (水戸学についての原稿依頼) 1973.2.5
T 1306	伊藤孝封書 (近況報告) 2002.6.12		
T 1307	稲垣敏子封書 (献本のお知らせ) 9月30日		
T 1308	田中彰封書 (近況報告) 9月6日		
T 1309	大日本殉皇会野戦本陣小早川貞夫封書 (開港資料館館長就任抗議退任要求) 1981.5 封筒なし		

T 1326	岩波書店伊藤修封書 (水戸学についての原稿依頼) 1973.2.5	T 1343	ゼンター担当講座修了お礼及び受講生アンケート) 1986.12.20
T 1327	菊池麟平封書 (『自由民権 100 年全国集会』招待状送付のお礼及び近況報告) 1986.11.17	T 1341	金原左門封書 (科研費申請の件及び『茨城県史料近代政治社会編 I』刊行時期について外) 1973.11.15
T 1328	法政大学経済学部松尾章一研究室内自由民権百年連絡事務局はかき (『事務局ニュース第一号』への寄稿依頼) 1986.11.1	T 1342	松尾尊充封書 (科研メソバー応諾、岩波歴史叢書原稿完成、研究対象時期変更についての感懐) 1973.11.12
T 1329	船山信一はかき (『自由民権 100 年記念集会』参加のお礼) 1981.11.23		
T 1330	小池喜孝封書 (『明治社会主義者』送付及び近況報告) 1980.11.22	T 1344	日ソ歴史学会議組織委員会委員長江口朴郎封書 (日ソ歴史学会議組織委員会開催につき招請状、別紙 1981年3月27日の日ソ歴史学会議小委員会議事要録封筒差出名倉持後一) 1981.10.7
T 1331	サンデー毎日編集部書評係封書 (著書『昭和史』書評に対する抗議文に付、非掲載の旨通知) 1956.1.15	T 1345	中村政則封書 (科研メソバー応諾) 1973.11.14
T 1332	大日本青年義勇隊第一行動隊第二班長封書 (『昭和史』著者3名誅殺予告) 1956.1.6	T 1346	江村栄一封書 (科研費関係書類送付に付) 1973.11.14
T 1333	筒井徳光はかき (紀元節復活についての投書への励まし) 1966.11.1	T 1347	安丸良夫封筒 1973.11.13 書状なし封筒のみ
T 1334	早大総長西原春夫封書 (小野梓没後百年記念講演会案内状) 1986.10.9	T 1348	藤井松一封筒 1973.11.14 書状なし封筒のみ
T 1335	早大総長西原春夫封書 (小野梓没後百年記念講演会受諾に付礼状、没後百年記念行事予定表同封) 1986.9.29	T 1349	大江志乃夫封筒 1973.11.16 書状なし封筒のみ
T 1336	三笠宮崇仁はかき (社会科学問題協議会声明署名に付礼状) 1953.10.7	T 1350	永井秀夫封筒 1973.11.14 書状なし封筒のみ
T 1337	岩波書店封書 (『明治維新』検印部数印税率その他に付報告) 1951.3.15	T 1351	古屋哲夫封筒 1973.11.12 書状なし封筒のみ
T 1338	岩波書店封書 (『明治維新』検印部数印税率その他に付報告) 1951.2.22	T 1352	中村義封筒 1973.11.14 書状なし封筒のみ
T 1339	資料館設立準備担当藤川文章封書 (横浜開港資料館館長就任内諾に付礼状) 1981.2.26	T 1353	横山英封書 (科研分担者承諾書送付について、承諾書同封) 1973.11.15
T 1340	朝日カルチャーセンター林史枝封書 (朝日カルチャー	T 1354	中央区立月島図書館尾崎淑美封書 (月島誕生百年記念ポスター、図書館だより送付について) 10月26日
		T 1355	大丸義一封書 (近況報告) 2002.7.31
		T 1356	岩波書店編集部大江仰封書 (著作集第一巻校了に際し確認事項について) 1991.10.4
		T 1357	ゾゾアフリカ言語文化研究所封筒 1973.11.12 書状なし封筒のみ
		T 1358	開港資料館阿部征寛はかき (開港資料館の近況報告) 1986.11.26
			木下順二はかき (近況報告) 2003.2.17

- T 1359 色川大吉はかき (四国の旅の際のお礼と『天皇制と天皇』
恵贈お礼) 1987.12.10
- T 1360 辻達也封書 (近況報告と一橋徳川文書紹介の抜刷送付)
2005.4.19 封筒なし
- T 1361 樺美智子母樺光子封書 (美智子遺志表現のため訪チエ
コに際してのご挨拶) 1963.1.10
- T 1362 辻達也封書 (『一橋徳川家文書摘録校註百選』の送付)
2006.3.22
- T 1363 高橋義一封書 (上海にて訪中国の報告) 1961.10.12
- T 1364 中島義勝はかき (近況報告とお見舞い) 2006.8.16
- T 1365 林基はかき (近況報告) 2006.9.14
- T 1366 原田勝正はかき (『横浜市立大学論叢』(30巻2・3台
併号) 恵贈お礼および近況報告) 1979.10.18
- T 1367 田中正はかき (豊中見舞いおよび病氣見舞い) 1998.8.8
- T 1368 桑原真人はかき (近況報告および修士論文相談)
1966.6.20
- T 1369 対馬芳封書 (『明治維新』本文の語彙表記について照会)
2000.5.29
- T 1370 三浦恵司はかき (開港資料館退職お疲れ様) 1986.11.26
- T 1371 遠山茂樹贈呈文はかき (編著書『自由党史』贈呈)
- T 1372 田中彰封書 (近況報告及び泉史執筆御礼、抜刷『末松
謙造と『防長回天史』の意義』とも) 1996.9.11
- T 1373 二杉孝司封書 (『歴史学から歴史教育へ』の書評への
批評依頼) 6月30日
- T 1374 石井進はかき (相田二郎論文出典調査報告) 1991.4.16
- T 1375 梅田誠封書 (横浜文化賞受賞お祝い及び近況報告)
1995.10.15
- T 1376 今井清一はかき (横浜文化賞受賞お祝い及び近況報告)
1995.10.18
- T 1377 内田四方蔵はかき (横浜文化賞受賞お祝い及び近況報
告) 1995.10.18

- T 1378 内田正子はかき (横浜文化賞受賞お祝い及び近況報告)
1995.10.16
- T 1379 森朱夏はかき (横浜文化賞受賞お祝い及び近況報告)
1995.10.12
- T 1380 森芳枝はかき (横浜文化賞受賞お祝い及び近況報告)
1995.10.23
- T 1381 岡村駿封書 (横浜開港関係資料の整理及び収集業務に
関する委託契約書) 1979.6.12
- T 1382 佐藤孝封書 (横浜文化賞受賞お祝い及び近況報告)
1995.10.13
- T 1383 丸茂明美カード (横浜文化賞受賞祝いのお花に添えた
もの) 1995.11.1
- T 1384 丸茂明美封書 (横浜文化賞受賞お祝い) 1995.10.11
- T 1385 大野真弓封書 (論文送付の旨) 1995.10.16
- T 1386 大野真弓封書 (横浜文化賞受賞お祝い) 1995.10.25
- T 1387 吉永啓二はかき (横浜文化賞受賞お祝い) 1995.10.13
- T 1388 奥山亮封書 (冊子送付の旨)
- T 1389 横浜市長高橋秀信封書 (第44回平成7年度横浜文化
賞・横浜文化賞奨励賞受賞者の記者発表について通知)
1995.10.9
- T 1390 横浜開港資料普及協会理事長高橋秀信・横浜開港
資料館館長岡本担電報 (横浜文化賞受賞お祝い)
1995.11.1
- T 1391 ヨコハマグラフィックインターコンチネンタル総支
配人ミシエール・トウニーエ電報 (横浜文化賞受賞お祝
い) 1995.10.27
- T 1392 高橋邦太郎封書 (開港資料館展覧会感想及びペリー展
開催のための依頼事項に対する返信) 1982.10.21
- T 1393 家永三郎はかき (近況報告及び教科書裁判関係現状報
告) 1982.12.24
- T 1394 家永三郎はかき (手紙への返信、教科書裁判関係)

- 1993.3.22
- T 1395 歴史科学協議会はかき (自由民権100年東京集会案内)
1981.10.2
- T 1396 高柳嘉之はかき (返信及び近況報告) 1947.2.28
- T 1397 額賀大興封書 (日光東照宮裁判支援への礼状)
1973.7.15 封筒なし
- T 1398 奈倉哲三封書 (敵本の挨拶) 2005.1.2
- T 1399 田中彰封書 (藤養見舞い及び近況報告) 6月27日
封筒なし
- T 1400 河合平司封書 (横浜市立大学第100回記念講演講師依
頼) 1981.8.27
- T 1401 由井正臣封書 (大久保利謙著作集刊行祝賀会案内)
1986.3.20
- T 1402 増作栄はかき (転居通知) 1964.7.3
- T 1403 和島誠一はかき (豊中見舞い及び近況報告) 1966.8.1
- T 1404 江間博はかき (転職の挨拶) 1966.10
- T 1405 吉田博封書 (文一甲祭記念祭公演の写真(複製)及び
挨拶状) 8月23日 写真2枚
- T 1406 近盛晴嘉封書 (ジョセフ彦記念会理事会案内及び挨拶
状) 1994.3.12
- T 1407 遠山重子宛赤沢史朗封書 (吉田芳恵より河上肇夫人秀、
三姉妹の件) 1997.1.23
- T 1408 憲法フェスティバル実行委員会森川文人封書 (97憲法
フェスティバルへの賛同のお願い) 1997.2.16
- T 1409 三省堂小原大喜男封書 (『史料が語る神奈川の歴史』
執筆者会議のご案内) 1985.7.17
- T 1410 小西四郎はかき (メキシコより近況報告) 1966
- T 1411 歴史科学協議会封書 (座談会参考資料、今福誠二「人
類史の中のヒロシマ」) 1977.10.8
- T 1412 伊藤新二郎・鎌田茂封書 (横浜市立大学日本史専攻卒
業生有志による懇親会の案内) 2005.12.12

- T 1413 芳働旬報社編集部西村取也封書 (『人間と教育』著者
校正依頼)
- T 1414 飯塚浩二著作集編集部竹下文雄封書 (飯塚浩二著作集
第9巻解説執筆礼状) 12月12日
- T 1415 今井清一封書 (『満鉄月報』第25号コピー送付) 9
月25日
- T 1416 安仁屋政昭封書 (与論、国頭で収集した農村語集原稿)
1978.10.21
- T 1417 イサベラ・C・コゾラーチエ封書 (月島図書館日より『も
んじゅ』を見ての便り) 6月1日
- T 1418 和歌森太郎封書 (1975年14回国際歴史会議関係書類
送付) 1974.12.12
- T 1419 高知市立自由民権記念館篠田充男封書 (外崎光広追悼
新聞記事、懇話会案内) 2002.10
- T 1420 岩波書店石母田正著作集編集部封書 (石母田正著作集
編集構成資料) 1987.7.13
- T 1421 藤井甚太郎封書 (古稀祝いへの礼状) 1953.3.29
- T 1422 三枝博喜はかき (『日本の唯物論者』恵贈礼状への礼状)
1956.7.8
- T 1423 羽仁五郎はかき (病氣見舞いへの礼状) 1956.7.16
- T 1424 谷川清敏はかき (『人物日本史』の読後感想) 1951.1.9
- T 1425 松波昭二はかき (近況報告) 1950年代
- T 1426 林屋辰三郎はかき (東京での接待への礼状) 1954.2.15
- T 1427 藤田五郎はかき (近況・病状報告) 1950年代
- T 1428 松川事件被告佐藤代治封書 (獄中から、松川事件裁判
の報告) 1952.7.20
- T 1429 松川事件被告佐藤代治封書 (『明治維新』『平和を求め
た人々』恵贈御礼) 1952.7.18
- T 1430 国史大辞典編集委員会事務局封書 (『国史大辞典』校
正副校正依頼) 1983.7.22
- T 1431 鶴沼裕子封書 (『天皇と華族』に対する質問)

T 1432 同志社大土肥昭夫封書 (『基督教と皇室』著者についての解答他)

T 1433 田中彰封書 (大久保利謙著作集打合せの相談) 1986.1.26

T 1434 新井勝敏封書 (町田市立自由民権資料館近況報告及び次回展示案内) 1987.1.16

T 1435 辻善之助はかき (文部省維新資料編纂所面談要請) 1938.3.9

T 1436 辻善之助はかき (文部省維新資料編纂所面談督促) 1938.3.14

T 1437 辻善之助封書(文部省維新資料編纂所採用通知、添書他) 1938.3.26

T 1438 内藤俊子封書 (『天皇と華族』『歴史意識と民族意識』の打合せ依頼及び参考資料) 1984.12.18

T 1439 大久保利謙封書 (抜刷「齋香間祇候会議と華族」「伝統華族と明治華族」及び添書) 1987.6.16

T 1440 佐藤孝封書 (横浜開港資料館企画展準備の報告及び打合せ依頼) 1989_カ.6.15

T 1441 板垣雄三絵はかき (滞在先ペイクルトからの近況報告) 3月15日

T 1442 A4クリラーペーパーに一括

T 1442-1 丸茂信行宛神田文人はかき (遠山先生の喜寿を祝う会出欠返信及び近況報告) 1990.9.6

T 1442-2 丸茂信行宛辻達也はかき (遠山先生の喜寿を祝う会出欠返信) 1990.8.13

T 1442-3-1 内田修道宛河村忠雄はかき (遠山先生の喜寿を祝う会出欠返信) 1990.6.18

T 1442-3-2 丸茂信行宛河村忠雄はかき (遠山先生の喜寿を祝う会出欠返信) 1990.8.14

T 1442-4-1 内田修道宛関口一郎はかき (遠山先生の喜寿を祝う会出欠返信) 1990.7.2

T 1442-4-2 丸茂信行宛関口一郎はかき (遠山先生の喜寿を祝う会出欠返信及び近況報告) 1990.8.9

T 1442-5-1 丸茂信行宛丸地三郎はかき (遠山先生の喜寿を祝う会出欠返信) 1990.6.2

T 1442-5-2 丸茂信行宛大嶽浩良はかき (遠山先生の喜寿を祝う会出欠返信及び近況報告) 1990.8.12

T 1442-16 内田修道宛羽田野世子はかき (遠山先生の喜寿を祝う会出欠返信) 1990.6.21

T 1442-17-1 内田修道宛中島允久はかき (遠山先生の喜寿を祝う会出欠返信及び近況報告) 1990.6.13

T 1442-17-2 丸茂信行宛中島允久はかき (遠山先生の喜寿を祝う会出欠返信及び近況報告) 1990.8.2

T 1442-18-1 内田修道宛丸地三郎はかき (遠山先生の喜寿を祝う会出欠返信) 1990.6.20

T 1442-18-2 丸茂信行宛丸地三郎はかき (遠山先生の喜寿を祝う会出欠返信及び近況報告) 1990.8.9

T 1442-19 丸茂信行はかき (遠山先生の喜寿を祝う会出欠返信及び近況報告) 1990.8.6

T 1442-20 丸茂明美はかき (遠山先生の喜寿を祝う会出欠返信及び近況報告)

T 1442-21 丸茂信行宛中田宗紀はかき (遠山先生の喜寿を祝う会出欠返信及び近況報告) 1990.8.4

T 1442-22 丸茂信行宛吉池俊子はかき (遠山先生の喜寿を祝う会出欠返信及び近況報告) 1990.8.6

T 1442-23 丸茂信行宛宇津木三郎はかき (遠山先生の喜寿を祝う会出欠返信) 1990.8.2

T 1442-24-1 内田修道宛三輪憲昭はかき (遠山先生の喜寿を祝う会出欠返信) 1990.7.9

T 1442-24-2 丸茂信行宛三輪憲昭はかき (遠山先生の喜寿を祝う会出欠返信及び近況報告) 1990.8.13

T 1442-5-1 内田修道宛宇治勇司はかき (遠山先生の喜寿を祝う会出欠返信) 1990.6.21

T 1442-5-2 丸茂信行宛宇治勇司はかき (遠山先生の喜寿を祝う会出欠返信) 1990.8.4

T 1442-6-1 内田修道宛島田早苗はかき (遠山先生の喜寿を祝う会出欠返信) 1990.7.2

T 1442-6-2 丸茂信行宛島田早苗はかき (遠山先生の喜寿を祝う会出欠返信) 1990.8.8

T 1442-7-1 内田修道宛今井浩太郎はかき (遠山先生の喜寿を祝う会出欠返信) 1990.6.11

T 1442-7-2 丸茂信行宛今井浩太郎はかき (遠山先生の喜寿を祝う会出欠返信及び近況報告) 1990

T 1442-8-1 内田修道宛熊沢志朗はかき (遠山先生の喜寿を祝う会出欠返信) 1990.6.10

T 1442-8-2 丸茂信行宛熊沢志朗はかき (遠山先生の喜寿を祝う会出欠返信及び近況報告) 1990.9.18

T 1442-9-1 内田修道宛山形真功はかき (遠山先生の喜寿を祝う会出欠返信) 1990.6.12

T 1442-9-2 丸茂信行宛山形真功はかき (遠山先生の喜寿を祝う会出欠返信) 1990.7.31

T 1442-10-1 内田修道宛田中祥之はかき (遠山先生の喜寿を祝う会出欠返信) 1990

T 1442-10-2 丸茂信行宛田中祥之はかき (遠山先生の喜寿を祝う会出欠返信及び近況報告) 1990.8.3

T 1442-11 丸茂信行宛村上洋子はかき (遠山先生の喜寿を祝う会出欠返信及び近況報告) 1990

T 1442-11-1 内田修道宛八木伊佐子はかき (遠山先生の喜寿を祝う会出欠返信) 1990.6.17

T 1442-11-2 丸茂信行宛八木伊佐子はかき (遠山先生の喜寿を祝う会出欠返信及び近況報告) 1990.8.8

T 1442-13 丸茂信行宛手塚明明はかき (遠山先生の喜寿を祝う会出欠返信及び近況報告) 1990.8.10

T 1442-14 丸茂信行宛田鎖忠利はかき (遠山先生の喜寿を祝う会出欠返信及び近況報告) 1990.9.6

T 1442-15-1 内田修道宛大嶽浩良はかき (遠山先生の喜寿を祝う会出欠返信) 1990.6.2

T 1442-15-2 丸茂信行宛大嶽浩良はかき (遠山先生の喜寿を祝う会出欠返信及び近況報告) 1990.8.12

T 1442-16 内田修道宛羽田野世子はかき (遠山先生の喜寿を祝う会出欠返信) 1990.6.21

T 1442-17-1 内田修道宛中島允久はかき (遠山先生の喜寿を祝う会出欠返信及び近況報告) 1990.6.13

T 1442-17-2 丸茂信行宛中島允久はかき (遠山先生の喜寿を祝う会出欠返信及び近況報告) 1990.8.2

T 1442-18-1 内田修道宛丸地三郎はかき (遠山先生の喜寿を祝う会出欠返信) 1990.6.20

T 1442-18-2 丸茂信行宛丸地三郎はかき (遠山先生の喜寿を祝う会出欠返信及び近況報告) 1990.8.9

T 1442-19 丸茂信行はかき (遠山先生の喜寿を祝う会出欠返信及び近況報告)

T 1442-20 丸茂明美はかき (遠山先生の喜寿を祝う会出欠返信及び近況報告)

T 1442-21 丸茂信行宛中田宗紀はかき (遠山先生の喜寿を祝う会出欠返信及び近況報告) 1990.8.4

T 1442-22 丸茂信行宛吉池俊子はかき (遠山先生の喜寿を祝う会出欠返信及び近況報告) 1990.8.6

T 1442-23 丸茂信行宛宇津木三郎はかき (遠山先生の喜寿を祝う会出欠返信) 1990.8.2

T 1442-24-1 内田修道宛三輪憲昭はかき (遠山先生の喜寿を祝う会出欠返信) 1990.7.9

T 1442-24-2 丸茂信行宛三輪憲昭はかき (遠山先生の喜寿を祝う会出欠返信及び近況報告) 1990.8.13

T 1442-5-1 内田修道宛安達洋子はかき (遠山先生の喜寿を祝う会出欠返信及び近況報告) 1990.7.9

T 1442-26-1 内田修道宛田中立子・行義はかき (遠山先生の喜寿を祝う会出欠返信及び近況報告) 1990.7.19

T 1442-26-2 丸茂信行宛田中立子・行義はかき (遠山先生の喜寿を祝う会出欠返信及び近況報告) 1990.8.31

T 1442-27-1 内田修道宛吉田俊純はかき (遠山先生の喜寿を祝う会出欠返信) 1990.6.30

T 1442-27-2 丸茂信行宛吉田俊純はかき (遠山先生の喜寿を祝う会出欠返信) 1990.7.31

T 1442-28 丸茂信行宛大久保英夫はかき (遠山先生の喜寿を祝う会出欠返信及び近況報告) 1990.8.8

T 1442-29-1 内田修道宛染井佳夫・みどりはかき (遠山先生の喜寿を祝う会出欠返信) 1990.8.4

T 1442-29-2 丸茂信行宛染井佳夫・みどりはかき (遠山先生の喜寿を祝う会出欠返信及び近況報告) 1990.7.1

T 1442-30-1 内田修道宛伊藤新一郎はかき (遠山先生の喜寿を祝う会出欠返信) 1990

T 1442-30-2 丸茂信行宛伊藤新一郎はかき (遠山先生の喜寿を祝う会出欠返信及び近況報告) 1990.8.1

T 1442-31-1 内田修道宛鈴木友萬朗はかき (遠山先生の喜寿を祝う会出欠返信) 1990.6.11

T 1442-31-2 丸茂信行宛鈴木友萬朗はかき (遠山先生の喜寿を祝う会出欠返信及び近況報告) 1990.7.31

T 1442-32 丸茂信行宛鎌野茂はかき (遠山先生の喜寿を祝う会出欠返信及び近況報告) 1990.8.24

T 1442-33-1 内田修道宛笠原進はかき (遠山先生の喜寿を祝う会出欠返信) 1990.7.13

T 1442-33-2 丸茂信行宛笠原進はかき (遠山先生の喜寿を祝う会出欠返信及び近況報告) 1990.8.14

T 1442-34	丸茂信行宛三浦進・晴子はがき (遠山先生の喜寿を祝う会出欠返信及び近況報告) 1990.7.31	T 1442-43-2	丸茂信行宛小竹秀司はがき (遠山先生の喜寿を祝う会出欠返信) 1990.8.6
T 1442-35-1	内田修道宛丸浜昭・江里子はがき (遠山先生の喜寿を祝う会出欠返信) 1990.6.27	T 1442-44-1	内田修道宛吉永啓二はがき (遠山先生の喜寿を祝う会出欠返信) 1990.6.13
T 1442-35-2	丸茂信行宛丸浜昭・江里子はがき (遠山先生の喜寿を祝う会出欠返信及び近況報告) 1990.9.15	T 1442-44-2	丸茂信行宛吉永啓二はがき (遠山先生の喜寿を祝う会出欠返信) 1990.8.3
T 1442-36	丸茂信行宛大内裕見子はがき (遠山先生の喜寿を祝う会出欠返信及び近況報告) 1990.8.23	T 1442-45	内田修道宛松下左門はがき (遠山先生の喜寿を祝う会出欠返信及び近況報告) 1990.6.9
T 1442-37-1	内田修道宛水崎すみこはがき (遠山先生の喜寿を祝う会出欠返信) 1990.7.8	T 1442-46	内田修道宛大内明はがき (遠山先生の喜寿を祝う会出欠返信及び近況報告) 1990.6.29
T 1442-37-2	丸茂信行宛水崎すみこはがき (遠山先生の喜寿を祝う会出欠返信及び近況報告) 1990.8.10	T 1442-47-1	内田修道宛今村征一はがき (遠山先生の喜寿を祝う会出欠返信) 1990.6.10
T 1442-38-1	内田修道宛野崎律子はがき (遠山先生の喜寿を祝う会出欠返信) 1990	T 1442-47-2	丸茂信行宛今村征一はがき (遠山先生の喜寿を祝う会出欠返信及び近況報告) 1990.8.3
T 1442-38-2	丸茂信行宛野崎律子はがき (遠山先生の喜寿を祝う会出欠返信及び近況報告) 1990.8.12	T 1442-48	内田修道宛谷為直はがき (遠山先生の喜寿を祝う会出欠返信) 1990.6.9
T 1442-39-1	内田修道宛田所和子はがき (遠山先生の喜寿を祝う会出欠返信) 1990.6.11	T 1442-49	丸茂信行宛田中並子はがき (遠山先生の喜寿を祝う会出欠返信及び近況報告) 1990.9.20
T 1442-39-2	丸茂信行宛田所和子はがき (遠山先生の喜寿を祝う会出欠返信及び近況報告) 1990.8.11	T 1442-50-1	内田修道宛嶋田鋭二はがき (遠山先生の喜寿を祝う会出欠返信) 1990.7.2
T 1442-40-1	内田修道宛西村淳一はがき (遠山先生の喜寿を祝う会出欠返信及び近況報告) 1990.6.11	T 1442-50-2	丸茂信行宛嶋田鋭二はがき (遠山先生の喜寿を祝う会出欠返信) 1990.8.8
T 1442-40-2	丸茂信行宛西村淳一はがき (遠山先生の喜寿を祝う会出欠返信及び近況報告) 1990.7.31	T 1442-51-1	内田修道宛阿川良次はがき (遠山先生の喜寿を祝う会出欠返信及び近況報告) 1990.7.6
T 1442-41-1	内田修道宛杉原洋子はがき (遠山先生の喜寿を祝う会出欠返信及び近況報告) 1990.7.17	T 1442-51-2	丸茂信行宛阿川良次はがき (遠山先生の喜寿を祝う会出欠返信及び近況報告) 1990.8.9
T 1442-41-2	丸茂信行宛杉原洋子はがき (遠山先生の喜寿を祝う会出欠返信及び近況報告) 1990.9.10	T 1442-52	内田修道宛久保木伸枝はがき (遠山先生の喜寿を祝う会出欠返信) 1990.6.11
T 1442-42	丸茂信行宛波多野章・典子はがき (遠山先生の喜寿を祝う会出欠返信及び近況報告) 1990.9.17	T 1442-53-1	内田修道宛加藤守男はがき (遠山先生の喜寿を祝う会出欠返信) 1990.7.27
T 1442-43-1	内田修道宛小竹秀司はがき (遠山先生の喜寿を祝う会出欠返信) 1990.6.11		

T 1442-53-2	丸茂信行宛加藤守男はがき (遠山先生の喜寿を祝う会出欠返信及び近況報告) 1990.8.18	T 1442-64-1	会出欠返信及び近況報告) 1990.8.15
T 1442-54	丸茂信行宛深谷二郎はがき (遠山先生の喜寿を祝う会出欠返信及び近況報告) 1990.8.1	T 1442-64-2	丸茂信行宛大沢祐三はがき (遠山先生の喜寿を祝う会出欠返信及び近況報告) 1990.8.13
T 1442-55-1	内田修道宛真砂弘はがき (遠山先生の喜寿を祝う会出欠返信) 1990.6.11	T 1442-65	内田修道宛中村友博はがき (遠山先生の喜寿を祝う会出欠返信) 1990.6.11
T 1442-55-2	丸茂信行宛真砂弘はがき (遠山先生の喜寿を祝う会出欠返信及び近況報告) 1990.8.7	T 1442-66	内田修道宛板垣俊一はがき (遠山先生の喜寿を祝う会出欠返信) 1990.6.30
T 1442-56-1	内田修道宛桑原真人はがき (遠山先生の喜寿を祝う会出欠返信) 1990.7.10	T 1442-67	内田修道宛角北省三はがき (遠山先生の喜寿を祝う会出欠返信) 1990.6.15
T 1442-56-2	丸茂信行宛桑原真人はがき (遠山先生の喜寿を祝う会出欠返信及び近況報告) 1990.8.13	T 1442-68	内田修道宛高橋秀雄はがき (遠山先生の喜寿を祝う会出欠返信) 1990.7.25
T 1442-57	丸茂信行宛本庄洋彦はがき (遠山先生の喜寿を祝う会出欠返信及び近況報告) 1990	T 1442-69	内田修道宛小川達夫はがき (遠山先生の喜寿を祝う会出欠返信及び近況報告) 1990.8.7
T 1442-58-1	内田修道宛菅田明子はがき (遠山先生の喜寿を祝う会出欠返信) 1990.6.11	T 1442-70	内田修道宛佐々木晴子はがき (遠山先生の喜寿を祝う会出欠返信) 1990.6.21
T 1442-58-2	丸茂信行宛菅田明子はがき (遠山先生の喜寿を祝う会出欠返信及び近況報告) 1990.8.17	T 1442-71	内田修道宛山口光子はがき (遠山先生の喜寿を祝う会出欠返信) 1990.6.11
T 1442-59	丸茂信行宛渡辺賢二はがき (遠山先生の喜寿を祝う会出欠返信及び近況報告) 1990.8.11	T 1442-72	内田修道宛里見春美はがき (遠山先生の喜寿を祝う会出欠返信) 1990.7.6
T 1442-60-1	内田修道宛中島一はがき (遠山先生の喜寿を祝う会出欠返信) 1990.6.15	T 1442-73	内田修道宛岩元弥生はがき (遠山先生の喜寿を祝う会出欠返信) 1990.6.18
T 1442-60-2	丸茂信行宛中島一はがき (遠山先生の喜寿を祝う会出欠返信及び近況報告) 1990.8.8	T 1442-74	内田修道宛水野進はがき (遠山先生の喜寿を祝う会出欠返信) 1990.6.8
T 1442-61	内田修道宛佐藤早苗はがき (遠山先生の喜寿を祝う会出欠返信) 1990.6.16	T 1442-75	内田修道宛木宮知信はがき (遠山先生の喜寿を祝う会出欠返信及び近況報告) 1990.7.7
T 1442-62	内田修道宛小山骨一はがき (遠山先生の喜寿を祝う会出欠返信) 1990.6.18	T 1442-76	内田修道宛海老原務はがき (遠山先生の喜寿を祝う会出欠返信及び近況報告) 1990.7.29
T 1442-63-1	内田修道宛藤井正はがき (遠山先生の喜寿を祝う会出欠返信) 1990.6.18	T 1442-77	内田修道宛安斉紀明はがき (遠山先生の喜寿を祝う会出欠返信及び近況報告) 1990.7.4
T 1442-63-2	丸茂信行宛藤井正はがき (遠山先生の喜寿を祝う会出欠返信) 1990.6.18		

- T 1442-78 丸茂信行宛森山泰華はがき (遠山先生の喜寿を祝う会出欠返信) 1990.9.15
- T 1442-79-1 内田修道宛田中裕之はがき (遠山先生の喜寿を祝う会出欠返信) 1990.6.14
- T 1442-79-2 丸茂信行宛田中裕之はがき (遠山先生の喜寿を祝う会出欠返信及び近況報告) 1990.9.5
- T 1442-80 内田修道宛福島一憲はがき (遠山先生の喜寿を祝う会出欠返信) 1990.6
- T 1442-81 丸茂信行宛大庭邦彦はがき (遠山先生の喜寿を祝う会出欠返信) 1990.9.6
- T 1442-82 内田修道宛對馬芳はがき (遠山先生の喜寿を祝う会出欠返信及び近況報告) 1990.6.11
- T 1442-83-1 内田修道宛羽山悦雄・正子はがき (遠山先生の喜寿を祝う会出欠返信) 1990.7.3
- T 1442-83-2 丸茂信行宛羽山悦雄・正子はがき (遠山先生の喜寿を祝う会出欠返信及び近況報告) 1990.8.4
- T 1442-84 内田修道宛三枝木隆はがき (遠山先生の喜寿を祝う会出欠返信) 1990.7.4
- T 1442-85 内田修道宛中村宏はがき (遠山先生の喜寿を祝う会出欠返信及び近況報告) 1990.6.21
- T 1442-86-1 内田修道宛長塚淑江はがき (遠山先生の喜寿を祝う会出欠返信) 1990.6.27
- T 1442-86-2 丸茂信行宛長塚淑江はがき (遠山先生の喜寿を祝う会出欠返信及び近況報告) 1990.8.14
- T 1442-87 西沢寿之封書 (遠山先生の喜寿を祝う会出欠返信及び近況報告) 封筒なし
- T 1442-88 高橋紀子封書 (遠山先生の喜寿を祝う会出欠返信及び近況報告) 1990.9.9 封筒なし
- T 1443 岩波書店出版部高野うめ子はがき(『昭和史』増刷通知) 1957.4.13

19 寄贈論文抜刷

- K 1 徳永高志 「東京府会における都市民衆論—1879～81年の租税協議を通して—」 『文学研究科紀要』別冊第13集哲学・史学編 早稲田大学大学院文学研究科 1986 B 5冊子
- K 2 徳永高志 「自由民権期の行政訴訟運動—三府二県の都市と農村—」 『民衆史研究』第27号 民衆史研究会 1984.11.17 B 5冊子
- K 3 大豆生田稔 「食糧政策の展開と台湾米—在来種改良政策の展開と対内地移出の推移—」 『東洋大学文学部紀要』第44集史学料篇 XVI 東洋大学文学部 1991.3 A 5冊子
- K 4 菊山正明 「明治初年の司法改革—司法省創設前史—」 『早稲田法学』第62巻2号 早稲田大学法学部 1986.10.31 A 5冊子
- K 5 鹿野政直 「「否」の文学—『琉大文学』の航跡—」 『法政大学沖繩文化研究所紀要』12号 法政大学沖繩文化研究所 1986.3 B 6変形冊子
- K 6 石塚裕道 「東京の都市スラムと公衆衛生問題」 『国連大学人間と社会の開発プログラム研究報告』技術と都市社会研究部会 国際連合大学 1981 B 5冊子
- K 7-1 森芳枝 「蘭方医門倉玄春の手紙」上 『郷土よこはま』96号 横浜市中心図書館 1983.3.31 A 5冊子
- K 7-2 森芳枝 「蘭方医門倉玄春の手紙」下 『郷土よこはま』97号 横浜市中心図書館 1983.10.30 A 5冊子
- K 8 横山真一 「岐阜の民権家後藤秀一と『渡船事件』—民権家の思想形成に関する一試論—」 『東海近代史研究』第6号 東海近代史研究会 1984.11 B 5冊子
- K 9 内海孝 「横浜築港史論序説—産業資本確立期を中心に—」 『郷土よこはま』88・89号 横浜市区図書館 1982.11.30 B 5冊子
- K 10 田村貞雄 「初代山口県令中野梧一の自殺と前歴」 『山口県地

— 124 —

- 方史研究』第48号 山口県地方史学会 1982.11 A 5冊子
- K 11 田村貞雄 「『征韓論』政変の史料批判—毛利観彦説批判—」 『歴史学研究』第615号 歴史学研究会 1991.1 B 5冊子
- K 12 山田昭次 「横浜連合生糸荷預所事件と自由民権派諸新聞の論調(二)」 『史苑』第27巻第1号 立教大学史学会 1966.6 A 5冊子
- K 13 大畑正弘 「明日の歴史教育に向かって」 『季刊 戦争責任研究』第17号 日本の戦争責任資料センター 1997秋号 B 5冊子
- K 14 寺崎修 「明治14年・自由党集會条例違反事件の一考察」 『近代日本史の新研究』IV 北樹出版 1985.10 A 5冊子
- K 15 大橋博 「農商務省・農林省・農商省」 『日本古文書学講座』第9巻近代編1 雄山閣 1979.12 A 5冊子
- K 16 小松裕 「実業家中江兆民の一面面—私設鉄道事業を中心に—」 『文学研究科紀要』別冊第11集哲学・史学編 早稲田大学大学院文学研究科 1984 B 5冊子
- K 17 小松裕 「兆民と鉄道—毛武鉄道を中心に—」 『史観』第111冊 早稲田大学史学会 1984.9 A 5冊子
- K 18 井上勝生 「札幌農学校と植民学—佐藤昌介を中心に—」 『北大125年史』論文・資料編 北海道大学 2003.2 A 5冊子
- K 19 井上勝生 「アイヌ民族共有財産裁判・意見書—歴史研究者の意見書—」 北海道旧土人共有財産等返還手續無効確認請求控訴事件・控訴人弁護団により札幌高裁第三民事部へ提出文書 2003.5.13 A 5冊子
- K 20 中塚明 「日本における朝鮮史研究の軌跡と課題—近代史研究の分野をふりかえって—」 『朝鮮史研究会論文集』第17集 朝鮮史研究会 1980.3.31 A 5冊子
- K 21 松尾章一 「最終講義 近代日本植民地統治史研究の現状と課題—台湾を中心に—」 『法政大学多摩論集』第17巻第2号 法政大学 2001.3 A 5冊子
- K 22 松尾章一 「地域と民衆に学ぶ 歴史学四十年」 自費出版 2001.3.25 B 6変形冊子

- K 23 飯田直樹 「米騒動後の都市地域支配と方面委員の活動」 飯川植秀編 『近代大阪の地域と社会変動』 部落問題研究所 2009 A 5冊子
- K 24 中小路純 「農村構造と収取関係」 『日本史概要』本の泉社 2011.7.5 B 5冊子
- K 25 中小路純 「明治初年の年貢収取と年貢三分捨免—甲州都留郡都内領中初狩村の事例を中心に—」 『明治維新史研究』第1号 明治維新史学会 2004.12.1 B 5冊子
- K 26 辻達也 「『一橋徳川家文書』揃録考註(五)」 『専修大学人文科学年報』第32号 専修大学 2002.3 A 5冊子
- K 27 加藤祐三 「文明の新構想—(文明の三角錐) 論再考—」 『横浜市立大学論叢』人文科学系列第51巻第3号 横浜市立大学学術研究会 2000.3.31 A 5冊子
- K 28 吉田俊純 「立原翠軒の上洛と藤田幽谷の書名更改」 『耕人』第15号 耕人社 2010.2 A 5冊子
- K 29 熊沢徹 「幕末の鎖港問題と英国の軍事戦略」 『歴史学研究』第700号 歴史学研究会 1997.8 B 5冊子
- K 30 嶋田早苗 「三井店出入りの二軒の飛脚問屋について—三井文庫収蔵史料による概観—」 『三井文庫論叢』第37号 三井文庫 2003.12 A 5冊子
- K 31 辻達也 「『一橋徳川家文書』揃録考註(六)」 『専修大学人文科学年報』第34号 専修大学 2004.3 A 5冊子
- K 32 辻達也 「『江戸開府四百年』をめぐる雑感」 『大日光』第74号 日光東照宮 2004.3 B 5冊子
- K 33 犬丸義一 「「生き方の理論」としての女性史」 『総合女性史研究』第19号 総合女性史研究会 2002.3 A 5冊子
- K 34 加藤祐三 「史観と体験をめぐる」 『横浜市立大学論叢』人文科学系列(加藤祐三教授退官記念号) 第54巻第1,2,3合併号 横浜市立大学学術研究会 2003 A 5冊子
- K 35 吉田俊純 「立原翠軒小伝」 『筑波学院大学紀要』第5集筑波学院大学 2010.3 B 5冊子

— 125 —

- K 36 吉田俊純『藤田幽谷の思想的展開—寛政と文化の封事の
違いにみる—』『筑波学院大学紀要』第4集 筑波学院
大学 2009.3 B 5冊子
- K 37 岩根承成『群馬事件「予審終結決定原本」について—群
馬事件関係史料の検討—』『群馬県史研究』9 群馬県史
1979.4 A 5冊子
- K 38 中島三千男・金山浩・小島健一・丸山由美子『近代天皇
制国家と祝祭—1928年(昭和3年)の「大札」と神奈川県
県民—』『神奈川大学人文研究学叢書』(2) 神奈川大学
1985.3 A 5冊子
- K 39 金城正篤『伊江文書 牧志・恩河事件の記録について』『歴代
宝案研究』第2号 沖縄県教育委員会 1991.3.30 B 5冊子
- K 40 高橋秀直『形成期明治国家と朝鮮問題—甲申事変期の朝
鮮政策の政治・外交史的研究—』『史学雑誌』第98編
第3号 史学会 1889.3.20 A 5冊子
- K 41 有泉貞夫『1950年代の公選知事の政治的環境』『東京商
船大学研究報告(人文科学)』第41号 東京商船大学
1990.12 B 5冊子
- K 42 奥田晴樹『初期府県制の基礎課程』津田秀夫編『近世国
家と明治維新』三省堂 1989.8 A 5冊子
- K 43 佐藤誠朗『維新期の民衆と国家(その2)』『かみくひむ
し』第52号 かみくひむしの会 1983.12 B 5冊子
- K 44 佐藤誠朗『「攘夷党」と天皇政府の攻防』『大分県地方史』
114号 大分県地方史研究会 1984.6 B 5冊子
- K 45 佐藤誠朗『「攘夷党」と天皇政府の対応』『日本歴史』第
429号 吉川弘文館 1984.2 B 5冊子
- K 46 佐藤誠朗『明治4年4月の鎮台設置』『新潟県史研究』
16号 新潟県 1984.9 B 5冊子
- K 47 佐藤誠朗『明治4年6月の政府改革』『新潟史学』第17
号 新潟史学会 1984.10.27 B 5冊子
- K 48 佐藤誠朗『明治の「むら」・「村」・国をめぐる』『新

- 潟史学』第20号 新潟史学会 1987.10.30 A 5冊子
- K 49 上杉重二郎『A Midnight's Dream—天国を地獄にかえ
てしまったのよ、見る見るうちに(シエークスピア『夏の
夜の夢』第一幕第一場—)』『教育史・比較教育論考』
第15号 北海道大学 1991.2.1 B 5冊子
- K 50-1 松尾章一『解題—大阪事件研究の前進のために—』『大阪
事件関係史料集』日本経済評論社 1985.10 B 5冊子
- K 50-2 松尾章一『解題—統一統一大阪事件研究の前進の「ために」—』
『大阪事件関係史料集』日本経済評論社 1985.10 B 5
冊子
- K 51 中塚明『陸奥宗光論—『蹇蹇録』の著述目的—』『學業史
苑』第30号 奈良女子大学史学会 1985.2 B 5冊子
- K 52 中塚明『日本近代史における「陸奥外交」の意味』『日
本史研究』第283号 日本史研究会 1986.3 A 5冊子
- K 53 中塚明『陸奥宗光論』序説—太平洋戦争前夜の「陸奥宗
光」—』奈良女子大学文学部研究年報』第28号 奈
良女子大学文学部 1984 A 5冊子
- K 54 中塚明『東洋自由党論』『學業史苑』第7号 奈良女子
大学史学会 1959.3.24 B 5冊子
- K 55 中塚明『威海日記—「甲午戦争と近代海防学術研究会」
と威海衛戦跡めぐり—』『近きに在りて—近現代中国を
めぐる討論のひろば—』第30号 『近きに在りて』編集
委員会 1996.11 B 5冊子
- K 56 田村貞雄『明治末期の村落社会主義論』『静岡県近代史
研究』第5号 静岡県近代史研究会 1981.5 B 5冊子
- K 57 原口清『明治維新と静岡県』『静岡県史研究』第4号
静岡県 1988.3 B 5冊子
- K 58 原口清『「年貢半減令」は朝廷がだしたのではなかったの
か?—「草莽隊」記述への検証について—』(「意見書」
教科書裁判(第三次訴訟控訴審)の証言) 教科書検定訴
訟を支援する全国連絡会 民衆社 B 5冊子

- K 59 原口清『慶応3年前半期の政治情勢』『名城商学』第37
巻第3号 名城大学商学会 1987.12 A 5冊子
- K 60 原口清『明治太政官制度成立の政治的背景』『名城商学』
第38巻第1号 名城大学商学会 1988.10 A 5冊子
- K 61 原口清『府中(静岡)藩の駿河接収と無縁移住者の海上輸
送』『静岡県史研究』第3号 静岡県 1987.3 B 5冊子
- K 62 原口清『文久二、三年の朝廷改革』『名城商学』第41
巻別冊 名城大学商学会 1992.3 A 5冊子
- K 63 今井清一『満鉄調査部に関する3著をめぐる』『アジ
ア経済』第28巻第11号 アジア経済研究所 1987.
11.15 B 5冊子
- K 64 内海孝『横浜工業の歴史的構造—戦前期における<工業
化>政策—』『横浜経済と市民生活』横浜市経済局
1981.3 B 5冊子
- K 65 中村尚美『早稲田大学の建学と「学問の独立」』『早稲田
フォーラム』第50号 早稲田大学 1986.2.28 A 5冊子
- K 66 松尾章一『服部之総『歴史論』』『唯物論全書』復刻版
文山社 1990.12 B 6冊子
- K 67 三浦進『地域から『帝国主義と民衆』を見る』歴教協東
京大会レポート 1988.8 B 4冊子
- K 68 渋谷隆一・石山昭次郎・斎藤憲『大正初期の大資産家名
簿』『地方金融史研究』第14号 地方金融史研究会
1983.4 B 5冊子
- K 69 渋谷隆一・石井昭次郎『明治中期の大資産家名簿』『地
方金融史研究』第15号 地方金融史研究会 1984.3 B
5冊子
- K 70 佐々木克『西南戦争における西郷隆盛と士族』『人文学報』
第68号 京都大学人文科学研究所 1991.3.30 B 5冊子
- K 71 佐々木克『天皇巡幸と民衆』『立命館言語文化研究』第5巻
第4号 立命館大学国際言語文化研究所 1994.2.15 B 5冊子
- K 72 佐々木克『明治天皇の巡幸と「臣民」の形成』『思想』

- 845号 岩波書店 1994.11 A 5冊子
- K 73 佐々木克『赤報隊の結成と年貢半減令』『人文学報』第
73号 京都大学人文科学研究所 1994.1 B 5冊子
- K 74 佐々木克『初期議会の貴族と華族』『人文学報』第67
号 京都大学人文科学研究所 1990.12 B 5冊子
- K 75 大島美津子『関東大震災と復興事業』『横浜市史』5巻
下 横浜市 1976 A 5冊子
- K 76 大島美津子『明治二〇年代前期の横浜市政』『市原市政を
めぐる諸問題』『横浜市史』4巻下 横浜市 1968 A 5
冊子
- K 77 大島美津子『地方政治』福島正夫編『日本近代法体制の
形成』上 日本評論社 1981.11 A 5冊子
- K 78 大島美津子『大久保支配体制下の府県統治』『日本政治
学会年報1984年』岩波書店 1984 A 5冊子
- K 79 大島美津子『松方アヲリ期の内務行政』『長岡短期大学
研究紀要』第6号 長岡短期大学 1982.12 B 5冊子
- K 80 大島美津子『明治憲法下における地方公務員』『ジュリ
スト』増刊総合特集第22号 有斐閣 B 5冊子
- K 81 洞富雄『特集家父長制家族に関する諸問題』『比較家族
史研究』第2号 比較家族史学会 1987 A 5冊子
- K 82 洞富雄『私と天皇制』『早大憲法懇話会ニュース』第41
号 早稲田大学憲法懇話会 1986.11.20 B 5冊子
- K 83 洞富雄『国際港都横浜の成立』『横浜商工会議所百年史』
横浜商工会議所 1981.2.28 B 5冊子
- K 84 青木功一『時事新報』論説の対清論調(一)—創刊より
明治18年末まで—』『福沢論吉年鑑』6 福沢論吉協
会 1979.11.30 A 5冊子
- K 85 大江志乃夫『条約改正方針の経済的背景—1870年代後
半から1880年代前半の貿易政策を中心に—』『日本歴
史論究』東京教育大学昭史会 A 5冊子
- K 86 中村尚美『明治前期における税権回復運動』『社会科学討

- K 97 丸 32号 早稲田大学社会科学研究所 1966.8 A 5冊子
 K 87 青山忠正『明治維新の史学史―「絶対主義」と「変革主体」―』『歴史評論』589号 歴史科学協議会 1999.5 A 5冊子
 K 88 芳即正『鹿児島学校と三州義塾 史料と政治的背景についての考察』『鹿児島純心女子短期大学研究紀要』第13号 鹿児島純心女子短期大学 B 5冊子
 K 89 津田多賀子『井上条約改正の再検討―条約改正予議会を中心として―』『歴史学研究』第575号 歴史学研究会 1987.12 B 5冊子
 K 90 加藤幸三郎『石井寛治著「近代日本とイギリス資本―ジャーゲンソンとマゼンソン商會を中心に―』』『地方金融史研究』第16号 東京大学出版会 1985.3 B 5冊子
 K 91 後藤正人『南方熊楠と自由民権―ゾモクラウジの国際交流史序説―』『紀州史研究』3 国書刊行会 1988.5.15 A 5冊子
 K 92 後藤正人『交通権概念の歴史的考察―幌内鉄道をめぐる地域住民・田中正造らと明治国家―』『交通権』第6号 交通権学会 1987.12.20 A 5冊子
 K 93 後藤正人『民権期橋本地域の戸谷新右衛門顕彰と小室信介編「東洋民権百家伝」―土居通豫「紀伊の記」を主たる対象として―』『和歌山大学教育学部紀要』人文科学第32集 和歌山大学教育学部 1983 B 5冊子
 K 94 後藤正人『民権期和歌山県の人権状況と社会科学教育―「集會・結社・表現の自由」をめぐる―』『教育研究所報』No.6 和歌山大学教育学部教育研究所 1983 B 5冊子
 K 95 塩田庄兵衛『北京科学ソソポゾウムと松山運動 中国・朝鮮の労働運動史研究にふれながら』『労働法律旬報』545号・546号合併号 労働運動史研究会 1965 B 5冊子
 K 96 坂井好郎『日本地主制と農本主義―明治後期・大正期を对象とした―考察―』『経済叢書』第88巻第5号 京都

- 大学経済学会 1961.11 A 5冊子
 K 97 加藤祐三『東亜時論』『戦後の中国時論誌研究』第1章アジア経済研究所 1978 B 5冊子
 K 98 阿部征寛・西川武臣他『近世』『茅ヶ崎市史』4巻通史編 茅ヶ崎市 1981.3 B 5冊子
 K 99 飯野英樹『越前藩孝藩上洛計画における公式合体的特質』『北陸歴史研究会報』第22号 北陸歴史学研究会 1987.11.21 B 5冊子
 K 100 藤間生大『壬申軍乱 日本近代軍の確立』『海外事情研究』第12巻第2号 熊本商科大学海外事情研究所 1985.3 B 5冊子
 K 101 藤間生大『「壬申軍乱」と自由民権論者』『熊本商大論集』第31巻第1、2合併号熊本商科大学 1985.3.5 A 5冊子
 K 102 藤間生大『日本近代軍成立の経済構造』『朝鮮史研究会論文集』第22集 朝鮮史研究会 1985.3 A 5冊子
 K 103 平田哲男『戦後知識人の民衆革命像』『大原社会問題研究所雑誌』No.434 大原社会問題研究所 1995.1 B 5冊子
 K 104 安岡昭男『江華府談判と日本の出兵準備』『玄岩 中国柱博士 華甲紀念 韓国学論叢』東国大学校出版部 1985.10 A 5冊子
 K 105 安岡昭男『法政大学図書館蔵 田中光顯文書(伊藤博文関係) 解題目録』『法政大学文学部紀要』第31号 法政大学文学部 1986.3 A 5冊子
 K 106 木原博幸『安政期における佐賀藩三支藩の「公務用捨」』『九州史学』第113号 九州史学研究会 1995.10.11 B 5冊子
 K 107 杉本史子『国絵図作成事業と近世国家』『1988年度歴史学研究会大会報告 世界史認識における国家』(純)歴史学研究会 1988 B 5冊子
 K 108 黒田日出男・杉本史子『島津家文書国絵図調査報告』『東京大学史料編纂所報』第24号 東京大学史料編纂所

- K 128 岩生成一『海外文書館の思出あれこれ』『近代文書学への展望』柏書房 1982 A 5 冊子
- K 129 鈴木正幸『近代天皇制の支配原理に関する一試論—部落差別と関連して—』『部落問題研究』第 68 輯 部落問題研究所 1980.10 A 5 冊子
- K 130 田中彰「岩倉使節団における「東洋」と「西洋」—『米阪回覧実記』を通しての覚書—」『中嶋敏先生古稀記念論集(下)』中嶋敏先生古稀記念事業会 1981.7 A 5 冊子
- K 131 田中彰「脱退騒動」の歴史の意義』『山口県地方史研究』第 51 号 山口県地方史学会 1984.6 A 5 冊子
- K 132 田中彰「日本文化の社会的基盤」『木代修一先生喜寿記念論文集 2』雄山閣 1976.6 A 5 冊子
- K 133 安在邦夫書評「外崎光広「土佐自由民権運動史」』『歴史学研究』第 655 号 歴史学研究会 1994.2 B 5 冊子
- K 134 北村透谷展準備委員会「没後 100 年記念北村透谷展」報告 早稲田大学図書館報『ふみくら』第 49 号 早稲田大学図書館 1995.2.7 B 5 冊子
- K 135 近宿文書研究会史料紹介「相馬北辰社国会開設運動関係史料」『民衆史研究』第 48 号 民衆史研究会 1994.11.19 B 5 冊子
- K 136 安在邦夫・大日方純夫・阿部恒久「自由民権運動における政党の位置と活動」『歴史評論』歴史科学協議会 1981.12 A 5 冊子
- K 137 林晋雨「天皇巡幸からみた天皇崇拜と民衆—福島県郡山地域を中心として—」『日本史研究』309 号 日本史研究会 1988.5 A 5 冊子
- K 138 山口宗之「井伊直弼伝における若干の問題点」『九州大学文学部九州文化史研究所紀要』第 35 号 九州大学文学部九州文化史研究所 1990.3.31 A 5 冊子
- K 139 山口宗之「幕末「朝権進出」の政治的背景」『歴史学・地理学年報』第 13 号 九州大学教養部 1989.3 A 5 冊子
- K 140 ひろたまさき「日本の近代化と地域・民衆・文化」『現代と思想』第 33 号 青木書店 1978 A 5 冊子
- K 141 坂野瀧治「征韓論争後の「内治派」と「外征派」」年報『近代日本研究』3 山川出版社 1981.11.10 A 5 冊子
- K 142 安川寿之輔「部落問題の教育史的研究の現状と課題」『部落問題の教育史的研究』部落問題研究所 1978.9 A 5 冊子
- K 143 大日方純夫「自由民権期の政党構想—自由・改進黨両党に即して—」『社会科学討究』第 84 号 早稲田大学アジア太平洋研究センター 1984.2 A 5 冊子
- K 144 馬場義弘「明治初期の徴士制について」『同志社法学』第 198 号 同志社法学会 1987.1.31 A 5 冊子
- K 145 藤田寛「対外危機の深化と幕政の動向—嘉永 2 年の海防諮問と海防強化をめぐって—」豊田武博士古稀記念『日本近世の政治と社会』吉川弘文館 1980.6 A 5 冊子
- K 146 今井清一書評「井上哲郎編『鶴鉄調査部—関係者の証言』』『アジア経済』第 38 巻第 12 号 アジア経済研究所 1997.12.15 B 5 冊子
- K 147 木村英亮「学生のレポートにみる高校『世界史』現代史の記述批判」"Journal of the Yokohama National University Sect" No.33 横浜国立大学 1987.10 B 5 冊子
- K 148 箱石大「幕末期朝廷における「国事書記御用」について」『国学院大学院紀要—文学研究科—』第 23 輯 国学院大学院 1992.3.10 B 5 冊子
- K 149 箱石大「安政期朝廷における政務機構の改変—「外夷一件御評議御用」の創設を中心に—」『国史学』第 145 号 国学院大学国史学会 1991.12.20 A 5 冊子
- K 150 横山真一「岐阜の民権家堀部松太郎と席田用水—明治 14 年の根尾辰木下げ事件を中心に—」『地方史研究』第 193 号 地方史研究協議会 1985.2 A 5 冊子
- K 151 安田浩「社会局官僚の労働政策」『埼玉大学紀要』(総合編)第 5 巻 埼玉大学 1987.3.20 B 5 冊子
- K 152 安田浩「近代天皇制国家試論」藤田勇編『権威的秩序と国家』東京大学出版会 1987.2 A 5 冊子
- K 153 正田庄次郎「福沢諭吉評師をめぐる若干の問題」『三田学会雑誌』71 巻 5 号 慶応義塾経済学会 1978.10 B 5 冊子
- K 154 井上幸治「生糸貿易と山村経済—1883、4 年を中心として—」『総合研究』第 1 号 津田塾大学国際研究所 1985.9 A 5 冊子
- K 155 中嶋久人「都市民権派結社国友会の活動・構成」『民衆史研究』第 31 号 民衆史研究会 1986.11.15 B 5 冊子
- K 156 中小路純「郡内騒動と天保 9 年「改革」」『歴史学研究』第 572 号 歴史学研究会 1987.10 B 5 冊子
- K 157 中小路純「近世郡内領における「村」の特質について」『一橋論叢』第 101 巻第 2 号 一橋大学一橋学会 1989.2 A 5 冊子
- K 158 新井勝敏「自由民権期における在米・在布日本人の権利意識」『国立歴史民俗博物館研究報告』第 35 集 国立歴史民俗博物館 1991.11 B 5 冊子
- K 159 新井勝敏・田村紀雄「在米日系新聞の発達史研究(5)自由民権期における秦港沿岸地区の活動」『東京経済大学人文自然科学論集』第 65 号 東京経済大学 1983.12 A 5 冊子
- K 160 新井勝敏「地域史の視点と歴史運動—「五市憲法」研究の体験から—」『地方史研究の新視点』雄山閣 1988.10 A 5 冊子
- K 161 重松正史「初期議会期における地方政治状況—濃尾震災前後の岐阜県政—」『歴史学研究』第 577 号 歴史学研究会 1988.2 B 5 冊子
- K 162 石井孝他 3 名「国際関係研究所創立十周年記念特集記念講演」『津田塾大学国際関係研究所報』第 18 号 津田塾大学国際関係研究所 1986.7 B 5 冊子
- K 163 下山三郎「近代天皇制の形成(2)」『東京経大会誌』第 168 号 東京経済大学学誌編集委員会 1990.11 A 5 冊子
- K 164 下山三郎「いわゆる初期議会(第 1~第 6 議会)についての若干の問題(2)」『東京経大会誌』第 187 号 東京経済大学学誌編集委員会 1994.6 B 5 冊子
- K 165 下山三郎「初期議会(第一・第二議会)をめぐって」『東京経大会誌』第 174 号 東京経済大学学誌編集委員会 1992.1 B 5 冊子
- K 166 下山三郎「条約改正本会議をめぐって」『東京経大会誌』第 172 号 東京経済大学学誌編集委員会 1991.9 B 5 冊子
- K 167 西川正雄「第 13 回国際歴史学会議・第 5 回国際経済史学会議について」『歴史学研究』第 367 号 歴史学研究会 1970.12 B 5 冊子
- K 168 中瀬寿一「ソ連における日本経済および歴史研究の動向—ベサズネル・ラトウインゾフ博士らとの国際学術交流を中心に—」『大阪産業大学論集』第 34 号 大阪産業大学 1972.2.1 B 5 冊子
- K 169 大江志乃夫「許世楷著『日本統治下の台湾』』『アジア経済』第 13 巻第 11 号 アジア経済研究所 1972.11.15 B 5 冊子
- K 170 野沢豊「ソベリヤ戦争と五四運動」『1979 年度歴史学研究大会報告 世界史における地域と民衆』歴史学研究会 1979.10 B 5 冊子
- K 171 旗手勲他「日本における資本家的牧畜業の経済構造—三菱小岩井農場の生成と展開—」『牧野経済』No.16 東北大学農学研究所 1958.3.31 B 5 冊子
- K 172 江波戸昭「西毛養蚕業地域の貌貌過程—養蚕改良高山社を中心に—」『経済地理学年報』Vol.5 経済地理学会 1959.4 B 5 冊子
- K 173 藤井光男・藤井治枝「前橋營業製糸における産業資本の形成過程」『歴史学研究』第 271 号 歴史学研究会 1962.12.10 B 5 冊子
- K 174 大沢寛「わが国の国有財産史上における いわゆる皇

- K 175 皇室座の研究(その1)―「皇室費を補完する官有財産」の設定について― 『法政大学大学院紀要』 第11号
法政大学大学院 1983.10 B 5冊子
- K 176 旗手勲「北海道における小作制大農場の研究(2)―華族組合農場と峰須賀農場―」『北海道農業研究』 第15号
北海道立農業研究所 1958.10 B 5冊子
- K 177 津田秀夫「近世後期における絞油業の展開と幕府の統制について(其の1)」『東京教育大学文学部紀要』 史学研究 21 東京教育大学文学部 1959.3 B 5冊子
- K 178 榎本守恵「北海道僻地社会における共同体論の問題―分析の基礎視覚に関する試み―」『北海道学芸大学僻地教育研究』 第8巻第1号 北海道学芸大学僻地教育研究所 1961.3 B 5冊子
- K 179 木原博幸「幕末・維新期佐賀藩の問題点―芝原拓自氏の近業に寄せて―」『九州史学』 第36号 九州史学研究会(九州大学文学部日本史学研究室) 1966.12 B 5冊子
- K 180 山口宗之「真木和泉守における倒幕思想の形成―幕末志士関係書目の研究―」『久留米工業高等学校研究報告』 第7号 久留米工業高等学校 1967.3.20 B 5冊子
- K 181 鹿野政直「明治社会における法意識」『史観』 第61冊 早稲田大学史学会 1961.3 A 5冊子
- K 182 藤村道生「シベリア出兵と日本軍の軍紀」『日本歴史』 第251号 日本歴史学会 1969.4 B 5冊子
- K 183 藤井光男・藤井治枝・池田正孝「幕末開港前後における北毛蚕糸業の展開(1)」『社会経済史学』 第27巻第4号 社会経済史学会 1961 A 5冊子
- K 184 下山三郎「いわゆる初期議会(第1～第6議会)についての若干の問題(1)」『東京経大会誌』 第185号 東京経大会 1994.1 B 5冊子
- K 185 IN JAPANESE HISTORY”, UNIVERSITY OF CALIFORNIA PRESS 1970 A 5冊子
- K 186 堀敏一「総説」『岩波講座世界歴史』 第5巻古代5 岩波書店 1970 A 5冊子
- K 187 大原隼「幸徳の儒教倫理と「非戦論」」『現代と思想』 創刊号 青木書店 1970 A 5冊子
- K 188 内山守常「岩波書店刊『日本史年表』の「和歴・西暦対照表」の誤りについて」『横浜市立大学論叢』 人文科学系列第18巻第1号 横浜市立大学学術研究会 1967.3.10 A 5冊子
- K 189 吉田悟郎「現代にふさわしい歴史意識」『歴史教育における指導と認識』 歴史教育年報 未来社 1958 A 5冊子
- K 190 上杉重二郎「東ドイツの知識人と修正主義―ハーヒ事件―」『思想』 第451号 岩波書店 1962.1 A 5冊子
- K 191 村瀬興雄「第十三回国際歴史学会議報告」 史学会編『史学雑誌』 第79編第12号 山川出版社 1970.12 A 5冊子
- K 192 大熊良一「“北方領土”に関する問題の提起」『政策月報』 第152号 自由民主党 1968.9 A 5冊子
- K 193 井上一「いわゆる『フリスアテラス書簡』における王権論について」『古典古代の社会と思想：村川堅太郎教授還暦記念』 岩波書店 1969 A 5冊子
- K 194 山田昭次「朝鮮人・中国人強制連行研究史試論」 旗田巍先生古稀記念会編『朝鮮歴史論集』 龍溪書舎 1979.4 A 5冊子
- K 195 山田昭次「花岡事件覚書―今回の共栄館解体によせて―」『中国研究』 No.95 1978.9 A 5冊子
- K 196 山田昭次「大館市花岡の鉱山歴史資料館設立運動」『朝鮮研究』 日本朝鮮研究所 1979.4 A 5冊子
- K 197 小松裕「栃木県会議長時代の田中正造」『文学部論叢』
- K 184 安川寿之輔「福沢諭吉の教育思想(三)―学問・教育独立論を中心として―」『宮城教育大学紀要』 第2巻 宮城教育大学 1967 B 5冊子
- K 185 田村貞雄「鴻城立憲政党的の成立過程(その1)―反民権派豪農の政治路線―」『北海道教育大学紀要』(第2部B) 第19巻第1号 北海道教育大学 1968.9 B 5冊子
- K 186 島海靖 Recent Trend of the Studies on Modernization of Japan”, “ACTA ASIATICA” 13, THE TOHO GAKKAI 1987 B 5冊子
- K 187 中村哲「歴史学におけるアジア認識の課題」『新しい歴史学のために』 No.181 京都民科歴史部会 1985.11 B 5冊子
- K 188 山極潔「コミンテルンと中国共産党(上)―八一宣言の伝達をめぐる―」『東洋大学紀要』 教養課程第28号 東洋大学 1989.3.20 B 5冊子
- K 189 安良城盛昭「網野善彦氏の近業についての批判的検討」『歴史学研究』 第538号 歴史学研究会 1985.2 B 5冊子
- K 190 芳即正「島津斉彬の海外情報源」『斉彬公史料』 第2巻月報2 鹿兒島維新史料編纂所 1982.1 A 5冊子
- K 191 沢目健介「『明治日報』と伊藤博文」『法学政治学研究』 第4号 成蹊大学 1984.3 A 5冊子
- K 192 ねずまさし「日本民族文化とその周辺<歴史・民俗篇>」『国分直一博士古稀記念論集』 新日本教育図書 1980.10 A 5冊子
- K 193 今橋盛勝「杉本判決と教師の専門性―教育運動と教育理論―」『茨城大学政経学会雑誌』 第28号 茨城大学政経学会 1971.3 A 5冊子
- K 194 ALBERT M. CRAIG AND DONALD H. SHIVEIX, “MUTSU MUNEMITSU” “PERSONALITY
- K 206 第29号 熊本大学文学会 1989.3 A 5冊子
- K 207 下山三郎「故平野義太郎氏の業績によせて」『東京経大会誌』 第130号 1983.3 A 5冊子
- K 208 津田秀夫「近代公文書学への模索」 岩倉規夫・大久保利謙編『近代文書学への展開』 柏書房 1982.6.25 A 5冊子
- K 209 菅原源寿・和崎皓三「沿革―農業機械化研究所―」『農機研10年史』 農業機械化研究所 1972.9 A 5冊子
- K 210 山田昭次「関東大震災朝鮮人暴動流言をめぐる地方新聞と民衆」『在日朝鮮人運動史研究』 第5号 在日朝鮮人運動史研究会 1979.12 A 5冊子
- K 211 山田昭次「甲申政変期の日本の思想状況―『大東合邦論』および大政事件研究序説―」 林英夫・山田昭三編『幕藩制から近代へ』 柏書房 1979 A 5冊子
- K 212 岩壁義光「自由党の日清講和条約構想(Ⅰ)(Ⅱ)―森本駿の講和構想を中心として―」『政治経済史学』 第203・204号合冊 政治経済史学会 1983.6・7 A 5冊子
- K 213 岩壁義光「日清戦争と居留清国人問題―明治27年「勅令第137号」と横浜居留地―」『法政史学』 第36号 法政大学史学会 1984.4 A 5冊子
- K 214 阿部征寛「鎌倉御家人渋谷氏の所領」を訪ねて―薩摩国人来院・美作国河会郷―」『大和市史研究』 第11号 神奈川県大和市 1985.3 A 5冊子
- K 215 佐藤孝「明治前期行政裁判の考察―明治12年山形県地券証印脱詐訟を事例として―」『歴史』 第64輯 東北史学会 1985.5.15 A 5冊子
- K 216 鹿野政直「在沖繩アメリカ軍の文化政策と『今日の琉球』の発刊」『史観』 第100冊 早稲田大学史学会 1979 A 5冊子
- K 217 板垣哲夫「幕末期における岩倉具規の政治意識―政治意

- K 217 見書の検討―『日本歴史』第392号 吉川弘文館 1981.1 A 5 冊子
- K 217 加藤幸三郎、書評「守田志郎著『地主経済と地方資本』』『社会経済史学』第29巻2号 社会経済史学会 1964.1 A 5 冊子
- K 218 旗手勲「明治以降における大農場制の成立過程」『農業経済研究』第33巻1号 日本農業経済学会 1961 頃 A 5 冊子
- K 219 和崎皓三「社会保険の登場と小作保険の提唱」『農災史草稿』III-1 農林省農業経済局農業災害補償制度史編纂室 1960.6 A 5 冊子
- K 220 大江志乃夫「丹羽邦男著『明治維新の土地改革』―とくに「国際的契機」をめぐって―」『史学雑誌』第72編第11号 史学会 1963.12 A 5 冊子
- K 221 山口宗之「真木和泉守における討幕思想の再吟味」竹内理三編『九州史研究』 御茶の水書房 1968.6.10 A 5 冊子
- K 222 星笠淳「国家権力の移行過程―大正期以降の日本国家分析のために―」『南学論集』第36巻第1号 福岡大学経済学会 1967.6 A 5 冊子
- K 223 宮川寅雄「岡倉天心の仏教思想」『講座近代仏教』第4巻文化編 法蔵館 1962 A 5 冊子
- K 224 田中正俊『『禹域通纂』と『西行日記』』『典籍論集岩井博士古稀記念』岩井博士古稀記念事業会 1963 A 5 冊子
- K 225 中村哲「竹越三又の史論と政論」『法学志林』第59巻第1号 法政大学法学部法学志林協会 1961 頃 A 5 冊子
- K 226 井上一「エウラゴラス―古代王権論理解のためのひとつの試み―」『オリエンツ』Vol. VIII No.3~4 日本オリエント学会 1966.12 A 5 冊子
- K 239 後藤正人「自由民権期和歌山の憲法思潮」『歴史科学』92・93 合併号 大阪歴史科学協議会 1983.6.10 B 5 冊子
- K 240 毛利敏彦「山口宗之著『幕末政治思想史研究』』『九州史学』第44・45号 九州史学研究会 1971.3 B 5 冊子
- K 241 和崎皓三「稲作機械化の現状と今後」『農業共済基金月報』No.209 農業共済基金 1970.10.12 B 5 冊子
- K 242 上杉重二郎「現代の人民戦線―クチンスキ「非独占ブルジョアゾー」の社会学のために」について―」『思想』岩波書店 1967.8 A 5 冊子
- K 243 「大いなる幻影」『日本文学の歴史』第12巻 角川書店 1968 B 6 変形冊子
- K 244 鹿野政直「山本劔山小論」『史観』第65・66・67合併号 早稲田大学史学会 1962.12 A 5 冊子
- K 245 後藤靖「飯田事件(明治十七年)裁判記録」『立命館法学』第22号 立命館大学 1957 A 5 冊子
- K 246 色川大吉「困民党の思想―須長通造論―」『東京経大学会誌』第47・48合併号人文自然科学論集10・11合併号 東京経大学人文自然科学研究会 1965.10 A 5 冊子
- K 247 中村尚美「大隈財政における「正貨主義」への変革」『社会科学討究』35号 早稲田大学アジア太平洋研究センター 1967.6 A 5 冊子
- K 248 青山秀彦「地租改正実施をめぐる対立と闘争の諸形態」『歴史評論』第147号 歴史科学協議会 1962.11 A 5 冊子
- K 249 東北経済研究所編「明治12年8月南遊日誌(上)河野広中手記」『東北社会経済史料』15 [福島大学] 東北経済研究所 1955.10 A 5 冊子
- K 250 小林茂「奇兵隊の構成―「長藩奇兵隊名鑑」の分析―」
- K 227 宮川寅雄「造型美術の伝統ということ―明治末期の一素描―」『日本の芸術』 東洋経済新報社 1958 A 5 冊子
- K 228 衣笠安喜「幕末における変革の論理の成立―儒学と洋学―」『立命館大学人文科学研究所紀要』第13号 立命館大学人文科学研究所 1963.3 A 5 冊子
- K 229 色川大吉「近代思想史方法論考」『日本史の研究』第36輯 山川出版社 1962 頃 A 5 冊子
- K 230 尾藤正英「佐藤直方の思想」『国民生活史研究』第3集 吉川弘文館 1958.9 A 5 冊子
- K 231 川浦康次「「蔽」―エヌ時代説」の現代的意義」高橋幸八郎・古島敏雄編『近代化の経済的基礎』岩波書店 1968.4 A 5 冊子
- K 232 林英夫「史料解説「政体書について」」A 5 冊子
- K 233 石塚裕道「京浜工業地帯成立期の都市問題―1910年代の川崎を中心に―」『神奈川県史各論編1』政治・行政神奈川県企画調査部県史編纂室 1983.3 A 5 冊子
- K 234 井上勝生「幕末における御前会議と「有司」―日本絶対主義形成の特質について―」『史林』第66巻5号 史学研究会 1983.9 A 5 冊子
- K 235 松島栄一「社会科と歴史教育」『新教育の実践体系』シリーズ「社会科教育のあゆみ」小学館 1959 A 5 冊子
- K 236 土井正興「スバルタクス反乱復元への一つの試み」『専修史学』第1号 専修大学歴史学会 1968.5 A 5 冊子
- K 237 千代田区役所区史編纂室「千代田区町名変遷表について」『千代田区史資料』第2輯 千代田区役所 1958.2 A 5 冊子
- K 238 中島鹿吉「土佐遊学中の山崎闇斎」『南学』第13号 南学会 1939 頃 A 5 冊子
- K 251 下関郷土会『郷土』第12集 東行庵 1966.9.5 A 5 冊子
- K 251 安川寿之輔「福沢諭吉の教育思想(一)―『学問のすすめ』を中心として―」『社会科学論集』第1号 名古屋経済大学社会科学研究会 1966.6 A 5 冊子
- K 252 木原博幸「佐賀藩天保改革の問題点」『史淵』第100輯 九州大学文学部 1968.3.1 A 5 冊子
- K 253 石塚裕道「外国資本への対応と資本主義の育成」『経済評論』日本評論社 1968.5 A 5 冊子
- K 254 林英夫「尾張における農民闘争と国学の基盤―草莽の国学者加藤磯足の村政改革運動を中心として―」『史苑』第20巻第1号 立教大学史学会 1959.6 A 5 冊子
- K 255 佐藤誠三郎「大久保利通」『現代日本思想体系』10権力の思想 筑摩書房 1965 B 6 冊子
- K 256 山下浩「「大不況」と再建構想の挫折―社会帝国主義への序章―」『広島大学文学部紀要(西洋)』第27巻2号 広島大学文学部 1967 A 5 冊子
- K 257 加藤幸三郎「明治前期農業史の研究動向」『社会経済史学』第27巻第2号 社会経済史学会 1961.7 A 5 冊子
- K 258 大橋博「明治中・後期農民層分解の地域的特質と発展段階」『史観』第63・64巻合冊 早稲田大学史学会 1962.3 A 5 冊子
- K 259 安川寿之輔「義務教育就学の史的分析―資本主義の生成と寄生地主制―」『日本の教育史学』第7集 教育史学会 1964.10 A 5 冊子
- K 260 安川寿之輔「福沢諭吉の教育思想(二)―福沢諭吉における政治・教育・経済―」『社会科学論集』第2号 名古屋経済大学社会科学研究会 1967.7 A 5 冊子
- K 261 依田憲家「「社会主義国家論」の検討―石母田正氏の問題提起をふまえて―」『社会科学討究』第36号 早稲

- K 262 田大学アジア太平洋研究センター 1968.2 A 5 冊子
中木康夫『絶対主義国家の権力と社会構造』『政治学講座』第1巻 理論社 1955.3 A 5 冊子
- K 263 加藤幸三郎『農村における地租改正』『横浜市史』第3巻下第6編第2章 横浜市 2003.7 A 5 冊子
- K 264 木戸田四郎『維新时期富裕農の存在形態』『研究年報経済学』第33号 東北大学経済学会 1954.9.30 A 5 冊子
- K 265 下山三郎『関東山村地帯における農業生産力の展開について』『主要地帯農業生産力形成史』下 農業総合研究所 1959 A 5 冊子
- K 266 和崎皓三『付録』(農業災害補償制度史小年表、農業災害補償法の変遷、主要文部解題・目録)『農業災害補償制度史』1963 A 5 冊子
- K 267 青山彦秀『農民的地価算定案』の内容と特質—南信濃地租改正の一段階—『地方史研究』第11巻6号 地方史研究協議会 1961.12 A 5 冊子
- K 268 守本順一郎『記紀のイデオロギー分析(一)—アゾリアの思维の諸形態 その1—』『法政論集』第26号 名古屋大学大学院法学部 1964.2 A 5 冊子
- K 269 安川寿之輔『義務教育就学の史的分析II—教育史研究の分析視角について—』『市郷学園短期大学開学記念論叢』市郷学園短期大学 1965 A 5 冊子
- K 270 山本私文『薩摩藩の洋式工業(上)—機械制生産の移植についての一考察—』『経済志林』第28巻第2号 政法大学経済学部 1960.4 A 5 冊子
- K 271 守本順一郎『朱子の生産論』『法政論集』第21号 名古屋大学大学院法学部 1962.11 A 5 冊子
- K 272 松尾章一『急進的士族民権運動家の半生—「敢將軍」福井孝治の思想と行動—』『日本歴史』第144号 吉川弘文館 1960.6 A 5 冊子
- K 273 高橋幸八郎『明治維新と経済成長—西欧における日本社

- 会経済史研究の最近の動向について—』大塚・安藤・松田・関口編『資本主義の形成と発展』東京大学出版会 1968.3 A 4 変形冊子
- K 274 高橋幸八郎『ジャコビニズムと日本の歴史学』高橋幸八郎・古島敏雄編『近代化の経済的基礎』岩波書店 1968.4 A 5 冊子
- K 275 山下浩『自由貿易帝国の植民地主義—その歴史的作用と二つの路線—』『広島大学文学部紀要(西洋)』第28巻2号 広島大学文学部 1968 A 5 冊子
- K 276 服部一馬『高島炭鉱とジャージーインペリアル商会—明治初期における外国資本の企業者活動—』小松芳喬教授還暦記念論文集『近代化と工業化』—条書店 1968.5 A 5 冊子
- K 277 今橋盛勝『教科書無償法及び同措置法の論理』『茨城大学政経学会雑誌』第23号 茨城大学政経学会 1968.12 A 5 冊子
- K 278 山田昭次『立憲改進黨覚書—立憲改進黨の性格をめぐって—』『史潮』第89号 大塚史学会 1964.10 A 5 冊子
- K 279 榎本守忠『北海道開拓論の—こま』『日本社会の変革と再生』弘文堂 1988.12 A 5 冊子
- K 280 鈴木浩二『大航海の時代』1968.5 A 5 冊子
- K 281 鈴木正幸『土族論雑考』『部落問題研究』第98輯 部落問題研究所 1989.4 A 5 冊子
- K 282 家永三郎『天皇大権行使の法史学的一考察』『社会変動と法—法学と歴史学の接点—』朝野書房 1981 A 5 冊子
- K 283 加藤善夫『富土地域の自由民権—調査ノート』静岡県立富士東高等学校 1985.10 B 5 冊子
- K 284 家永三郎・松永昌三・江村栄一『追補 明治前期の憲法構想』福村出版 1987.3.20 A 5 冊子
- K 285 秋本典夫『封建武將の内面的性格』『宇都宮大学学芸学部

- 研究論集』第1部通号3 宇都宮大学 1953 A 5 冊子
- K 286 藤林伸治『大田の自由民権』『史誌』第26号 東京都大田区 1987.1 A 5 冊子
- K 287 大野真弓『再婚考—エリザベス朝貴族の場合—』『フェリス女学院大学紀要』第17号 フェリス女学院大学 1982.3 A 5 冊子
- K 288 大野真弓『エリザベス朝貴族の家訓—バーリー卿の息子に対する戒めの書—』『政治経済史学』第250号 日本政治経済史学研究所 1987.2 A 5 冊子
- K 289 大野真弓『エリザベス朝の貴族とジェントルマン—政治上における活動分野—』『フェリス女学院大学紀要』第21号 フェリス女学院大学 1986.3 A 5 冊子
- K 290 坂垣哲夫『維新政府成立直後における岩倉具視の政治行動』『年報近代日本研究1』昭和期の軍部 山川出版社 1979.10.31 A 5 冊子
- K 291 鈴木良、史料紹介『岡村司謫責事件に関わる資料について』『立命館百年史紀要』第3号 立命館百年史編纂委員会 1995.3 A 5 冊子
- K 292 松島栄一『「基盤太平洋」成立年代考—祐田善雄氏の「推定」批判—』『大東文化大学教養課程創立20周年記念論文集』大東文化大学教養課程委員会 1988.3.30 A 5 冊子
- K 293 我部政明『尾崎三良『沖繩県視察復命書』資料と解説』『新沖繩文学』第38号 沖繩タイムズ社 1978.4 A 5 冊子
- K 294 大塚武松『文久元年米國政府の我国に対する示威行動提議の意義』『斎藤先生古稀祝賀記念論文集』斎藤古稀祝賀会 刀江書店 B 5 冊子
- K 295 井上勝生『甲午農民戦争(東洋農民戦争)と日本軍』『近代日本の内と外』吉川弘文館 1999.11 A 4 冊子
- K 296 井上勝生『幕末公家の政治空間—縁家を中心に—』『公家と武家』II 思文閣出版 1999.11 A 4 冊子

- K 297 山本私文『薩摩藩の天保改革と奄美、沖繩』『沖繩文化研究』第6巻 政法大学沖繩文化研究所 1979.6.30 B 6 冊子
- K 298 辻達也『一橋徳川家文書摘録考証(一)』『専修大学人文科学年報』第28号 専修大学人文科学研究所 1998.3 A 5 冊子
- K 299 吉田俊純、史料紹介『下伊勢畑文書に見る明治9年の農民一揆』『耕人』第7号 耕人社 2001 A 5 冊子
- K 300 福島新吾『福島新吾教授履歴・業績』『専修法学論集』第55・56合併号 専修大学法学会 1992.2 A 5 冊子
- K 301 福島新吾『政治的社会化—ひとつのケーススタディー—天皇制下の私の意識形成』『専修法学論集』第55・56合併号 専修大学法学会 1992.2 A 5 冊子
- K 302 外崎光弘『立憲社法律研究所の始期と終期』『土佐史談』復刊59号 土佐史談会 1974.11.1 A 5 冊子
- K 303 吉田俊純『水戸藩宝永の新法の推進勢力』『東京家政学院筑波女子大学紀要』第3集 東京家政学院筑波女子大学 1999.3 B 5 冊子
- K 304 渡辺喜勝『「義民」崇拝の一事例—高島町利右衛門祭をめぐって—』『山形県立米沢女子短期大学附属生活文化研究所報告』第10号 山形県立米沢女子短期大学附属生活文化研究所 1983.12 B 5 冊子
- K 305 上安祥子『水戸藩における天保改革とその論理』『寧楽史苑』39号 奈良女子大学史学会 1994.2 B 5 冊子
- K 306 森信蔵『近世尾道の商人』『尾道商工会議所百年史』尾道商工会議所 1992.10.27 B 5 冊子
- K 307 三浦恵司『声の湖水利権をめぐる今日の課題—法社会学実習雑記—』『横浜市立大学論叢』人文科学系列第36巻第1・2・3合併号 横浜市立大学学術研究会 A 5 冊子
- K 308 西川武臣『文政期以降の幕府公金貸付政策と幕藩制』『地方史研究』第171号 地方史研究協議会 1981.6

- A 5 冊子
- K 309 『故山田盛太郎先生追悼号』 「専修大学社会科学研究所 1981.4.20 月報」第 212 号 専修大学社会科学研究所 1981.4.20 B 5 冊子
- K 310 猪俣悦三 「民権運動研究と地域の人々—自由民権百周年記念喜多方全国集会記録—」 『福大史学』第 35 号 福島大学史学会 1983.3 B 5 冊子
- K 311 かつらぎしゅん 「横浜古地図考」 B 5 冊子
- K 312 阿部征寛 「堀口貞明の思想と行動 斎藤信夫氏所蔵堀口貞明関係文書」 『横浜開港資料館紀要』第 8 号 横浜市ふるさと歴史財団 1990.3.31 B 5 冊子
- K 313 松本博 「自由民権期における「世直し」運動—「神代復古誓願」運動関係史料について」 『高校地歴』第 19 号 徳島県高等学校地歴学会 1983.3 A 5 冊子
- K 314 島津豊幸 「日本の近代化と地域社会」 愛光学園誌 『AMOR ET LUMEN』第 3 号 愛光 中 高 等 学 校 1983.9 A 5 冊子
- K 315 高埜利彦 「前近代日本の宗教と国家—近世を中心にして—」 『人民の歴史学』第 66 号 東京歴史科学研究会 1981.1.25 B 5 冊子
- K 316 岡田敏樹 「信濃教育会の社会科「学習帳」—「地方版社会科教科書」の準備として—」 『社会科教育研究』第 75 号 日本社会科教育学会 1996.3 B 5 冊子
- K 317 中瀬寿一・村上義光 「京都と大塩事件(上)—天保期京都の社会経済状態と“大塩ファーム”幕府の“大塩狩り”旋風—」 『大阪産業大学論集』社会科学編 65 号 大阪産業大学学会 1986.10 B 5 冊子
- K 318 中瀬寿一 「大塩平八郎の先祖=今川説、生誕=大坂説その他の論争史的考察—名著『大塩平八郎』(幸田成友著および岡本良一著)の批判的・史料的可換検討—」 『大阪産業大学論集』社会科学編 57 号 大阪産業大学学会
- K 319 中瀬寿一 「黎明期大阪の自由民権運動—その研究史のフロンチアと“民権百年”下における成果の一端—」 『大阪産業大学論集』社会科学編 20 周年記念号 大阪産業大学学会 1985 B 5 冊子
- K 320 中瀬寿一 「明治維新と住友・三井・岩崎の動向(上・下)—1865～68(慶応 1～4)年を中心とした史料的分析—」 『大阪産業大学論集』社会科学編 61 号 大阪産業大学学会 1984.12.1 B 5 冊子
- K 321 中瀬寿一・村上義光 「農村青年堀鉄蔵の記録した天保期の物価と庶民生活 大塩事件の衝撃—京都と大塩事件(中)=新発掘の堀家文書(京都府下寺田)を中心に—」 『大阪産業大学論集』社会科学編 66 号 大阪産業大学学会 1987.1 B 5 冊子
- K 322 中瀬寿一・村上義光 「農村青年堀鉄蔵の記録した天保期の物価と庶民生活 大塩事件の衝撃(その 2)—京都と大塩事件(下)=新発掘の堀家文書(京都府下寺田)を中心に—」 『大阪産業大学論集』社会科学編 68 号 大阪産業大学学会 1987.6 B 5 冊子
- K 323 大熊良一 「岡本文平とその“北門鐵鑪”の理念」 『政策月報』188 号 自由民主党 1971.9 A 5 冊子
- K 324 村野守治 「西南戦争の研究—中立派島津久光の動向に就いて—」 『鹿児島女子短期大学紀要』第 19 号 鹿児島女子短期大学 1984 B 5 冊子
- K 325 村野守治 「西南戦争鉅図について—鹿児島県立図書館・鹿児島市立美術館所蔵—」 『鹿児島女子短期大学紀要』第 17 号 鹿児島女子短期大学 1982 B 5 冊子
- K 326 村野守治 「郷中教育の研究—詮議の文獻的歴史的研究—」 『鹿児島女子短期大学紀要』第 18 号 鹿児島女子短期大学 1983 B 5 冊子
- K 327 村野守治 「西郷隆盛とその一族(2)市来・椎原・岩山家に就いて」 『鹿児島女子短期大学紀要』第 16 号 鹿児島女子短期大学 1981 B 5 冊子
- K 328 村野守治 「草莽の志士たち」 M B C クォーター— 南日本放送 1967 B 5 冊子コピー
- K 329 村野守治 「西郷菊二郎関係文書」 『鹿児島女子短期大学紀要』第 13 号 鹿児島女子短期大学 1978 B 5 冊子
- K 330 鈴木正幸 「皇室財産論考(下)」 『新しい歴史学のために』 No.201 京都市民科歴史部会 1990.5 B 4 冊子
- K 331 西川正雄 「自国史と世界史」 『講座日本歴史』第 13 巻 東京大学出版会 1985 B 6 冊子
- K 332 川崎千鶴 「高田専修寺と浄土信仰」 『真岡市史』第 6 巻 『原始古代中世通史編』第 12 章 真岡市 1987.3 A 5 冊子
- K 333 内藤二郎 「岡山県下自由民権運動の源流—安達憲忠伝—」 『駒大経営研究』第 14 巻第 4 号 駒沢大学経営研究所 1983.3 A 5 冊子
- K 334 関田英里、最終講義 「明治前期における土佐藩郷士たち—歴史における進歩と反動—」 『高知論叢』第 21 号 高知大学経済学会 1984.12 A 5 冊子
- K 335 『新しい歴史学のために』 No.95 京都市民科歴史部会 1964.4.10 B 5 冊子
- K 336 『新しい歴史学のために』 No.114 京都市民科歴史部会 1966.6.20 B 5 冊子
- K 337 『新しい歴史学のために』 No.200 京都市民科歴史部会 1990.9 B 4 冊子
- K 338 君島和彦 「高校日本史教科書における近現代の日露・日ソ関係」 『東京学芸大学紀要』第三部門社会科学第 42 集 1991.1 B 5 冊子
- K 339 君島和彦 「教科書裁判第 1 次訴訟の現状と歴史学の論点」 『歴史学研究』第 616 号 歴史学研究会 1991.2 B 5 冊子
- K 340 『日本史論文集』2 天津社会科学院日本問題研究所 1982.11 B 5 冊子
- K 341 渡辺賢二 「高校生が調べた陸軍登戸研究所」 『じっきょう社会科資料』31 実教出版 1992.2.1 B 5 冊子
- K 342 日比野元彦 「明治 14～15 年自由党の動向について—「自由党本部報」の紹介を中心として—」 『社会科研究』第 5 号 全国社会科教育学会 1979.2 A 5 冊子
- K 343 長野暹・郷成一 「刈馬藩対朝鮮公貿易関係史料 古拝借御金御上納御有免筋御願二付御身代之姿松平越中守椽江被及御内意候御願等之別録」 『佐賀大学経済論集』第 23 巻第 1 号 佐賀大学 1990.5 A 5 冊子
- K 344 長野暹 史料「勝茂公御代中 長崎御番先蹤録(二)」 『佐賀大学経済論集』第 21 巻第 2 号 佐賀大学 1988.7 A 5 冊子
- K 345 長野暹、史料 「勝茂公御代中 長崎御番先蹤録」(一) B 5 冊子コピー
- K 346 大口勇次郎 「『国際結婚』事始め—内外人婚姻規則の制定事情—」 『お茶の水女子大学女性文化研究センター年報』第 4 号(通巻 11 号) お茶の水女子大学女性文化研究センター 1990 B 5 冊子
- K 347 小松裕 「田中正造における自治思想の展開」 『民衆史研究』第 26 号 民衆史研究会 1984.5 B 5 冊子
- K 348 今井清一 「戦争期の横浜市と横浜市政」 『横浜市立大学論叢』人文科学系列第 38 巻 2・3 合併号 横浜市立大学学術研究会 1987.3.31 A 5 冊子
- K 349 山口徹 「近世の「いえ」」 『日本の社会史』第 6 巻 岩波書店 1988 A 5 変形冊子
- K 350 草間俊郎 「国際理解、国際協力のための教育の歴史—横浜における明治期の国際的教育環境の研究—」 『神奈川県立栄養短期大学紀要』第 18 号 神奈川県立栄養短期大学紀要編集委員会 1986.3 B 5 冊子

- K 351 吉田俊純『近世の石川村にみる諸問題』『茨城県立歴史館報』第14号 茨城県立歴史館 1987.3 B 5冊子
- K 352-1 吉田俊純『徳川光圀の『大日本史』編纂の学問的目的—北朝正統論をめぐる—』『東京家政学院筑波女子大学紀要』第2集 東京家政学院筑波女子大学 1998.3 B 5冊子
- K 352-2 吉田俊純『市町村史の理想』 B 5冊子
- K 353 吉田俊純『近世雪入村にみる騒動の諸形態』『茨城県立歴史館報』第15号 茨城県立歴史館 1988.3 B 5冊子
- K 354 吉田俊純『扶桑拾葉集』にみる徳川光圀の思想的展開』『東京家政学院筑波短期大学紀要』第5集 東京家政学院筑波短期大学 1995.3 B 5冊子
- K 355 吉田俊純『近世杉崎村の騒主と年貢』『茨城県立歴史館報』第11号 茨城県立歴史館 1984.3 B 5冊子
- K 356 吉田俊純、史料紹介『慶応二年水戸藩保守派政府の朝廷工作』『東京家政学院筑波短期大学紀要』第6集 東京家政学院筑波短期大学 1996.3 B 5冊子
- K 357 吉田俊純『幕末期水戸藩農兵制の展開』『茨城近代史研究』第8号 茨城の近代を考える会 1993.1 B 5冊子
- K 358 吉田俊純『徳川光圀の藤井紋太夫誅殺一件』『東京家政学院筑波短期大学紀要』第4集1分冊 東京家政学院筑波短期大学 1994.3 B 5冊子
- K 359 吉田俊純、史料紹介『荒廃期水戸藩領の一揆と騒動』『東京家政学院筑波短期大学紀要』第3集第1分冊 東京家政学院筑波短期大学 1993.2 B 5冊子
- K 360 吉田俊純『水戸藩の元治内乱をめぐる—農民の権利訴訟』『日本歴史』第516号 吉川弘文館 1991.5 A 5冊子
- K 361 桃園恵真『一向宗禁制島関係史料』『鹿大史学』第17号 鹿大史学会 1969.12 A 5冊子
- K 362 山口宗之『井伊直弼の人物像管見』『皇学館論叢』第18巻第3号 皇学館大学人文学会 1985.6.10 A 5冊子
- K 363 佐藤孝『地域社会と新聞—幕末開港場の新聞を中心として—』『日本近現代史』第1巻維新変革と近代日本岩波書店 1993.2 A 5冊子
- K 364 柴三九男『和銅造営の平城京はどこにあったのか』『短大論叢』第31集 関東学院女子短期大学 1967.6 A 5冊子
- K 365 大熊良一『小笠原諸島の歴史地理学的研究の一觸』『政策月報』第202号 自由民主党 1972.11 A 5冊子
- K 366 大熊良一『幕末文久時における小笠原島の開拓』『政策月報』第145号 自由民主党 1968.2 A 5冊子
- K 367 村田陽一『現代民主主義の構造』『現代マルクス主義』III 大月書店 1958 A 5冊子
- K 368 山県三千雄『福沢諭吉における「文明」の研究』『人文論集』第5号 早稲田大学法学会 1968.2.20 A 5冊子
- K 369 桃園恵真『甌島平良港入口開鑿に関して』『鹿大史学』第16号 鹿大史学会 1968.12 A 5冊子
- K 370 桃園恵真『宗教』『鹿児島市史』II 鹿児島市史編さん委員会 1970 A 5冊子
- K 371 『70年代の世界史—世界史教科書の編集を終えて』(三省堂社員研修用)三省堂 1972.5.1 A 5冊子
- K 372 桃園恵真『真宗禁制下の薩摩国入国館』『鹿児島大学文学科論集』第4号 鹿児島大学文学部 1968.12.30 A 5冊子
- K 373 庄司吉之助『世直し一揆再考』『商学論集』第36巻第2集 福島大学経済学会 1967.9 A 5冊子
- K 374 T・B・ゾエロフエフ著、福富正実訳『ロシアにおける軍事的・封建的帝国主義の本質の問題に よせて』『東亜経済研究』第38巻第2 山口大学東亜経済学会 1964.8 A 5冊子
- K 375 桃園恵真『“さつま”の“かくれ念仏”—カヤカベのあと—』『鹿児島大学法文学部紀要』文学科論集第2号 鹿児島大学法文学部 1966.12.30 A 5冊子
- K 376 大学法文学部 1966.12.30 A 5冊子
- K 377 家永三郎『歴史的概観序論「封建社会における近代思想の先駆」第一編「近代思想の誕生と挫折」』『近代日本思想史講座』第1歴史的概観 筑摩書房 1959.7 A 5冊子
- K 378 大石嘉一郎『丹羽邦男著『明治維新の土地変革』』『商学論集』第31巻第4号 福島大学経済学会 1963.3 B 5冊子
- K 379 後藤靖『和歌山県地租改正反対一揆』『立命館経済学』第9巻第1号 立命館大学経済学 1960.4 B 5冊子
- K 380 山口宗之『ペリー来航時「騒擾」の再吟味』『九州大学教養部歴史学・地理学年報』第9号 九州大学教養部 1985.3 B 5冊子
- K 381 井上幸治『生糸と世界市場—明治16、17年—』『新編埼玉県史だより』資料編19近代・現代1 埼玉県県庁 浦県史編纂室 1983.3 140×200mm冊子
- K 382 石井光太郎『歌樽弁玉とその周辺 付略年譜(未定稿)・著作と文献抄』『横浜の文化』No.11 横浜市教育委員会 1983.10 A 5冊子
- K 383 井上勝生『幕末の御前会議—伝説と近代—』『日本学』第3号 名著刊行会 1984.12 A 5冊子
- K 384 石井孝『幕末における倒幕勢力の形成の国際的要因』『総合研究』第1号 津田塾大学国際関係研究所 1985.9 A 5冊子
- K 385 石井孝『幕末における箱館貿易の諸問題』『地域史研究はこでて』創刊号 函館市史編さん室 1984.12.15 A 5冊子
- K 386 大熊良一『ペニョンスキーと北方海域の航海』『政策月報』第147号 自由民主党 1968.4 A 5冊子
- K 387 山本弘文『戊辰期の軍事輸送と助郷再編成—宿駅制終末期の一研究—』『日本近世交通史研究』吉川弘文館 1979.12 A 5冊子
- K 388 三谷博『開国前後—弘化・嘉永年間の対外政策』『年報・近代日本研究』第7号 山川出版社 1985.10.30 A 5冊子
- K 389 座談会『近現代龍野の人のくらしと文化』『龍野市史』第3巻付録年報6 龍野市市史編纂係 1985.3 A 5冊子
- K 390 小松裕『肥薩線工事と中国人・朝鮮人労働者』『文学部論叢』第37号 熊本大学文学会 1991.12 A 5冊子
- K 391 桃園恵真『一向宗禁制と島津家の継承問題』『鹿大史学』第26号 鹿大史学会 1978.11 A 5冊子
- K 392 辻達也『第一部日本史第三章近世』『日本における歴史学の発達と現状：日本史・東洋史・西洋史』東京大学出版会 1969 A 5冊子
- K 393 山本弘文『明治初年における宿駅制度の改廃(三)』『経済志林』第38巻第1号 法政大学経済学部学会 1970.2 A 5冊子
- K 394 ひろたまさき『日本啓蒙主義の凋落—福沢諭吉の変貌—』『史林』第6号 史学研究会 1964 A 5冊子
- K 395 安岡重明『日本における財閥の願望—鴻池・三井を素材とした試論—』『社会科学』第1巻第3-4号 同志社大学人文科学研究所 1966.6 A 5冊子
- K 396 大久保利謙『王制復古史観と旧藩史観・藩閥史観』『法政史学』第12号 法政大学史学会 1959 A 5冊子
- K 397 杉本史子『“天皇”号をめぐる』『歴史評論』第457号 歴史科学協議会 1988.5 A 5 コピー冊子
- K 398 長倉保『西宮・今津酒造業の歴史的展開と経済構造』『西宮市史』第2巻 西宮市 1960 A 5冊子
- K 399 山辺健太郎『甲申事変と東学の乱』『世界の歴史11 ゆらぐ中華帝国』筑摩書房 1960.9 A 5冊子

- K 400 庄司吉之助 「戊辰戦争前後の農民闘争」 『東北経済』 第48号 東北経済研究所 1968.1 A 5冊子
- K 401 津田秀夫 「幕末期大阪周辺における農民闘争」 『社会経済史学』 第21巻第4号 社会経済史学会 1956.2 A 5冊子
- K 402 岩間一雄 「陽明学研究の問題点」 『名古屋大学法政論集』 第25号 名古屋大学大学院法政学研究科 1964.1 A 5冊子
- K 403 佐藤誠期 「米作商品生産地帯における地租改正」 『歴史の研究』 第10号 山形歴史学会 1964.1 A 5冊子
- K 404 「建国記念の日」 は祝えるか—紀元節の歴史と本質— 東京大学職員組合 編集 東洋文化研究所助手会・東洋文化研究所職員組合 1967.2.1 B 5冊子
- K 405 塩沢君夫外8名 『工場統計表』の利用=分析基準—「大正期」日本資本主義の構造分析の準備作業— 『調査と資料』 第33号 名古屋大学経済学部経済調査室 1966.11 B 5冊子
- K 406 遠山茂樹 「POLITICS ECONOMICS AND THE INTERNATIONAL ENVIRONMENT IN THE MEIJI AND TAISHO PERIODS” “THE Developing Economies ” No.4 “ THE INSTITUTE OF ASIAN ECONOMIC AFFAIRS(TOKYO JAPAN)” 1966.12 B 5冊子
- K 407 川村善二郎 「フアンズム下の部落解放運動—三重県朝熊闘争について—」 『高校資料社会』 三省堂 1967.12 B 5冊子
- K 408 「日本の教育及び民間教育運動」 日本民間教育団体連絡会 1961.8 B 5冊子
- K 409 牧原憲夫 「大坂事件研究の意味と課題(上)」 『大坂事件研究』 第1号 大坂事件研究会 1985.7.10 B 5冊子
- K 410 武藤和夫 「天皇制崩壊論」 他1篇 『研究紀要』 第25号 三重大学学芸学部 1962.3 B 5冊子
- K 411 大丸義一 「戦後日本—ルクス主義史学史論— 1950～55年を中心に—」 『長崎総合科学大学紀要』 第25巻1号 長崎総合科学大学 1984.6 B 5冊子
- K 412 梶村秀樹 「朝鮮近代史研究の当面の状況—中国近代史研究者の参考のために」 『中国近代史研究会報』 No.9 東京都立大学人文学部歴史研究室 1968.5 B 5冊子
- K 413 倉橋正直 「義和団運動の階級配置」 『中国近代史研究会報』 No.7 東京都立大学人文学部歴史研究室 1967.11 B 5冊子
- K 414 吉沢南 『嚮導』と孫文 晩年の孫文に対するプロレタリアート側からの批判と援助) 『中国近代史研究会報』 No.12 東京都立大学人文学部歴史研究室 1969.4 B 5冊子
- K 415 国立国会図書館・参考書誌部澤川宝秋蔵、関正 「日本新聞史研究覚書—明治年間に創刊した邦字新聞の発展とその政治的意義—」 1972.4.10 B 5冊子
- K 416 野原四郎 「日本の東洋史学は何をしてきたのか—15年戦争にかかわって—」 『近代史学史研究会会報』 第5号 近代史学史研究会 1971.10 B 5冊子
- K 417 松本新八郎 「古代から封建への移行の問題をめぐって」 『近代史学史研究会会報』 第6号 近代史学史研究会 1971.12 B 5冊子
- K 418 増淵龍夫 「歴史のいわゆる内面的理解について」 『近代史学史研究会会報』 第7号 近代史学史研究会 1972.5 B 5冊子
- K 419 石母田正 「近代史学史の必要性について」 『近代史学史研究会会報』 第4号 近代史学史研究会 1971.9 B 5冊子
- K 420 旗手典 「北海道における小作佃大農場の研究(4)—華族組合農場と蜂須賀農場—」 『北海道農業研究』 第18号 北海道農業研究会 1960.3 B 5冊子
- K 421 岡崎克樹 「地租改正の実施過程—備前美作の場合—」 『関西高校郷土研究』 2号 B 5冊子
- K 422 佐藤誠期 「明治初期米作地帯における山村の経済構造」 『山形農林学会報』 第21号 1963.9 B 5冊子
- K 423 安田浩 「1921～1922年横浜船渠争議の運動構造—労働者組織形成の日本政府側への考察—」 『埼玉大学紀要』 人文科学篇 第28巻 埼玉大学教養部 1979.10.29 B 5冊子
- K 424 岡部牧夫 『岡部長章氏談話記録』 立教大学日本現代史資料研究会 1985.4.1 B 5冊子
- K 425 関原祐一 「筑前竹槍—揆の歴史の基盤」 『九州史学』 第65号 九州史学研究会 1979.3.31 B 5冊子
- K 426 目良誠二郎 「(続々)竹橋事件に関する官側史料の若干の整理—防衛研究所図書館所蔵旧陸軍省文書から—」 『海城中学・高等学校研究集録』 第11集 海城中学・高等学校 1987.3 B 5冊子
- K 427 目良誠二郎 「(続)竹橋事件に関する官側史料の若干の整理—防衛研究所図書館所蔵旧陸軍省文書から—」 『海城中学・高等学校研究集録』 第10集 海城中学・高等学校 1985.11 B 5冊子
- K 428 目良誠二郎 「竹橋事件に関する官側史料の若干の整理(四)—防衛研究所図書館所蔵旧陸軍省文書補遺—本籍判明者名簿・収監先府県別名簿—」 『海城中学・高等学校研究集録』 第12集 海城中学・高等学校 1988.3 B 5冊子
- K 429 目良誠二郎 「未公刊史料を軸とした慶応三年十月期政治情況の再検討(上)」 『海城中学・高等学校研究集録』 第8集 海城中学・高等学校 1983.6.1 B 5冊子
- K 430 「千代田区の屋間人口について」 『千代田区史資料』 第3輯 千代田区役所区史編纂室 1958.2 B 5冊子
- K 431 海野福寿 「直輸出論—直輸出政策」 『法経論集』 第17号 静岡大学法経短期大学部 1964.3 A 5冊子
- K 432 阿部恒久 「小野梓と地方自治」 『早稲田大学史紀要』 第16巻 早稲田大学史資料センター 1983 A 5冊子
- K 433 辻達也 『「一橋徳川家文書」 摘録考注(三)』 『専修大学人文科学年報』 第30号 専修大学人文科学研究所 2000.3 A 5冊子
- K 434 辻達也 「一橋徳川家史料」 小谷沼開発関係史料』 紹介(二) 『茨城県史研究』 第61号 茨城県 1988.11 A 5冊子
- K 435 江村栄一 「自由民権派の経済論」 『経済志林』 第39巻 第1・2号 法政大学経済学部学会 1971.3 A 5冊子
- K 436 江村栄一 「憲法草稿譯林—」 の上段評論について—小田為綱の憲法構想— 『経済志林』 第66巻 第3・4号 法政大学経済学部学会 1999.3 A 5冊子
- K 437 坂本悠一 「皇族軍人の誕生—近代天皇制の確立と皇族の軍人化—」 岩井忠熊先生退職記念論文集 『近代日本社会と天皇制』 柏書房 1988.5.4 A 5冊子
- K 438 田中彰・船野哲也、史料紹介 「戦災事情乗風日誌」 『地域史研究はこだて』 第3号 弘文堂 1988.12 A 5冊子
- K 439 内藤二郎 「岡山県下自由民権運動」 『駒大経営研究』 第15巻 第1号 駒大大学経営研究所 1983.8 A 5冊子
- K 440 福島新吾、ゾルーア研究 「『明治国家史の研究』のねらいと経過」 『専修大学社会科学年報』 第23号 専修大学社会科学研究所 1989.3.10 A 5冊子
- K 441 福島新吾 「一学徒兵の軍隊日記(上)—挫折の記録—」 『軍事民論』 第62号 軍事問題研究会 1990.10 A 4・2枚、B 5・2枚コピー
- K 442 福島新吾 「一学徒兵の軍隊日記(下)—挫折の記録—」 『軍事民論』 第64号 軍事問題研究会 1991.4 A 4コピー
- K 443 福島新吾 「ボスト湾岸戦争」 『軍事民論』 第64号 軍事問題研究会 1991.4 A 4コピー
- K 444 成田龍一 「加藤時次郎の都市事業」 『日本史研究』 第216号 日本史研究会 1980.8 A 5冊子
- K 445 中嶋久人 「都市民権派結社国友会派の政党論—朝野新聞

- の論説を中心に―』『文学研究科紀要別冊』第18集文学・芸術編 早稲田大学院文学研究科 1991 B 5冊子
- K 446 野沢豊 『第1次大戦期における日本の朝鮮支配と中国』『駿河台大学論叢』創刊号 駿河台大学教養文化研究所 1987 B 5冊子
- K 447 竹末勲 『民権運動における「自由平等」主義の潮流と部落問題』『部落問題研究』第79輯 部落問題研究所 1983 A 5冊子
- K 448 荻原隆 『初期中村敬宇の対外認識—その自然的思维との関連で—』『早稲田政治公法研究』第10号 早稲田大学院政治学研究所 1981.12.15 A 5冊子
- K 449 荻原隆 『明治啓蒙思想と理想主義』『早稲田政治公法研究』第6号 早稲田大学院政治学研究所 1977.12 A 5冊子
- K 450 池田哲郎 『英人の日本史研究—チェムバレン・サト—』『ローマ—』『武蔵野英米文学』Vol.16 武蔵野女子大学英文学会 1983 A 5冊子
- K 451 宮地正人 『復古記』原史料の基礎的研究』『東京大学史料編纂所研究紀要』1 東京大学 1991 B 5冊子
- K 452 石塚裕道 『「東京史」研究の方法論序説』『国連大学人間と社会の開発プログラム研究報告』国際連合大学 1979.8 B 5冊子
- K 453 岩生成一 『忘れられた歴史・地理学者 北沢正誠』『日本学士院紀要』第42巻第1号 日本学士院 1987.2.28 B 5冊子
- K 454 『年表編 東アジア近代建築史年表』A 4冊子
- K 455 山本登 『部落の現状と差別』A 5冊子
- K 456 光明誠一・外崎光広・公文豪 『光明透『越江日誌』と植木枝盛書簡』『土佐史談』第168・169号 土佐史談会 1985.9.20 A 5冊子
- K 457 『ボボロ座事件資料』東大教育学部自治会

- K 458 『「花園事件・共業船跳碑」建設運動の経過とその教訓』花園の地『日中不再戦友好碑を守る会』理事会 B 5冊子
- K 459 大石嘉一郎 『日本における「産業資本確立期」について—最近の「通説」批判の検討—』『社会科学研究』第16巻・45合併号 東京大学社会科学研究所 1965 A 5冊子
- K 460 幼方直吉 『俘虜取扱に関する諸外国からの抗議集』序文』『十五年戦争極秘資料集』第16集 不二出版 1989.2 B 5冊子
- K 461 内海孝・今村未藏『ギリフアスと横浜(L)』—W.E.Griffis The Mikado's Empireをめぐるで—』『郷土よこはま』第97号 横浜市図書館 1983.10.30 B 5コピー冊子
- K 462 大熊良一『カムチャツカの探検航海の一軸』『政策月報』第189号 自由民主党 1971.10 A 5冊子
- K 463 津田多賀子 『福沢諭吉の女性論と民法論』『東邦学誌』第25巻2号 東邦学園短期大学 1996.12 B 5冊子
- K 464 神田文人 『「満州事変」と日本の政軍関係—統帥権と天皇制—』『敬愛大学国際研究』第3号 敬愛大学 1999.3 A 5冊子
- K 465 留場瑞乃 『中江兆民の経済論—日清戦後経営期資本主義体制の構想—』『立教日本史論集』第7号 立教大学史学会 1998.1 B 5冊子
- K 466 留場瑞乃 『日清戦争後の中江兆民』『史苑』第56巻第1号 立教大学史学会 1995.10 A 5冊子
- K 467 島津豊幸 『愛媛における国会開設をめぐる政治運動—自由党解党から国会開設まで—』『近代史文庫』『愛媛資本主義社会史』第1巻第2巻(合冊) 1968.8.10・1972.3.8 B 5冊子
- K 468 杉本史子 『絵師—渡辺華山、「画工」と「武士」のあいだ—』『近世の身分的周縁2 芸能・文化の世界』吉川弘文館 2000.7.1 B 5冊子
- K 469 鈴木正幸 『近代天皇制国家雑考』『神戸大学史学年報』

- 研究』第5号 静岡県近代史研究会 1981.5
- K 493 山極潔「近代日本文化の歴史と論理」 福谷秀昭編『近代日本文化の歴史と論理』(『東洋大学創立100周年記念論文集』(2)) 東洋大学 1987.10
- K 494 「混一叢理歴代国都之図1402年」(龍谷大学図書館蔵) 田中彰・紺野哲也、史料紹介『榎夷事情乗風日誌』『地域史研究ほこたて』第3号 函館市史編纂事務局 1986.3.31
- K 496 コピー他
- K 497 林基監修『階級闘争の歴史と理論第2巻前近代社会における階級闘争』階級闘争史研究会 青木書店 1981.1 A5コピー一冊子
- K 498 松島栄一・村上重良、対談「王仁三郎を再評価する」『出口王仁三郎著作集』第1巻月報1 誠晃新聞社 1972.2 B6冊子
- K 499 山辺健太郎「3・15、4・16事件関係者を訪ねて」『現代史料社会主義運動』(5)月報 みすず書房 1966.9 A5冊子
- K 500 「日本現代史研究のあゆみ—藤原彰・今井清一両氏に聞く」『十五年戦争史』月報3 青木書店 1989.1 B6冊子
- K 501 小松良郎「ふうてんの寅と太平洋戦争」『歴史教育月報』No.27 歴史教育者協議会 1972.11.10 A5冊子
- K 502 「早大憲法懇話会ニュース」第41号 早大憲法懇話会 1986.11.20 B5コピー一冊子
- K 503 大野真弓『因縁話』『汽笛一声新橋を』『がっかりした話』B4コピー 3枚
- K 504 永瀬清子「平和運動についての私の思い」『岡山県社会運動史研究会会報』No.11 岡山県社会運動史研究会 1983.11 B5冊子
- K 505 三浦進「日本を守る国民会議編『新編日本史』批判 原稿本(白表紙本)の検討」 東京歴教協日本史教材研究会
- K 518 Min Tu-ki (Seoul National University) "DAITO-GAPPO-RON (TRACT ON THE GREAT EAST CONFEDERATION AND CHINESE RESPONSE" -An Inquiry into Chinese Attitude Towards the Early Japanese Asianism, International Conference on The 1911 Revolution Commemorating The 70's Anniversary B 5冊子
- K 519 ハオルド・ゾラリソ(ペライグ大学 トルーマン研究所)「列強と辛亥革命—対立期における協調」 B 5冊子
- K 520 Harold Z.Schiffin (Truman Institute,Hebrew University Jerusalem, Israel), THE FOREIGN POWERS AND THE 1911 REVOLUTION, - An Harmonious Interval During a Period of Discord, International Conference on The 1911 Revolution Commemorating The 70's Anniversary B 5冊子
- K 521 Yung Ying-yue (Singapore National University), THE LESSON FROM MEIJI RESTORATION REVOLUTION OR CONSTITUTIONAL MONARCHY, - A Study of Chinese Students in Japan During the Late Ch'ing Period, International Conference on The 1911 Revolution Commemorating The 70's Anniversary B 5冊子
- K 522 中村哲夫(富山大学)「煙山専太郎『近世無政府主義』の革命運動に及ぼした影響について」 辛亥革命七十周年記念東京国際学術会議 B 5冊子
- K 523 Tetsuo Nakamura(Toyama University), ON THE INFLUENCE OF "MODERN ANARCHISM(WU CHANG-FU CHU-I)"BY SENTARO KEMURAMA (KEMURAYAMAカ) UPON REVOLUTIONARY MOVEMENTS IN CHINA, International Conference on
- K 506 部会 B4冊子
- K 506 内田修道「相州における会津藩の統治」『京浜歴史研究会報』第52号 京浜歴史科学研究会 1988.5.25 B5冊子
- K 507 梅田正義・中村吉男「明治維新「複合革命論」と明治憲法の性格」『広島大学教育学部紀要』第2部第18号 広島大学教育学部 1969 B4コピー一冊子
- K 508 井上勝生「維新史研究と講座派・再論」『リベルス』創刊1号 柏書房 1991.11.25 A5コピー一冊子
- K 509 井上勝生「幕末・維新論—国家論研究からの覚書—」日本歴史学会編『日本史研究の新視点』 吉川弘文館 1986.11 B6コピー一冊子
- K 510 神田文人「先進国革命論批判(上)革新政党再建のための一」『新地平』第126号 新地平社 1985.6.10 A4コピー一冊子
- K 511 林基「西鶴出自研究史の最後の言葉—野間光辰『補削西鶴年譜考證』—」『西鶴新展望』 勉誠社 1993.8.30 A5コピー一冊子
- K 512 山川肇「労働実践観の逆転」 1977.7 A5コピー一冊子
- K 513 山極潔「コミンテルンと東アジア」 B5コピー一冊子
- K 514 川村善二郎「人間平等の信念に徹した生涯—植木徹之助おぼえがき—」『部落』35巻6号 部落問題研究所 1983.6 B5コピー一冊子
- K 515 中嶋久人「東京における街燈費不払運動の展開—明治初期都市民衆運動の一例として—」『民衆史研究』第43号 民衆史研究会 1992.5.23 B5コピー一冊子
- K 516 榎本守恵「北海道開拓論の—こま 田口卯吉と原敬」桜井徳太郎編『日本社会の変革と再生』 弘文堂 1988.12
- K 517 関斗基(ソウル大学)『大東合邦論』と中国人—初期アジア主義に対する中国人の見方に関する一考察— B
- K 524 The 1911 Revolution Commemorating The 70's Anniversary B 5冊子
- K 524 小島淑男「中国国民会と辛亥革命」 辛亥革命七十周年記念東京国際学術会議 B 5冊子
- K 525 Yoshio Kojima(Nippon University), THE CHINESE NATIONAL PARTY CHUNG-KUO KUOMIN HUI AND THE 1911 REVOLUTION, International Conference on The 1911 Revolution Commemorating The 70's Anniversary B 5冊子
- K 526 M.C.ベルグール(パリ大学教授)「辛亥革命勃発の前後の帝国主義問題」 B 5冊子
- K 527 M.C.Berger(Université Paris III), THE ISSUE OF IMPERIALISM BEFORE AND AFTER THE OUTBREAK OF THE 1911 REVOLUTION, International Conference on The 1911 Revolution Commemorating The 70's Anniversary B 5冊子
- K 528 川本邦衛(慶応義塾大学)「越南光復会と辛亥革命」 辛亥革命七十周年記念東京国際学術会議 B 5冊子
- K 529 Kuniye Kawamoto(Keio University), VIETNAMESE QUANG PHUI HOI AND XINHAI REVOLUTION, International Conference on The 1911 Revolution Commemorating The 70's Anniversary B 5冊子
- K 530 浜下武志「辛亥革命前後の中国と国際金融関係—銀価下落と幣制改革—」 辛亥革命七十周年記念東京国際学術会議 B 5冊子
- K 531 Takeshi Hamashita(Hiotsushashi University), THE INTERNATIONAL FINANCIAL RELATIONS BEHIND THE 1911 REVOLUTION, - The fall of the value of silver and reform of monetary system, International Conference on The 1911 Revolution Commemorating The 70's Anniversary B 5冊子

- K 532 中見立夫「モンゴリと辛亥革命」辛亥革命七十周年記念東京国際学術会議 B 5 冊子
- K 533 Tatsuo Nakami (University of Tokyo Foreign Language), THE MONGOLS AND THE HSINHAI REVOLUTION, International Conference on The 1911 Revolution Commemorating The 70's Anniversary B 5 冊子
- K 534 清水稔(仏教大学助教授)「湖南における辛亥革命と民衆運動について」辛亥革命七十周年記念東京国際学術会議 B 5 冊子
- K 535 Minoru Shimizu (Bukkyo University), THE REVOLUTION OF 1911 IN HUMAN AND THE POPULAR MOVEMENT, International Conference on The 1911 Revolution Commemorating The 70's Anniversary B 5 冊子
- K 536 ヲリクス・B・ジャンセン(アリソントン大学)「辛亥革命と米国の東アジア政策」 B 5 冊子
- K 537 Marius B.Jansen (Princeton University), THE 1911 REVOLUTION AND UNITED STATES EAST ASIAN POLICY, International Conference on The 1911 Revolution Commemorating The 70's Anniversary B 5 冊子
- K 538 チアピンスキー(ソ連科学アカデミー東洋学研究所)「辛亥革命と列強」 B 5 冊子
- K 539 S.L.Tikhvinski (USSR, HSINHAI REVOLUTION AND FOREIGN POWERS, International Conference on The 1911 Revolution Commemorating The 70's Anniversary B 5 冊子
- K 540 鈴木智夫(日比谷高校教諭)「辛亥革命期における上海製糸業と製糸資本の活動」辛亥革命七十周年記念東京国際学術会議 B 5 冊子

- K 547 Pro.Zhang Kaiyuan(Hua chung Shih Fan Hsueh Tuam),THE SLOGAN "DRIVE OUT THE MANCHUS " AND THE NATIONAL MOVEMENT IN MODERN CHINESE HISTORY, International Conference on The 1911 Revolution Commemorating The 70's Anniversary B 5 冊子
- K 548 谷応英(ソソガポール国立大学講師)「変革モデルとしての明治維新—清末における日本留学生の認識—」辛亥革命七十周年記念東京国際学術会議 B 5 冊子
- 20 名刺**
- M 1 名刺整理帳(天下井恵 2019 年史料整理に当たり新規作製) 名刺バインダー 582 名分

21 その他

- F 1 浦和高校寮歌集 1932 B 6 冊子
- F 2 戦後教育論執筆メモ 遠山茂樹 B 5 2 枚
- F 3 田中正造論メモ 遠山茂樹 B 5 9 枚
- F 4 自由民権運動メモ 遠山茂樹 1968 年以後, B 5 3 枚
- F 5 自由民権思想と現代参考資料コピー 遠山茂樹 B 4 4 枚
- F 6 自由民権運動資料メモ 遠山茂樹 B 5 2 枚
- F 7 自由民権社会平等論メモ 遠山茂樹 B 5 5 枚
- F 8 政治哲学読書メモ 遠山茂樹 B 5 4 枚
- F 9 反核運動総括メモ 遠山茂樹 B 5 2 枚
- F 10 神奈川足柄郡の国会開設建議メモ 遠山茂樹 B 5 6 枚
- F 11 横浜美測図 内務省地理局 1881 A 3 コピー 20 枚
- F 12 平和を愛する日本科学者年頃の決意(費同署名者名簿

- K 541 Tomoo Suzuki (Hibiya High School), THE SILK-MANUFACTURING INDUSTRIES IN SHANGHAI AND THE RELEVANT CAPITAL INTERESTS ACTIVITIES IN THE PERIOD OF 1911 REVOLUTION, International Conference on The 1911 Revolution Commemorating The 70's Anniversary B 5 冊子
- K 542 ドン・ブライス(カリフォルニア大学)「宋教仁の革命思想における反帝国主義」 B 5 冊子
- K 543 Don C. Price (University of California, Davis), ANTI-IMPERIALISM IN THE REVOLUTIONARY THOUGHT OF SONG JIAOREN, International Conference on The 1911 Revolution Commemorating The 70's Anniversary B 5 冊子
- K 544 Jin Chongji(Editor of "Wen Wu"), THE REVOLUTION OF 1911 AND AWAKENING OF THE CHINESE NATION, International Conference on the 1911 Revolution Commemorating the 70's Anniversary B 5 冊子
- K 545 Chen Xiqi(Zhongshan(Yat-sen) University), SUN YAT-SEN'S ACTIVITIES BEFORE AND AFTER THE FOUNDING OF THE PROVISIONAL NANJING GOVERNMENT, International Conference On the 1911 Revolution Commemorating The 70's Anniversary B 5 冊子
- K 546 Zongyi(Chinese Institute of Social Science and Modern History), THE ROLE OF THE CHINESE BOURGEOIS REVOLUTIONARIES IN THE MOVEMENT TO REGAIN ECONOMIC RIGHTS TOWARDS THE END OF THE QING DYNASTY, International Conference on the 1911 Revolution Commemorating The 70's Anniversary B 5 冊子

- F 13 史料編纂所職員の実務要求草案 1950 B 4 3 枚
- F 14 戦災被災区域表示帝都近傍図 東京大空襲 40 周年記念実行委員会 1946・1985 復刻 A 0
- F 15-1 欧米立憲思想発展系統図 1951 480 × 1420 mm
- F 15-2 日本立憲思想成立系統図 580 × 540 mm
- F 15-3 大日本帝国憲法解釈論系統図 375 × 1540 mm
- F 15-4 議院政党政党勢力並びに系統図 475 × 1540 mm
- F 15-5 明治時代政党機関紙系統図 535 × 1480 mm
- F 15-6 日本国憲法及び各国憲法比較—一覧表 1080 × 770 mm
- F 16 書簡下書 遠山茂樹 A 4
- F 17 復刻待週期成大同盟会—ノ関支部記事 国労スト 90 周年記念会 1988 B 6 冊子
- F 18 失われた言論の自由 言論弾圧反対同盟 1950 B 6 冊子
- F 19 自由民権運動メモ 遠山茂樹 B 5 2 枚
- F 20 服部日本帝国主義政治史覚書 遠山茂樹 B 5 2 枚
- F 21 寮生住所録 浦和高等学校寄宿舎 1931 年度 A 6 冊子

解題

遠山茂樹文書にみる先生の学問とお人柄

吉田俊純

残された文書のなかで驚かされたのは、戦前・戦中の文書がかなり残っていることである。先生の家は一九四五年五月の空襲で焼けた。先生が帰宅すると、岩波文庫の『経済学批判』が灰になってそのままの形で残っていた。それに触れるとバラバラと崩れ落ちた。こんな話を聞いていたからである。

もつとも古いものは、項目D「手帳・日記」にある一九二八年の府立四中三年生在学中の「生徒日記」(D43 整理番号、以下同じ)である。中学時代の日記は、ほかに五年生のときのもので二冊(D40、D44)ある。学校の指導上、書かされたものである。これらの概要は三浦晴子「遠山先生の「中学生日記」」に紹介されている。

手帳は一九三七年(D39)から九七年(D14)まで、六〇年代を除いてかなり残されているが、いずれも記載は少ない。それでも先生の活動の一半を記録

した見過ごせないものである。

項目A「初期原稿類」は、ほぼまとまって保存されていた。このなかのノート類は、高校・大学時代のものである。とくに「吉野時代に於ける相良氏の動向」(A54)は、原稿用紙二三枚に書かれたものであり、卒業論文の下書か準備のための作品ではないかと思われる。これは大庭邦彦「吉野時代に於ける相良氏の動向」によって、全文翻刻・紹介した。先生の卒業論文の題名は、「吉野時代における武士勢力の趨勢」である。ほかに「吉野時代に於ける吉野朝の位置(昭和一〇年度史学概論試験答案、原稿用紙四枚)」(A57)があるから、卒論への一階梯に位置づけられることは疑いない。

古文書のコピーは、学生時代に古文書を学んだものである。また、水戸学関係の文書がかなりあるが、これは維新史で水戸学を担当したからである。

項目G「原稿」は、新版『昭和史』(G44)と『日本近代史I』(G45)が箱入りで保存されていたのみで、ほかは雑然と交りあっていた。そのみではなく、その多くは裏にほかの論文の下書や覚書の類が記されている。先生の原稿がすべて残されていたとすれば、実に膨大な量になるはずである。先生は逐次廃棄するとともに、ものを著作目録から除外した。先生は反官学アカデミズムの旗手であった。今日でも払拭されているとはいえない、権力に媚びるこの学界の悪習に、先生は悩まされたのである。著作集を刊行するときに、最初の案では水戸学の通説とされた「水戸学の性格」(P141-1、P231-1)も入っていたのであるが、先生は「戦前のものは天皇に阿っている」といって、掲載を拒否されたという。

項目N「ノート」は、講義・研究・講演・読書雑記・事務・メモ切抜に大きく分類されるが、中心は講義ノートである。先生がノートをみながら講義された姿が偲ばれる。先生の講義ノートは読み上げればよいというものではなく、小林元裕「遠山茂樹先生の講義ノートについて」に指摘されるように、多くは要点のみを書いたものである。その一例は丸茂信行「遠山先生への寄贈本整理作業を契機に調べたこと」に示されている。

最初の講義である一九四九年の東京大学文学部(「自筆履歴書」(R71))のもの(N136)から、専修大学時代のもので四〇冊ある。これらと比較すると、先生の知見の深まりが読み取れるであろう。ほかの種類ノートには、さきに丸山擁護論を紹介したように、未定

に、一部、それを活用したのである。それは下書のみでない。

先生は、「史料を読んだら、たんに写すだけでなく、何を考えたか、ちよつと書いておきなさいよ。何を考えたか忘れてしまうから」と御指導くださった。もちろん、先生はこれを実践していたのである。そして、それは「ちよつと」の水準にとどまらなかった、といえる。たとえば、項目N「ノート」には、對馬労『『赤旗』紙上の丸山真男氏批判についての異論』によつて翻刻・紹介されている未発表論文(N74)がある。また項目P「クリアーファイル」括史料」中には、『茨城県史料政治社会編II』付録I-Iに掲載された、「革命」概念について(P13)がある。この論文は、一県史の史料集の付録に掲載する水準のものでなく、著作集第三巻に再録されたほど重要なものである。これらの事例から推察するに、先生は考えたことで重要なことに、考察をめぐらして書き留めていたのである。

原稿に関して、もう一点指摘しておかなければならないことがある。それは戦中のものである。「軍人援護会」の原稿用紙が多く使われている点である。先生も立場上、戦意昂揚のために書かされたのである。先生はこの種の

稿がある。とくにN74からN79はそのためのノートである。先生のノートが今日でも私たちに学問的刺激を与えるものであることは、三浦進「羽仁史学における人民の役割」に、その一端が示されている。また先生はつねに向上の努力をかさねられた。先生の名著といえは『明治維新』であるが、お葬式のとくに紹介された書は『明治維新と現代』であった。これは我々にとって驚きであった。両書に関しては、丸浜昭『明治維新と現代』から受けた刺激―同名の「講演録」(G2301154)にもふれて」が論じている。

項目S「追悼文・弔辞」は、著名人一八人に捧げられたものである。先生の学界における地位の高さを示している。興味深いことに、その対象は平野義太郎氏・石母田正氏らのマルキストのみでなく、藤井甚太郎氏・大久保利謙氏といった非マルクス主義の歴史家も含まれている。追悼文の類は、ほかの項目にも散在している。それを見ると、最大のよき論敵であった丸山真男氏に対しても、葬儀の折に弔辞を述べたことが知られる(「丸山ゆかり封書」(T17))。また戦前は敬慕していたにもかかわらず、戦後に反マルクス主義の言動のために対立関係に陥った津田左右吉氏に対しても、「真理への激し

い情熱 亡き津田左右吉博士をしのぶ」(P12113)を執筆している。先生は常日頃、「日本の歴史学には二つの学派がある。マルクス主義史学と実証主義史学である」といわれていたが、学問的な違いにもかかわらず、その研究成果を尊重する先生の誠実な学風をよく示している。

先生は一九五〇年ころから著作目録を作り、一部を保存していたようである。項目P「クリアーファイル一括史料」は、そのうち著書と編纂書を除いた論文以下のものを、分野別に分類したものである。このファイルは著作集刊行のために作られた。そう断言できるのは、次の理由による。

六割以上のファイルには表題がついている。たとえばP3は「第6巻歴史教育論」とある。これは著作集第7巻『歴史教育論』に対応している。もちろん収められた論文も、ほぼ一致する。同様に対応関係にあると認められるものを、表題のないファイルも含めて表に示した。ただし、表示されなかったファイルの多くにも、著作集に収められた論文が散在している。また巻数が記されているものは、著作集の巻数と一致しない。これは著作集の構成が変更されたことを意味している。

ファイル・著作集対照表

ファイル	著作集
P 3	7巻
P 5	9巻
P 9	8巻
P 10	9巻
P 14	2巻
P 17	6巻
P 18	1巻
P 24	2巻
P 25	5巻
P 26	3巻
P 27	4巻
P 32	6巻

P23は「著作集補遺(2)」、P31は「著作集補遺(三)年譜著作目録」である。補遺(1)がない。また著作集に収められた論文など八本がファイル中になく。これらはファイルがもう何冊あったことを示している。残念なことである。それはともかく、このファイルは、先生が几帳面な性格であったことをよく示している。

先生は一九四七年一〇月に文部省から「教科用図書委員を委嘱」(「自筆履歴書」(R72))された。中学校の日本史の教科書を作る仕事である。項目E「教科書づくり」は、この件の文書である。この史料としては、ほかにA186、G34などがある。しかし、反権威主義の先生としては、国定教科書の作製に抵抗感はなかったの

であろうか。幸いにこのとき、文部省は中学校向けの国定教科書の編纂を中止し、自由にした。そこで先生は松島栄一氏・高橋碩一氏らと、潮流社から『日本の歴史』を出版した。公的な歴史書の編纂としては、このほかに項目C「千代田区史」があるように、一九五七年に「千代田区史」の委員嘱託になっている(同上履歴書)。また一九八〇年代には項目I「横浜市議会史」があるように、『横浜市議会史』にも関与している。ほかに『大月市史』にも関与された。しかし、いずれもなぜか著作目録に記載されていない。『横浜市議会史』と『大月市史』のごときは、履歴書にも載っていない。また「横浜港史刊行委員会委員委嘱状」(R5)がある。

項目H「訴訟案件」は、二つの事件しかない。その一つは「ポポロ座事件史料」(H2)である。先生が東京大学史料編纂所をやめた理由は、『昭和史』が売れたので、印税で暮らそうと決心した」とおっしゃっていた。そう決心したのは、自由に言論活動ができない官学アカデミズムの下にいることの嫌悪感があったこともたしかであろう。そこにとどまらず、教職員組合委員長のとくに起きたこの事件のために奔走したのが、契機になったという説がある。「自筆履歴書」(R71)には、「在

任中メーデー事件・東大事件おこる」と特記されている。なおポロ事件に関しては、ほかにK457、P511がある。

項目B「教科書裁判」、一九六五年に友人の家永三郎氏によって起こされたこの裁判は、先生がもつとも力を入れた運動の一つである。「学会の研究成果は尊重されなければならない」とは、常言の一つであったが、それに反するのみでなく、平和と民主主義に逆行する権力の教育行政に対決するためであった。先生自身、証人として二回証言されたのみでなく、運動を支える頭脳集団の中心として活動された。この点は、渡辺賢二「家永教科書検定訴訟と遠山先生」に述べられている。

学会の成果を広めるために、また民主主義を発展させるためにも、先生は多くの歴史書の編纂に関与された。また歴史教育に関しては積極的に発言し、行動した。それを象徴するのが項目L「教育研究集会」である。この概要は天下井恵「帝国主義についての中学校段階の扱い方」に示されている。先生は、一九五六年一月から六六年一月まで、日本教職員組合教育研究全国集会講師を勤めた（「自筆履歴書」(R71)）。この間、年末は全国集会のために缶詰になっていた。先生は現場からの声をじ

る。しかし、これは先生が受け取った手紙のほんの一部でしかないことは明白である。なぜこれらの手紙だけが残ったのかは、明らかでない。

先生に宛てた手紙の筆者は、五二〇人ほど数えられる。歴史学者が多いが、他の分野の著名人も多い。出版社の人も多数いるが、不明な人も多い。内容的には著書・論文の礼状が多い。そのなかには、たんに御礼を述べただけでなく、感想や批判を述べたものが多い。たとえば、家永三郎氏のものは一七通残されているが、家永氏は恵贈の礼状をはがきに書いても、紙面全体に細かい字で感想・批判を書いている。したがって、これらの礼状を読むとき、発表当時の先生の作品に対する、学界の評価の一端が理解されよう。

最後にある先生の古希の会の教え子たちの返信は、一冊のファイルに収められていたものである。先生がいかに卒業後も教え子たちを思う、よき教師であったことを示している。また、そこに記された教え子たちの近況報告を読むとき、彼らがいかに先生を敬慕していたかが、よく理解できよう。

意外な人物の手紙を紹介しよう。「美智子遺志実現のため訪チェコに際してのご挨拶」を記した「権光子封書」

かに聞き、学ばれたのである。

項目J「自由民権」は、一九八一、八四、八七年の三回開催された自由民権百年の全国大会関係が主となっている。戦後、先生の研究課題の一つは自由民権であった。日本の民主主義の質を問うとき、無視できない問題だからである。そして、先生はこの全国大会の第一回と第二回に委員長になって活躍された。全国の同学の士と交わるなかで、先生も見識を高められたのである。この点は、渡辺賢二「自由民権百年の取り組み」が明らかにしている。

項目Y「横浜市大問題」は、一九六九年の市大紛争と、福島事件が中心である。後者は、福島博教授が新潟水俣病の裁判で被告の証人に立ったのを糾弾した事件である。前者は当時市大の学生であった私にとって、なつかしい思い出である。

項目T「手紙」は、一五〇〇点以上もあつて、数量としては最大で約四五%をしめる。もつとも古い一九四七年二月の「高柳嘉之はがき」(T1396)から、もつとも新しい二〇〇七年二月の「安川寿之輔封書」(T1236)までである。このうち先生宛の手紙では時期的には八〇年代と九〇年代が多く、三二%と三一%をしめ

(T1361)は、六〇年安保のときに全学連が国会に突入しようとして死亡した権美智子氏の母からのものである。美智子氏は、先生が東京大学文学部で非常勤講師であつたときの教え子である。一非常勤講師でありながら、上記のような封書が届いたことは、一人ひとりの学生に対して厳しいけれども心温まる指導をなされた、優れた教育者であつた先生を彷彿させるのである。

「佐藤代治封書」(T1428)は、松川事件の被告として獄中にあつた佐藤氏からの裁判の報告である。先生は佐藤氏に『明治維新』などを送っている(T1429)。どういう事情で知りあつたか不明であるが、権力悪に対して敢然と立ち向かつた先生の人間性をよく示している。

「山本学封書」三通(T677、679)は、公演パンフレットの原稿を依頼したものである。また前進座との関係は深く、前進座が中国公演したときに中国から報告してきた封書もある(T942)。先生と演劇に関しては、学生時代、恩師の羽仁五郎氏につれられて観劇した話をよくきかされたが、演劇界とこのようになつながらあるとは、知らなかった。先生はよく、「私は無趣味な男でね。老人になつたらどうしようかと悩んでいる

んだ」と語っていたからである。

先生はマルキストであった。それ以上に民主主義の発展のために献身的で地道な活動をした人であった。そして、それを阻む権力悪と対決した人であった。しかし、そうした存在は、右翼の脅迫の対象になった。先生も例外ではなかった。次項のインタヴューで重子夫人も語られているが、この種の手紙は一三通残されている。二点、簡単に紹介する。「遠山馬鹿先生宛はがき」(T1243)は、大きな文字で書かれたものであるが、「お前の昭和史の愚劣さ」に始まり、「早く死んだ方が世の中の為だ」と結ばれている。より積極的に「大日本青年義勇隊第一行動隊第二班長封書」(T1332)は、『昭和史』の著者三名の誅殺を予告している。

実際に襲われそうになったときもあった。ある地方に講演に行ったとき、警察に暴漢が襲うとの情報が入った。そこで私服が警護についた。その刑事、「便所に入ってもついでくるんですよね」と、先生はにが笑いしながら語られた。

先生を危険視したのは右翼のみではない。国もそうであった。学生時代の友人が警視総監になったとき、彼は公安に案内された。そこで試みに先生のカードをみると、

一列みなそうだったと、先生に教えたという。

項目K「寄贈論文抜刷」は、各地の研究者から送られたものである。もちろん、これも残された僅かの量といえる。もつとも古いものは、戦前一九三七年の相田次郎「中世の接待所に就いて」(K482)である。戦前のもはもう一本一九三七年頃の中島鹿吉「土佐遊学中山崎閣斎」(K238)があるのみで、あとは一九五四年以後のものである。それも早い時期のものは少ない。もう一つの特徴は東京以外の人のものが、三二道府県に及ぶことである。先生の拠点とした学会といえば、もちろん歴史学研究会であるが、先生は地方史研究協議会の地方での大会には、かならず出席された。上記の教研集会・自由民権百年もそうなのだが、地方を重視した先生の学問的態度を示している。「学問は中央集権的だから」と先生はおっしゃったが、地方への普及、向上に努められたのである。

項目M「名刺」は、ほとんど寿命となっていた二冊の名刺整理帳と、先生の室の所どころに散在していた名刺を一冊にまとめたものである。本文書に記された人は、歴史学者や著名な文化人が多い。そういう人はわかるのだが、不明な人が多い。とくに先生は歴史教育の人や地

方の研究者と多く交わったので、よりいっそうである。「名刺整理帳」(M1)は一冊だけであるが、582名分の名刺を取めたこの整理帳は、そうした便宜を提供するであろう。なお、住所録(P46・P56)がある。

項目F「その他」は、上記の項目にはいらないか、分類整理したのちに残したほうがよいと思われたものを収めた。

最後に先生の御霊に申し上げなければならぬ。先生は生前、「私が死んだら何か遺作があるんじゃないか」といつて、押入などをさがさないでくださいね。何もありませんだから」と、しばしばいわれた。たしかに先生は、残すべきものを整然と整理されて残さなかった。この文書はあたかも捨てよという状態にあった。しかし、私たちは整理をするなかで、これまで記したように、保存するに値する史料であると認めた。それだから、申し上げなければならぬ。「先生、いい史料じゃないですか。保存しましょう」と。歴史学者遠山茂樹先生の御霊は、喜んで頷くと確信している。